

TRAINING PAPER

〔特許出願中〕

DAILY[®] PROGRAM

大学受験デイリープログラム100日

高校3年

英語

《見本》

1

文法事項のまとめ

第1日	時制(1)	4
第2日	時制(2)	15
第3日	時制(3)	26
第4日	時制(4)	36
第5日	話法	48
第6日	動詞と文型	59
第7日	不定詞(1)	71
第8日	不定詞(2)	83
第9日	不定詞(3)	93
第10日	演習問題(1)	104
第11日	動名詞	115
第12日	分詞と分詞構文	126
第13日	受け身(1)	138
第14日	受け身(2)	151
第15日	受け身(3)	161
第16日	関係代名詞(1)	173
第17日	関係代名詞(2)	183
第18日	関係副詞	193
第19日	仮定法	203
第20日	演習問題(2)	215

♣基礎から応用まで

100日間＋補充演習編で受験対策を完成

- 大学受験デイリープログラム英語は、英語の受験に備えて、基礎力の充実と受験に必要な力を養成することを目的として編集してあります。6巻を除き各巻は20日構成になっています。

第1巻	基本文法事項の習熟	文法事項を詳細な単位で取り上げ解説し、それぞれ基礎から大学入試問題レベルまでの内容を徹底的にトレーニングします。
第2巻	基本文法事項の習熟	
第3巻	イディオム・構文中心の学習	前半は基本動詞や前置詞を用いたイディオムの学習、後半は重要構文ごとに3～5行の英文で読解の練習をします。
第4巻	構文中心の学習13日、英作文3日、書きかえ2日	第3巻の後半の続きで、多少手ごたえのある英文が並びます。英作文、書きかえ問題も取り立てて学習します。
第5巻	長文読解中心の学習 英作文・書きかえ5日	大学入試問題の長文読解をとおして、1～4巻の学習事項の確認と総合力を身につけます。
第6巻	補充演習編	特に、まちがいやすいもの、むずかしいものなどを、再度取り上げ、実力を確実なものにします。

- これら6巻をとおしておよそつぎの量のトレーニングをします。10,000題の単文問題（和訳、英訳、書きかえ、空所補充問題などのすべての形式を含む）、1,000題の読解、英語らしい表現のための24例文の英作文と大学入試長文問題25題、さらに大学入試頻度順単語2,032語、イディオム600のトレーニングを完全にものにできます。

♣学習上の心構え

英語の実力をつけるには、まず多くの英文に接し、その中で使われている文法、構文、イディオム、単語を英文とともに覚えてしまうことです。

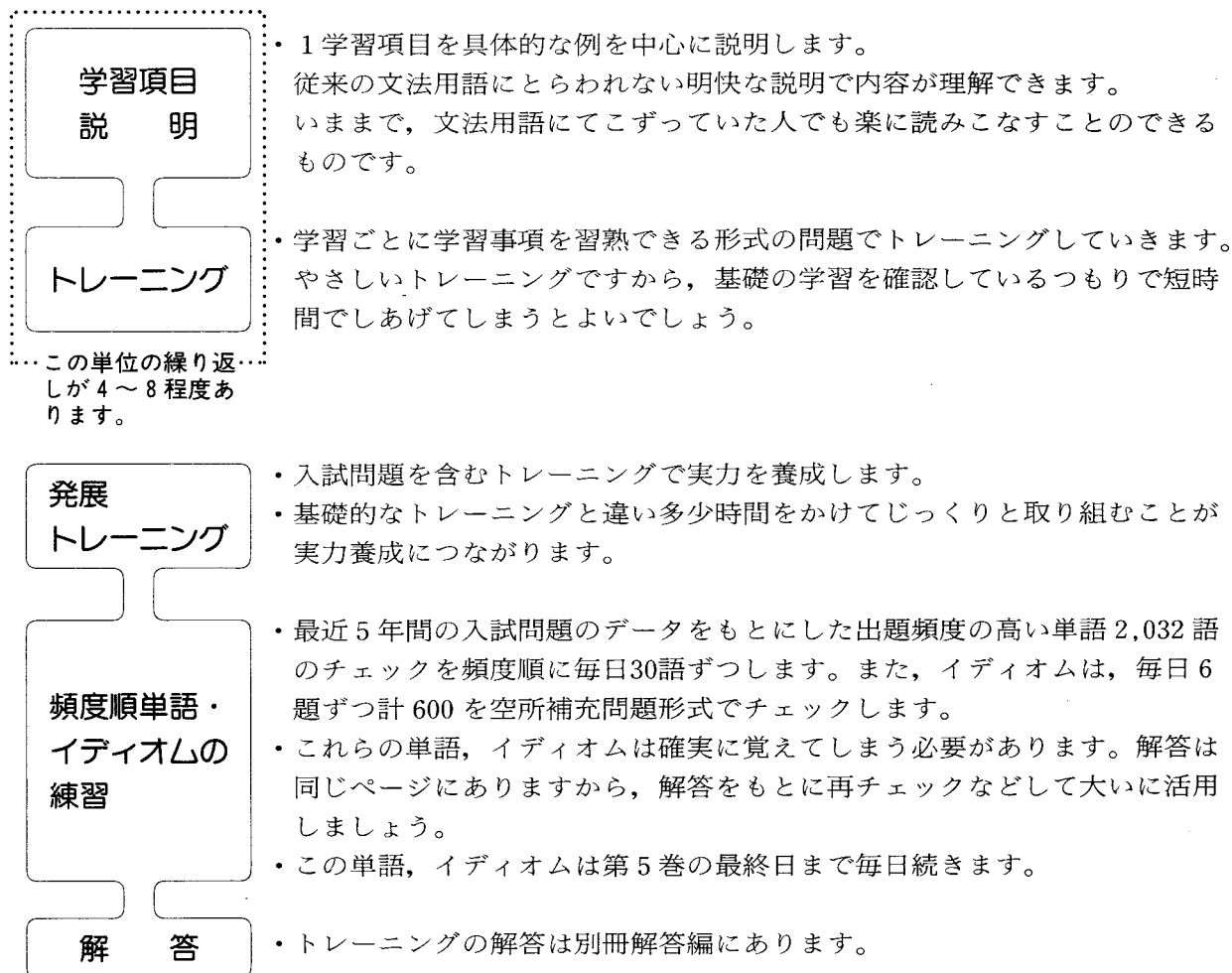
このデイリープログラムもこれを目的として、多くの問題を解きながら自然に多くの英文を身につけてしまえるように構成しています。しかし、歩かずに山の頂上にいきつくことが不可能なように、努力なくして実力がつくはずはありません。楽な登山道路をつくり上げてありますから、一步一步確実に進むことです。特に、1,2巻は3巻以降の土台となる部分です。次のことを守って効率的に学習しなさい。

- ① 確実に1日1日を終了させること。
- ② 正解の得られなかったものは、身につくまで繰り返し学習し、その場で身につけてしまうこと。

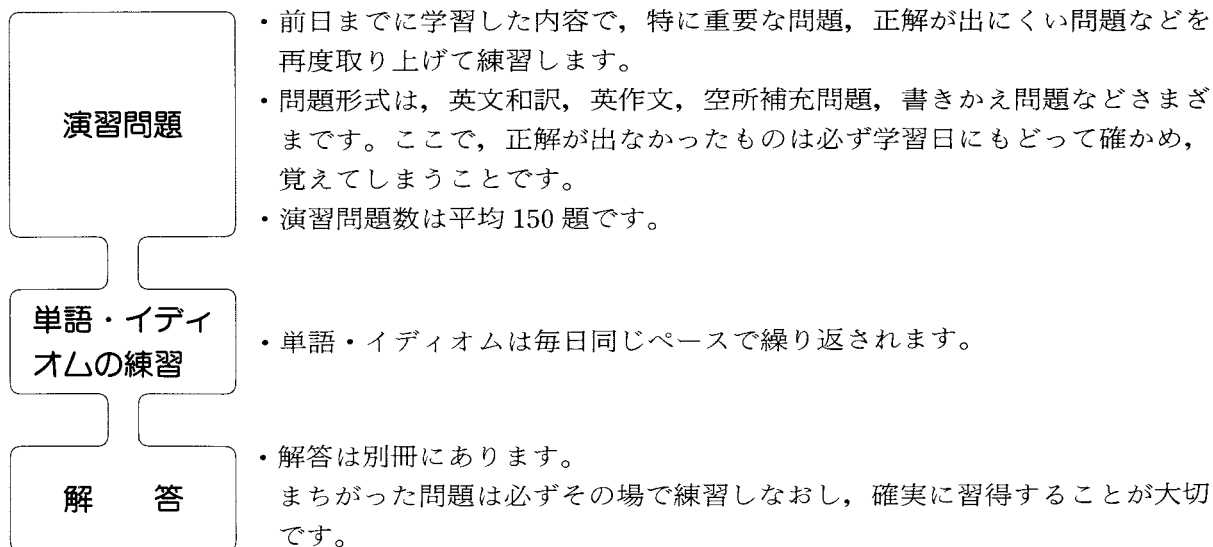
♣第1巻の学習展開と使い方

第1巻は、文法項目の取り上げ学習の日が18日、演習問題の日が2日の構成です。

●学習日の展開 (第1日～第9日、第11日～第19日)



●演習の日の展開 (第10日と第20日)



文法中心の学習

第1巻と第2巻は文法中心の学習です。この第1巻では、時制・不定詞・動名詞・分詞・受け身・関係詞など、とくに重要な文法事項を学習します。

これらの文法事項をマスターしてしまえば英語力は格段にアップします。自信をもって学習を進めてください。

不定詞など日本語にない文法事項はとくに注意して学習を進めること。説明をよく読んで、1題1題着実にこなしていきましょう。

第 1 日	文法事項のまとめ 学習日 月 日
	時制 (1)

こんにちは。きょうから第4日まで「時制」について学習します。きょうは、その中でもっとも基本的な現在時制と過去時制の学習です。ひとつひとつきちんと整理しながら練習しましょう。

1. 現在時制 (いろいろな文のなかで)

「私は学生です」という文は、英語では、

I am a student.

と表します。am は「～である」という意味の動詞ですね。このように、動詞の現在形は現在の事実を表すときに使われます。

また、「私は毎日英語を勉強します」 ⇒ **I study English every day.**

のように習慣的な行為を表す場合や、

「地球は太陽の周りをまわります」 ⇒ **The earth goes round the sun.**

のように一般的な真理を表す場合にも、現在形の動詞が使われます。

では、We leave for America tomorrow. という文はどう訳しますか。これは、「私たちはあしたアメリカへ出発します」という意味です。「出発します」というのは未来（あした）のことですが、leave (出発する) という現在形の動詞が使われていますね。leave, start (出発する), arrive (到着する), go (行く), come (来る) などの発着や往来を表す動詞は、現在形で確定した未来のことを表すことができます。

どうですか。たんなる現在形の動詞にもいろいろな使われ方がありますね。さっそくトレーニングしてみましょう。

■ トレーニング ■

1 下線部の動詞に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) We are high school students. _____
- (2) My mother is very busy now. _____
- (3) I get up early every morning. _____
- (4) Noriko writes to her mother every month. _____
- (5) The sun rises in the east and sets in the west. _____
- (6) Parallel lines never cross each other. _____
- (7) The train for Tokyo leaves at eight tonight. _____
- (8) Our plane arrives in Rome at seven tomorrow. _____

(9) The meeting starts at 10 a. m. tomorrow.

(10) Look carefully. I break an egg into a bowl. Then I add a little salt and mix them together.

▶(1)～(2)は現在の事実, (3)～(4)は習慣的な行為, (5)～(6)は一般的な真理を表しています。 Parallel lines「平行線」 cross「交わる」 (7)～(8)は発着・往來を表す動詞の現在形で未来を表しています。 The train for Tokyo「東京行きの列車」 (10) 進行中の動作を説明するときにも現在形は使われます (テレビの料理番組などで)。

2. 時や条件を表す副詞節のなかで

「私はあなたがもどるまで待ちましょう〔待つつもりです〕」という文は、英語では、

I will wait till you get back.

と表します。「あなたがもどる」というのは未来のことですが、get back と動詞の現在形を使って表します。では、次の文はどういう意味ですか。

Please phone me when she gets back.

これは、「彼女がもどったら、どうぞ私に電話をしてください」という意味です。ここでも gets back (もどる) と動詞の現在形が使われています。

このように、時や条件を表す副詞節のなかでは、未来のことを述べるときに動詞の現在形を用います。

トレーニング

2 下線部の動詞に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) I will go shopping when the rain stops.

(2) Let's leave as soon as John comes.

(3) If it rains tomorrow, I will take my car.

(4) You should go home before it gets dark.

(5) He will be surprised when he hears the news of her marriage.

(6) If you are not busy tomorrow, let's play tennis.

(7) Tom will be late for school if he doesn't leave now.

(8) We had better stay here till it stops raining.

3. 動詞の3人称単数現在形

「私は学生です」という文は、英語では、

I am a student. と表します。けれども、「あなたは学生です」と言うときには、

You are a student. と am でなく are を使います。「彼は学生です」なら、

He is a student. と is を使います。この「～です」の意味をもつ am, are, is を be 動詞といいます。be 動詞は主語によって形が変化します。

よく、「3人称」などという言い方をしますね。称とは呼び名のことです。1人称とは I(私)や we(私たち)のことです。2人称とは you(あなた, あなたたち)のことです。

3人称とは、I でも we でも you でもない、第3者の呼び名のことです。つまり、she や Mr. Yamada や it のことをいいます。

では、「太郎と私は学生です」と言うときには、どんな be 動詞を使いますか。

Taro and I are students. と are を使います。

現在形の文で Taro and I のように主語が複数(2人以上)のときは be 動詞は are を用います。

では、「彼は野球が好きです」という文は、英語ではどう表しますか。これは、

He likes baseball. と表します。

likes と like(好む)に s がつきますね。このように、現在形の文で主語が He のように3人称・単数の場合には、動詞の語尾に s または es がつきます。

es をつけるのは、語尾が ch, sh, ss, o などと終わる動詞です。

teach (教える) ⇒ teaches / wash (洗う) ⇒ washes

pass (通る) ⇒ passes / do (する) ⇒ does

語尾が<子音字+y>で終わる動詞には、y を i にかえてから es をつけます。子音字とは母音字(a, e, i, o, u)以外のすべての文字です。

study (勉強する) ⇒ studies / try (試みる) ⇒ tries

say や play は<母音字(a)+y>ですから、そのまま s をつけますよ。says / plays

また、have (もっている)は has と変化します。

He has a lot of records. (彼はたくさんのレコードをもっています)

トレーニング

3 主語に合わせて、適当な be 動詞 (am / are / is) を書き入れなさい。

- (1) I _____ a student. (私は学生です)
- (2) I _____ seventeen. (私は17歳です)
- (3) You _____ busy, aren't you? (あなたは忙しいですね)
- (4) He _____ a good driver. (彼はじょうずな運転手です〔彼は運転がじょうずです〕)
- (5) David _____ a doctor. (デビッドは医者です)
- (6) This pen _____ mine. (このペンは私のものです)
- (7) She _____ a college student. (彼女は大学生です)
- (8) I think that this book _____ quite interesting. (私はこの本はとてもおもしろいと思います)
- (9) Tom and I _____ good friends. (トムと私は仲のよい友だちです)
- (10) These answers _____ correct. (これらの答えは正しい)
- (11) There _____ some mistakes in your homework.
(あなたの宿題にはいくつか誤りがあります)

- (12) All the children _____ in the garden. (その子どもたちはみんな庭にいます)

▶(11) some mistakes が主語です。

4 主語に合わせて()内の動詞を変化させて、次の英文を完成しなさい。

- (1) He _____ baseball. (like) (彼は野球が好きです)
(2) He _____ tired today. (look) (彼はきょうはつかれて見えます)
(3) She _____ after supper. (read) (彼女は夕食後[本を]読みます)
(4) Mr. Sato _____ us English. (teach) (佐藤先生は私たちに英語を教えてください)
(5) My brother often _____ television till late. (watch)
(私の弟はしばしばおそくまでテレビを見ます)
(6) Mr. Tanaka _____ us history. (teach) (田中先生は私たちに歴史を教えてください)
(7) The concert _____ at 8 o'clock. (finish) (そのコンサートは8時に終わります)
(8) She _____ her blouses by herself every Sunday. (wash)
(彼女は毎週日曜日に自分のブラウスを自分で洗います)
(9) He _____ his teeth three times a day. (brush) (彼は1日に3回歯をみがきます)
(10) Mr. White _____ to his office by car. (go) (ホワイ特氏は車で会社に行きます)
(11) He always _____ his best. (do) (彼はつねに全力をつくします)
(12) She _____ hard every day. (study) (彼女は毎日一生懸命に勉強します)
(13) She always _____ to translate as accurately as possible. (try)
(彼女はいつもできるだけ正確に翻訳しようとします)
(14) Mary _____ the piano every day. (play) (メリーは毎日ピアノをひきます)
(15) John always _____ "Good morning!" to his teacher. (say)
(ジョンはいつも先生に「おはようございます」と言います)
(16) She _____ blue eyes. (have) (彼女は青い眼をしています)
(17) This room _____ two windows. (have) (この部屋には窓が2つあります)
(18) He _____ a TV set in his room. (have) (彼は自分の部屋にテレビをもっています)

▶語尾が(4)~(6)は ch, (7)~(9)は sh, (10)と(11)は o で終わっているのて、es をつけます。(12)と(13)は y を i にかえてから es をつけます。

4. 現在の文の疑問文と否定文

「彼は学生ですか」とたずねる文は、英語では、

Is he a student? と表します。

He is a student. (彼は学生です) という文の、動詞 is と主語 He を入れかえると、「～ですか」とたずねる文(疑問文)になります。答え方は yes や no を使って、

Yes, he is. / No, he isn't (= is not). (はい、そうです / いいえ、ちがいます) とします。isn't は is not を縮めた形です。

「彼は学生ではありません」と打ち消す文(否定文)は、動詞 is の後ろに not を入れて、

He is not (isn't) a student. と作ります。

では、「あなたは英語が好きですか」とか「彼女は英語が好きですか」という文は、英語ではどう言いますか。これらは、

Do you like English? / Does she like English? と表しますね。

You like English. (あなたは英語が好きです) という文の文頭に Do を置くと疑問文になります。Does を使うのは、主語が she のように 3 人称・単数のときです。

Does を使うときには、Does she likes ~? などと s はつきませんよ。Does she like ~? とします。このように語尾に s などのついていない動詞のものの形を原形といいます。答え方は、

Yes, I do. / No, I don't. (はい、好きです / いいえ、好きではありません)

Yes, she does. / No, she doesn't. のようになります。

don't は do not を縮めた形、doesn't は does not を縮めた形です。

「私は英語が好きではありません」、「彼女は英語が好きではありません」と否定するときには、

I don't like English. / She doesn't like English. と don't や doesn't を用いて表します。

トレーニング

5 例にならい、次の英文の疑問文と否定文を書きなさい。

例 He is a student. (彼は学生です)

⇒ Is he a student?

⇒ He isn't (is not) a student.

(1) She is good at tennis. (彼女はテニスが得意です)

⇒

⇒

(2) You like dogs. (あなたは犬が好きです) ⇒

⇒

(3) She takes sugar in her coffee. (彼女は〔自分の〕コーヒーに砂糖を入れます)

⇒

⇒

(4) He listens to the radio a lot. (彼はよくラジオを聞きます)

⇒

⇒

5. 過去時制

「私は去年京都をおとずれました」という文は、英語では、

I visited Kyoto last year.

と表します。「おとずれる」という意味の動詞 visit の語尾に ed をつけて、「おとずれました」と過去のできごとであることを表しています。

では、My father worked in a bank for ten years. という文はどう訳しますか。これは、「父は10年間銀行で働きました」という意味です。

このように過去形の動詞は、過去における動作や、過去においてある期間にわたった動作や状態を表します。

動詞の過去形を作るには、ふつう visited や worked のように語尾に ed をつけます。

look (見る) ⇒ looked / ask (たずねる) ⇒ asked / play (遊ぶ) ⇒ played など
live (住む) のように語尾が発音されない e で終わる動詞には d だけをつけます。

live(住む) ⇒ lived

love (愛する) ⇒ loved / hope (望む) ⇒ hoped など

study (勉強する) のように語尾が<子音字+y>で終わる動詞には、y を i にかえて ed をつけます。

study (勉強する) ⇒ studied / cry (叫ぶ) ⇒ cried

carry (運ぶ) ⇒ carried / try (試みる) ⇒ tried など

stop (止まる) や drop (落ちる) など最後の文字を重ねてから ed をつけます。

stopped / dropped / beg (請う) ⇒ begged など

be 動詞は am, is ⇒ was / are ⇒ were と変化します。

このほか、come(来る) ⇒ came / go(行く) ⇒ went のように不規則に変化する動詞も数多くあります。これらは覚えてしまいましょう。

不規則に変化する動詞をきちんと覚えていきますか。さっそくトレーニングしますよ。

トレーニング

6 例にならい、次の動詞の過去形を書きなさい。

例 write (書く) ⇒ wrote (書いた)

- (1) visit (おとずれる) ⇒ _____ (おとずれた)
- (2) live (住む) ⇒ _____ (住んだ)
- (3) study (勉強する) ⇒ _____ (勉強した)
- (4) stop (止まる) ⇒ _____ (止まった)
- (5) begin (始まる) ⇒ _____ (始まった)
- (6) give (与える) ⇒ _____ (与えた)
- (7) buy (買う) ⇒ _____ (買った)
- (8) make (作る) ⇒ _____ (作った)
- (9) come (来る) ⇒ _____ (来た)
- (10) put (置く) ⇒ _____ (置いた)

▶(1)~(4)は規則的に変化する動詞、(5)~(10)は不規則に変化する動詞です。

7 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) I visited Kyoto last year. _____
(2) I studied English last night. _____
(3) I came home early yesterday. _____
(4) Keiko went to Okinawa last summer. _____

(5) I was very sleepy at school today. _____

▶(3) came は come, (4) went は go の過去形です。

8 ()内の動詞を使い、過去の文を完成しなさい。

- (1) My father _____ in a bank for ten years. (work) (父は銀行で10年間働きました)
(2) I _____ to the station this morning. (walk) (私はけさ駅まで歩いて行きました)
(3) I _____ with her at the party. (dance) (私はパーティーで彼女と踊りました)
(4) The boy _____ for help. (cry) (少年は助けを求めて叫びました)
(5) He _____ to open that window. (try) (彼はその窓を開けようとしていました)
(6) The bus _____ suddenly. (stop) (バスは突然止まりました)
(7) We _____ skiing last winter. (go) (私たちは去年の冬スキーに行きました)
(8) Mr. Allen _____ to Japan three years ago. (come) (アレン氏は3年前に日本へ来ました)
(9) I _____ her at the station this morning. (see) (私はけさ駅で彼女を見かけました)
(10) She _____ a long letter to him last week. (write)
(彼女は先週彼に長い手紙を書きました)
(11) She _____ a cake for the party last Sunday. (make)
(彼女は先週の日にパーティーのためのケーキを作りました)
(12) My uncle _____ me this watch. (give) (私のおじが私にこの腕時計をくれました)
(13) That train _____ five minutes ago. (leave) (その列車は5分前に出ました)
(14) I _____ an old coin in my desk yesterday. (find)
(私はきのう私の机の中に古いコインを見つけました)
(15) I _____ well last night. (sleep) (私は昨夜よくねました)
(16) She _____ quiet during yesterday's meeting. (keep)
(彼女はきのうの会合のあいだ黙っていました[おとなしくしていました])
(17) He _____ his finger on a piece of broken glass yesterday. (cut)
(彼はきのう割れたガラスの破片で指を切りました)
(18) She finally _____ a well-known pianist. (become)
(彼女は最後に[ついに]有名なピアニストになりました)
(19) He _____ sick all through his vacation. (is) (彼は休暇中ずっと病気でした)
(20) They _____ in the library all morning. (are) (彼らは午前中ずっと図書館にいました)

6. 過去の文の疑問文と否定文

He went to Hawaii last summer. (彼は去年の夏ハワイへ行きました) という文を使って、過去の疑問文や否定文を作ってみましょう。疑問文は次のようになりますね。

Did he go to Hawaii last summer? (彼は去年の夏ハワイへ行きましたか)

過去の疑問文には did を使います。動詞は went (行った) と変化する前のもとの形 (= 原形) を使います。went の原形は go (行く) でしたね。答え方は、

Yes, he did. / No, he didn't. (はい、行きました / いいえ、行きませんでした) です。didn't は did not の短縮形です。

否定文を作るには、didn't (= did not) を go の前におきます。

He didn't [did not] go to Hawaii last summer.

(彼は去年の夏ハワイへ行きませんでした)

では、She was in France last year. (彼女は去年フランスにいました) という文の疑問文や否定文はどうやって作りますか。疑問文は She と was を入れかえて、

Was she in France last year? (彼女は去年フランスにいましたか) と表します。答え方は、

Yes, she was. / No, she wasn't. (はい、いました / いいえ、いませんでした) となります。wasn't は was not を縮めた形です。

「彼女は去年フランスにいませんでした」という否定の文は、

She wasn't [was not] in France last year. と表します。

トレーニング

9 例にならい、次の英文の疑問文と否定文を書きなさい。

例 **He played tennis yesterday.** (彼はきのうテニスをしました)

⇒ Did he play tennis yesterday?

⇒ He didn't [did not] play tennis yesterday.

(1) **She practiced the guitar yesterday.** (彼女はきのうギターの練習をしました)

⇒

⇒

(2) **They went to the zoo last Sunday.** (彼らはこの前の日曜日に動物園へ行きました)

⇒

⇒

(3) **She was at home all day today.** (彼女はきょう一日中家にいました)

⇒

⇒

■ 発展トレーニング ■ 発展的な問題を扱っています。落ち着いてやりましょう。

① ()内の動詞を用いて、日本語に合う英文を完成しなさい。

- (1) I will ask Mary her address when she _____ tomorrow. (come)
(メリーがあした来るときに、私は彼女に彼女の住所をたずねましょう)
- (2) What shall we do if he _____ our offer? (refuse)
(彼が私たちの申し出を断わるとしたら、私たちはどうしましょう)
- (3) When I _____ in trouble, he always helps me. (am)
(困ったことがあると、彼はいつも私を助けてくれます)
- (4) If he _____ busy today, I will help him. (is)
(もし彼がきょういそがしいなら、私は彼を助けてあげましょう)
- (5) If it _____ fine tomorrow, I will go hiking. (is)
(もしあした晴れなら、私はハイキングに行きます)
- (6) If you _____ now, you will be able to catch the last train. (leave)
(もし今出発するなら、あなたは最終列車に間に合うでしょう)
- (7) You will get well soon if you _____ in bed all day today. (stay)
(もしきょう1日ずっとベッドにねていれば、あなたはすぐによくなるでしょう)
- (8) They will not be able to stay until Jim _____. (arrive)
(彼らはジムが着くまでとどまることはできないでしょう) [鶴見大改題]

▶ 時や条件を表す副詞節のなかでは、現在形で未来の意味を表します。

② 主語に合わせて()内の動詞を変化させて、次の英文を完成しなさい。

- (1) The sun _____ in the east. (rise) (太陽は東からのぼります) [昭和女子大改題]
- (2) My father often _____ as he _____ a bath. (sing, take)
(父はお風呂にはいりながら、よく歌をうたいます)
- (3) He sometimes _____ to the radio as he _____. (listen, study)
(彼は勉強しながらときどきラジオを聞きます)
- (4) Mr. Wilson _____ up at six every day and _____ for his office at eight. (get, leave)
(ウィルソン氏は毎日6時に起きて、8時に会社へ出かけます)
- (5) I _____ this picture but I _____ that one. (like)
(私はこの絵は好きですが、あの絵は好きではありません)
- (6) Bill _____ Mary but she _____ him. (know)
(ビルはメリーを知っていますが、彼女は彼を知りません)
- (7) He _____ to play baseball but doesn't _____ well. (like, play)
(彼は野球をするのが好きですが、じょうずではありません)
- (8) _____ she _____ to school by bus? (go) (彼女はバスで学校へ行きますか)

▶ (3) study は y を i にかえて es をつけます。

③ ()内の動詞を過去形にして、日本語に合うように英文を完成しなさい。

- (1) He _____ home just a few minutes ago. (come) (彼はほんの少し前に家に帰りました)
- (2) Susan _____ home today and _____ her mother. (stay, help)
(スーザンはきょう家にいて、お母さんを手伝いました)

- (3) He _____ busy when I _____ him yesterday. (look, see)
(私がきのう彼に会ったとき、彼はいそがしそうに見えました)
- (4) He _____ studying when the phone _____. (stop, ring)
(電話が鳴ったとき、彼は勉強するのをやめました)
- (5) I _____ up early today and _____ my homework. (get, finish)
(私はきょう早く起きて、宿題を終わらせました)
- (6) We _____ to her party last night and _____ a wonderful time. (go, have)
(私たちはゆうべ彼女のパーティーに行き、すばらしい時間を過ごしました)
- (7) He _____ into his car and _____ off. (get, drive)
(彼は車に乗り込むと、走り去りました)
- (8) It _____ colder as it _____ dark. (get, grow) (暗くなるにつれて、寒くなりました)
- (9) Her canary suddenly _____ out of the open door of its cage. (fly)
(彼女のカナリアは突然鳥かごの開いた戸口から飛び出しました)
- (10) I _____ lunch and then afterwards took a nap in my room. (have)
(私は昼食をとり、そしてそのあと自分の部屋で昼寝をしました)
- (11) Suddenly she _____ crying when she _____ the news. (start, hear)
(彼女はその知らせを聞くと、突然泣き出しました)
- (12) Jim's family was poor when he _____ a child. (is)
(ジムが子どものとき、ジムの家族は貧乏でした)
- (13) I _____ absent from school yesterday because I _____ a cold. (am, have)
(私はきのう学校を休みました。なぜなら、かぜをひいていたからです)
- (14) That old lady _____ out today because it _____ extremely cold. (go, is)
(あの年をとった婦人はきょう外出しませんでした。なぜなら、ひじょうに寒かったからです)
- (15) She _____ that dress but _____ enough money. (want, have)
(彼女はそのドレスがほしかったのですが、お金を十分もっていませんでした)
- ▶(4) ring ⇒ rang (7) drive ⇒ drove (8) grow ⇒ grew (9) fly ⇒ flew (10) have ⇒ had (11) hear ⇒ heard と変化します。

④ 次の英文を日本語に訳しなさい。

(1) My father goes to Hokkaido tomorrow.

.....

(2) My uncle comes to Japan next Sunday.

.....

(3) Bob's sister leaves for Rome next Monday.

.....

▶往来や発着を表す動詞は現在形で確定した未来を表します。

ごくろうさまでした。次のページで単語やイディオムをチェックしたら、きょうはゆっくり休んでください。

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。 (答えはこのページの下)

- | | |
|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 experience (名) | <input type="checkbox"/> 2 provide (動) |
| <input type="checkbox"/> 3 individual (名) | <input type="checkbox"/> 4 involve (動) |
| <input type="checkbox"/> 5 material (名) | <input type="checkbox"/> 6 increase (動) |
| <input type="checkbox"/> 7 influence (名) | <input type="checkbox"/> 8 particular (形) |
| <input type="checkbox"/> 9 purpose (名) | <input type="checkbox"/> 10 develop (動) |
| <input type="checkbox"/> 11 share (動) | <input type="checkbox"/> 12 behavio(u)r (名) |
| <input type="checkbox"/> 13 describe (動) | <input type="checkbox"/> 14 exist (動) |
| <input type="checkbox"/> 15 human (形) | <input type="checkbox"/> 16 object (名) |
| <input type="checkbox"/> 17 require (動) | <input type="checkbox"/> 18 suppose (動) |
| <input type="checkbox"/> 19 activity (名) | <input type="checkbox"/> 20 development (名) |
| <input type="checkbox"/> 21 effect (名) | <input type="checkbox"/> 22 include (動) |
| <input type="checkbox"/> 23 information (名) | <input type="checkbox"/> 24 serious (形) |
| <input type="checkbox"/> 25 avoid (動) | <input type="checkbox"/> 26 community (名) |
| <input type="checkbox"/> 27 remain (動) | <input type="checkbox"/> 28 value (名) |
| <input type="checkbox"/> 29 attention (名) | <input type="checkbox"/> 30 consider (動) |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。 (答えはこのページの下)

- ☐ 1 _____ two hundred people were killed in the accident.
(少なくとも 200 人がその事故で殺されました〔死にました〕)
- ☐ 2 She is, _____, a liar.
(彼女は、実際には、うそつきです)
- ☐ 3 _____ the weather forecast, it will be fine tomorrow.
(天気予報によれば、あしたは晴れるでしょう)
- ☐ 4 Japanese children _____ their parents for everything until they are twenty.
(日本の子どもたちは 20 歳になるまで何事も親に頼っています)
- ☐ 5 She is beautiful but, _____, not very smart.
(彼女は美しいが、他方ではそれほど利口ではありません)
- ☐ 6 It is _____ John _____ Ted who broke that window.
(あの窓をこわしたのはジョンではなくてテッドです)

◇ 答え ◇

- I. 1 経験 2 供給する 3 個人 4 含む 5 材料, 原料 6 増加する 7 影響〔力〕 8 ある特定の
9 目的 10 発展させる 11 共有する 12 態度, 品行 13 記述〔描写〕する 14 存在する
15 人の, 人間の 16 物体, 目的 17 (人に)要求する 18 仮定する, 考える 19 活動, 活躍 20 発達, 発展
21 効果, 影響 22 含む 23 情報 24 真剣な 25 避ける 26 地域共同体 27 ~のままである 28 価値
29 注意 30 熟考する
- II. 1 At, least 2 in, fact 3 According, to 4 depend, on 5 on, the, other, hand 6 not, but

第2日	文法事項のまとめ	学習日 月 日
	時制(2)	

きょうは、進行形の文と未来を表す文について学習します。未来の表し方にはさまざまな方法があります。ひとつひとついねいに取り上げていきますから、途中でやめてしまわないで、最後までがんばりましょう。

1. 現在進行形の文

「彼は今英語を勉強しています」という文は、英語では

He is studying English now. と表します。日本語の「勉強しています」が、英語では is studying と表されています。

「彼は英語を勉強します」という文は、英語では He studies English. と言いましたね。この文の動詞 study (勉強する) を is studying にかえると、「(今)勉強しています」という進行中の動作を表す文になります。

studying は「勉強する」という意味の動詞 study に ing のついた形です。

study (勉強する) ⇒ studying

このように、be 動詞と動詞の ing 形を使って、「(今)～しています」という現在の進行中の動作を表す文を、現在進行形の文といいます。例をあげてみましょう。

「私は今ケーキを作っています」 ⇒ **I am making a cake now.**

「彼らは今プールで泳いでいます」 ⇒ **They are swimming in the pool now.**

make (作る) が making と変化しています。make のように語尾が発音されない e で終わる動詞は、e をとって ing をつけます。

make ⇒ making / take (取る) ⇒ taking / write (書く) ⇒ writing など

swim (泳ぐ) は swimming と変化しています。このように、最後の文字を重ねてから ing をつける動詞もあります。

swim ⇒ swimming / run (走る) ⇒ running / sit (すわる) ⇒ sitting など

また、主語に合わせて am, are, is を使い分けていますよ。

ここで、現在進行形の文 He is studying English now. の疑問文と否定文を作ってみましょう。疑問文は、主語 He と be 動詞 is を入れかえて、

Is he studying English now? (彼は今英語を勉強していますか)

となります。否定文は、is のうしろに not を入れて、

He is not (isn't) studying English now. (彼は今英語を勉強していません)

となります。be 動詞を用いたふつうの文と作り方は同じです。

では、さっそくトレーニングです。

トレーニング

1 例にならい、次の動詞の ing 形を作りなさい。

例 study (勉強する) ⇒ studying

- (1) eat (食べる) ⇒ _____
- (2) play (演奏する) ⇒ _____
- (3) read (読む) ⇒ _____
- (4) cry (叫ぶ) ⇒ _____
- (5) make (作る) ⇒ _____
- (6) take (取る) ⇒ _____
- (7) swim (泳ぐ) ⇒ _____
- (8) run (走る) ⇒ _____
- (9) sit (すわる) ⇒ _____
- (10) lie (横たわる) ⇒ _____

▶(2)(4) play, cry のように語尾が y で終わる動詞には、そのまま ing をつけます。この点、s や es をつけるときとは異なります。(10) lie は lying とかわります。

2 下線部に注意して、次の英語を訳しなさい。

- (1) She is studying French now. _____
- (2) I am watching television now. _____
- (3) My brother is reading a book in his room now.

- (4) My mother is making breakfast in the kitchen now.

- (5) The students are cleaning the windows in the classroom now.

- (6) What are you doing? _____
- (7) Are you looking forward to the summer vacation?

▶(7) look forward to ~ 「～を楽しみにして待つ[いる]」

3 ()内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように英文を完成しなさい。

- (1) Ken _____ with his teacher now. (talk) (健は今先生と話をしています)
- (2) He _____ a letter in English now. (write) (彼は今英語で手紙を書いています)
- (3) The population of Africa _____ rapidly _____. (increase)
(アフリカの人口は急速に増加しています)
- (4) They _____ at the table now. (sit) (彼らは今テーブルについています)
- (5) She _____ her dog now. (walk)
(彼女は今自分の犬を歩かせているところです[犬と散歩をしているところです])
- (6) _____ you _____ your school life? (enjoy) (あなたは学校生活を楽しんでいますか)

2. 予定・計画や反復を表す現在進行形の文

We are leaving Tokyo tonight. という文はどう訳しますか。「私たちは今夜東京を出発しています」と訳すと変ですね。この文は「私たちは今夜東京を出発します」という意味です。

このように、現在進行形の文は予定や計画を表すことがあります。

We are going to a concert tonight. (私たちは今夜コンサートに行きます)

I am taking my children to the park tomorrow.

(私はあした私の子どもたちを公園に連れて行きます)

では、次の文はどう訳しますか。

That dog is always barking.

always は「いつも」という意味です。この文は「あの犬はいつも吠えてばかりいます」と訳します。このように、現在進行形の文は always, constantly(絶え間なく), all the time(始終)などの語句を伴って、「(いつも)～してばかりいます」というよく繰り返される動作を表します。

He is always complaining. (彼はいつも不平を言ってばかりいます)

トレーニング

4 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) We are leaving for Europe tonight.

(2) Tom's sister is leaving for Norway tomorrow morning.

(3) I am going home soon.

(4) My father is going to Osaka this afternoon.

(5) He is returning home tomorrow.

(6) She is staying at that hotel till next week.

(7) She is always reading.

(8) She is always making mistakes.

(9) She is constantly eating.

(10) That baby is constantly crying.

(11) She is constantly thinking of the past.

(12) He is thinking about his job all the time.

▶(7)～(12)のように進行形によってよく繰り返される動作を表すときには、その動作に対する話し手の非難・困惑・いらだたしい気持ちなどを表すことが多いようです。

3. 過去進行形の文

「電話が鳴ったとき、私はねむっていました」 この文を英語で表せますか。

「ねむる」は動詞 sleep で表せますから、

I () **sleeping when the phone rang.** です。さあ、() の中の be 動詞は am でいいですか。この文は「電話が鳴ったとき」とあるように過去の文ですね。ですから、be 動詞は過去形になります。am の過去形は was ですから was が正解です。

I was sleeping when the phone rang.

トレーニング

5 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) I was sleeping when he called yesterday.

(2) We were eating lunch when the doorbell rang.

(3) We were playing baseball when the rain started.

(4) He broke his leg while he was skiing.

(5) Were you practicing the piano all day yesterday?

(6) She told me last night that she was going to the theater tonight.

▶(6)の that 以下は過去における予定・計画を表しています。

6 ()内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

(1) My mother _____ dinner when I came home. (make)

(私が家に帰ったとき、母は夕食を作っていました)

(2) She told us to be quiet because she _____. (read)

(彼女は読書をしているので静かにするようにと私たちに言いました)

(3) At this time yesterday, I _____ an examination. (write)

(きのうの今ごろ、私は試験の答案を書いていました)

(4) He caused the car accident because he _____ too fast. (drive)

(彼はスピードを出しすぎて運転していたので自動車事故を起こしました)

(5) My sister _____ on her bed when I came into her room. (sit)

(私が姉の部屋に入ったとき、彼女はベッドにすわっていました)

(6) What _____ they _____ when the lights went out? (do)

(あかりが消えたとき、彼らは何をしていましたか)

4. 未来の文

「彼女はピアノがじょうずになるでしょう」という文は、英語では、

She will be a good pianist.

と表します。日本語の「なるでしょう」が、英語では will be と表されています。

「彼女はピアノがじょうずです」という文は、英語では She is a good pianist. と表しますね。この文の is を will be にかえると、「～になるでしょう」という未来の文になります。

「彼はあしたテニスをするでしょう」 ⇒ **He will play tennis tomorrow.**

「彼女はあした泳ぎに行くでしょう」 ⇒ **She will go swimming tomorrow.**

「～でしょう」という未来の意味を will が表しています。will のあとには be, play, go と動詞の原形がきます。is, plays, goes などと変化したものは原形ではありませんよ。

では、**I will help you.** という文はどう訳しますか。「私はあなたを助けるでしょう」と訳すとひとごとのように変ですね。これは、「私はあなたを助けるつもりです[助けましょう]」と訳します。will は「～するつもりです」「～しましょう」というように意志を表すときにも使われます。

「私はあしたおばをたずねるつもりです」 ⇒ **I will visit my aunt tomorrow.**

He will play tennis tomorrow. という文を用いて、疑問文や否定文を作ってみましょう。主語の He と will を入れかえると、疑問文になります。

Will he play tennis tomorrow? (彼はあしたテニスをするでしょうか)

Yes, he will. / No, he won't. (はい、するでしょう / いいえ、しないでしょう)

「彼はあしたテニスをしないでしょう」という否定の文は、will のあとに not をおいて、

He will not(won't) play tennis tomorrow. と表します。

won't は will not を縮めた形です。

will の文を「～するでしょう」と訳すか「～するつもりです」と訳するのがよいのか、とまどうかもしれません。文の前後関係を見て、いちばんふさわしい訳をつければよいのです。

トレーニング

7 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) I will be busy tomorrow.

(2) Dinner will be ready in an hour.
.....

(3) That white hat won't suit her.
.....

(4) You will soon feel better after you take this medicine.
.....

(5) You will soon be able to speak English if you practice hard.
.....

(6) I will help you with your work.
.....

(7) I will phone you by tomorrow for sure.
.....

(8) How will you spend next weekend, Jill?

(9) I will try never to make such a mistake again.

(10) We will finish this work by the end of the month.

▶ (2) in an hour 「1時間すれば」 (3) suit 「似合う」 (7) for sure 「きっと」 (1)～(5)は「するでしょう」、(6)～(9)は「～するつもりです」と訳すときれいに訳せます。(10)はどちらにも訳せる文です。

5. be going to を用いた文

「彼はあしたおばさんをたずねるつもりです」という文は、

He will visit his aunt tomorrow. と表しましたね。この文は、will を用いないで次のように表すこともできます。

He is going to visit his aunt tomorrow.

be going to で未来の意味を表しています。be going to は、すでにもっている意図や計画・決心などを表すときに用いられます。

「私はあした彼に手紙を書くつもりです」

⇒ **I am going to write him a letter tomorrow.**

また、be going to は次のように何かが起こりそうなときにも用いられます。

「今夜は寒くなりそうです」 ⇒ **It is going to be cold tonight.**

では、be going to を用いた文 He is going to visit his aunt tomorrow. の疑問文や否定文を作ってみましょう。疑問文は主語 He と be 動詞 is を入れかえて、

Is he going to visit his aunt tomorrow? (彼はあしたおばさんをたずねるつもりですか) となります。否定文は is のうしろに not を入れて、

He is not (isn't) going to visit his aunt tomorrow.

(彼はあしたおばさんをたずねるつもりはありません) となります。

トレーニング

8 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) I am going to see her tonight. _____

(2) He is going to finish that work by Friday. _____

(3) I am going to play soccer with them next Sunday. _____

(4) Is Mr. Johnson going to leave Tokyo this afternoon? _____

(5) That old bridge is going to fall down soon. _____

(6) I feel something terrible is going to happen. _____

(7) War is going to break out between those countries.

(8) They are going to come to our house in an hour.

▶(5) fall down 「崩れ落ちる」 (6) something terrible 「何か恐ろしいこと」 (7) break out 「(戦争が)起こる」

未来の文についてさらにくわしく学習しましょう。

6. be about to, be to を用いた文

The train is about to leave. という文は、どう訳したらいいでしょう。これは、「列車はまさに出発しようとしています」と訳します。be about to ～は「今にも～するところです」のようなごく近い未来を表します。

それでは、次の文はどう訳しますか。

They are to be married next month.

これは、「彼らは来月結婚することになっています」という意味です。be to ～は予定や計画を表します。

トレーニング

9 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) The sun is about to set.

(2) The ship was about to leave for America.

(3) He was about to go out when she telephoned.

(4) Mrs. Brown was about to have tea when I dropped in.

(5) The concert was about to start when we got to the theater.

(6) The next meeting is to be held in July.

(7) The final game is to take place next week.

(8) Tom and Anne are to be married next spring.

(9) I was to meet Mary at that restaurant at five o'clock.

(10) The president is to make a statement on TV at six o'clock.

▶(4) drop in 「立ち寄る」 (6) be held, (7) take place 「開かれる〔開催される〕」 (10) president 「大統領」 make a statement 「声明を発表する」

7. 未来進行形の文

「私はあしたの今ごろテストを受けているでしょう」 この文を英語で表してみましょう。
「(テストを)受けている」は be taking で表せますから、

I () () taking the test about this time tomorrow. です。

さて、()の中には be 動詞をどのような形にして入れたらいいですか。この文は「あしたの今ごろ」とあるように未来の文です。ですから、be 動詞を未来の形にして入れますね。つまり、will be です。正解は

I will be taking the test about this time tomorrow. となります。

be 動詞が am でなく be となるのは、will のあとの動詞は原形になるからです。

このように未来における進行中の動作を表す文を、未来進行形の文と言います。

トレーニング

10 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) I will be flying to Hawaii about this time tomorrow.

(2) I will be studying at that college next year.

(3) Will you be skiing tomorrow?

(4) She won't be teaching at this school next year.

(5) I will be working next Sunday as usual.

(6) That parade will be passing our school in about ten minutes.

(7) We will be thinking of you when you take your examination tomorrow.

▶(5) as usual 「いつものように」

きょうの学習もあと少しです。

発展トレーニング

発展的な問題を扱っています。落ち着いてやりましょう。

1 次の英文を日本語に訳しなさい。

- (1) The population of Japan is increasing.

〔関西大改題〕

- (2) The rain is getting heavier and the fog is getting thicker.

〔学習院大改題〕

- (3) Jack came late because it was raining.

〔京都外国語大改題〕

- (4) He is coming home in a week. 〔上智大改題〕

- (5) He's getting married in June and I'm going to attend his wedding.

〔共通一次改題〕

- (6) Don't phone me before nine o'clock because I still will be sleeping.

- (7) He will be here in about ten minutes.

〔上智大改題〕

- (8) It is going to clear up soon.

- (9) The movie was about to start when I got to the theater.

- (10) They are to rebuild the school gymnasium next year.

- ▶ (1) population 「人口」 increase 「増加する」 (2) get 「～になる」 heavy はこの場合は「激しく」という意味です。 fog 「霧」 (3) come late 「おくれて来る」 (4) in a week 「1週間後に」 (5) attend 「出席する」
(8) clear up 「晴れる」 (10) school gymnasium 「学校の体育館」

2 下線部を()内の語におきかえて、進行形を用いた文を作りなさい。

例 He studies English every day. (now)

⇒ He is studying English now.

(彼は今英語を勉強しています)

- (1) She reads every night. (now)

〔彼女は今読書をしています〕

- (2) She sometimes cooks Chinese food. (now)

〔彼女は今中華料理を作っています〕

- (3) I always keep a diary. (now)

〔私は今日記をつけています〕

③ 下線部を()内の語句におきかえたときの正しい文を書きなさい。

例 He is studying German now. (when I visited him)

⇒ He was studying German when I visited him.

(私が彼をたずねたとき、彼はドイツ語を勉強していました)

(1) It is raining now. (when I got up this morning)

(私がけさ起きたとき、雨が降っていました)

(2) Is he practicing the guitar now? (all day last Sunday)

(彼はこの前の日曜日1日中ギターを練習していたのですか)

(3) They are going to the zoo tomorrow. (when I met them yesterday)

(私がきのう彼らに会ったとき、彼らは動物園へ行くところでした)

例 He is studying German now. (about this time tomorrow)

⇒ He will be studying German about this time tomorrow.

(彼はあしたの今ごろドイツ語を勉強しているでしょう)

(4) She is flying to Paris now. (about this time tomorrow)

(彼女はあしたの今ごろパリに向かって飛んでいるでしょう)

(5) He is working now. (next Sunday as usual)

(彼は今度の日曜日いつものように働いているでしょう)

(6) Are you taking an examination now? (about this time tomorrow)

(あなたはあしたの今ごろ試験を受けていますか)

④ ()内の指示に従い、次の文を英語にしなさい。

(1) 私は今英語を勉強しています。(現在進行形を用いて)

(2) 電話が鳴ったとき、私はねむっていました。(過去進行形を用いて)

(3) 彼はあしたテニスをするでしょう。(willを用いて)

(4) 彼はあしたおばさんをたずねるつもりです。(be going toを用いて)

▶(2)「電話が鳴ったとき」when the phone rang (4)「おばさん」his aunt

よくがんばりましたね。少し休んだら次のページに進みなさい。

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。 (答えはこのページの下)

- | | |
|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 economic (形) _____ | <input type="checkbox"/> 2 express (動) _____ |
| <input type="checkbox"/> 3 reveal (動) _____ | <input type="checkbox"/> 4 sense (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 5 approach (動) _____ | <input type="checkbox"/> 6 aspect (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 7 create (動) _____ | <input type="checkbox"/> 8 encourage (動) _____ |
| <input type="checkbox"/> 9 experiment (名) _____ | <input type="checkbox"/> 10 lack (動) _____ |
| <input type="checkbox"/> 11 present (形) _____ | <input type="checkbox"/> 12 process (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 13 produce (動) _____ | <input type="checkbox"/> 14 quality (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 15 species (名) _____ | <input type="checkbox"/> 16 supply (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 17 accept (動) _____ | <input type="checkbox"/> 18 adult (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 19 apparently (副) _____ | <input type="checkbox"/> 20 attitude (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 21 cause (動) _____ | <input type="checkbox"/> 22 characteristic (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 23 concern (動) _____ | <input type="checkbox"/> 24 demand (動) _____ |
| <input type="checkbox"/> 25 existence (名) _____ | <input type="checkbox"/> 26 form (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 27 obvious (形) _____ | <input type="checkbox"/> 28 opportunity (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 29 physical (形) _____ | <input type="checkbox"/> 30 prevent (動) _____ |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。 (答えはこのページの下)

- ☐ 1 She saved her money in _____ buy her mother a birthday gift.
(彼女は母親に誕生日の贈り物を買ってあげるためにお金を節約しました)
- ☐ 2 She was _____ upset _____ she could not say anything.
(彼女はひじょうにろうばいしたので何も話すことができませんでした)
- ☐ 3 Some people _____ believe superstitions.
(迷信を信じがちな人々もいます)
- ☐ 4 He is _____ a student at that school.
(彼はもはやその学校の学生ではありません)
- ☐ 5 He is _____ a scientist _____ an author.
(彼は科学者であるばかりではなく作家でもあります)
- ☐ 6 Water _____ hydrogen and oxygen.
(水は水素と酸素から成ります)

◇ 答え ◇

- I. 1 経済の 2 表現する, 言い表す 3 (隠れたもの)を現す, 示す 4 感覚, 意味 5 接近する
 6 様相, 局面 7 創造する 8 勇気づける, 励ます 9 実験 10 欠く 11 現在の, 出席している
 12 過程 13 ~を産出する 14 品質, 質 15 種 16 供給, 供給物 17 ~を受ける, ~を容認する 18 大人
 19 明らかに, 外見上は 20 姿勢, 態度 21 引き起こす 22 特性, 特色 23 ~に関係する, かかわる
 24 ~を要求する 25 存在 26 形, 形態 27 明白な 28 機会, 好機 29 物質(的)の, 肉体の
 30 妨げる, じゃまをする
- II. 1 order, to 2 so, that 3 tend, to 4 no, longer 5 not, only, but, also 6 consists, of

第3日	文法事項のまとめ	学習日 月 日
	時制(3)	

こんにちは。きょうは、現在完了を中心にして、現在完了進行形・未来完了などを学習します。現在完了には、継続・完了・経験などを表す用法があります。まず、それらをきちんと覚えてしまうことから始めましょう。

1. 継続を表す現在完了

「私は10年間メリーを知っています」という文は、英語では、

I have known Mary for ten years.

と表します。日本語の「知っています」が英語では have known と表されています。

「私はメリーを知っています」という文は、英語では I know Mary. と表しますね。また、「私はメリーを知っていました」という文なら、I knew Mary. と表しますね。これらの文は、「知っています」「知っていました」という現在や過去の事実を述べている文です。

これに対し、I have known Mary for ten years. という文は、「10年間ずっと知っています。そして、今も知っています」という過去から現在にわたる継続の意味を表しています。

このように、過去から現在にいたる動作・状態を表すのが現在完了の一つの役割です。もういくつか例をあげてみましょう。

「彼は6年間東京に住んでいます」 ⇒ **He has lived in Tokyo for six years.**

「弟は1週間病気です」 ⇒ **My brother has been sick for a week.**

known は動詞 know(知っている)の変化した形で、過去分詞と言います。lived は live(住む)、been は be 動詞の過去分詞です。have は主語に合わせて have / has と使い分けています。

過去分詞 lived は live の過去形と同じ形ですね。しかし、know — knew — known や am, are, is — was, were — been などは過去形と過去分詞が違う形です。このように不規則に変化するものは、早く覚えてしまいましょう。

「ずっと～しています」と継続を表す現在完了の文には、for ten years(10年間)など、継続の期間を表す語句がよく用いられます。次のように since ～(～以来)が用いられることもあります。

Mr. Smith has been in Japan since 1970.

(スミス氏は1970年以来日本にいます)

ただし、yesterday(きのう)、three days ago(3日前)、last Sunday(この前の日曜日)など、はっきりとした過去を表す語句をいっしょに用いることはできません。

過去分詞の作り方はきちんと覚えていますか。さっそくトレーニングしますよ。

トレーニング

1 例にならい、次の動詞の過去分詞を書きなさい。

例 know(知っている) ⇒ known

- (1) work(働く) ⇒
- (2) live(住む) ⇒
- (3) be(～である) ⇒
- (4) give(与える) ⇒
- (5) speak(話す) ⇒
- (6) write(書く) ⇒
- (7) get(手に入れる) ⇒
- (8) make(作る) ⇒
- (9) come(来る) ⇒
- (10) read(読む) ⇒

2 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) I have lived in Tokyo for ten years.
.....
- (2) They have stayed in London for two months.
.....
- (3) I have wanted to go abroad for a long time.
.....
- (4) He has been sick since last Friday.
.....
- (5) She has been absent since last Monday.
.....
- (6) My grandfather has been dead for five years.
.....

3 ()内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

- (1) I _____ him for three years. (know)
(私は3年間彼を知っています〔彼を知って3年になります〕)
- (2) He _____ in America for two years. (be) (彼は2年間アメリカにいます)
- (3) My father _____ very busy lately. (be) (父は最近とてもいそがしい)
- (4) They _____ good friends since their childhood. (be)
(彼らは子どものときから仲のよい友だちです)
- (5) They _____ in this town since 1950. (live)
(彼らは1950年以来この町に住んでいます)
- (6) I _____ that story to be true for a long time. (believe)
(私は長い間その話を本当だと信じてきました)

2. 疑問文・否定文の作り方

He has been in London for ten years. (彼は10年間ロンドンにいます) という文を用いて、現在完了の文の疑問文を作ってみましょう。疑問文は主語 He と has を入れかえて、

Has he been in London for ten years? — Yes, he has. / No, he hasn't.

(彼は10年間ロンドンにいますか — はい、そうです / いいえ、ちがいます)

と作ります。hasn't は has not を縮めた形です。

「どのくらいの期間〜?」とたずねるときには How long を用います。

How long has he been in London? (彼はロンドンにどのくらいいますか)

では、次の文はどう訳しますか。

I have not(haven't) seen her for a week. これは、「私は彼女に1週間会っていません」と訳します。have のうしろに not を置くと否定文になります。

トレーニング

4 例にならい、次の文の疑問文を2通りずつ作りなさい。

例 She has lived in Osaka for two years. (彼女は大阪に2年間住んでいます)

⇒ Has she lived in Osaka for two years?

⇒ How long has she lived in Osaka?

(1) She has been in Paris for five years. (彼女はパリに5年間います)

⇒

⇒

(2) He has stayed at that hotel for a week. (彼は1週間あのホテルに滞在しています)

⇒

⇒

(3) He has been sick since last Sunday. (彼はこの前の日曜日から病気です)

⇒

⇒

(4) She has been in hospital since last month. (彼女は先月から病院に入院しています)

⇒

⇒

5 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) I have not seen her since last week.

(2) I have not written in my diary for three days.

(3) He has not used his car for a long time.

3. 完了を表す現在完了

I have already finished my homework. という文はどう訳しますか。already は「もうすでに」という意味ですね。この文は、「私はもう宿題を終えてしまいました」と訳します。では、次の文はどう訳しますか。

He has just eaten dinner.

just は「たった今」という意味ですから、「彼はたった今夕食をたべたところです」と訳します。

このように、現在完了の文は already (もうすでに) や just (たった今, ちょうど) などとともに「～してしまいました」という完了を表す文を作ります。

それでは、次の2つの文はどう訳しますか。

Have you read that book yet? / No. I haven't read it yet.

それぞれ、「あなたはもうその本を読んでしまいましたか」「いいえ。私はまだそれを読んでいません」と訳します。yet は疑問文では「もう (～してしまいましたか)」という意味で使われます。否定文では「まだ (～していません)」という意味で使われます。

トレーニング

6 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) She has already finished her homework.

(2) I have already read that book.

(3) He has already left for Osaka.

(4) Mr. Kimura has gone to New York on business.

(5) We have just cleaned the classroom.

(6) She has just recovered from her illness.

(7) My father has just come back from his trip.

(8) They have just arrived at Narita Airport.

(9) Have you written your letter yet?

(10) I haven't read today's newspaper yet.

▶ (3) left は leave(出発する)の過去分詞です。 (4) has gone to ～ は「～へ行ってしまいました」という意味です。
on business 「仕事で」

4. 経験を表す現在完了

I have visited Kyoto twice. という文はどう訳しますか。twice は「2 度」という意味です。この文全体の訳は「私は 2 度京都をおとずれたことがあります」となります。

このように、現在完了の文は「～したことがあります」と経験を表す文も作ります。

それでは次の 2 つの文はどう訳しますか。

Have you ever seen that movie? / No. I have never seen it.

ever は「かつて」、never は「1 度も～したことがない」という意味ですから、それぞれ「あなたはかつてその映画を見たことがありますか」「いいえ。私は 1 度もそれを見たことはありません」と訳します。

経験を表す現在完了の文では、次のような語句がよく用いられます。

once (1 度, かつて) / **twice** (2 度) / **three times** (3 度)

before (以前に) / **often** (しばしば) / **sometimes** (ときどき)

ever (かつて) / **never** (1 度も～したことがない) / **How often** (何回) など

トレーニング

7 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) I have visited London twice.

(2) I have read that book before.

(3) I have heard this music before on the radio.

(4) I have seen that famous musician once at a concert.

(5) Our teacher has been to Europe several times.

(6) Mrs. Brown has been to China three times.

(7) Have you ever met Tom?

(8) Have you ever climbed Mt. Fuji?

(9) How often have you seen that movie?

(10) I have never been abroad.

▶(3) heard は hear (きく) の過去分詞です。 on the radio 「ラジオで」 (4) seen は see (見る) の過去分詞です。

(5)と(6)の has been to ～は「～へ行ったことがあります」と訳します。 several times 「何度か」 (7) met は meet (会う) の過去分詞です。

5. 現在完了進行形の文

「彼は2時間泳ぎ続けています」という文を英語で表してみましょう。()の中にはどんなことばがはいりますか。

He () () **swimming for two hours.**

「彼は今泳いでいます」という文なら、現在進行形を用いて **He is swimming now.** と表しますね。しかし、今度は「(2時間)泳ぎ続けています」という文ですから、現在完了の文です。be 動詞を現在完了の形にしなければいけません。is の過去分詞は **been** ですから **has been** が正解です。

He has been swimming for two hours.

このような現在完了と進行形の結びついた形を、現在完了進行形といいます。

トレーニング

8 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) He has been running for an hour.
- (2) She has been practicing the piano for an hour.
.....
- (3) I have been waiting for him for two hours.
.....
- (4) He has been making a speech since two o'clock.
.....
- (5) It has been raining hard since last night.
.....
- (6) My mother has been reading that book since this morning.
.....

▶(4) make a speech 「演説をする」

9 () 内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

- (1) She _____ English for an hour. (study)
(彼女は1時間英語を勉強しています)
- (2) That baby _____ since this morning. (sleep)
(その赤ん坊はけさからずっとねむっています)
- (3) The dog _____ furiously for an hour. (bark)
(その犬は1時間激しくほえ続けています)
- (4) It _____ every day for a week. (snow)
(1週間毎日雪が降り続けています)
- (5) She _____ how to drive a car for two months. (learn)
(彼女は2か月間自動車の運転を習っています)
- (6) I am tired because I _____ all day. (work)
(私は1日中働いているのでつかれています)

6. 未来完了の文

「来月で、私は東京に2年間住んだことになります」という文を英語で表してみましょう。()の中にはどんなことばがはいりますか。

By next month, I () () lived in Tokyo for two years.

「私は東京に2年間住んでいます」という文なら、I have lived in Tokyo for two years. と現在完了を用いて表しますね。しかし、今度は「来月で」とありますから、未来における現在完了の文にしなければなりません。未来は will で表せますから、正解は will have です。

By next month, I will have lived in Tokyo for two years.

このように、未来のある時までの継続や完了・経験を表す文を未来完了の文といいます。

トレーニング

10 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) By next month, I will have lived in London for two years.

- (2) By next Monday, she will have been in hospital for one week.

- (3) I will have finished lunch by two o'clock.

- (4) I will have finished this work by Friday.

- (5) I will have visited Nara twice if I go again next week.

- (6) When I finish reading this book, I will have read it three times.

▶(1)(2)は継続、(3)(4)は完了、(5)(6)は経験を表す未来完了です。

11 ()内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように次の英文を完成しなさい。

- (1) By next March, we _____ English for six years. (study)
(今度の3月で、私たちは6年間英語を勉強したことになります)
- (2) Tomorrow, Mr. and Mrs. Jones _____ married for twenty years.
(be) (あしたで、ジョーンズ夫妻は結婚して20年になります)
- (3) With this visit, I _____ Kyoto twice. (visit)
(今回の訪問で、私は2度京都をおとずれたことになります)
- (4) My father _____ to Korea twice if he goes again this time. (be)
(今回行けば、父は2度韓国に行ったことになります)

ここで少し休憩したら、次の発展トレーニングに進みましょう。

発展トレーニング

発展的な問題を扱っています。落ち着いてやりましょう。

① 次の英文を訳しなさい。

- (1) He has been sick for two weeks. _____ [都留文科大改題]
[学習院大改題]
- (2) I have not heard from him since last year.
_____ [関西大改題]
- (3) I have just written it.
_____ [専修大改題]
- (4) What has happened to my uncle?
_____ [東洋大改題]
- (5) Five years have passed since he died.
_____ [明星大改題]
- (6) David has never had an operation.

- (7) In the last few years, they have been building many new skyscrapers in Tokyo.

- (8) Tomorrow, she will have stayed at that hotel for a week.

▶ (2) hear from ~「～から便りをもろう」 (7) skyscraper「超高層ビル」

次に書きかえ問題をやってみましょう。

② ()内の語句を変化させて正しい英文を作りなさい。

例 I (know) her for four years now.

⇒ I have known her for four years now.

(私は今や4年間彼女を知っています)

- (1) He (be) out for two hours.

(彼は2時間外出しています)

- (2) She (be) asleep for three hours.

(彼女は3時間ねむり続けています)

- (3) He (be) dead for ten years.

(彼が死んで10年になります)

- (4) We (know) each other for a long time.

(私たちは長い間ずっと知り合いです)

- (5) I (read, already) that magazine.

(私はすでにその雑誌を読んでしまいました)

- (6) I (finish, just) my English homework.

(私はたった今英語の宿題を終えたところです)

- (7) My uncle (go) to Australia.

(おじはオーストラリアへ行ってしまいました)

- (8) Many people (come) to use computers these days.

(多くの人々が今日コンピューターを使うようになってきています) [広島修道大改題]

- (9) I (lose) a key yesterday and I (don't find) it yet.

(私はきのうかぎをなくして、まだそれを見つけていません)

- (10) Those trees (grow) quite tall since our grandfather (plant) them ten years ago.

(あれらの木々は祖父が10年前に植えて以来すっかり高くなりました) [広島修道大改題]

- (11) I (hear) that story several times.

(私はその話を何回か聞いたことがあります)

- (12) I (be) to Hawaii twice.

(私は2度ハワイに行ったことがあります)

- (13) She has (teach) ever since she (get married).

(彼女は結婚して以来ずっと教えています) [広島修道大改題]

- (14) I (finish) the book by next Wednesday.

(私は今度の水曜日までにはその本を読み終えているでしょう)

▶(8) come to ~「～するようになる」 (9) lose—lost—lost と変化します。「なくした」のところでは、はっきりとした過去を示す yesterday があるので現在完了は使えません。find の過去分詞は found です。(10) grow の過去分詞は grown です。(13) 現在完了進行形を使います。(14) 未来完了の文です。

③ 次の日本語を英語に直しなさい。

- (1) 彼は6年間東京に住んでいます。(現在完了を用いて)

- (2) けさからずっと雨が降っています。(it で書き出すこと)

[拓殖大改題]

▶(2) 現在完了進行形<has been ~ing>を用いて表します。「けさから」は since this morning と表します。

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。 (答えはこのページの下)

- | | |
|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 prove (動) | <input type="checkbox"/> 2 realize (動) |
| <input type="checkbox"/> 3 research (名) | <input type="checkbox"/> 4 respect (動) |
| <input type="checkbox"/> 5 situation (名) | <input type="checkbox"/> 6 subject (名) |
| <input type="checkbox"/> 7 acquire (動) | <input type="checkbox"/> 8 actually (副) |
| <input type="checkbox"/> 9 advantage (名) | <input type="checkbox"/> 10 allow (動) |
| <input type="checkbox"/> 11 available (形) | <input type="checkbox"/> 12 circumstance (名) |
| <input type="checkbox"/> 13 considerable (形) | <input type="checkbox"/> 14 detail (名) |
| <input type="checkbox"/> 15 effort (名) | <input type="checkbox"/> 16 evidence (名) |
| <input type="checkbox"/> 17 notice (動) | <input type="checkbox"/> 18 raise (動) |
| <input type="checkbox"/> 19 rest (名) | <input type="checkbox"/> 20 surface (名) |
| <input type="checkbox"/> 21 technology (名) | <input type="checkbox"/> 22 affect (動) |
| <input type="checkbox"/> 23 argument (名) | <input type="checkbox"/> 24 assume (動) |
| <input type="checkbox"/> 25 common (形) | <input type="checkbox"/> 26 concept (名) |
| <input type="checkbox"/> 27 contain (動) | <input type="checkbox"/> 28 environment (名) |
| <input type="checkbox"/> 29 function (名) | <input type="checkbox"/> 30 ignore (動) |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。 (答えはこのページの下)

- ☐ 1 You must do that work _____ though you don't want to.
(たとえその仕事をしたくなくても、あなたはそれをしなければなりません)
- ☐ 2 _____ wages, this job is not so bad.
(給料の点からすると、この仕事はそう悪くはありません)
- ☐ 3 He behaved _____ if he were still a child.
(彼はまるでまだ子どもであるかのようにふるまいました)
- ☐ 4 I like sports; _____ example tennis and soccer.
(私はスポーツ、たとえば、テニスやサッカーが好きです)
- ☐ 5 The train suddenly stopped, and _____, the lights went out.
(その列車は急に止まり、同時に明かりが消えました)
- ☐ 6 He _____ the pencil and put it on the table.
(彼は鉛筆を拾い上げてそれをテーブルの上に置きました)

◇ 答え ◇

- I. 1 立証する 2 ～を悟る、理解する 3 調査、研究 4 ～を尊敬する 5 状態 6 主題、科目
 7 ～を獲得する 8 実際には 9 有利な点[立場]、優勢 10 ～を許す、許可する 11 利用できる、得られる
 12 状況、(複数で)事情 13 かなりの、相当の 14 細部、詳細 15 努力 16 証拠 17 気づく 18 上げる
 19 残り、休息 20 表面 21 科学技術 22 ～に影響する、ふりをする 23 議論 24 仮定する
 25 ふつうの、ありふれた 26 概念 27 含む 28 環境 29 機能、役目 30 無視する
- II. 1 even 2 In, terms, of 3 as 4 for 5 at, the, same, time 6 picked, up

第4日	文法事項のまとめ 学習日 月 日
	時制(4)

きょうは「時制」の学習の最終日です。はじめは過去完了を中心に学習をし、次に時制の一致について考えていきます。時制の一致は、英語を習得するうえできわめて重要なことですから。わかりやすく学習しますから、しっかりとついてきてください。

1. 過去完了の文

「私がそこに着いたとき、映画はすでに始まっていました」という文は、英語では、

When I got there, the movie had already started.

と表します。日本語の「映画はすでに始まっていました」が、英語では the movie had already started と表されています。

「映画はすでに始まっています」という文なら、現在完了を用いて The movie has already started. と表しましたね。この has が今度は had となっています。

映画が始まっていたのは、「私が着いたとき」です。このように、過去のあるときを基準にしてそれまでの動作や状態を表すには、過去完了の形を使います。

過去完了の文は、have の過去形 had と過去分詞を用いて作ります。例をあげてみましょう。

「私が駅に着いたとき、最終列車はすでに発車していました」

⇒ **When I got to the station, the last train had already left.**

「私は彼女を知っていました、というのは私は以前彼女に会ったことがあったからです」

⇒ **I knew her, because I had met her before.**

「私がメリーをたずねたとき、彼女は1週間病気でした」

⇒ **When I visited Mary, she had been sick for a week.**

上の文の下線部は、それぞれ過去における完了・経験・継続を表す過去完了の文です。

現在完了は現在までの完了・経験・継続を表しましたが、過去完了は過去のあるときを基準にしてそれまでの完了・経験・継続を表します。

では、さっそくトレーニングです。

トレーニング

1 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) When I arrived, the concert had already started.

(2) When I arrived, the class had already begun.

(3) He had already eaten lunch when Lucy came.

- (4) I recognized Jane at once, for I had seen her before.
-
- (5) I had once seen that musician on TV before he came to Japan.
-
- (6) I knew that movie very well because I had read the story before.
-
- (7) When they got married, they had known each other for three years.
-
- (8) Up to last year Mr. Smith had lived in Japan for ten years.
-

▶(4) recognize 「～とわかる」 (8) up to ～「～まで」 (1)～(3)は完了, (4)～(6)は経験, (7)～(8)は継続を表す過去完了です。

2 () 内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

- (1) The meeting _____ already _____ when I arrived. (finish)
(私が到着したとき、会合はすでに終わっていました)
- (2) The train _____ already _____ when I arrived at the station. (leave)
(私が駅に到着したとき、列車はすでに発車していました)
- (3) She _____ just _____ her driver's license when she had a car accident.
(get) (自動車事故を起こしたとき、彼女は運転免許を取ったばかりでした)
- (4) His children _____ just _____ to bed when he returned home from the office.
(go) (彼が会社から家にもどったとき、子どもたちはちょうど寝たところでした)
- (5) I knew him very well, because I _____ him before. (meet)
(私は以前彼に会ったことがあったので、彼をととてもよく知っていました)
- (6) I _____ once _____ from him before he visited Japan last week. (hear)
(彼が先週日本を訪れる前に、私は1度彼から便りをもらっていました)
- (7) I _____ to him several times before we met last spring. (write)
(この前の春に会う前に、私は彼に何度か手紙を書いていました)
- (8) We _____ at the station for ten minutes before the train came in. (be)
(列車がはいってくるまで、私たちは駅に10分間いました)
- (9) She _____ sick for a week when I telephoned her. (be)
(私が彼女に電話をしたとき、彼女は1週間病気でした)
- (10) He _____ in America for five years when I met him for the first time.
(live) (私がはじめて彼に会ったとき、彼はアメリカに5年間住んでいました)

▶(2) leave, (3) get, (4) go, (5) meet, (6) hear, (7) write の過去分詞は、それぞれ left, gotten[got], gone, met, heard, written です。

「時制」についての学習を、さらに進めましょう。

2. 過去完了進行形の文

「彼女が到着したとき、私たちは2時間待ち続けていました」 この文を英語で表してみましょう。
()の中にはどんなことばがはいりますか。

We () () waiting for two hours when she arrived.

「私たちは2時間待ち続けています」という文なら、現在完了進行形を用いて We have been waiting for two hours. と表しますね。しかし、今度は「彼女が到着したとき」とありますから過去の話で、現在完了進行形の文を過去のものにしなければなりません。すなわち、have been ~ingではなく had been ~ingを用いることになります。

We had been waiting for two hours when she arrived.

このような過去のある時までの動作・状態を表す文を、過去完了進行形の文といいます。

トレーニング

3 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) We had been playing tennis for an hour when she arrived.

(2) He had been studying for two hours when I visited him.

(3) The baby had been crying for an hour when his mother came home.

(4) I had been sleeping until you phoned.

(5) She had been crying until the movie ended.

(6) I had been watching TV until you came.

4 () 内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

(1) My mother _____ for an hour when I came home. (cook)

(私が家に帰ったとき、母は1時間料理をしていました)

(2) That machine _____ for two months when it broke down.

(operate) (その機械は故障するまで2か月間作動していました)

(3) She _____ until we came. (study)

(私たちが来るまで、彼女は勉強し続けていました)

(4) He _____ until it became dark. (run)

(暗くなるまで、彼は走り続けていました)

▶(2) operate, (4) run の ing 形はそれぞれ operating, running です。

3. 過去の過去

「彼は3日前に時計をなくしたと言いました」という文は、英語では、

He said that he had lost his watch three days before.

と表します。日本語の「3日前に時計をなくした」が、英語では he had lost his watch three days before と表されています。had lost と過去完了が使われていますね。

「彼が時計をなくした」のは、「彼が(そう)言った」ときよりも前のできごとです。このように、過去のあるときよりもさらに前のときに起こったできごとを表すときにも、過去完了は用いられます。

このような例をあげておきましょう。

「彼女は彼を愛していたと言いました」 ⇒ **She said that she had loved him.**

「私は2日前に買ったレコードを彼に貸しました」

⇒ **I lent him the record that I had bought two days before.**

トレーニング

5 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) She said that she had known him well.

(2) They said that he had been a smart boy.

(3) He said that he had arrived two days before.

(4) I thought that my sister had made that cake.

(5) He knew that Tom had broken that window.

▶ (2) a smart boy 「利口な少年」 (3) 「(今から)2日前」なら two days ago ですが、「(過去のある時より)2日前」なので two days before となっています。

6 ()内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

(1) He said that he _____ his key three days before. (lose)

(彼は3日前にかぎをなくしたと言いました)

(2) She said that she _____ him a week before. (meet)

(彼女は1週間前に彼に会ったと言いました)

(3) I knew that she _____ the teacup. (break)

(私は彼女がその茶わんを割ったのを知っていました)

(4) My uncle gave me some stamps which he _____ in China. (buy)

(おじは私に中国で買った何枚かの切手をくれました)

(5) She showed me some pictures which she _____ in Europe. (take)

(彼女はヨーロッパでとった何枚かの写真を私に見せてくれました)

▶ lose, meet, break, buy, take の過去分詞は、それぞれ lost, met, broken, bought, taken です。

4. 時制の一致

I think that he is a student. (私は、彼は学生であると思います) という文を、「私は、彼は学生であると思いました」という過去の文にしてみましょう。

「思いました」は think(思う)の過去形 thought で表せますから、

I thought that he () a student. となります。さあ、() の中の be 動詞は is でいいですか。「私は～と思いました」(I thought that ～) というのは過去のできごとですね。そして、そのとき「彼は学生である」のですから、これも過去の文にしたほうが理くつになっています。ですから、is の過去形 was を用いて、

I thought that he was a student. と表します。

日本語では、「私は～と思います」という現在の文でも「私は～と思いました」という過去の文でも「彼は学生である」の部分はかわりありませんね。しかし、日本語につられて

I thought that he is a student. と言ってしまったら、「彼が学生である」のが現在でそう「私は思った」のが過去のできごと、ということになってしまい、ちぐはぐになってしまいます。think を thought にするばかりでなく、is も was にしなければ正しい文にはなりません。「私は～と思いました」というのが過去のできごとだから、その思った内容である「彼は学生である」も過去形で表すのです。このような時間の一致関係を時制の一致といいます。

トレーニング

7 下線部の動詞を過去形にしたときの正しい文を完成しなさい。

例 **I think that she is very busy.**

I thought that she was very busy.

(私は彼女はとてもいそがしいと思いました)

(1) **I think that she is a student.**

I _____ that she _____ a student. (私は彼女は学生であると思いました)

(2) **I think that he is fond of music.**

I _____ that he _____ fond of music. (私は彼は音楽が好きであると思いました)

(3) **I believe that the boy is innocent.**

I _____ that the boy _____ innocent. (私はその少年は潔白であると信じていました)

(4) **We know that he is embarrassed by his poverty.**

We _____ that he _____ embarrassed by his poverty.

(私たちは彼が貧乏で困っていることを知っていました)

(5) **She says that she has a slight headache.**

She _____ that she _____ a slight headache. (彼女は軽い頭痛がすると言いました)

(6) **It is said that she studies English hard every day.**

It _____ said that she _____ English hard every day.

(彼女は毎日一生懸命英語を勉強していると言われていました)

(7) **He says that he goes to an all boys school.**

He _____ that he _____ to an all boys school. (彼は男子校に通っていると言いました)

(8) **He says that he cleans his room himself.**

He _____ that he _____ his room himself.

(彼は自分で自分の部屋をそうじすると言いました)

- (9) She says that she has only a few friends to talk to at school.
 She _____ that she _____ only a few friends to talk to at school.
 (彼女は学校にはほんの少ししか話をする友だちがいなかったと言っていました)
- (10) He is a happy man though he is poor.
 He _____ a happy man though he _____ poor. (彼は貧しいけれども幸せな男でした)
- (11) His car runs very well though it looks old.
 His car _____ very well though it _____ old.
 (彼の車は古そうに見えましたがとてもよく走りました)
- (12) She has a few books that are very difficult to understand.
 She _____ a few books that _____ very difficult to understand.
 (彼女は理解するのがとてもむずかしい本を何冊かもっていました)
- ▶(4) know, (5) say, (7) go の過去形は、それぞれ knew, said, went です。

5. 助動詞の変化

I think that he will be back soon. (私は彼はすぐにもどるだろうと思います) という文を、「私は彼はすぐにもどるだろうと思いました」という過去の文にしてみましょう。()の中にはどんなことがはいるりますか。

I thought that he () be back soon.

()の中には will の過去形がはいるりますね。will の過去形は would ですから、この文全体は

I thought that he would be back soon. となります。

おもな助動詞の過去形は次のとおりです。覚えておきなさい。

will ⇒ would / shall ⇒ should / can ⇒ could / may ⇒ might

トレーニング

8 下線部の動詞を過去形にしたときの正しい文を完成しなさい。

- (1) I think that he will be back by noon.
 I _____ that he _____ back by noon.
 (私は彼はお昼までにもどるだろうと思いました)
- (2) I think that she will pass the examination.
 I _____ that she _____ the examination.
 (私は彼女は試験に合格するだろうと思いました)
- (3) I know that he can play soccer well.
 I _____ that he _____ soccer well.
 (私は彼がじょうずにサッカーができるのを知っていました)
- (4) She speaks so fast that I cannot understand her.
 She _____ so fast that I _____ her.
 (彼女はとても速く話したので、私は彼女の言うことが理解できませんでした)
- (5) They say that his story may be true.
 They _____ that his story _____ true.
 (彼らは彼の話は本当かもしれないと言いました)

- (6) I think that he may finish his work soon.

I _____ that he _____ his work soon.

(私は彼はすぐに仕事を終えるかもしれないと思いました)

- (7) I know that she has lived in Tokyo for two years.

I _____ that she _____ in Tokyo for two years.

(私は彼女が東京に2年間住んでいるのを知っていました)

- (8) That lady says that she has never seen that man before.

That lady _____ that she _____ never _____ that man before.

(その婦人はかつてあの男の人に一度も会ったことがないと言いました)

▶(4) speak の過去形は spoke です。cannot は couldn't と変化します。(7), (8) has は had と変化します。すなわち、過去完了の文となります。

6. 過去完了を用いる場合

I know that he passed the entrance examination.

(私は彼が入学試験に合格したのを知っています)

今度はこの文を「私は彼が入学試験に合格したのを知っていました」という過去の文にしてみましょう。()の中にどんなことばを入れますか。

I knew that he () () the entrance examination.

「彼が入学試験に合格した」のは、「私が(それを)知っていた」ときよりも前のできごとですね。つまり、過去の過去です。過去の過去は過去完了を用いて表しましたから、正解は had passed です。

I knew that he had passed the entrance examination.

トレーニング

9 下線部の動詞を過去形にしたときの正しい文を完成しなさい。

- (1) I know that he died of cancer.

I _____ that he _____ of cancer. (私は彼がガンで死んだのを知っていました)

- (2) We all know that she was proud of being beautiful.

We all _____ that she _____ proud of being beautiful.

(私たちはみな彼女が美しいことを自慢していたのを知っていました)

- (3) She says that she had a cold two days ago.

She _____ that she _____ a cold two days before.

(彼女は2日前にかぜをひいたと言いました)

- (4) He says that he was absent from school two days ago.

He _____ that he _____ absent from school two days before.

(彼は2日前に学校を休んだと言いました)

- (5) We know that she returned from Paris three days ago.

We _____ that she _____ from Paris three days before.

(私たちは彼女が3日前にパリからもどったのを知っていました)

- (6) He says that he took a lot of pictures on his trip.

He _____ that he _____ a lot of pictures on his trip.

(彼は旅行中にたくさんの写真をとったと言いました)

- (7) She says that she used no sugar to make that cake.

She _____ that she _____ no sugar to make that cake.

(彼女はそのケーキを作るのに砂糖を使わなかったと言いました)

- (8) He says that he spent a lot of money to build his new house.

He _____ that he _____ a lot of money to build his new house.

(彼は新しい家を建てるのにたくさんのお金を使ったと言いました)

- ▶(3)~(5) 「(今から)~日前」なら ~ days ago と ago を用いますが、「(過去のある時より)~日前」の場合には before を用います。(6) take(とる)の過去分詞は taken, (8) spend(使う)の過去分詞は spent です。

次は時制の一致が行われない場合について考えてみましょう。

7. 時制の一致の例外

次のような場合には時制の一致は行われません。

- ♣ 一般的な真理を述べるとき

Galileo said that the earth goes round the sun.

(ガリレオは地球は太陽の周りをまわっていると言いました)

Galileo said that ~(ガリレオは~と言いました) という過去の文ですから, goes も went になりそうですね。しかし, 「地球は太陽の周りをまわっている」というのは過去においても現在においてもかわることのない一般的な真理です。このような一般的な真理を述べるときには, 動詞は現在形を用います。

- ♣ 歴史上の事実を述べるとき

We learned at school that Columbus discovered America in 1492.

(私たちは学校でコロンブスが 1492 年にアメリカを発見したと習いました)

「コロンブスが 1492 年にアメリカを発見した」のは「私たちが学校で習った」ときよりさらに過去ですが, このように歴史上の事実を述べるときには, 動詞は過去完了でなく過去形を用います。

- ♣ 仮定法や must, ought to, had better, need などが用いられているとき

I wish I could speak English better.

(私はもっとじょうずに英語が話せたらいいのと思います)

I wished I could speak English better.

(私はもっとじょうずに英語が話せたらいいのと思いました)

I wish が I wished と過去形になっても, I could speak ~は変化しません。

トレーニング

- 10 下線部の動詞を過去形にしたときの正しい文を完成しなさい。

- (1) We learn at school that water boils at 100°C.

We _____ at school that water _____ at 100°C.

(私たちは学校で水は 100 度で沸騰することを学びました)

- (2) We learn at school that four times two is eight.

We _____ at school that four times two _____ eight.

(私たちは学校で 4 かける 2 は 8 であることを学びました)

- (3) She says that both English and French are spoken in Canada.
 She _____ that both English and French _____ spoken in Canada.
 (彼女はカナダでは英語とフランス語の両方が話されていると言いました)
- (4) My history book says that Columbus discovered America in 1492.
 My history book _____ that Columbus _____ America in 1492.
 (私の歴史の本にはコロンブスは 1492 年にアメリカを発見したと書いてありました)
- (5) Our teacher says that World War I broke out in 1914.
 Our teacher _____ that World War I _____ out in 1914.
 (先生は第一次世界大戦は 1914 年にぼつ発したと言いました)
- (6) Our teacher says that man landed on the moon in 1969.
 Our teacher _____ that man _____ on the moon in 1969.
 (先生は人類は 1969 年に月に降り立ったと言いました)
- (7) I wish I had a car of my own.
 I _____ I _____ a car of my own. (私は自分の自動車があつたらいいのにと思いました)
- (8) He sometimes behaves as if he were still a child.
 He sometimes _____ as if he _____ still a child.
 (彼はときどきまだ子どもであるかのようにふるまいました)
- (9) She says that she must go home at once.
 She _____ that she _____ home at once.
 (彼女はすぐに家に帰らなければならないと言いました)
- (10) I think that she ought to know better.
 I _____ that she _____ better.
 (私は彼女はもっと分別をもつべきだと思いました)
- (11) I think that he ought to pay off his debts soon.
 I _____ that he _____ off his debts soon.
 (私は彼はすぐに借金を返すべきだと思いました)
- (12) I think that he had better go home soon.
 I _____ that he _____ home soon.
 (私は彼はすぐに家に帰ったほうがいいと思いました)

さあ、次のページからは発展トレーニングです。

発展トレーニング

発展的な問題を扱っています。落ち着いてやりましょう。

1 次の英文を日本語に訳しなさい。

- (1) Jack came late because his car had broken down.

〔京都外国語大改題〕

- (2) Jane said that Bob had obviously taken some money from Beth's purse.

〔共通一次改題〕

- (3) We had been hiking for an hour when it began to rain.

- (4) I thought the radio would cost about ten dollars.

〔南山大改題〕

- ▶ (1) break down 「故障する」 (2) obviously 「明らかに」 (3) hike 「ハイキングをする」

次に書きかえ問題をやってみましょう。

2 ()内の語句を加えて、次の文を書きかえなさい。

例 The movie has already started. (when I arrived)

The movie had already started when I arrived.

(私が到着したとき、映画はすでに始まっていました)

- (1) I have already finished my homework. (when she came)

(彼女が来たとき、私はすでに宿題を終えていました)

- (2) She has been in Japan for three months. (when I first met her)

(私がはじめて彼女に会ったとき、彼女は日本に来て3か月でした)

- (3) The meeting has already finished. (when I arrived)

(私が到着したとき、会合はすでに終わっていました)

- (4) He saved one million dollars. (when he died)

(彼は死んだときに100万ドルためていました)

- (5) I have been reading for an hour. (when he came)

(彼が来たとき、私は1時間本を読んでいました)

- (6) She has been practicing the piano for an hour. (when I visited her)

(私が彼女をたずねたとき、彼女は1時間ピアノを練習していました)

③ 下線部を過去形にして、全文を書きかえなさい。

例 I think that he is a college student.

I thought that he was a college student.

(私は彼は大学生であると思いました)

(1) He says that he is able to swim well.

(彼はじょうずに泳げると言いました)

(2) He says that each player has to do his best in team sports.

(彼は団体競技ではひとりひとりの選手が全力をつくさなければならないと言いました)

(3) We will clean our room before they visit us.

(彼らが私たちをおとずれる前に、私たちは部屋をきれいにするつもりでした)

(4) Susan can speak several languages though she is still young.

(スーザンはまだ若いのに数か国語を話すことができました)

(5) I can't get in my house because I have lost my key.

(私はかぎをなくしたので家にはいることができませんでした)

(6) I know that she knitted that sweater by herself.

(私は彼女が自分でそのセーターを編んだのを知っていました)

(7) I think that man must be Bob's father.

(私はその人がボブの父親にちがいないと思いました)

(8) She says there are fifty states in the United States at present.

(彼女は現在アメリカ合衆国には 50 の州があると言いました)

▶(8) 「アメリカ合衆国に 50 の州がある」ことは現在でもかわらない真理なので、there are はそのままです。

④ 次の日本語の文を、書きだしに続けて英語の文にしなさい。

(1) 私が駅に到着したとき、列車はすでに発車していました。

When I arrived at the station, _____

(2) 私がメリーをたずねたとき、彼女は 1 週間病気でした。

When I visited Mary, _____

(3) 私は彼は学生であると思いました。

I thought that _____

(4) 私は彼はすぐに来るだろうと思いました。

I thought that _____

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。(答えはこのページの下)

- | | |
|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 knowledge (名) | <input type="checkbox"/> 2 observation (名) |
| <input type="checkbox"/> 3 recognize (動) | <input type="checkbox"/> 4 suggest (動) |
| <input type="checkbox"/> 5 ability (名) | <input type="checkbox"/> 6 achieve (動) |
| <input type="checkbox"/> 7 aware (形) | <input type="checkbox"/> 8 condition (名) |
| <input type="checkbox"/> 9 content (形) | <input type="checkbox"/> 10 decade (名) |
| <input type="checkbox"/> 11 degree (名) | <input type="checkbox"/> 12 determine (動) |
| <input type="checkbox"/> 13 fear (動) | <input type="checkbox"/> 14 figure (名) |
| <input type="checkbox"/> 15 force (動) | <input type="checkbox"/> 16 improve (動) |
| <input type="checkbox"/> 17 literature (名) | <input type="checkbox"/> 18 major (形) |
| <input type="checkbox"/> 19 means (名) | <input type="checkbox"/> 20 occasion (名) |
| <input type="checkbox"/> 21 offer (動) | <input type="checkbox"/> 22 particularly (副) |
| <input type="checkbox"/> 23 perform (動) | <input type="checkbox"/> 24 primitive (形) |
| <input type="checkbox"/> 25 state (名) | <input type="checkbox"/> 26 admit (動) |
| <input type="checkbox"/> 27 attractive (形) | <input type="checkbox"/> 28 average (形) |
| <input type="checkbox"/> 29 claim (動) | <input type="checkbox"/> 30 completely (副) |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。(答えはこのページの下)

- ☐ 1 It _____ rain tonight.
(今晚雨が降りそうです)
- ☐ 2 _____, how is your mother feeling these days?
(ところで、このごろあなたのお母さんはご機嫌いかがですか)
- ☐ 3 I _____ like this new town two years after I moved here.
(ここに引っ越してきて2年たってから、私はこの新しい町が好きになりました)
- ☐ 4 The car accident was due _____ his careless driving.
(その自動車事故は彼の不注意な運転のせいでした)
- ☐ 5 Violence, _____ instance, murder or rape should never be condoned.
(暴力、たとえば、殺人や強姦はけっして許されるべきではありません)
- ☐ 6 I _____ my umbrella in the closet.
(私は物置の中の私のかさを捜しました)

◇ 答え ◇

- I. 1 知識 2 観察 3 認める, 認知する 4 暗に示す 5 能力 6 達成する 7 気づいている
 8 状態, 条件 9 満足して 10 10年間 11 程度 12 決定する, 確定する 13 恐れる 14 姿, 数字
 15 押しつける, しいる 16 向上する, 進歩する 17 文学 18 主な, 主要な 19 方法, 手段
 20 (特殊の)場合, 時 21 提供する, 提示する 22 特に 23 行う, 成し遂げる 24 原始的な, 原始の
 25 国, 状態 26 認める, 許す 27 魅力的な 28 平均の, 普通の 29 ~を要求する, 主張する 30 完全に
- II. 1 is, likely, to 2 By, the, way 3 came, to 4 to 5 for 6 looked, for

第5日	文法事項のまとめ 学習日 月 日
	話法

ある人の言ったことを別の人に伝える方法を話法といいます。ここでは、話法の転換のしかたをとりあ
げて、転換の際のさまざまな注意点を整理してみましょう。
では、さっそくスタートです。

1. 直接話法と間接話法

ある人のことばを別の人に伝えるとき、英語には2通りの言い方があります。例をあげてみます。

- ① **My mother says, "I am busy."** 母は「私はいそがしい」と言っています。
② **My mother says that she is busy.** 母は自分はいそがしいと言っています。

①の言い方は、「私はいそがしい」というお母さんのことばをそのまま引用しています。このよう
に、ある人のことばを直接引用して別の人に伝える言い方を、直接話法といいます。これに対し、引用
符を使わない②の言い方を、間接話法といいます。

日本語でも、「私はいそがしい」と母のことばに「 」をつけて言ったり、「 」をつけずに「母はい
そがしいと言ってるよ」としたり、2通りの言い方がありますね。「 」をつけずに言うときには、お
母さんの言ったことばを自分のことばに直して言っているわけです。英語でも同じです。母の言った
"I am busy." を自分のことばに直します。

まず、I とは My mother のことなので、これを代名詞の she とします。そして、主語の she にあわ
せて動詞 am も is にかえます。

I am busy ⇒ she is busy

これを接続詞 that で結びつけます。

My mother says that she is busy.

ただし、この that は特に口語ではよく省略されます。

なお、動詞が say to の場合には、tell を用います。

My mother **says to me**, "I am busy."

My mother **tells me** that she is busy. 母は私に自分はいそがしいと言っています。

では、さっそくトレーニングです。

トレーニング

1 例にならい、次の文の空所に適当な語を入れなさい。

例 ア He says, "I usually get home at six."

イ He says that he usually gets home at six.

(彼はふつう 6 時に帰宅すると言っています)

(1) ア Bill says, "I am learning how to drive a car."

イ Bill says _____ learning how to drive a car.

(ビルは車の運転のしかたを習っていると言っています)

(2) ア She says, "I go to bed at 11:30 every night."

イ She says _____ to bed at 11:30 every night.

(彼女は毎晩 11 時半にねると言っています)

(3) ア He says, "I will go out to lunch with George."

イ He says _____ go out to lunch with George.

(彼はジョージと昼食をとり外へ出るつもりだと言っています)

(4) ア My mother often says to me, "You must study harder."

イ My mother often _____ me _____ must study harder.

(母は私にもっと勉強しなさいとよく言います)

(5) ア The doctor says to me, "You will get better in a few days."

イ The doctor _____ me _____ get better in a few days.

(医者は私に 2, 3 日もすれば良くなると言っています)

(6) ア He says, "I don't have enough money with me now."

イ He says _____ not have enough money with _____ now.

(彼は今十分なお金を持ちあわせていないと言っています)

(7) ア She says, "I haven't finished my homework yet."

イ She says _____ finished _____ homework yet.

(彼女はまだ宿題を終えていないと言っています)

(8) ア She says, "Richard is always very kind to me."

イ She says _____ is always very kind to _____.

(彼女はリチャードはいつも自分にとっても親切だと言っています)

(9) ア He says to me, "I keep three dogs."

イ He _____ me _____ three dogs.

(彼は私に犬を 3 匹飼っていると言っています)

(10) ア She says, "I have an appointment with Mr. Allen at 3 o'clock."

イ She says _____ an appointment with Mr. Allen at 3 o'clock.

(彼女は 3 時にアレン氏と会う約束があると言っています)

▶(4), (5), (9)の say to は tell にかえます。(6)の me は「彼」のことなので him にかえます。(7)の haven't は hasn't に、my は「彼女」のことなので her にかえます。(8)の me は「彼女」のことなので her にかえます。

2. 時制の一致

間接話法を用いる際には、動詞の時制に注意しなくてはなりません。次の例を見てください。

He said, "I am fond of collecting stamps."

(彼は「私は切手を集めるのが好きです」と言いました)

⇒ He said that he was fond of collecting stamps.

(彼は切手を集めるのが好きですと言いました)

ここで、he was を he is としてしまうと誤りです。なぜなら、He said と過去の話をしているからです。過去の話をしているのに、その話の内容が「好きです」と現在のはずはありませんね。だから、he is でなく he was としなければなりません。

もしも、引用符の中が「好きでした」と過去の話だとしたら、今度はそう彼が言ったときよりさらに昔の話ですから、過去完了を使います。

He said, "I was fond of collecting stamps as a child."

(彼は「私は子どものとき切手を集めるのが好きでした」と言いました)

⇒ He said that he had been fond of collecting stamps as a child.

(彼は子どものとき切手を集めるのが好きでしたと言いました)

このようなことを時制の一致といいましたね。

トレーニング

2 例にならい、次の文の空所に適当な語を入れて、話法をかえなさい。

例 ア The man said, "I work for a bank."

イ The man said that he worked for a bank.

(その男の人は銀行に勤めていると言いました)

(1) ア He said, "I am calling from a public phone."

イ He said that _____ calling from a public phone.

(彼は公衆電話からかけていると言いました)

(2) ア He said to me, "I am very glad to meet you."

イ He told me that _____ very glad to meet me.

(彼は私に会えてとてもうれしいと言いました)

(3) ア He said to me, "Five minutes' walk will take you to the station."

イ He told me that five minutes' walk _____ me to the station.

(彼は私に駅まで歩いて5分だと言いました)

例 ア Jimmy said, "I passed the entrance examination."

イ Jimmy said that he had passed the entrance examination.

(ジミーは入学試験に受かったと言いました)

(4) ア He said, "I ran all the way to the bus stop."

イ He said that _____ all the way to the bus stop.

(彼はバス停まで走り続けたと言いました)

(5) ア They said, "We decided to go on a trip to the seacoast."

イ They said that _____ to go on a trip to the seacoast.

(彼らは海岸まで旅行に行くことに決めたと言いました)

(6) ア Anne said, "I got married in 1981."

イ Anne said that _____ married in 1981.

(アンは1981年に結婚したと言いました)

3. 時や場所を示すことば

話法をかえるときには、次のように時や場所を示すことばにも注意します。

He said, "I'm going to have a test **tomorrow**."

(彼は「あしたテストがある」と言いました)

⇒ He said that he was going to have a test **the next day**.

(彼は次の日にテストがある言いました)

tomorrow (あした) が the next day (次の日) になっていますね。これは、彼のことば "I'm going to have a test tomorrow." を、そう彼が言った日とは別の日に伝えているからです。

同様に、場所を示すことばも変化をうけます。ある人が「ここ」(here) と言ったとして、そのことばを違う場所で伝達するとしたら、「ここ」は「そこ」(there) になります。

注意が必要なことばは、おもに次のようなものです。

today → that day / yesterday → the day before [または the previous day]

tomorrow → the next day (または the following day) / now → then

ago → before / this → that

トレーニング

3 次の文の時や場所を示すことばを、例にならって書きかえなさい。

例 ア She said, "I arrived here a week ago."

イ She said that she had arrived there a week before.

(彼女は1週間前にそこへ着いたと言いました)

(1) ア He said, "I met her here yesterday."

イ He said that he had met her _____.

(彼は前日そこで彼女に会ったと言いました)

(2) ア Mrs. Thompson said, "I saw my dentist yesterday."

イ Mrs. Thompson said that she had seen her dentist _____.

(トンプソン夫人は前の日に歯医者にみてもらったと言いました)

(3) ア They said, "We will have no class tomorrow."

イ They said that they would have no class _____.

(彼らは翌日は授業がないと言いました)

(4) ア She said to me, "I can't come to your party today."

イ She told me that she could not come to my party _____.

(彼女は私にその日はパーティーに来られないと言いました)

- (5) ア Mrs. Wilson said to us, "Mary is sick in bed today."
 イ Mrs. Wilson told us that Mary was sick in bed _____.
 (ウィルソン夫人は私たちにその日はメアリーは病気で寝ていると言いました)
- (6) ア He said, "I'm eighteen years old now."
 イ He said that he was eighteen years old _____. (彼はそのとき18歳だと言いました)
- (7) ア Kate said to us, "Mr. Scott died of cancer three days ago."
 イ Kate told us that Mr. Scott had died of cancer three days _____.
 (ケートは私たちにスコット氏は3日前にガンで亡くなったと言いました)
- (8) ア He said, "My father returned from Hong Kong a week ago."
 イ He said that his father had returned from Hong Kong a week _____.
 (彼は父親が1週間前にホンコンからもどったと言いました)
- (9) ア Tom said, "I will play tennis this afternoon."
 イ Tom said that he would play tennis _____ afternoon.
 (トムはその日の午後テニスをするつもりだと言いました)
- (10) ア She said, "I received this letter this morning."
 イ She said that she had received _____ letter _____ morning.
 (彼女はその手紙をその日の朝受け取ったと言いました)

▶説明で述べたように、時や場所を示すことは必ず変化するわけではありません。ここでは、練習のためにかえるよう指示しています。

これまでの学習は、平叙文を伝える場合でした。でも、疑問文や感嘆文、命令文もあります。次の学習では、それらの伝え方を学びましょう。

4. 疑問文・感嘆文の伝え方

間接話法で疑問文を伝えるときには、次のようにします。

She said, "Is he a student?" (彼女は「彼は学生ですか」と言いました)

を例にとります。まず、say を ask にかえます。

She **asked**

次に、that のかわりに if (または whether) をおきます。

She asked **if**

あとは、引用符の中の文を肯定の文にして続けます。

She asked **if he was a student.** (彼女は彼が学生かどうかたずねました)

引用符の中が疑問詞で始まる文のときは、**if** を使わないで、そのまま疑問詞を使います。

She said, "How old is he?" (彼女は「彼は何歳ですか」と言いました)

⇒ She asked **how old he was.** (彼女は彼が何歳かとたずねました)

感嘆文を伝えるには、動詞はあまり決まっていません。次の例を見てみましょう。

He pointed out **how important it was to exercise regularly.**

(彼は定期的に練習することがどんなにたいせつかを指摘しました)

トレーニング

4 例にならい、次の文を間接話法で伝えなさい。

例 ア He said to me, "Can you play the guitar?"

イ He asked me if I could play the guitar.

(彼は私にギターをひけるかどうかたずねました)

(1) ア He said to me, "Can you swim?"

イ He _____ me _____ swim. (彼は私に泳げるかどうかたずねました)

(2) ア She said to me, "Is he a student?"

イ She _____ me _____ a student.

(彼女は私に彼が学生かどうかたずねました)

(3) ア I said to him, "Has the last train left yet?"

イ I _____ him _____ left yet.

(私は彼に最終列車はもう出てしまったかどうかたずねました)

(4) ア Sally's mother said to me, "Would you like to drink some tea?"

イ Sally's mother _____ me _____ would like to drink some tea.

(サリーのお母さんは私にお茶を飲むかどうかたずねました)

例 ア I said to him, "What are you looking for?"

イ I asked him what he was looking for.

(私は彼に何をさがしているのかたずねました)

(5) ア I said to him, "What do you think about it?"

イ I _____ him _____ about it.

(私は彼にそれをどう思うのかたずねました)

(6) ア She said to me, "What are you doing?"

イ She _____ me _____ doing.

(彼女は私に何をしているのかたずねました)

(7) ア I said to the American, "How long have you been in Japan?"

イ I _____ the American _____ been in Japan.

(私はそのアメリカ人にどのくらい日本にいるのかたずねました)

(8) ア Our teacher said, "Why is she absent today?"

イ Our teacher _____ absent that day.

(先生はその日なぜ彼女が休んでいるのかたずねました)

例 ア She said, "How nice it is!"

イ She cried how nice it was.

(彼女はそれはなんてすばらしいのかと叫びました)

(9) ア She said, "How glad I am!"

イ She _____ she was. (彼女はなんてうれしいんでしょうと叫びました)

(10) ア Bill said, "What a good idea it is!"

イ Bill _____ it was.

(ビルはそれはなんてよい考えなのかと叫びました)

話法の転換には、約束やきまりがたくさんあります。わからないときは、前の説明を参考にしてトレーニングを進めなさい。

5. 命令文の伝え方

命令文を伝えるときは、次のようにします。

He said to me, "Shut the door." (彼は私に「ドアを閉めろ」と言いました)

⇒ He **told me to shut** the door. (彼は私にドアを閉めるように言いました)

動詞を say to から tell にかえ、引用符の中の動詞(shut)を to 不定詞にします。

Don't で始まる命令文の場合は、to の前に not をおきます。

He said to me, "**Don't** shut the door." (彼は私に「ドアを閉めるな」と言いました)

⇒ He **told me not to** shut the door. (彼は私にドアを閉めないようにと言いました)

please を用いたていねいな命令文の場合は、tell のかわりに「頼む」という意味の ask を使います。

He said to me, "**Please** shut the door." (彼は私に「ドアを閉めてください」と言いました)

⇒ He **asked me to** shut the door. (彼は私にドアを閉めるよう頼みました)

この他、状況に応じて、**order** (命令する), **beg** (請う), **suggest** (提案する), **recommend** (推薦する), **advise** (忠告する) などが使われます。

間接話法は、人の言ったことばをそのまま伝えるのではなく、その内容を自分のことばで伝えるものです。ですから、伝え方は一定ではありません。

トレーニング

5 例にならい、命令文を間接話法で伝えなさい。

例 ア My mother said to me, "Get up early."

イ My mother told me to get up early.

(母は私に早く起きるようにと言いました)

(1) ア Our teacher said to us, "Read each sentence carefully."

イ Our teacher _____ us _____ each sentence carefully.

(先生は私たちにていねいに文を読むようにと言いました)

(2) ア Our teacher said to us, "Be quiet in class."

イ Our teacher _____ us _____ quiet in class.

(私たちの先生は私たちに授業中は静かにするようにと言いました)

例 ア He said to me, "Don't open the window."

イ He told me not to open the window.

(彼は私に窓を開けないようにと言いました)

(3) ア She said to me, "Don't put your elbows on the table when eating."

イ She _____ me _____ my elbows on the table when eating.

(彼女は私に食するときにはテーブルにひじをつかないように言いました)

(4) ア He said to me, "Don't open that box."

イ He _____ me _____ that box.

(彼は私にその箱を開けないように言いました)

例 ア He said to me, "Please mail this letter for me."

イ He asked me to mail that letter for him.

(彼は私にかわりにその手紙を投函するように頼みました)

(5) ア I said to him, "Please speak more slowly."

イ I _____ him _____ more slowly.

(私は彼にもっとゆっくり話すように頼みました)

6. 時制の一致の例外

話をかえるときに、時制の一致を受けない場合があります。それは、歴史上の事実や一般的な真理を伝える場合です。

Our teacher said, "America **was** discovered by Columbus."

⇒ Our teacher said that America **was** discovered by Columbus.

(先生はアメリカはコロンブスによって発見されたと言いました)

アメリカがコロンブスによって発見されたのは歴史上の事実ですから、was を had been にかえる必要はありません。

トレーニング

6 例にならい、語法をかえなさい。

例 ア He said, "World War II ended in 1945."

イ He said that World War II ended in 1945.

(彼は第2次世界大戦は1945年に終わったと言いました)

(1) ア She said, "The French Revolution broke out in 1789."

イ She said that the French Revolution _____ in 1789.

(彼女はフランス革命は1789年に起こったと言いました)

(2) ア He said, "The Eighteenth Olympic Games were held in Tokyo in 1964."

イ He said that the Eighteenth Olympic Games _____ in Tokyo in 1964.

(彼は第18回オリンピックは1964年に東京で開催されたと言いました)

(3) ア He said, "The earth is round."

イ He said that the earth _____ round. (彼は地球はまるいと言いました)

(4) ア Our teacher said, "The moon goes round the earth."

イ Our teacher said that the moon _____ round the earth.

(先生は月は地球の周りをまわっていると言いました)

さあ、いよいよ発展トレーニングです。これできょうの学習は全部終わりになりますので、がんばりましょう。

① 例を参考にしながら、次の文を間接話法に改めなさい。

例 ア She says, "I am going to the concert."

イ She says that she is going to the concert.

(彼女はコンサートへ行くところだと言っています)

(1) ア He says, "I have never caught a cold in my life."

イ

(彼は生まれてから一度もかぜをひいたことがないと言っています)

(2) ア My grandmother often says, "Nothing is as terrible as a fire."

イ

(祖母は火事ほど怖いものはないとよく言います)

(3) ア They said, "It is very cold outside."

イ

(彼らは外はとても寒いと言いました)

(4) ア He said, "I have four people in my family."

イ

(彼は家族は4人ですと言いました)

(5) ア My father said to me, "You should start thinking about your future."

イ

(父は私に将来について考え始めるべきだと言いました)

(6) ア He said, "I was mistaken."

イ

(彼は自分のまちがいだったと言いました) [慶應大改題]

(7) ア She said to me, "I have passed the entrance examination."

イ

(彼女は私に入学試験に合格したと言いました)

例 ア He said, "I met her yesterday."

イ He said that he had met her the day before(the previous day).

(彼は前の日に彼女に会ったと言いました)

(8) ア He said, "I am going to leave Tokyo tomorrow."

イ

(彼は次の日に東京をたつつもりだと言いました) [神奈川大改題]

(9) ア Mary said, "I dropped in at my aunt's yesterday."

イ

(メアリーは前の日におばさんの家に立ち寄ったと言いました)

例 ア Jane said to me, "Do you like music?"

イ Jane asked me if I liked music.

(ジェーンは私に音楽が好きかどうかたずねました)

(10) ア I said to him, "Are you busy?"

イ

(私は彼に忙しいかどうかたずねました)

- (11) ア She said to me, "Have you ever been abroad?"

イ

.....
(彼女は私にかつて海外へ出たことがあるかどうかたずねました) [関東学院大改題]

- (12) ア He said to me, "Where are you going?"

イ

.....
(彼は私にどこへ行くのかとたずねました)

- (13) ア We said to our teacher, "Why do we have to study English so hard?"

イ

.....
(私たちは先生にどうしてこんなに一生懸命英語を勉強しなければならないのですかとたずねました)

- 例** ア She said to me, "Hurry up!"

イ She told me to hurry up.

.....
(彼女は私に急ぐようにと言いました)

- (14) ア Mr. Jones said to his son, "Come home early every Friday."

イ

.....
(ジョーンズ氏は彼の息子に毎週金曜日は早く家に帰ってくるようにと言いました) [津田塾大改題]

- (15) ア He said to me, "Use a pencil."

イ

.....
(彼は私に鉛筆を使うようにと言いました) [大東文化大改題]

これで、話法についてのきょうのトレーニングは全部終わりました。「時制の一致」などたいせつなきまりがたくさんでてきましたが、しっかりと整理できましたか。答え合わせをしてみて、もしまちがえていたところがあったら、その原因をきちんとつかんでおきましょう。

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。(答えはこのページの下)

- | | |
|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 consequence (名) | <input type="checkbox"/> 2 continue (動) |
| <input type="checkbox"/> 3 entirely (副) | <input type="checkbox"/> 4 especially (副) |
| <input type="checkbox"/> 5 essential (形) | <input type="checkbox"/> 6 expression (名) |
| <input type="checkbox"/> 7 extent (名) | <input type="checkbox"/> 8 immediate (形) |
| <input type="checkbox"/> 9 mental (形) | <input type="checkbox"/> 10 occur (動) |
| <input type="checkbox"/> 11 problem (名) | <input type="checkbox"/> 12 progress (名) |
| <input type="checkbox"/> 13 reason (名) | <input type="checkbox"/> 14 reduce (動) |
| <input type="checkbox"/> 15 regard (動) | <input type="checkbox"/> 16 significance (名) |
| <input type="checkbox"/> 17 suffer (動) | <input type="checkbox"/> 18 term (名) |
| <input type="checkbox"/> 19 accomplish (動) | <input type="checkbox"/> 20 adopt (動) |
| <input type="checkbox"/> 21 advance (動) | <input type="checkbox"/> 22 amount (名) |
| <input type="checkbox"/> 23 appear (動) | <input type="checkbox"/> 24 complete (形) |
| <input type="checkbox"/> 25 conscious (形) | <input type="checkbox"/> 26 cost (動) |
| <input type="checkbox"/> 27 creature (名) | <input type="checkbox"/> 28 culture (名) |
| <input type="checkbox"/> 29 curious (形) | <input type="checkbox"/> 30 despite (前) |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。(答えはこのページの下)

- ☐ 1 I like sports, _____ baseball, basketball and soccer.
(私は野球やバスケットボールやサッカーのようなスポーツが好きです)
- ☐ 2 The awards ceremony _____ last month.
(その授賞式は先月開催されました)
- ☐ 3 He didn't come to the party _____.
(結局、彼はパーティーに来ませんでした)
- ☐ 4 There is no doubt _____ her honesty.
(彼女の誠実さについては疑いの余地がありません)
- ☐ 5 Not so many Japanese are _____ speaking English well.
(英語をじょうずに話することができる日本人はあまり多くいません)
- ☐ 6 He _____ someone following him last night.
(彼はゆうべだれかがあとをつけているのに気づいていました)

◇ 答え ◇

- I. 1 結果, 重要さ 2 (〜)続ける 3 完全に, まったく 4 特に 5 本質的な, 必要欠くべからざる
 6 表現 7 範囲, 程度 8 即座の, 直接の 9 心の, 精神の 10 生じる, 起こる 11 問題
 12 進歩, 発達 13 理由, 理性 14 減らす, 縮小する 15 見なす, 考える 16 重要性, 意義 17 被る, 苦しむ
 18 期間, 用語 19 達成する, 成就する 20 採用する 21 進む, 進める 22 合計, 総数 23 現れる, 思われる
 24 完全な, 欠けたところがない 25 意識のある, 意識的な 26 (費用がいくら)かかる, (時間・労力などが)かかる
 27 神の創造物, 生き物 28 教養, 文化 29 好奇心に富んだ, 奇妙な 30 〜にもかかわらず
- II. 1 such, as 2 took, place [was, held] 3 after, all 4 as, to 5 capable, of 6 was, aware, of

第6日	文法事項のまとめ	学習日 月 日
	動詞と文型	

きょうは、文型について学習します。ここでは文の構造を正しくとらえ、正しい解釈ができるようになることが目標です。では、さっそく始めましょう。

1. He runs fast. / He is young. など

「彼は速く走ります」という文は、英語ではどう表しますか。それは

He runs fast. と表します。「彼は」という主語に当たるのが **He**, 「走ります」という動詞に当たるのが **runs** で表されていますね。では、

「彼は若い」という文は、英語ではどう表しますか。それは、

He is young. と表します。「…は～です」というときは、**be** 動詞(**is** など)を用いて表しますよ。

「彼は学生です」ならば、**He is a student.** と表します。では、

「彼は若く見えます」という文は、英語ではどう表したらいいでしょうね。動詞 **look** を用いて、

He looks young. と表せばいいですよ。この文に用いられている **look** は「～を見る」という意味ではありません。では、

「彼はパイロットになりました」という文は、英語ではどう表したらいいでしょう。それは、

He became a pilot. と表します。「～になる」というときには動詞 **become** を用いて表すことができます。

* 「～である、～に見える、～になる」の「～」にあたる所には名詞・形容詞が来て、補語になります。

トレーニング

1 次の英文を、日本語に訳しなさい。

- (1) She swims well. _____
- (2) My mother cooks well. _____
- (3) He speaks fast. _____
- (4) She is pretty. _____
- (5) She is a college student. _____
- (6) My father looks young. _____
- (7) She looks happy. _____
- (8) He looks old for his age. _____
- (9) He became a teacher. _____
- (10) They became good friends. _____
- (11) I became tired after that hard work. _____
- (12) It became warm after the rain. _____

▶(12)の it は「それは」とは訳しません。

2. The fact is that ～. など

The fact was that I made a mistake. という文は、どう訳したらいいでしょうね。それは、「実は私がまちがいをおかしたのでした」と訳します。that I made a mistake は「私がまちがいをおかした」という意味を表して文中の補語になっています。では、

The question is if he will come. という文はどう訳したらいいでしょう。それは、「問題は彼が来るかどうかということです」と訳します。ここでは if he will come が「彼が来るかどうかということ」という意味を表してこの文全体の補語になっていますよ。この文は、

The question is whether he will come or not. と whether を用いて言い換えることができます。では、

The question is why he told a lie. という文は、どう訳しますか。それは「問題はなぜ彼がうそをついたかということです」と訳します。why he told a lie は「なぜ彼がうそをついたかということ」という意味を表して、この文全体の補語になっています。では、

That is why I was late. という文はどう訳したらいいでしょうね。「そんなわけで私はおくれたのです」と訳すといいですよ。この文は、

That is the reason why I was late. (それが私がおくれた理由です)
という文の the reason が省略されたものだと考えられます。

トレーニング

2 次の英文を日本語に訳しなさい。

- (1) The fact is that she is sick. _____
- (2) The trouble was that we got lost on the way.

- (3) The problem is if Bob has enough time to help us.

- (4) The point is whether the news is true or not.

- (5) The problem was who was wrong.

- (6) The problem is what can save us.

- (7) That is why I helped him.

- (8) That is how we came to know each other.

- (9) That was how Picasso became famous.

- (10) The question is whether I have enough money or not.

▶ (2) on the way 「途中で」 (8) come to ～「～するようになる」 to know は不定詞。

次は目的語を用いた文の練習です。

3. I like cats. など

「私はネコが好きです」という文は、英語ではどう表すと思いますか。それは、

I like cats. と表します。〈I(私は) like(好む) cats(ネコを).〉の語順で表されていますね。動詞 like のうしろには「～を」に当たる語(目的語)が必要です。では、

「私は泳ぐのが好きです」という文は、英語ではどう表すと思いますか。それは、

I like swimming. や **I like to swim.** などと表します。

動名詞 swimming や不定詞 to swim も cats などの名詞と同じように目的語として用いられます。

I know that he is a teacher.

という文は、どう訳したらよいでしょうね。それは、「私は彼が先生だということを知っています」と訳します。that he is a teacher は「彼が先生であること」という意味を表して、この文全体の目的語になっています。では、次の文は訳せますか。

I don't know if she is at home.

この文は、「私は彼女が家にいるかどうかわかりません」と訳します。if she is at home は「彼女が家にいるかどうか」という意味を表して、この文全体の目的語になっています。では、

I know who he is. という文はどう訳したらよいでしょう。それは、「私は彼がだれだか知っています」と訳します。who he is は「彼がだれだか」という意味を表してこの文全体の目的語になっています。who は「だれ」という意味を表す疑問詞ですが、I know などの文に続くときには **who he** (主語) **is** (動詞) のような語順で用いられます。who is he ではありませんよ。

トレーニング

③ 次の英文を、日本語に訳しなさい。

- (1) He likes dogs.
- (2) I have a cat.
- (3) I know him well.
- (4) I like playing tennis.
- (5) She likes to sing.
- (6) I finished reading this book last night.
.....
- (7) I hope to see you again.
- (8) I know how to swim.
- (9) I think that they are brothers.
.....
- (10) I know that she is a singer.
.....
- (11) I think that he is an American.
.....
- (12) I hear that she is a good cook.
.....
- (13) I don't know if she will come to the party.
.....
- (14) I don't know whether he will attend the meeting or not.
.....

(15) I wonder if he is happy.

(16) I wonder whether the news is true or not.

(17) I don't know who that woman is.

(18) I know why she was late for school today.

(19) We don't know where she lives.

(20) Do you know exactly what time the train leaves?

▶ (8) how to ~「～のしかた」 (11) American「アメリカ人」 (15)の I wonder if ~ と(16)の I wonder whether ~ は「～かしら」という文。

4. He gave me a camera. など

「彼は私にカメラをくれました」という文は、英語ではどう表したらいいでしょうね。それは、

He gave me a camera. と表します。gave は動詞 give(与える)の過去形です。gave のうしろに「～に」に当たる語(me)と「～を」に当たる語(a camera)が用いられていることに注意しなさい。この文には「～に」という目的語と「～を」という目的語があります。

このように目的語を2つもつ表現には次のものがあります。

tell + A + B 「AにBを話して聞かせる」

lend + A + B 「AにBを貸す」

send + A + B 「AにBを送る」

show + A + B 「AにBを見せる」

teach + A + B 「AにBを教える」

make + A + B 「AにBを作ってあげる」

buy + A + B 「AにBを買ってあげる」

トレーニング

4 次の英文を日本語に訳しなさい。

(1) She gave me a watch for my birthday.

(2) He often tells us interesting stories.

(3) She lent me her umbrella.

(4) He showed me some pictures of his children.

(5) My mother made me a new dress for the dance.

(6) I bought my little brother a model plane.

(7) Please give me something cold to drink.

(8) She told me an interesting story last night.

(9) She teaches us English twice a week.

(10) I sent them a telegram on their wedding day.

▶(7)の something cold to drink は「何か冷たい飲み物」という意味。 to drink は形容詞用法の不定詞。

5. He gave a pen to my brother. など

「彼は私の兄にペンをくれました」という文は、英語では、

He gave my brother a pen.

と表しましたね。この文は、my brother と a pen の順序を入れかえて、

He gave a pen to my brother.

と言いかえることができます。このとき my brother の前に前置詞 to が用いられます。

「彼女は私の姉に洋服を作ってくれました」という文は、英語では、

She made my sister a dress.

と表しましたね。この文は、my sister と a dress の順序を入れかえて、

She made a dress for my sister.

と言いかえることができます。このとき my sister の前に前置詞 for が用いられますよ。make を用いた文では、このように前置詞 for を置きます。

トレーニング

5 次の文を to や for のはいつた文に書きかえなさい。

例 He gave Nancy a present.

⇒ He gave a present to Nancy.

(彼はナンシーにプレゼントをあげました)

(1) He gave his wife a scarf.

⇒

(彼は妻にスカーフをあげました)

(2) He told his children an interesting story last night.

⇒

(彼は昨夜自分の子どもたちにおもしろい話をしてあげました)

(3) She kindly lent my mother an umbrella.

⇒

(彼女は親切にも私の母にかさを貸してくれました)

- (4) I sent your sister a present.

⇒

(私はあなたの妹さんにプレゼントを送りました)

- (5) She showed all of us her new dress.

⇒

(彼女は私たちみんなに自分の新しい洋服を見せました)

例 He made my brother a model plane.

⇒ **He made a model plane for my brother.**

(彼は私の弟に模型飛行機を作ってくれました)

- (6) She made her daughter a pretty doll last week.

⇒

(彼女は先週自分の娘にかわいい人形を作ってあげました)

- (7) He bought his wife a new hat.

⇒

(彼は自分の妻に新しい帽子を買ってあげました)

▶(1)～(5)は前置詞 to を用いて書きかえます。(6)と(7)は前置詞 for を用いて書きかえます。動詞が make や buy のときは for を用います。

6. He told me that ～. など

「彼は私におもしろい話をしてくれました」という文は、英語では、

He told me an interesting story. と表しましたね。では、「彼は私に自分はアメリカへ行くつもりだと言いました」という文は、英語ではどう表したらいいでしょうね。それは、

He told me that he would go to America. と表します。ここでは told の後ろに目的語 me ともう 1 つの目的語 that he would go to America が用いられていますよ。では、

He asked me if I could swim. という文はどう訳しますか。それは、「彼は私に泳げるかとたずねました」と訳します。この文では目的語 me ともう 1 つの目的語 if I could swim が用いられていますよ。それでは、

He asked me where I would go. という文はどう訳したらよいでしょうね。それは、「彼は私にどこへ行くのかとたずねました」と訳します。この文では目的語 me ともう 1 つの目的語 where I would go が用いられています。さいごに、

He showed me how to swim. という文は訳せますか。「彼は私に泳ぎ方を教えてくれました」と訳しますよ。この文では目的語 me ともう 1 つの目的語 how to swim が用いられています。how to ～ は「～のしかた」という意味を表す不定詞です。

トレーニング

6 次の英文を日本語に訳しなさい。

- (1) He told me that he was busy.

- (2) She told me that she would attend the meeting.

(3) He asked me if I could speak English.

(4) I asked him what he would buy for her.

(5) He will tell you where Jane lives.

(6) He asked me why I laughed during his lecture.

(7) That nurse will tell you where to go next.

(8) Please tell me how to pronounce this word.

(9) He asked me if I had been to England.

〔明星大改題〕

(10) He asked me if I liked chocolate.

〔松

陰女子学院大改題〕

次は「～を…と呼ぶ」などの文について練習します。

7. They call me Kumi. など

「彼らは私を久美と呼びます」という文は、英語ではどう表すと思いますか。それは、

They call me Kumi. と表します。

「～を…と呼ぶ」というときは、動詞 **call** のうしろに「～を」にあたることばと「…と」にあたることばを用いて表します。「彼らはその赤ん坊をジョンと名づけました」という文は、英語ではどう表したらいいでしょうね。それは、**They named the baby John.** と表します。「～を…と名づける」というときは、動詞 **name** のうしろに「～を」にあたることばと「…と」にあたることばを用いて表しますよ。

「そのニュースは彼を幸せにしました」という文は、英語ではどう表すと思いますか。

The news made him happy. と表します。

「～を…にする」というときは、動詞 **make** のうしろに「～を」にあたることばと **happy** など形容詞が用いられます。「～を…にする」という文でも、**We made him our captain.** (私たちは彼をキャプテンにしました) のように、動詞 **make** のうしろに「～を」にあたることばと **our captain** など名詞が用いられることがありますよ。

トレーニング

7 次の英文を日本語に訳しなさい。

(1) My name is Kenji, but my friends call me Ken.

(2) What do you call this flower in English?

(3) They named their son Benjamin when he was born.

(4) The news made her sad.

(5) We made him the leader of our group.

(6) His lecture yesterday afternoon made me very sleepy.

(7) Who left this door open?

〔日本大改題〕

(8) She kept the wine cool for the party.

▶(7)の〈leave+目的語+形容詞〉は「～を…(の状態のまま)にしておく」(8)の〈keep+目的語+形容詞〉は「～を…(の状態)にしておく」という意味。

次は hear など感覚動詞や make など使役動詞を用いた文について練習します。

8. hear him sing など

「私ははじめて彼が歌うのを聞きました」という文は、英語ではどう表したらよいでしょうね。

I heard him sing for the first time.

と表します。「～が…するのを聞く」というときは、hear him sing のように〈hear+目的語+動詞の原形〉を用いて表します。同じような文の形をつくるものに次のものがあります。

see+目的語+動詞の原形 : 「～が…するのを見る」

feel+目的語+動詞の原形 : 「～が…するのを感じる」

では、**I have heard that song sung in French before.** という文はどう訳したらよいでしょう。それは、「私は以前その歌がフランス語で歌われるのを聞いたことがあります」と訳します。sung は動詞 sing の過去分詞ですよ。「～が…されるのを聞く」というときは、〈hear+目的語+過去分詞〉で表します。

「彼らは私たちを1日中働かせました」という文は、英語ではどう表すと思いますか。それは、

They made us work all day. と表します。「～を…させる」というときは、〈make+目的語+動詞の原形〉を用いて表します。

動詞 have は「～させる、～してもらう」という意味を表して、次のように用いられます。

He had me type his letter. (彼は私に手紙をタイプで打たせました)

We had our house painted last year. (私たちは昨年家のペンキ塗りをしてもらいました)
had me type の type は動詞の原形、had our house painted の painted は過去分詞です。

トレーニング

8 次の英文を日本語に訳しなさい。

(1) I have never heard him sing.

(2) I heard my name called in the hotel lobby.

(3) We saw a man run out of the store.

〔琉球大改題〕

(4) We saw an old dog run over by a car.

(5) I felt my house shake and ran outside.

(6) I felt myself pushed from behind, and then I stumbled and fell down.

(7) Don't make them go unless they wish to.

(8) He could not make himself understood in English.

〔静岡大改題〕

(9) I'll have the maid clean this room.

(10) I want to have my friend hear about that joke.

(11) We have our eyes tested every year.

(12) Jack has his car checked once a week.

(13) John had his watch stolen.

(14) I must have my hair cut soon.

(15) I have never heard Russian spoken.

〔千葉商科大改題〕

- ▶(4)の run は過去分詞。〈see+目的語+過去分詞〉は「～が…されるのを見る」という言い方。(6)の pushed は push の過去分詞。〈feel+目的語+過去分詞〉は「～が…されるのを感じる」。(7) unless they wish to のうしろに動詞 go が省略されている。(8)の understood は understand の過去分詞。make ~self understood は「自分の考えを人にわからせる」という意味。(13)の stolen は steal(盗む)の過去分詞。この文は「…を～された」という受け身の意味になる。

いかがでしたか。とくに動詞 have の使い方はさまざまです。たいせつなところですから完全に覚えておきなさい。

少し休んだら、次の発展トレーニングに進みなさい。

■ 発展トレーニング ■ 発展的な問題を扱っています。落ち着いてやりましょう。

① 次の文を to や for を用いない文に書きかえなさい。

- (1) Nancy gave some toys to them last week.

⇒

.....
(ナンシーは先週彼らにおもちゃをいくつかあげました)

- (2) I'll show my new dress to you tonight.

⇒

.....
(私は今夜あなたに私の新しい洋服を見せてあげましょう)

- (3) I read this book to my child last night.

⇒

.....
(私は昨夜私の子どもにこの本を読んであげました)

- (4) Mrs. Brown made a birthday cake for her son.

⇒

.....
(ブラウン夫人は自分の息子に誕生祝いのケーキを作ってあげました)

- (5) My father bought a new camera for me yesterday.

⇒

.....
(父はきのう私に新しいカメラを買ってくれました)

② 次の英文を日本語に訳しなさい。

- (1) Tell me who broke the window.

.....

- (2) My father gave me a watch in addition to a camera.

.....

[早稲田大改題]

- (3) He will give that parrot to whoever wants it.

.....

[独協大改題]

- (4) If you have a knife, please lend it to me.

.....

[京都府立医大改題]

- (5) I showed her how she could solve the problem.

.....

[日本大改題]

- (6) He didn't tell us whether we should go to the meeting or not.

..... (国

学院大改題]

- (7) Because of the noise, I couldn't tell what they were saying.

.....

[早稲田大改題]

- (8) I don't know if it will rain tomorrow, but if it does, I won't go hiking.

.....

[福岡大改題]

- (9) He asked me whether I had watched that program on TV the previous night.

〔都留文科大改題〕

- (10) No one knows when such a custom came into existence.

〔関西学院大改題〕

- (11) They made him leave the conference despite the protests.

〔神戸
商科大改題〕

- (12) What made you think I was married?

〔都
留文科大改題〕

- (13) I managed to make myself understood in English.

- (14) I'd like to hear each one of you sing in turn.

〔東京理科大改題〕

- (15) I wish I could make you understand what a wonderful person she is.

- (16) He made me type his report yesterday.

▶(3) parrot「オウム」 whoever「だれでも」 (7)の文に用いられている tell は「わかる」という意味。 (8) go hiking「ハイキングに行く」 (10) come into existence「生まれる」 (12)は直訳すると「何があなたに～と思わせたか」となるが、「あなたはなぜ～と思ったか」と訳すと自然な日本語になる。 (14) in turn「順番に」 (15) I wish I could ～「(私は)～できるといいのに」

さいごに英作文をしてきょうの学習をまとめましょう。

③ 次の日本語を英語で表しなさい。

- (1) 私は彼らを兄弟だと思います。 (接続詞 that を用いて)

- (2) (私の)父はきのう私にギターを買ってくれました。 (前置詞 for を用いないで)

- (3) 彼女はいつも自分の息子をケンと呼びます。

- (4) 私は(私の)家の前で車が1台止まるのを聞きました。

- (5) 私たちは昨年(私たちの)家のペンキ塗りをしてもらいました。 (動詞 have の過去形 had を用いて)

▶(4)「～の前で」は in front of ～ を用いて表しなさい。 (5)「～を…してもらう」には have + 目的語 + 過去分詞の形を使いなさい。

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。 (答えはこのページの下)

- | | |
|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 element (名) | <input type="checkbox"/> 2 except (前) |
| <input type="checkbox"/> 3 extremely (副) | <input type="checkbox"/> 4 factor (名) |
| <input type="checkbox"/> 5 follow (動) | <input type="checkbox"/> 6 identify (動) |
| <input type="checkbox"/> 7 increasingly (副) | <input type="checkbox"/> 8 maintain (動) |
| <input type="checkbox"/> 9 matter (名) | <input type="checkbox"/> 10 mean (動) |
| <input type="checkbox"/> 11 obscure (形) | <input type="checkbox"/> 12 observe (動) |
| <input type="checkbox"/> 13 organize (動) | <input type="checkbox"/> 14 passage (名) |
| <input type="checkbox"/> 15 pattern (名) | <input type="checkbox"/> 16 personal (形) |
| <input type="checkbox"/> 17 population (名) | <input type="checkbox"/> 18 probably (副) |
| <input type="checkbox"/> 19 rarely (副) | <input type="checkbox"/> 20 seek (動) |
| <input type="checkbox"/> 21 skill (名) | <input type="checkbox"/> 22 sort (名) |
| <input type="checkbox"/> 23 source (名) | <input type="checkbox"/> 24 therefore (副) |
| <input type="checkbox"/> 25 trade (名) | <input type="checkbox"/> 26 variety (名) |
| <input type="checkbox"/> 27 various (形) | <input type="checkbox"/> 28 view (名) |
| <input type="checkbox"/> 29 abandon (動) | <input type="checkbox"/> 30 academic (形) |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。 (答えはこのページの下)

- ☐ 1 He could not attend the meeting _____ a prior engagement.
(彼は先約のために会合に出席できませんでした)
- ☐ 2 This book _____ the latest scientific advances.
(この本は最新の科学の進歩を扱っています)
- ☐ 3 A computer _____ us _____ solve problems quickly.
(コンピューターのおかげで私たちは問題を速く解くことができます)
- ☐ 4 _____ if it rains, I will go hiking.
(たとえ雨が降っても、私はハイキングに行くつもりです)
- ☐ 5 _____, I prefer rock to classical music.
(がいて、私はクラシック音楽よりもロックのほうが好きです)
- ☐ 6 The depression _____ the bankruptcy of a lot of companies.
(不景気は多くの会社の倒産につながりました)

◇ 答え ◇

- I. 1 要素, 元素 2 ~を除いては 3 極端に, ひじょうに 4 要素, 因子 5 ついて行く, 続く
 6 確認する, 同一視する 7 ますます 8 維持する, 持続する 9 ことがら, 問題 10 意味する
 11 薄暗い, 不めいりょうな 12 (法律などを)守る, 観察する 13 組織する, 編成する 14 通行, (文の)一節
 15 模範, 型 16 人格の, 個人の 17 人口, 住民 18 多分 19 めったに~しない 20 さがす, 捜し求める
 21 技, 巧妙 22 種類 23 源, 原因 24 それゆえ, それで 25 商業, 貿易 26 多様性, 多種多様
 27 いろいろな 28 景色, 視界 29 放棄する, やめる 30 大学の, 学究的な
- II. 1 because, of 2 deals, with 3 enables, to 4 Even 5 In, general 6 led, to

きょうから、3回にわたって不定詞の学習をします。不定詞は英語の学習のなかでたいせつな事項の1つです。不定詞をマスターすれば、あなたの英語力はグーンとアップしますよ。まず、中学で学習した不定詞の基本事項からひとつひとつ練習していきましょう。

1. 不定詞：「～すること」

「私は泳ぐことが好きです」という文は、英語では **I like to swim.** と表します。日本語の「泳ぐこと」が、英語では、to swim と表されています。

「私はコーヒーが好きです」という文は、英語では、I like coffee. と言いましたね。この文の名詞 coffee(コーヒー)と同じように、I like to swim. という文の to swim(泳ぐこと)も、名詞の働きをしていますよ。

to swim のように、動詞 swim(泳ぐ)の前に to を用いた表現は、不定詞と呼ばれます。日本語では、「泳ぐこと」と「こと」が「泳ぐ」のうしろに用いられますが、英語では、「泳ぐ」という動詞の前に to を用いますから注意下さい。

swim ⇒ to swim

泳ぐ 泳ぐこと

「彼は泳ぐことが好きです」という文は、英語ではどう表すと思いますか。それは、

He likes to swim. と表します。

likes と動詞 like に s がついているのは、He が3人称・単数の主語で、現在のことを述べる文だからですよ。しかし、「泳ぐこと」は to swim で表されます。to swims とはけっして言いません！ 不定詞は swim のように s などのつかないもの(原形)を用いるという決まりがあります。

不定詞を用いた表現として次のものを覚えておきなさい。

agree to ～(～することに同意する) / **decide to** ～(～することを決める)

expect to ～(～することを予期している、～するつもりだ)

forget to ～(～することを忘れる) / **hope to** ～(～することを希望する)

pretend to ～(～するふりをする) / **promise to** ～(～することを約束する)

remember to ～(～することを覚えている) / **refuse to** ～(～することをこぼむ)

try to ～(～することを試みる) / **mean to** ～(～するつもりである)

intend to ～(～するつもりである) / **fail to** ～(～することができない、～しない)

manage to ～(どうにか～する) / **want to** ～(～したい)

トレーニング

1 不定詞(下線部)に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) I like to take a walk early in the morning.

- (2) He decided to major in medicine.

- (3) Don't forget to mail my letters.

- (4) I agreed to attend the meeting tomorrow.

- (5) He pretended to be asleep.

- (6) I hope to see you in New York this summer.

- (7) Remember to phone me when you get to Tokyo.

- (8) I'll try to finish this work as soon as possible.

- (9) I meant to go to college, but I changed my mind.

- (10) He failed to send in his application in time.

- (11) We managed to find seats in the crowded train.

- (12) I want to be a pilot in the future.

- (13) They refused to sell part of their land to the government.

- (14) My elder brother promised to help me with my homework, but he didn't.

- (15) Harry managed to swim across the river.

- 〔日本
大改題〕
- (16) I tried in vain to phone her all day yesterday.

- (17) She is planning to run a coffee shop.

- 〔西南
学院大改題〕
- (18) I intended to attend their wedding, but I couldn't.

- (19) He never fails to bring home gifts after he has been away.

- (20) We are planning to have next year's conference in Kyoto.

- 〔立教大改題〕

▶ (2) major in 「～を専攻する」 medicine 「医学」 (3) mail 「投函する」 (10) application 「願書, 申し込み書」
 (16) try in vain to ～ 「～しようとするが(残念ながら)できない」 (19) never fail to ～ は「～しないことはけっして
 ない」という二重否定の意味になるので、「必ず～する」と訳すとよい。 (20) conference 「会議, 協議会」

2. 「…は～することです」などの文

Her work is to look after sick people. という文は、どう訳すと思いますか。to look after sick people は「病人の世話をすること」という意味を表す不定詞ですから、この文全体は、「彼女の仕事は病人の世話をすることです」と訳しますよ。このように、不定詞は「…は～することです」という意味の文にも用いられます。では、

To look after sick people is her work. という文は、どう訳したらいいでしょうね。それは、「病人の世話をすることは彼女の仕事です」と訳します。To look after sick people は「病人の世話をすること」という意味の不定詞で、文の主語になっています。このように、不定詞は「～すること」という意味を表して、文の主語になることができます。

トレーニング

2 不定詞(下線部)に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) Her hobby is to collect stamps.

(2) To learn a language is no easy job.

(3) To meet you is always a pleasure.

(4) To do this kind of work requires a lot of patience.

(5) To stay up late every day is bad for your health.

(6) Her work was to look after little children.

(7) His only job is to feed the animals on his farm.

(8) The function of heart is to pump blood.

(9) All we can do now is to wait and see what happens.

(10) The least you can do is to listen to his opinion.

(11) The best I can do is to try and contact him for you myself.

▶(5) stay up「夜ふかしする、起きている」 (7) feed「(動物などに)えさを与える」 (9)の to, (10)の to, (11)の to は省略することができます。

「～すること」という意味を表す不定詞は不定詞の名詞用法などと呼ばれることがあります。少し休んだら次に進みなさい。

3. a friend to help me など

I have a friend to help me. という文はどう訳すと思いますか。それは、
「私には私を助けてくれる友だちがいます」と訳します。この文の **to help** は不定詞<to+動詞の原形>ですが「助けてくれること」と訳したのではうまくいきませんね。この **to help** は「助けてくれる～」という意味を表します。この文は **I have a friend who can[will] help me.** などと言いかえることができますよ。

I have a friend. だけならば、「私には友だちがいます」という意味の文ですが、**a friend** の後ろに **to help me** を用いると「私には私を助けてくれる友だちがいます」という意味の文になります。**to help me** は **a friend** について「どんな友だちなのか」ということを説明します。

a good friend は「良い友だち」という意味でしたね。ところが、「私を助けてくれる友だち」は **a friend to help me** と表しますよ。**good**(良い)など形容詞が名詞を説明するときは、名詞(ここでは **friend**)の前に置かれるのがふつうです。ところが **to help me** など不定詞が名詞を説明するときは、名詞(ここでは **friend**)の後ろに置かれますから注意しなさい。

トレーニング

3 不定詞(下線部)に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) He has nobody to help him.

(2) He is not a man to tell a lie.

(3) She is not a person to break her word.

(4) I need someone to help me with my homework.

(5) He was the last person to leave the party.

〔名古屋女子大〕

(6) That child needs someone to look after him.

(7) Who was the first person to climb Mt. Everest?

(8) My grandfather is the first person to get up in our family.

(9) John is the first person to get to school every morning.

(10) My father is the last person in our family to get home.

ここで学習した不定詞は「私を助けてくれる友だち」のように名詞を説明するので、不定詞の形容詞用法などと呼ばれることがあります。しかし、このような文法用語をいちいち気にする必要はありません。

4. a lot of work to do など

I have a lot of work to do today. という文はどう訳したらよいでしょうね。それは「私にはきょうしなければならない仕事がたくさんあります」と訳します。to do は不定詞<to+動詞の原形>で「しなければならない、すべき」という意味を表します。この文は

I have a lot of work that I have to(must) do today. などと言いかえられます。では、

I have a lot of comic books to read in the train. という文はどう訳しますか。それは「私は列車の中で読むマンガの本をたくさんもっています」と訳します。この to read は「読むことのできる、読むのによい」という意味を表します。この文は

I have a lot of comic books that I can read in the train. などと言いかえることができますよ。

トレーニング

4 不定詞(下線部)に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) I have some letters to write today.

(2) There are a lot of places to visit in Kyoto.

(3) There is no time to lose.

(4) I have no time to see him today.

(5) Give me something cold to drink.

(6) I have a book to read on my vacation.

(7) He has a large family to support.

(8) We have nothing particular to do on the weekend.

(9) I have no dress to wear to the party.

(10) Would you care to have something to drink?

〔早稲田大改題〕

▶(10) care to ～は「～を好む、～を欲する」という言い方。(10)の文全体は「～をいかがですか、～を召し上がりませんか」という意味。

不定詞はいろいろな意味を表すたいへん便利な表現ですね。

5. a promise to help me など

He made a promise to help me. という文はどう訳しますか。それは

「彼は私を手伝ってくれる約束をしました」と訳します。to help は不定詞<to+動詞の原形>で、「手伝ってくれるという[手伝ってくれる]～」という意味を表します。He made a promise. (彼は約束をしました) だけではどんな約束をしたのかはわかりませんね。a promise の後ろに to help me を用いるとどんな約束なのかということがはっきりします。では

He had the kindness to help me. という文はどう訳したらよいでしょうね。直訳すると「彼は私を手伝ってくれるという親切さをもっていました」となりますが、「彼は親切にも私を手伝ってくれました」と訳したほうが自然な日本語になりますよ。

トレーニング

5 不定詞(下線部)に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) He accepted my offer to help him.

(2) I have no wish to associate with you any longer.

(3) He has a desire to be a millionaire.

(4) She has no intention to marry.

(5) He made an attempt to swim across that lake.

(6) They made a promise to finish this work in a week.

(7) John made a decision to be a doctor like his father.

(8) He made a vow to become a priest.

(9) They had the kindness to show me around London.

(10) She had the good fortune to go to Europe last year.

(11) I had a chance to visit Canada last summer.

(12) He has no reason to be so upset.

どうでしたか。次は不定詞が前置詞をともなう場合について学習します。

6. something to write on など

Give me something to write on. という文は、どういう意味を表すでしょうね。「私に何か書く物をください」と訳しますが、一体ここでの書く物というのは何だと思いませんか。on(～の上に)という前置詞がありますから「書くための紙」であることがわかります。

Give me something to write with. という文は、どういう意味を表すかわかりますか。「私に何か書く物をください」と訳してかまいませんが、ここでの書く物というのは、「筆記用具」のことですよ。

to write は不定詞<to+動詞の原形>ですが on や with など前置詞がいっしょに用いられることがあります。

トレーニング

⑥ 不定詞(下線部)を用いた表現に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) She gave me a cushion to sit on.
.....
- (2) This is a comfortable room to study in.
.....
- (3) This is a pleasant room to work in.
.....
- (4) He has no relatives to talk with.
.....
- (5) When I travel, I have a lot of friends back home to write to.
.....
- (6) We had many things to talk about at the meeting.
.....
- (7) You have nothing to worry about.
.....
- (8) They have many children to look after.
.....
- (9) They are looking for a place in which to stay overnight.
.....
- (10) I am looking for some paintings with which to decorate my room.
.....

▶(6)の talk about ～は「～について話す」、(7)の worry about は「～について心配する」、(8)の look after は「～の世話をする」という言い方です。(9)と(10)の which は関係代名詞です。(9)は関係代名詞の節(主語+動詞+…)を用いて、They are looking for a place in which they can stay overnight. などと言いかえることができますよ。(9)の in which to ～や(10)の with which to ～のように<前置詞+関係代名詞+不定詞>という語順で用いられるものがあるので注意してください。

次は「～するために」という意味を表す不定詞について学習します。

7. 不定詞：「～するために」

He came to help me. という文はどう訳したらよいでしょうね。それは、
「彼は私を助けるために〔助けるに〕来ました」と訳します。to help は不定詞〈to+動詞の原形〉ですが、
ここでは「助けること」とか「助けるための～、助けるべき～」などと訳したのではうまくいきません
よ。この文の to help は「助けるために、助けるに」という意味を表します。このように不定詞は「～す
るために」という意味を表すことがあります。この文は

He came in order to help me. や **He came so as to help me.** などと言いかえることが
できます。「～するために」というときには、to ～ のほかに in order to ～ や so as to ～ を用いて表
すことができますよ。

トレーニング

7 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) They ran to call the police.

(2) I'll come to see you for sure tomorrow.
.....

(3) I took off my shoes to enter the temple.
.....

(4) Do your friends come to visit you every week?
.....

(5) Every morning I have to get up at six to take my dog for a walk.
.....

〔慶應義塾大改題〕

(6) We ran so as to be in time for the bus.
.....

(7) I ran to the station in order to catch the last train.
.....

(8) He studied English in order to live in the United States.
.....

(9) I got up early so as to be able to catch the first train.
.....

(10) She went to bed early last night in order to catch the first train this morning.
.....

次は「～してうれしい」などの表現を学習します。リラックスしてどうぞ。

8. be glad to ～ など

I am glad to see you. という文は、どう訳しますか。それは、「私はあなたに会えてうれしい」と訳します。to see は不定詞<to+動詞の原形>で、「会えて」という意味を表します。このように不定詞は「～して…」という原因の意味を表すことがあります。

She is a fool to trust that man. という文はどう訳したらよいでしょうね。それは「あんな男の人を信用するとは彼女はばかだ」という意味を表します。to trust は不定詞<to+動詞の原形>で、「信用するとは」という原因・理由を表しています。

My grandmother lived to be a hundred. という文はどう訳したらよいでしょうね。それは「私の祖母は 100 歳まで生きました」と訳します。to be は不定詞<to+動詞の原形>です。この文は、「私の祖母は生きてその結果 100 歳になりました」ということを表しています。不定詞は「～してその結果…」という意味を表すことがあります。

What would your father say to hear you talk like that? という文はどう訳したらよいでしょうね。それは、「あなたがそのように話すのを聞いたらあなたのお父さんは何と言うのでしょうか」と訳します。to hear は不定詞<to+動詞の原形>で「聞いたら」という意味を表します。不定詞は「～したら」と条件を表すこともあります。

トレーニング

8 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) I am sorry to trouble you.

(2) I was glad to hear from him.

(3) I was sorry to miss your party.

(4) We were surprised to hear of her sudden death.

〔日本福祉大改題〕

(5) I am disappointed to hear that you are leaving Japan so soon.

(6) She was surprised to see her old friend there.

(7) My grandmother lived to be nearly ninety.

(8) His daughter grew up to be a famous movie actress.

(9) I ran to the station only to miss the ten o'clock train.

(10) To hear her speak, you would think that she is much older than she really is.

(11) To hear Mr. Tanaka speak English, you would take him for a native speaker.

▶(9) only to ～ 「～したが(残念ながら)結果は…」 (11) take A for B 「AをBと思う[思いこむ, みなす]」

■■■■ 発展トレーニング ■■■■ 発展的な問題を扱っています。落ち着いてやりましょう。

① 次の英文を日本語に訳しなさい。

- (1) We had agreed to meet at the station, but our friends didn't show up.

.....
〔中央大改題〕

- (2) He tried in vain to convince them of his innocence.

.....
〔立命館大改題〕

- (3) He tried every means to win her confidence, but all in vain.

.....
〔明治大改題〕

- (4) I don't know how she managed to care for ten children without any help.

.....
〔神奈川大改題〕

- (5) As far as I know, the only thing that is required is to bring a copy of your personal history.

.....
〔都留文科大改題〕

- (6) All we can do is to wait till our mother comes back.

.....
〔明治学院大改題〕

- (7) The first thing we have to do is to clean up your room.

-
(8) A number of friends came to see him off at the airport.

.....
〔武蔵大改題〕

- (9) People rely on clocks and calendars to keep track of time.

.....
〔南山大改題〕

- (10) Kate was careless to leave her umbrella on the bus.

.....
〔東北学院大改題〕

- (11) He had the nerve to take our car without asking.

.....
〔甲南大改題〕

- (12) You must turn in your old driver's license in order to get a new one.

.....
〔関西学院大改題〕

- (13) Taro tried to put his gratitude into words, but he could think of nothing to say.

.....
〔日本大改題〕

▶ (1) show up 「現れる, 顔をだす」 (2)と(3)の in vain は「効果なく, むなしく」という意味。 (9) keep track of ~ 「～の進路を追う, ～を見失わない, ～を覚えている」

② 下線部を不定詞を用いた表現に書きかえなさい。

- (1) He decided that he would go to New York.

⇒ He decided
(彼はニューヨークへ行こうと決心しました)

- (2) They agreed that they would help us.

⇒ They agreed
(彼らは私たちを手伝ってくれることに同意しました)

- (3) I expect that I will see you in Tokyo.

⇒ I expect
(私はあなたに東京で会えると思います)

- (4) We are looking for someone who can help us.

⇒ We are looking for someone
(私たちは私たちを手伝ってくれる人をだれかがしています)

- (5) John was the last person that left the party.

⇒ John was the last person
(ジョンはパーティーから帰った最後の人でした)

- (6) He has a lot of friends whom he can talk with.

⇒ He has a lot of friends
(彼には話し合える友だちがたくさんいます)

- (7) I saved a lot of money for the purpose of buying a house.

⇒ I saved a lot of money
(私は家を買うためにお金をたくさん貯金しました)

さいごに英作文をしてきょうの学習をまとめましょう。

③ 不定詞を用いて、次の日本語を英語で表しなさい。

- (1) 私は医者になる決心をしました。 (動詞 decide, be を用いて)

.....
(2) 私に何か冷たい飲み物をください。 (動詞 Give で文を始めて)

.....
(3) 彼らは野球をするために公園に行きました。

- (4) 京都にはおとずれるべき場所がたくさんあります。 (There are で文を始めて)

.....

次ページには頻度順単語・イディオムのチェックがあります。ぜひやってみましょう。

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。(答えはこのページの下)

- | | |
|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 afford (動) | <input type="checkbox"/> 2 agree (動) |
| <input type="checkbox"/> 3 area (名) | <input type="checkbox"/> 4 attempt (動) |
| <input type="checkbox"/> 5 attribute (動) | <input type="checkbox"/> 6 benefit (名) |
| <input type="checkbox"/> 7 certainly (副) | <input type="checkbox"/> 8 communicate (動) |
| <input type="checkbox"/> 9 communication (名) | <input type="checkbox"/> 10 complex (形) |
| <input type="checkbox"/> 11 conclusion (名) | <input type="checkbox"/> 12 contemporary (形) |
| <input type="checkbox"/> 13 convey (動) | <input type="checkbox"/> 14 define (動) |
| <input type="checkbox"/> 15 depend (動) | <input type="checkbox"/> 16 desert (名) |
| <input type="checkbox"/> 17 desire (名) | <input type="checkbox"/> 18 efficient (形) |
| <input type="checkbox"/> 19 emotion (名) | <input type="checkbox"/> 20 establish (動) |
| <input type="checkbox"/> 21 exception (名) | <input type="checkbox"/> 22 general (形) |
| <input type="checkbox"/> 23 guess (動) | <input type="checkbox"/> 24 intend (動) |
| <input type="checkbox"/> 25 nearly (副) | <input type="checkbox"/> 26 obtain (動) |
| <input type="checkbox"/> 27 organization (名) | <input type="checkbox"/> 28 perceive (動) |
| <input type="checkbox"/> 29 policy (名) | <input type="checkbox"/> 30 price (名) |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。(答えはこのページの下)

- ☐ 1 Many people _____ Gandhi _____ the father of India.
(多くの人はガンジーをインドの父とみなしています)
- ☐ 2 _____ now, I haven't had a chance to visit Kyoto.
(今まで、私には京都をおとずれる機会がありませんでした)
- ☐ 3 Sumo appeals to _____ number _____ people in Japan.
(相撲は日本ではたくさんの人々を引きつけています)
- ☐ 4 I _____ not _____ politics at all.
(私は政治には全く関係していません)
- ☐ 5 That is easy to say, but it may be difficult to _____.
(それは言うことはやさしいが実行することはむずかしいかもしれません)
- ☐ 6 She went shopping _____ the storm.
(彼女は嵐にもかかわらず買い物に行きました)

◇ 答え ◇

- I. 1 (～する)余裕がある 2 同意する 3 地域、領域 4 試みる、企てる 5 (結果などを～に)帰する
 6 利益、恩恵 7 確かに 8 伝える、伝達する 9 伝達、通信 10 複合の、入り組んだ
 11 結論、(条約などの)締結 12 同時代の、現代の 13 運ぶ、伝える 14 定義する、(境界・範囲を)限定する
 15 ～による、～に頼る 16 砂漠 17 欲望、欲求 18 有能な、有効な 19 感情 20 確立する、定める
 21 例外 22 一般の、大体の 23 思う、推測する 24 ～するつもりである 25 ほとんど 26 得る
 27 機構、組織 28 知覚する、知る 29 方針、政策 30 値段、代償
- II. 1 regard, as 2 Up, to 3 a, of 4 am, concerned, with 5 carry, out 6 in, spite, of

第8日	文法事項のまとめ	学習日 月 日
	不定詞(2)	

きょうは不定詞の学習の2回目です。疑問詞と不定詞が組みになった表現, too ~ to ... や It ~ to ... などの構文を中心に学習します。

1. how to ~ など

I know how to swim. という文はどう訳しますか。to swim は不定詞<to+動詞の原形>ですが, to swim の前に how が用いられていますね。**how to swim** 全体を「泳ぎ方」と訳せばいいのですよ。そこでこの文全体は, 「私は泳ぎ方を知っています」という意味の文になります。

I don't know what to do. という文はどう訳したらよいでしょう。to do は不定詞<to+動詞の原形>ですが, to do の前に what が用いられていますね。**what to do** 全体を「何をしたらよいか, 何をすべきか」と訳せばいいのです。そこでこの文全体は, 「私は何をしたらよいかわかりません」という意味の文になります。

how, what, which, where, when などと不定詞が組んだ表現を覚えましょう。

how to ~ : 「どう~したらよいか, ~のしかた」

what to ~ : 「何を~したらよいか」

which to ~ : 「どちらを~したらよいか」

where to ~ : 「どこで〔へ〕~したらよいか」

when to ~ : 「いつ~したらよいか」

トレーニング

1 日本語の意味に合うように, 次の英文を完成しなさい。

- (1) She knows _____ play tennis. (彼女はテニスのしかたを知っています)
- (2) She didn't know _____ do. (彼女はどのようにしてよいかわかりませんでした)
- (3) Let's ask him _____ bus _____ take.
(どちらのバスに乗ったらいいのか彼にたずねましょう)
- (4) I asked him _____ get off the bus.
(私はどこでバスを降りたらよいか彼にたずねました)
- (5) I don't know _____ meet Mr. Smith.
(私はいつスミス氏に会ったらよいかわかりません)
- (6) Tom showed me _____ swim. (トムは私に泳ぎ方を教えてくれました)
- (7) Our teacher told us _____ books _____ read for the examination.
(先生は私たちに試験のために何の本を読んだらよいか教えてくれました)
- (8) That nurse will show you _____ go next.
(あの看護婦さんは次にどこへ行ったらよいかあなたに教えてくれるでしょう)
- (9) Do you know _____ make Chinese food?
(あなたは中華料理の作り方を知っていますか)
- (10) She didn't know _____ give him. (彼女は彼に何をあげたらよいかわかりませんでした)

- ▶(3)の「どちらのバス」は which を形容詞として用い、which bus と表します。(7)の「何の本」は what を形容詞として用い、what books と表しなさい。

次に、形式主語や形式目的語と不定詞について考えてみましょう。

2. It is ~ to ... など

「泳ぐことは楽しい」という文は、英語ではどう表しますか。それは、

It is fun to swim. と表します。

この文の主語 It は「それは」とは訳しません。It は to swim(泳ぐこと)を指しています。〈It is ~ to ...〉で「…することは～だ」という言い方になります。この文は、

To swim is fun. のように不定詞 to swim で文を始めて表すこともできます。しかし、

To play baseball is fun. (野球をすることは楽しい) のように、主語が長くなると、落ち着きが悪いですね。こういう場合は、It で文を始めて、

It is fun to play baseball. としたほうがスッキリした言い方になります。では、

I found it difficult to speak English. という文はどう訳したらいいでしょうね。それは、「私は英語を話すことはむずかしいということがわかりました」と訳します。この文での it も「それは」という意味ではありません。it は to speak English(英語を話すこと)を指しています。

トレーニング

2 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) It is fun to skate.
- (2) It is hard to cook a turkey.
- (3) It is fun to play tennis.
- (4) It is a lot of fun to swim in a river.
.....
- (5) It was quite easy to skate on that lake.
.....
- (6) It is very hard to sing on the stage.
.....
- (7) It is a pity to miss that concert.
.....
- (8) It seems a pity to miss this chance to visit Paris now.
.....
- (9) I thought it unnecessary to talk to that man.
.....
- (10) She found it impossible to finish that work in a week.
.....
- (11) Kathy found it impossible to finish the work without his help.
.....
- (12) He makes it a rule to study English for an hour every day.
.....

▶(8)の It seems ～ は「～のように思われる」という意味です。

3. It is ～ for — to … など

「泳ぐことは楽しい」という文は、英語では

It is fun to swim. と表しましたね。では

「私にとって泳ぐことは楽しい」という文は、英語ではどう表したらいいでしょう。

to swim の前に for me を用いて

It is fun for me to swim. と表せばいいですよ。このように、不定詞(ここでは to swim)の前に <for —> を用いて不定詞の意味上の主語を表すことがあります。

トレーニング

3 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) It is fun for me to cook.

(2) It is easy for Jiro to speak English.

(3) It was easy for me to write that report last week.

(4) It is necessary for her to study French this year.

(5) It was difficult for him to answer that question in class today.

(6) It is quite a surprise for me to see you here.

〔東洋大改題〕

(7) It is time for him to go to bed.

(8) We should get a desk for our daughter to use at home.

▶(7)の It は「時」を表します。

4. It is ~ of — to … など

「彼がこの本を読むことはたやすいことです」という文は、英語では

It is easy for him to read this book.

と表しましたね。では、「あなたが私を手伝ってくれるとはご親切ありがとうございます」という文は英語ではどう表したらいいでしょう。次の文の()内を補ってみなさい。

It is kind () () to help me.

正解は It is kind (of) (you) to help me. と of you を用います。kind(親切的な)などのように人の性質を表す形容詞が用いられると for — でなく of — が用いられますよ。

トレーニング

4 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) It is kind of you to say that.

(2) It was nice of him to show me the way to the station.

(3) It is wise of her to save a little money each month.

(4) It is very good of you to invite me.

(5) It was careless of Kate to leave her umbrella on the bus.

〔東北学院大改題〕

(6) How stupid of me to make such a mistake!

▶(6)では of me の後ろに it is が省略されていると考えましょう。

5 次の各組の文がほぼ同じ内容を表すようにイの文を完成しなさい。

(1) ア You are very nice to drive me home.

イ _____ is very nice _____ you _____ drive me home.
(私を家まで車で送ってくださるとはご親切とてもありがとう)

(2) ア To learn French is necessary for you.

イ _____ is necessary _____ you _____ learn French.
(あなたにとってフランス語を習うことは必要です)

(3) ア You are kind to help me with my homework.

イ _____ is kind _____ you _____ help me with my homework.
(私の宿題を手伝ってくれるとはご親切ありがとうございます)

(4) ア He was careless to leave his camera on the train.

イ _____ was careless _____ him _____ leave his camera on the train.
(列車にカメラを忘れるなんて彼は不注意でした)

5. want ～ to … など

I want to sing. は「私は歌いたい」という意味でしたね。では、

I want him to sing. という文はどういう意味かわかりますか。それは、「私は彼に歌ってほしい」という意味です。<want ～ to …>で「～に…してほしい」という言い方になります。

want のかわりに tell, ask, expect などの動詞を用いて次のように言うことができます。

I told him to come. (私は彼に来るように言いました)

I asked him to come. (私は彼に来るように頼みました)

I expect him to come. (私は彼が来ることを期待します)

トレーニング

6 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) I want him to help me. _____
 - (2) My mother told me to clean my room.

 - (3) She asked me to help her with her homework.

 - (4) I expect him to succeed in business.

 - (5) We want you to come to the party tomorrow.

 - (6) I asked him to make a speech at the wedding.

 - (7) He told me to work harder. _____
 - (8) My father expects me to do my best in the examination.

 - (9) She asked them to keep off the grass.

 - (10) My doctor advised me to take more exercise.

 - (11) He allowed me to use his car. _____
 - (12) The government requested him to attend the ceremony.

- ▶ (9) keep off the grass 「芝生にはいらない」 (10) advise ～ to … 「～に…するように忠告する」 (11) allow ～ to … は「～が…するのを許す」 (12) request ～ to … は「～に…するように依頼する」

次に too ～ to … の表現について学習します。

6. too ~ to ... の表現

I am too old to swim so fast. という文は、どう訳したらよいかわかりますか。それは、
「私は年をとりすぎていてそんなに速く泳げません」と訳しますよ。

too ~ to ... は「...するには～すぎる」つまり「～すぎて...できない」という否定の意味を表します。

I am too old to swim so fast. という文は、

I am so old that I cannot swim so fast. と言いかえることができます。

トレーニング

7 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) He is too young to travel alone.

(2) Bob was too tired to work.

(3) It is too cold to swim.

(4) It was too late to catch the last train.

(5) That bird is too little to fly.

(6) That river is too dangerous to swim in.

(7) She was too tired to walk any longer.

(8) This stone is too heavy to lift.

(9) That tea was too hot to drink at once.

(10) His questions were too difficult to answer easily.

▶(3)の It は天候、(4)の It は時間を表します。

8 次の各組の文が同じ内容になるように、イの文を完成させなさい。

(1) ア They are so tired that they cannot go out today.

イ They are _____ tired _____ out today.

(彼らはきょうつかれすぎていて外出できません)

(2) ア It is so cold that we cannot swim today.

イ It is _____ cold _____ today. (きょうは寒すぎて泳げません)

(3) ア That tea is so hot that I cannot drink it yet.

イ That tea is _____ hot _____ yet. (そのお茶は熱すぎてまだ飲めません)

(4) ア That stone was so heavy that we could not lift it.

イ That stone was _____ heavy _____.

(その石は重すぎて持ち上げられませんでした)

7. ... enough to ~ の表現

It is warm enough to swim. という文はどう訳すと思いますか。それは「泳ぐのに十分な暖かさです[十分暖かいので泳げます]」と訳します。

to swim は不定詞<to+動詞の原形>ですが、enough といっしょに用いられて「泳ぐのに十分…」という意味を表しています。… enough to ~ で「～するのに十分…」という言い方になりますよ。では

He was kind enough to help me. という文はどう訳したらよいでしょうね。直訳すると、「彼は私を手伝ってくれるほど十分親切でした」となりますが、「彼は親切にも私を手伝ってくれました」と訳すと自然な日本語になります。

トレーニング

9 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) She was rich enough to pay cash for the car.

(2) He was kind enough to take me to the station.

(3) He is old enough to travel alone by himself.

(4) Mr. Tanaka was rich enough to buy a yacht.

(5) Tom was kind enough to take us to the hospital in his car.

(6) That car is cheap enough for him to buy.

(7) She was smart enough to solve the problem quickly.

(8) She is not old enough to read that book.

不定詞を用いた表現にはいろいろありますね。少し休んだら次の発展トレーニングに進んでください。

① 次の英語を、日本語に直しなさい。

- (1) It is natural for human beings to make mistakes.

.....

- (2) I advised him to go to bed early.

.....
〔日本大改題〕

- (3) That sounds too good to be true.

.....
〔日本大改題〕

- (4) We encouraged him to take part in the game.

.....
〔日本大改題〕

- (5) It is a lot of fun to play with a small puppy.

.....
〔関西学院大改題〕

- (6) It is impossible for me to swim to that island from here.

.....
〔東洋大改題〕

- (7) He was kind enough to show me the way.

.....
〔実践女子大改題〕

- (8) In the long run it pays to buy high quality products.

.....
〔都留文科大改題〕

- (9) My mother told me to keep my room clean.

.....
〔名城大改題〕

- (10) It's always easy to find faults with others.

.....
〔共通一次改題〕

- (11) It was generous of you to offer to help us.

.....
〔熊本商科大改題〕

- (12) That man was kind enough to show us around the city.

.....
〔龍谷大改題〕

- (13) Today is hot enough for us to swim in the ocean.

.....
〔日本大改題〕

- (14) I'm gradually realizing how hard it is to speak English well.

.....
〔東北工大改題〕

- (15) I would like you to come to our house for dinner sometime.

〔青山学院大改題〕

- (16) What is difficult for John to understand about that question?

- (17) It was very brave of him to jump into the river to save that child.

〔明治学院大改題〕

- (18) If I'm not sure how to pronounce a word, I always refer to a dictionary.

〔青山学院大改題〕

- (19) There isn't enough time for us to study for the upcoming test.

〔都留文科大改題〕

- (20) Who is it that you want to visit John?

〔共

通一次改題〕

- ▶ (1) human beings 「人間」 (4) encourage ~ to ... 「～に…するように勧める」 (5) puppy 「子犬」 (8) in the long run 「長い目で見れば、結局は」 pay 「利益になる、得がある」 high quality 「上等の、良質の」 (18) refer to a dictionary 「辞書を調べる、辞書を引く」 (19) upcoming = forthcoming 「今度の」 (20) want ~ to ... (～に…してほしい) の〈～〉にあたる部分をたずねる疑問文で、強調構文 it is ~ that が組みこまれている。

② 次の各組の文がほぼ同じ内容を表すように、イの文を完成させなさい。

- (1) ア This problem is easy for us to solve.

イ _____ is easy _____ us _____ this problem.

- (2) ア His honesty will not allow him to tell a lie.

イ He is _____ honest _____ tell a lie. 〔広島修道大改題〕

- (3) ア That boy is so smart that he can understand me.

イ That boy is _____ enough _____ me.

- (4) ア The diamond ring was so expensive that she could not buy it.

イ The diamond ring was _____ expensive for her _____.

さいごに、英作文の問題をして、きょうの学習をまとめましょう。

③ 次の日本語を英語で表しなさい。

- (1) 彼は泳ぎ方を知っています。

- (2) 野球をするのは楽しい。 (It で文を始めて)

- (3) 彼女がこの本を読むのはたやすいことです。 (It で文を始めて)

- (4) 彼は学校へ行ける年齢になっています。 (enough to ~ を用いて)

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。（答えはこのページの下）

- | | |
|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 primarily (副) | <input type="checkbox"/> 2 profit (名) |
| <input type="checkbox"/> 3 promise (動) | <input type="checkbox"/> 4 relation (名) |
| <input type="checkbox"/> 5 relationship (名) | <input type="checkbox"/> 6 relative (形) |
| <input type="checkbox"/> 7 remove (動) | <input type="checkbox"/> 8 retain (動) |
| <input type="checkbox"/> 9 struggle (動) | <input type="checkbox"/> 10 subtle (形) |
| <input type="checkbox"/> 11 survival (名) | <input type="checkbox"/> 12 technological (形) |
| <input type="checkbox"/> 13 tradition (名) | <input type="checkbox"/> 14 waste (動) |
| <input type="checkbox"/> 15 absorb (動) | <input type="checkbox"/> 16 adequate (形) |
| <input type="checkbox"/> 17 ancient (形) | <input type="checkbox"/> 18 authority (名) |
| <input type="checkbox"/> 19 career (名) | <input type="checkbox"/> 20 certain (形) |
| <input type="checkbox"/> 21 character (名) | <input type="checkbox"/> 22 civilization (名) |
| <input type="checkbox"/> 23 company (名) | <input type="checkbox"/> 24 decline (動) |
| <input type="checkbox"/> 25 defeat (動) | <input type="checkbox"/> 26 despise (動) |
| <input type="checkbox"/> 27 difference (名) | <input type="checkbox"/> 28 direct (形) |
| <input type="checkbox"/> 29 disappear (動) | <input type="checkbox"/> 30 discourage (動) |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。（答えはこのページの下）

- ☐ 1 That man is _____ my brother _____ my father.
(あの男の人は私の兄でも父でもありません)
- ☐ 2 _____ he knows who killed that woman.
(まちがいなく、彼はだれがその婦人を殺したのか知っています)
- ☐ 3 My teacher _____ many mistakes in my report.
(先生は私のレポートの中に多くの誤りを指摘しました)
- ☐ 4 His bad cold prevented him _____ to the party.
(ひどいかぜのために彼はパーティーに行けませんでした)
- ☐ 5 There are no problems in the project _____.
(今までのところはその計画に問題はありません)
- ☐ 6 He is _____ young _____ get a driver's license.
(彼は運転免許を取得するには若すぎます)

◇ 答え ◇

- I. 1 第一に、主として 2 利益、もうけ 3 約束する 4 関係 5 関係、つながり 6 相対的な、関係のある
 7 取り除く、移す 8 維持する、保つ 9 戦う、もがく 10 微妙な、かすかな 11 生き残り、残存
 12 科学技術の、工学の 13 伝統 14 浪費(消耗)する、むだにする 15 吸収する、(人を)夢中にする
 16 十分な、適切な 17 昔の、古代の 18 権力、権威 19 生涯、職業 20 ある～、確信している
 21 特徴、性格 22 文明 23 会社、仲間 24 傾く、衰える 25 打ち破る、負かす 26 軽べつする
 27 違い、相違 28 まっすぐの、直接の 29 消える 30 落胆させる、～の勇気を失わせる
- II. 1 neither, nor 2 No, doubt [For, sure] 3 pointed, out 4 from, going 5 so, far 6 too, to

第9日

不定詞(3)

きょうは不定詞の学習の3回目です。不定詞の否定や受け身そして be to ～などを中心に学習していきます。リラックスしてどうぞ。

1. 不定詞の否定と受け身

I tried to sleep. は「私はねむろうとしました」という意味ですね。では「私は笑わないように(努力)しました」という文は、英語ではどう表すと思いますか。それは、

I tried not to laugh. と表します。to laugh など不定詞の意味を否定するには **not to laugh** など to ～の前に not を用います。では、

I hate to be teased. という文はどう訳したらいいでしょうね。be teased は「からかわれる」という受け身の意味を表しますよ。ですから「私はからかわれるのが大きらいです」と訳します。teased は tease の過去分詞です。〈be+過去分詞〉ときたら受け身でしたね。to be は不定詞で **to be teased** は「からかわれること」という意味を表すのです。不定詞の受け身は〈to be+過去分詞〉の形で表されます。

トレーニング

1 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) I tried not to laugh during his lecture.

(2) I promised not to be late again.

(3) He decided not to tell a lie again.

(4) I advised him not to drink too much.

(5) I told them not to make any noise in the library.

(6) The doctor advised me not to smoke.

(7) He hates to be treated childishly.

(8) I hate to be interrupted while reading.

▶(8) interrupt 「妨げる, じゃまする」

次は be to ～のいろいろな意味について学習します。

2. be to ~

He is to come here tonight. という文はどう訳しますか。「彼は今晚ここに来ることになっています」と訳しますよ。to come は不定詞<to+動詞の原形>ですが、is to come と be (is, am, are など)と不定詞が組むと「～することになっている」という予定を表すことがあります。

Everyone is to attend that meeting. という文はどう訳したらよいでしょうね。is to attend を「出席しなければならない」というように訳すとよいですよ。つまり「だれもがその会議に出席しなければなりません」と訳します。be to ~ は「～しなければならない」という義務や命令を表すことがあります。

Not a soul was to be seen on the beach. という文はどう訳すと思いますか。「浜へには人1人見えなかった[見られなかった]」と訳します。to be seen は不定詞の受け身です。was to be seen は「見られることができた」というほどの意味を表しています。be to ~ は「～できる」という可能の意味を表すことがあります。

さいごに、**He was to die for the murder of his friend.** という文はどう訳したらいいか、わかりますか。「彼は友人の謀殺によって死ぬ運命にありました」と訳します。was to die は「死ぬ運命にあった」という意味です。be to ~ は「～する運命にある」という意味を表すこともあります。

トレーニング

2 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) They are to arrive in Tokyo today.

(2) We are to meet at the park tomorrow.

(3) He is to retire from the company next month.

(4) They are to get married next month.

(5) The baseball game is to take place next week.

(6) You are not to break the school rules.

(7) You are to go to the post office first before you do the other errands.

(8) Traffic rules are to be obeyed by all drivers.

(9) Her ring was nowhere to be found.

(10) After the accident she was never to walk again.

(11) Once his wife died, he was never to be happy again.

▶(3) retire from ~ 「～を退職する」 (5) take place 「開催される」 (7) errand 「使い, 用事」 (8) obey 「従う, 守る」

いかがでしたか。be to ～ の訳し方は文脈によっていろいろくふうして訳せるようにしておきましょう。

3. 不定詞と時制

He seems to have been poor all his life. という文はどう訳したらよいでしょう。「彼は生涯貧乏だったらしい」と訳します。to have been は完了不定詞です。have been の been は過去分詞ですよ。完了不定詞が現在形の動詞(ここでは seems)のあとにくると、不定詞の表す内容が現在より前であることを表します。この文は

It seems that he was poor all his life. と言いかえることができます。

He seemed to have been poor all his life. という文はどう訳しますか。それは「彼は生涯貧乏であつたらしかった」と訳します。to have been は完了不定詞です。完了不定詞が過去形の動詞(ここでは seemed)のあとにくると、不定詞の表す内容がそのときより前であることを表します。この文は

It seemed that he had been poor all his life. と言いかえることができます。

He seems to be enjoying his stay in Australia. という文はどう訳しますか。be enjoying は「楽しんでいる」という意味です。ですからこの文全体は、「彼はオーストラリアでの滞在を楽しんでいるようです」と訳します。不定詞の進行形は to be enjoying など<to+be+～ing>で表されますよ。

トレーニング

3 次の各組の文がほぼ同じ内容を表すように、イの文を完成させなさい。

- (1) ア It seems that he was sick.
イ He seems _____ sick. (彼は病気だったらしい)
- (2) ア It seemed that he had been happy in America.
イ He seemed _____ happy in America.
(彼はアメリカでは幸せであつたらしかった)
- (3) ア It appears that she was rich all her life.
イ She appears _____ rich all her life. (彼女は生涯金持ちだったらしい)
- (4) ア It appeared that his story had been made up.
イ His story appeared _____ made up. (彼の話はでっちあげらしかった)
- (5) ア It appears that he is studying very hard.
イ He appears _____ very hard.
(彼はとても一生懸命に勉強しているらしい)

4 次の英文を日本語に訳しなさい。

- (1) He seems to have forgotten his promise.

- (2) He seemed to have been late for work.

- (3) I am sorry to have kept you waiting so long.

〔日本大改題〕

(4) He seemed to have made a very bad impression on them.

(5) She seems to be doing very well in her school work.

不定詞の時制についてはこれでだいじょうぶですね。

4. hoped to have ～ など

I hoped to have seen you at the concert. という文はどのような意味を表すかわかりますか。それは「私はコンサートであなたに会いたかったのですが[会えませんでした]」という意味を表します。**to have seen** は完了不定詞ですね。hope の過去形 hoped に完了不定詞が続くと、「～したかったのに～できませんでした」という実現しなかった過去を表す文になります。

hoped のほか、wished, wanted, intended, expected のうしろに続く完了不定詞も実現しなかった過去を表す文になります。

トレーニング

5 次の英文を日本語に訳しなさい。

(1) I hoped to have finished the work by now.

(2) He wished to have stayed longer.

(3) Jane wanted to have stayed longer.

(4) He intended to have gone to the concert yesterday.

(5) She expected to have seen him at the picnic.

(6) I intended to have written to you earlier.

次に to だけが残った不定詞について学習しましょう。

5. to だけが残った不定詞

You can go if you want to go. (もしあなたが行きたいのなら、行ってもいいです) という文では、1 語省略することができます。どこかわかりますか。それは want to go の go です。これは、前にある can go の go の反復なので省略してもかまわないのです。

go を省略して、**You can go if you want to.** としても文の内容ははっきりしていますね。to go など不定詞<to+動詞の原形>の動詞の原形以下は、その内容が明らかなきに限り省略することができます。

トレーニング

6 例にならい、次の文の省略できる部分を省いた文を書きなさい。

例 **You can use my car if you want to use it.**

⇒ You can use my car if you want to.

(もし私の車を使いたければ、使っていいですよ)

(1) **She had to go though she didn't want to go.**

⇒

(行きたくなかったけれども、彼女は行かなければなりませんでした)

(2) **She had to see her teacher though she didn't want to see him.**

⇒

(会いたくなかったけれども、彼女は先生に会わなければなりませんでした)

(3) **He intended to lock the door, but he forgot to lock it.**

⇒

(彼はドアにかぎをかけるつもりだったのですが、かけ忘れました)

(4) **They expected to visit Rome, but they didn't have time to visit it.**

⇒

(彼らはローマをおとずれようと思っていたのですが、その時間がありませんでした)

(5) **I will help you whenever you want me to help you.**

⇒

(あなたが助けてほしいときにはいつでも助けてあげましょう)

6. be difficult to ～ など

English is difficult to learn. という文はどう訳しますか。それは「英語は学ぶのがむずかしい」と訳します。

to learn は不定詞<to+動詞の原形>ですが、is difficult のうしろに用いられると「学ぶのがむずかしい」という意味になります。be difficult to ～ で「～するのがむずかしい」という言い方になります。この文は

It is difficult to learn English. と言いかえることができますよ。

トレーニング

7 例にならい, it is を用いない文に書きかえなさい。

例 It is difficult to speak Chinese.

⇒ Chinese is difficult to speak.

(中国語は話すのがむずかしい)

(1) It is difficult to please that man.

⇒ That man is

(あの男の人は喜ばせるのがむずかしい)

(2) It is difficult to get along with him.

⇒ He is

(彼とうまくやっていくのはむずかしい)

(3) It is easy to use this typewriter.

⇒ This typewriter is

(このタイプライターは使いやすい)

(4) It is easy to remember this song.

⇒ This song is (この歌は覚えやすい)

(5) It is difficult to memorize a long speech.

⇒ A long speech is

(長いスピーチは覚えるのがむずかしい)

▶(3)と(4)は be easy to ~ (～するのがやさしい, しやすい)の表現。

次に come to ~ などの表現を学習しましょう。

7. come to ~ など

I came to know him better after a while. という文はどう訳したらいいでしょうね。それは「私はしばらくして彼をもっとよく知るようになりました」と訳しますよ。

to know は不定詞<to+動詞の原形>ですね。come と不定詞が組んだ表現 come to ~ は「～するようになる」という言い方になることがあります。

come のほか get, grow, learn などの動詞に不定詞<to+動詞の原形>がつくと「～の状態になる」という意味になることがあります。

トレーニング

8 次の英文を日本語に訳しなさい。

(1) You may soon come to like Japan.

(2) We got to know each other really well.

(3) They grew to like that girl very much.

(4) The antique turned out to be fake.

(5) He came to realize that life was not that easy.

(6) They will soon get to know the limit of their abilities.

(7) My child has learned to read his first book.

(8) Has she learned to swim yet?

▶(1)の may は「～かもしれない」と訳すといいですよ。(4) fake 「にせの」

次は to be sure などの不定詞を用いた慣用表現について学習します。

8. to be sure など

To be sure, he is right. という文はどう訳すと思いますか。To be は不定詞(to+動詞の原形)ですが、**To be sure** 全体で、「たしかに」という決まった意味を表しています。ですから、この文全体は「たしかに、彼は正しい」という意味になります。

to be sure のほかに、次のような表現を覚えましょう。

to begin with 「まず第一に」

to tell the truth 「実を言うと」

to be frank with you 「率直に言うと」

so to speak 「いわば」

トレーニング

⑨ 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) To be sure, it is a good idea.

(2) To tell the truth, I don't want to go with him.

(3) To be frank with you, I don't like her.

(4) To begin with, he is just a little child.

(5) She is, so to speak, a grown-up child.

▶(5) grown-up 「おとなになった、成人した」

to be sure などの決まった表現はそのまま覚えてしまいましょう。次は to を用いない不定詞について学習します。

9. hear him sing など

We heard him sing. という文は、どう訳しますか。それは、「私たちは彼が歌うのを聞きました」と訳します。

「だれだれが～するのを聞く」は〈hear+人+動詞の原形〉で表します。動詞の原形というのは sing のように変化しないもとの形をいいます。sings, singing, sang などと変化した形は原形ではありません。heard him sing の sing を原形不定詞と呼ぶことがあります。原形不定詞は次のような文でも使われることがあります。

see+人+原形不定詞 (=動詞の原形): 「～が…するのを見る」

make[let, have]+人+原形不定詞 (=動詞の原形): 「～に…させる」

We heard him sing. という文を受け身の文にかえると

He was heard to sing. (彼は歌うのを聞かれました)

となります。受け身の文では sing でなく to sing となることに注意しましょう。

トレーニング

10 次の英文を日本語に訳しなさい。

(1) I heard her sing for the first time.

(2) Jane let him use her car.

(3) I saw my son swim.

(4) He made us wait for a long time.

(5) He let me go to the baseball game alone.

(6) He had me type the letter.

(7) I have never heard him sing.

(8) We had them paint our house.

(9) She was heard to sing for the first time last month.

(10) The students were made to write a long composition at school.

ここで少し休けいしましょう。背伸びしたり、首を回したりすると、スッキリしますよ。
次は発展トレーニングです。

① 次の英語を日本語に直しなさい。

(1) I have never heard her scold her children.

(2) He is, so to speak, a walking dictionary.

〔中央大改題〕

(3) This telephone number is easy to remember.

〔東京電機

大改題〕

(4) Please be careful not to make such a mistake again.

〔中京大改題〕

(5) That work seems to have been done too quickly.

(6) He was seen to sneak out of his house late last night.

(7) The report was to be written in ink.

(8) We are to meet again on Sunday evening.

(9) The victim is thought to have taken a large quantity of poison by mistake.

〔立教大改題〕

(10) While working together, they came to respect each other's abilities.

〔龍谷大改題〕

(11) Learning to speak English can be enjoyable, though it takes time and effort.

〔名古屋経済大改題〕

(12) My parents encouraged me to be a doctor, but I didn't want to.

〔千葉商科大改題〕

(13) She has never been heard to complain.

〔名城大改題〕

(14) There is nothing to be embarrassed in owning up to your mistakes.

〔日本大改題〕

▶(6) sneak out of ～ 「～からこっそりと出て行く」 (9) victim 「被害者」 a large quantity of ～ 「多量の～」

② 書き出しに続けて、次の文を不定詞を用いた文に書きかえなさい。

- (1) It seems that he forgot his promise.

⇒ He seems
(彼は約束を忘れたらしい)

- (2) It is easy to solve this problem.

⇒ This problem is
(この問題は解くのがかんたんです)

- (3) It is difficult to convince my grandmother of anything.

⇒ My grandmother is
(私の祖母はどんなことについてであれ納得させるのがむずかしい)

- (4) It is dangerous to swim in this river.

⇒ This river is (この川は泳ぐのに危ない)

- (5) I decided that I would not attend the meeting.

⇒ I decided
(私はその会合に出席しない決心をしました)

さいごに英作文を考えてみましょう。

③ 次の日本語を英語に直しなさい。

- (1) この歌は覚えやすい。 (This song で文を始めて)

.....

- (2) 中国語は話すのがむずかしい。 (Chinese で文を始めて)

.....

- (3) 私は彼が歌うのを1度も聞いたことがありません。

.....

▶(3)の「1度も聞いたことがない」は現在完了 have never heard を用いる。

これできょうの不定詞の学習は終わりです。次ページには頻度順単語・イディオムのチェックがあります。ぜひやっておきなさい。

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。 (答えはこのページの下)

- | | |
|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 domestic (形) | <input type="checkbox"/> 2 enable (動) |
| <input type="checkbox"/> 3 end (名) | <input type="checkbox"/> 4 eventually (副) |
| <input type="checkbox"/> 5 exactly (副) | <input type="checkbox"/> 6 exchange (動) |
| <input type="checkbox"/> 7 expect (動) | <input type="checkbox"/> 8 face (動) |
| <input type="checkbox"/> 9 failure (名) | <input type="checkbox"/> 10 generally (副) |
| <input type="checkbox"/> 11 generation (名) | <input type="checkbox"/> 12 imagine (動) |
| <input type="checkbox"/> 13 industrial (形) | <input type="checkbox"/> 14 inhabitant (名) |
| <input type="checkbox"/> 15 limit (名) | <input type="checkbox"/> 16 merely (副) |
| <input type="checkbox"/> 17 movement (名) | <input type="checkbox"/> 18 nervous (形) |
| <input type="checkbox"/> 19 obviously (副) | <input type="checkbox"/> 20 occasionally (副) |
| <input type="checkbox"/> 21 oppose (動) | <input type="checkbox"/> 22 overcome (動) |
| <input type="checkbox"/> 23 possess (動) | <input type="checkbox"/> 24 possibility (名) |
| <input type="checkbox"/> 25 react (動) | <input type="checkbox"/> 26 reflect (動) |
| <input type="checkbox"/> 27 religious (形) | <input type="checkbox"/> 28 reply (動) |
| <input type="checkbox"/> 29 responsibility (名) | <input type="checkbox"/> 30 result (名) |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。 (答えはこのページの下)

- ☐ 1 There were dogs _____ cats in that house.
(その家には猫だけでなく犬もいました)
- ☐ 2 She received _____ money in the lottery.
(彼女はくじでかなり多くのお金を受け取りました)
- ☐ 3 I can't _____ you _____ stay out so late every night.
(私はあなたが毎晩遅くまで外出していることを許すことはできません)
- ☐ 4 You will be successful _____ you believe in yourself.
(自分自身を信じているかぎりあなたは成功するでしょう)
- ☐ 5 I don't trust him _____.
(私は彼を少しも信頼していません)
- ☐ 6 Mr. Jones _____ run in the coming election.
(ジョーンズ氏は来たるべき選挙に立候補するものと考えられています)

◇ 答え ◇

- I. 1 家庭の, 国内の 2 ~に...できるようにする, 可能にする 3 端, 終わり 4 結局は, 最後は
 5 正確に, まさに 6 交換する, 両替する 7 ~を予期する, 期待する 8 直面する 9 失敗
 10 ふつう, 一般に 11 世代 12 想像する 13 産業の, 工業の 14 住民, 居住者 15 限界, 制限 16 単に
 17 運動, 動作 18 神経質な 19 明らかに 20 ときおり 21 ~に反抗[敵対]する, 反対する
 22 ~を圧倒する, ~を克服する 23 所有する 24 可能性, 見込み 25 反応する 26 反射する, 熟考する
 27 宗教上の, 宗教的な 28 答える, 返事をする 29 責任 30 結果
- II. 1 as, well, as 2 a, great, deal, of 3 allow, to 4 as, long, as 5 at, all 6 is, supposed, to

第10日

学習日 月 日

演習問題(1)

きょうは、第1日～第9日で学習したことについて演習問題をします。ここではとくに重要な問題を取り上げています。落ち着いて、ていねいに学習を進めましょう。まちがえたところや、あやふやなところがあったら、第1日～第9日にもどって復習し、もう1度この演習問題にチャレンジしなさい。

スタート！

① 次の英文を日本語に訳しなさい。

(1) The train for Tokyo leaves at eight tonight.

(2) I will go shopping when the rain stops.

(3) The population of Japan is increasing.

(4) He's getting married in June and I'm going to attend his wedding.

(5) She is always reading.

(6) Jack came late because it was raining.

(7) You will soon feel better after you take this medicine.

(8) Is Mr. Johnson going to leave Tokyo this afternoon?

(9) The concert was about to start when we got to the theater.

(10) The president is to make a statement on TV at six o'clock.

(11) I will be studying at that college next year.

(12) My grandfather has been dead for five years.

(13) Five years have passed since he died.

(14) Have you written your letter yet?

(15) I haven't read today's newspaper yet.

(16) Our teacher has been to Europe several times.

- (17) Have you ever climbed Mt. Fuji?
.....
- (18) He has been making a speech since two o'clock.
.....
- (19) I will have visited Nara twice if I go again next week.
.....
- (20) I knew that movie very well because I had read the story before.
.....
- (21) The baby had been crying for an hour when his mother came home.
.....
- (22) I thought the radio would cost about ten dollars.
.....
- (23) He said that he had arrived two days before.
.....
- (24) Tell me who broke the window.
.....
- (25) He asked me if I liked chocolate.
.....
- (26) My name is Kenji, but my friends call me Ken.
.....
- (27) She kept the wine cool for the party.
.....
- (28) I have never heard him sing.
.....
- (29) He could not make himself understood in English.
.....
- (30) John had his watch stolen.
.....
- (31) I must have my hair cut soon.
.....
- (32) Her work was to look after little children.
.....
- (33) To stay up late every day is bad for your health.
.....
- (34) We have nothing particular to do on the weekend.
.....
- (35) We had many things to talk about at the meeting.
.....
- (36) I ran to the station in order to catch the the last train.
.....
- (37) We ran so as to be in time for the bus.
.....
- (38) To hear Mr. Tanaka speak English, you would take him for a native speaker.
.....

- (39) My grandmother lived to be nearly ninety.

- (40) It's always easy to find faults with others.

- (41) It is natural for human beings to make mistakes.

- (42) It was careless of Kate to leave her umbrella on the bus.

- (43) Kathy found it impossible to finish the work without his help.

- (44) My doctor advised me to take more exercise.

- (45) His questions were too difficult to answer easily.

- (46) Tom was kind enough to take us to the hospital in his car.

- (47) I told them not to make any noise in the library.

- (48) I hate to be interrupted while reading.

- (49) I am sorry to have kept you waiting so long.

- (50) The report was to be written in ink.

- (51) While working together, they came to respect each other's abilities.

- (52) She is, so to speak, a walking dictionary.

次に英作文の演習問題をします。落ち着いてやりなさい。

② 次の日本語を英語に直しなさい。

- (1) 彼は 6 年間東京に住んでいます。(現在完了を用いて)
.....
- (2) 私が駅に到着したとき、列車はすでに発車していました。
When I arrived at the station,
- (3) 私がメリーをたずねたとき、彼女は 1 週間病気でした。
When I visited Mary,
- (4) 私は彼は学生であると思いました。
I thought that
- (5) 私は彼はすぐに来るだろうと思いました。
I thought that
- (6) 私は(私の)家の前で車が 1 台止まるのを聞きました。
.....
- (7) 私たちは昨年(私たちの)家のペンキ塗りをしてもらいました。(動詞 have の過去形 had を用いて)
.....
- (8) 私は医者になる決心をしました。(動詞 decide, be を用いて)
.....
- (9) 私に何か冷たい飲み物をください。(動詞 Give で文を始めて)
.....
- (10) 京都にはおとずれるべき場所がたくさんあります。(There are で文を始めて)
.....
- (11) 彼は泳ぎ方を知っています。
.....
- (12) 彼女がこの本を読むのはたやすいことです。(It で文を始めて)
.....
- (13) この歌は覚えやすい。(This song で文を始めて)
.....
- (14) 私は彼が歌うのを 1 度も聞いたことがありません。
.....
- (15) 彼女はあまりにつかれていて働けませんでした。(too ~ to ... を用いて)
.....

英作文はいかがでしたか。答え合わせをきちんとしておきなさい。間違えたところは赤で直して、覚えてしまいうまで何度も練習しなさい。

③ 下線部の動詞を過去形にしたときの正しい文を完成しなさい。

- (1) I think that he will be back by noon.
I _____ that he _____ back by noon.
(私は彼はお昼までにもどるだろうと思いました)
- (2) I think that she will pass the examination.
I _____ that she _____ the examination.
(私は彼女は試験に合格するだろうと思いました)
- (3) I know that he can play soccer well.
I _____ that he _____ soccer well.
(私は彼がじょうずにサッカーができるのを知っていました)
- (4) She speaks so fast that I cannot understand her.
She _____ so fast that I _____ her.
(彼女はとても速く話したので、私は彼女の言うことが理解できませんでした)
- (5) They say that his story may be true.
They _____ that his story _____ true.
(彼らは彼の話は本当かもしれないと言いました)
- (6) I think that he may finish his work soon.
I _____ that he _____ his work soon.
(私は彼はすぐに仕事を終えるかもしれないと思いました)
- (7) I know that she has lived in Tokyo for two years.
I _____ that she _____ in Tokyo for two years.
(私は彼女が東京に2年間住んでいるのを知っていました)
- (8) That lady says that she has never seen that man before.
That lady _____ that she _____ never _____ that man before.
(その婦人はかつてあの男の人に一度も会ったことがないと言いました)
- (9) I know that she died of cancer.
I _____ that she _____ of cancer. (私は彼女がガンで死んだのを知っていました)

④ 下線部を過去形にして、全文を書きかえなさい。

例 I think that he is a college student.

I thought that he was a college student.

(私は彼は大学生であると思いました)

- (1) He says that he is able to swim well.

(彼はじょうずに泳げると言いました)

- (2) He says that each player has to do his best in team sports.

(彼は団体競技ではひとりひとりの選手が全力をつくさなければならないと言いました)

- (3) We will clean our room before they visit us.

(彼らが訪れる前に、私たちは部屋をきれいにするつもりでした)

- (4) Susan can speak several languages though she is still young.

(スーザンはまだ若いのに数カ国語を話すことができました)

- (5) I can't get in my house because I have lost my key.

(私はかぎをなくしたので家にはいることができませんでした)

- (6) I know that she knitted that sweater by herself.

(私は彼女が自分でそのセーターを編んだのを知っていました)

- (7) I think that man must be Bob's father.

(私はその人がボブの父親にちがいないと思いました)

- (8) She says there are fifty states in the United States at present.

(彼女は現在アメリカ合衆国には 50 の州があると言いました)

- (9) We learn at school that Columbus discovered America in 1492.

(私たちは学校でコロンブスは 1492 年にアメリカを発見したと習いました)

5 例を参考にしながら、次の文を間接話法に改めなさい。

例 ア She says, "I am going to the concert."

イ She says that she is going to the concert.

(彼女はコンサートへ行くところだと言っています)

- (1) ア He says, "I have never caught a cold in my life."

イ

(彼は生まれてから一度もかぜをひいたことがないと言っています)

- (2) ア My grandmother often says, "Nothing is as terrible as a fire."

イ

(祖母は火事ほど怖いものはないとよく言います)

- (3) ア They said, "It is very cold outside."

イ

(彼らは外はとても寒いと言いました)

- (4) ア He said, "I have four people in my family."

イ

(彼は家族は 4 人ですと言いました)

- (5) ア My father said to me, "You should start thinking about your future."

イ

(父は私に将来について考え始めるべきだと言いました)

- (6) ア He said, "I was mistaken."

イ

(彼は自分のまちがいだったと言いました) [慶應大改題]

- (7) ア She said to me, "I have passed the entrance examination."
 イ
 (彼女は私に入学試験に合格したと言いました)
- 例 ア He said, "I met her yesterday."
 イ He said that he had met her the day before[the previous day].
 (彼は前の日に彼女に会ったと言いました)
- (8) ア He said, "I am going to leave Tokyo tomorrow."
 イ
 (彼は次の日に東京をたつつもりだと言いました) [神奈川大改題]
- (9) ア Mary said, "I dropped in at my aunt's yesterday."
 イ
 (メアリーは前の日におばさんの家に立ち寄ったと言いました)
- 例 ア Jane said to me, "Do you like music?"
 イ Jane asked me if I liked music.
 (ジェーンは私に音楽が好きかどうかたずねました)
- (10) ア I said to him, "Are you busy?"
 イ
 (私は彼に忙しいかどうかたずねました)
- (11) ア She said to me, "Have you ever been abroad?"
 イ
 (彼女は私にかつて海外へ出たことがあるかどうかたずねました) [関東学院大改題]
- (12) ア He said to me, "Where are you going?"
 イ
 (彼は私にどこへ行くのかとたずねました)
- (13) ア We said to our teacher, "Why do we have to study English so hard?"
 イ
 (私たちは先生にどうしてこんなに一生懸命英語を勉強しなければならないのですかとたずねました)
- 例 ア She said to me, "Hurry up!"
 イ She told me to hurry up.
 (彼女は私に急ぐようにと言いました)
- (14) ア Mr. Jones said to his son, "Come home early every Friday."
 イ
 (ジョーンズ氏は彼の息子に毎週金曜日は早く家に帰ってくるようにと言いました) [津田塾大改題]
- (15) ア He said to me, "Use a pencil."
 イ
 (彼は私に鉛筆を使うようにと言いました) [大東文化大改題]
- (16) ア I said to the children, "Don't play on the street."
 イ
 (私は子どもたちに通りで遊ばないようにと言いました)

⑥ 下線部を不定詞を用いた表現に書きかえなさい。

- (1) He decided that he would go to New York.
⇒ He decided _____
(彼はニューヨークへ行こうと決心しました)
- (2) They agreed that they would help us.
⇒ They agreed _____
(彼らは私たちを手伝ってくれることに同意しました)
- (3) I expect that I will see you in Tokyo.
⇒ I expect _____
(私はあなたに東京で会えると思います)
- (4) We are looking for someone who can help us.
⇒ We are looking for someone _____
(私たちは私たちを手伝ってくれる人をだれかがしています)
- (5) John was the last person that left the party.
⇒ John was the last person _____
(ジョンはパーティーから帰った最後の人でした)
- (6) He has a lot of friends whom he can talk with.
⇒ He has a lot of friends _____
(彼には話し合える友だちがたくさんいます)
- (7) I saved a lot of money for the purpose of buying a house.
⇒ I saved a lot of money _____
(私は家を買うためにお金をたくさん貯金しました)
- (8) I have a lot of work that I have to do today.
⇒ I have a lot of work _____
(私にはきょうしなければならない仕事がたくさんあります)

⑦ 次の各組の文がほぼ同じ内容を表すようにイの文を完成しなさい。

- (1) ア You are very nice to drive me home.
イ _____ is very nice _____ you _____ drive me home.
(私を家まで車で送ってくださるとはご親切たいへんありがとうございます)
- (2) ア To learn French is necessary for you.
イ _____ is necessary _____ you _____ learn French.
(あなたにとってフランス語を習うことは必要です)
- (3) ア You are kind to help me with my homework.
イ _____ is kind _____ you _____ help me with my homework.
(私の宿題を手伝ってくれるとはご親切ありがとうございます)
- (4) ア He was careless to leave his camera on the train.
イ _____ was careless _____ him _____ leave his camera on the train.
(列車にカメラを忘れるなんて彼は不注意でした)
- (5) ア He had the kindness to carry my baggage.
イ _____ was kind _____ him _____ carry my baggage.
(彼は親切にも私のかばんを運んでくれました)

⑧ 次の各組の文がほぼ同じ内容を表すように、イの文を完成させなさい。

- (1) ア This problem is easy for us to solve.
イ _____ is easy _____ us _____ this problem.
- (2) ア His honesty will not allow him to tell a lie.
イ He is _____ honest _____ tell a lie. (広島修道大改題)
- (3) ア That boy is so smart that he can understand me.
イ That boy is _____ enough _____ me.
- (4) ア The diamond ring was so expensive that she could not buy it.
イ The diamond ring was _____ expensive for her _____.
- (5) ア She was very tired and couldn't work any longer last night.
イ She was _____ tired _____ work any longer last night.

⑨ 次の各組の文がほぼ同じ内容を表すように、イの文を完成させなさい。

- (1) ア It seems that he was sick.
イ He seems _____ sick. (彼は病気だったらしい)
- (2) ア It seemed that he had been happy in America.
イ He seemed _____ happy in America.
(彼はアメリカでは幸せであったらしかった)
- (3) ア It appears that she was rich all her life.
イ She appears _____ rich all her life. (彼女は生涯金持ちだったらしい)
- (4) ア It appeared that his story had been made up.
イ His story appeared _____ made up. (彼の話はでっちあげらしかった)
- (5) ア It appears that he is studying very hard.
イ He appears _____ very hard.
(彼はとても一生懸命に勉強しているらしい)
- (6) ア It is thought that he was a great scholar in that field.
イ He is thought _____ a great scholar in that field.
(彼はその分野では偉大な学者であったと考えられています)

⑩ 例にならい、it is を用いない文に書きかえなさい。

例 It is difficult to speak Chinese.

⇒ Chinese is difficult to speak.

(中国語は話すのがむずかしい)

(1) It is difficult to please that man.

⇒ That man is _____

(あの男の人は喜ばせるのがむずかしい)

(2) It is difficult to get along with him.

⇒ He is _____

(彼とうまくやっていくのはむずかしい)

- (3) It is easy to use this typewriter.
⇒ This typewriter is
(このタイプライターは使いやすい)
- (4) It is easy to remember this song.
⇒ This song is (この歌は覚えやすい)
- (5) It is difficult to memorize a long speech.
⇒ A long speech is
(長いスピーチは暗記するのがむずかしい)
- (6) It is difficult to learn English.
⇒ English is (英語は学ぶのがむずかしい)

11 書き出しに続けて、次の文を不定詞を用いた文に書きかえなさい。

- (1) It seems that he forgot his promise.
⇒ He seems
(彼は約束を忘れたらしい)
- (2) It is easy to solve this problem.
⇒ This problem is
(この問題は解くのがかんたんです)
- (3) It is difficult to convince my grandmother of anything.
⇒ My grandmother is
(私の祖母はどんなことについてであれ納得させるのがむずかしい)
- (4) It is dangerous to swim in this river.
⇒ This river is (この川は泳ぐのに危ない)
- (5) I decided that I would not attend the meeting.
⇒ I decided
(私はその会合に出席しない決心をしました)
- (6) I was surprised when I heard of his sudden death.
⇒ I was surprised
(私は彼の突然の死を聞いておどろきました)

これできょうの学習はおしまいです。答え合わせをしてみましょう。

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。(答えはこのページの下)

- | | |
|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 role (名) | <input type="checkbox"/> 2 search (名) |
| <input type="checkbox"/> 3 similar (形) | <input type="checkbox"/> 4 society (名) |
| <input type="checkbox"/> 5 space (名) | <input type="checkbox"/> 6 statement (名) |
| <input type="checkbox"/> 7 system (名) | <input type="checkbox"/> 8 whereas (接) |
| <input type="checkbox"/> 9 widespread (形) | <input type="checkbox"/> 10 worth (形) |
| <input type="checkbox"/> 11 adjust (動) | <input type="checkbox"/> 12 apply (動) |
| <input type="checkbox"/> 13 appreciate (動) | <input type="checkbox"/> 14 article (名) |
| <input type="checkbox"/> 15 assumption (名) | <input type="checkbox"/> 16 attend (動) |
| <input type="checkbox"/> 17 base (名) | <input type="checkbox"/> 18 bear (動) |
| <input type="checkbox"/> 19 behave (動) | <input type="checkbox"/> 20 board (動) |
| <input type="checkbox"/> 21 bother (動) | <input type="checkbox"/> 22 broad (形) |
| <input type="checkbox"/> 23 charge (動) | <input type="checkbox"/> 24 combination (名) |
| <input type="checkbox"/> 25 combine (動) | <input type="checkbox"/> 26 comfort (名) |
| <input type="checkbox"/> 27 concentrate (動) | <input type="checkbox"/> 28 conduct (動) |
| <input type="checkbox"/> 29 conflict (名) | <input type="checkbox"/> 30 consciousness (名) |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。(答えはこのページの下)

- ☐ 1 I _____ help you whenever you need it.
(あなたが必要とするときはいつでも、私は喜んであなたを助けます)
- ☐ 2 He had to _____ some difficulties to finish that work.
(彼はその仕事を終えるために困難に対処しなければなりませんでした)
- ☐ 3 The meeting _____ all afternoon.
(会合は午後ずっと続きました)
- ☐ 4 _____, you are not qualified for this job.
(まず第一に、あなたはこの仕事に適していません)
- ☐ 5 _____, people like most animals.
(が言いさえすれば、人々はほとんどの動物が好きです)
- ☐ 6 I am practicing hard, _____ I can play well at the recital.
(私は一生懸命に練習しているので、リサイタルではうまく演奏することができます)

◇ 答え ◇

- I. 1 役割 2 探求, 搜索 3 同じような, 類似の 4 社会, 共同体 5 空間, 宇宙 6 陳述, 声明
 7 組織, 体系 8 ところが 9 広範囲にある, 広くいわれた 10 ~の値うちがある 11 調節する, 整える
 12 申し込む, 適用する 13 ~の真価を認める, ありがたく思う 14 記事, 物品 15 仮定
 16 出席する, 注意する 17 基部, 基礎 18 耐える, ~を運ぶ 19 ふるまう
 20 (バス, 飛行機などに)乗る, ~を下宿させる 21 うるさがらせる, 当惑させる 22 広い
 23 (料金などを)課する, 請求する 24 結合, 組み合わせ 25 結合する, 合同させる 26 なぐさめ, 安楽
 27 集中する, 専念する 28 ふるまう, 誘導する 29 闘争, 対立 30 意識, 自覚
- II. 1 am, willing, to 2 cope, with 3 went, on 4 In, the, first, place 5 On, the, whole 6 so, that

きょうは、動名詞について学習します。動名詞は動詞の変化した形ですが、名詞の働きをします。不定詞のように複雑な語法ではありません。途中でやめてしまわないで、一気に学習を進めなさい。

1. like ~ing など動詞の後ろに用いる動名詞

「私はスキーをすることが好きです」という文は、英語では **I like skiing.** と表します。日本語の「スキーをすること」が、英語では **skiing** と表されています。

「私はコーヒーが好きです」という文は、英語では **I like coffee.** と言いましたね。この文の名詞 **coffee**(コーヒー)と同じように、**I like skiing.** という文の **skiing**(スキーをすること)も名詞の働きをしていますよ。

skiing は「スキーをする」という意味の動詞 **ski** に **ing** のついた形です。

ski(スキーをする) → **skiing**(スキーをすること)

このように、動詞に **ing** がついて名詞の働きをすることばは動名詞^{どうめいし}と呼ばれます。

では、**I enjoyed skiing yesterday.** という文はどう訳しますか。直訳すると、「私は昨日スキーをすることを楽しみました」となります。しかし、「私は昨日スキーをして楽しみました」と訳した方が、自然な日本語になりますよ。

動名詞を用いた表現として次のものを覚えておきなさい。

like ~ing (～するのが好きだ) / **enjoy ~ing** (～して楽しむ) / **begin ~ing** (～し始める)

start ~ing (～し始める) / **give up ~ing** (～するのをやめる) / **stop ~ing** (～するのをやめる)

avoid ~ing (～するのを避ける) / **keep on ~ing** (～し続ける) / **go on ~ing** (～し続ける)

need ~ing (～する必要がある) / **Do you mind ~ing?** (～してくれませんか)

Would you mind ~ing? (～してくださいませんか)

トレーニング

1 動名詞(下線部)に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) I like playing tennis.
- (2) He doesn't like writing letters.
- (3) I enjoyed swimming yesterday.
- (4) John began studying Japanese last year.
.....
- (5) It started snowing in Hokkaido yesterday.
.....
- (6) My father gave up smoking last year.
- (7) It stopped raining after three days.
- (8) Our house needs painting.
- (9) Do you mind opening the door?

- (10) Would you mind shutting the window?
- (11) You should avoid borrowing money from others too often.
.....
- (12) He kept on swimming for three hours during the morning.
.....
- (13) Those women went on talking for two hours on the phone this morning.
.....

▶(3)の swimming は swim(泳ぐ)の ing 形です。最後の文字 m を重ねて ing をつけることに注意下さい。(9)の Do you mind ~ing? も(10)の Would you mind ~ing? も依頼の文です。Do you mind ~ing? よりも Would you mind ~ing? のほうがていねいな依頼の文になります。

動名詞について、さらにくわしく練習しましょう。

2. 「～することは…」 「…は～することだ」などの文

Skiing is fun. という文はどう訳しますか。skiing は「スキーをすること」という意味を表す動名詞ですから、この文全体の訳は「スキーをすることは楽しい」となります。skiing など動名詞は、文の初めに用いられて「～することは…」という文を作ります。

では、**One of my hobbies is skiing.** という文はどう訳したらいいでしょうね。それは「私の趣味の1つはスキーをすることです」と訳します。かんたんですね。skiing など動名詞は「…は～することです」という文を作るのにも用いられます。

トレーニング

2 動名詞(下線部)に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) Swimming is fun.
- (2) Speaking English is difficult for me.
- (3) Getting up early is good for the health.
- (4) Giving up smoking is very difficult for some people.
.....
- (5) One of my hobbies is collecting stamps.
.....
- (6) Bob's latest hobby is going to movies.
- (7) My greatest pleasure is traveling.

▶(2)の主語は Speaking English, (3)の主語は Getting up early, (4)の主語は Giving up smoking になります。(3)の getting は get の ing 形です。get up は「起きる」という言い方ですよ。(6)の latest は「最近の」という意味です。

次は、動名詞が前置詞の後ろに用いられる場合について練習しましょう。

3. 前置詞の後ろに用いられる動名詞

「私はスキーをするのが好きです」という文は、I like skiing. と表しましたね。この文は、like を用いないで、次のように表すことができます。

I am fond of skiing.

be fond of ~ing は「～するのが好きだ」という言い方になります。動名詞 skiing は of など前置詞の後ろに用いられることがあります。

このほか、前置詞といっしょに用いられる動名詞には次のようなものがあります。

be interested in ~ing (～するのに興味がある) / **look forward to ~ing** (～するのを楽しみに待つ)

be accustomed to ~ing (～するのに慣れている)

では、**I always become nervous in speaking English.** という文はどう訳したらよいでしょうね。それは「英語を話すときに私はいつも神経質になります[あがってしまいます]」と訳しますよ。in speaking English は when I speak English と言いかえられます。

トレーニング

3 動名詞(下線部)に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) Bob is fond of playing chess.
- (2) My elder brother is very fond of listening to jazz.
.....
- (3) I am interested in learning Chinese.
- (4) We are looking forward to seeing Beth this summer.
.....
- (5) I am accustomed to working at night.
.....
- (6) My grandmother is not accustomed to traveling by plane.
.....
- (7) She is proud of being a good cook.
.....
- (8) I always make spelling mistakes in writing French.
.....
- (9) She went out of the room without saying a word.
.....
- (10) My father went to work without having breakfast this morning.
.....

▶(2)の be very fond of ~ing は「～するのがとても好きだ」という意味です。like ~ing very much と同じです。(7)の be proud of being ~ は「～であることを誇りに思う」という言い方です。(8)の spelling も動名詞ですが、ここでは spelling mistakes で「つづり上のあやまり」という意味です。(9)と(10)の without ~ing は「～することなしに」つまり「～しないで」という言い方です。

4. remember ~ing と remember to ~

次の2つの文はどう訳しますか。

I began studying French last year.

I began to study French last year.

どちらも、「私は昨年フランス語を勉強し始めました」と訳します。

では、次の2つの文はどう訳すでしょうね。

I remember telephoning him.

Please remember to telephone him.

I remember telephoning him. の文は「私は彼に電話をしたことを覚えています」と訳します。Please remember to telephone him. の文は「どうぞ彼に電話することを覚えていてください[忘れずに彼に電話をしてください]」と訳しますよ。

remember の後ろに動名詞(telephoning)を用いると、「～したことを覚えている」という意味になりますが、不定詞(to telephone)を用いると、「～することを覚えている[忘れずに～する]」という言い方になります。このように、動名詞を用いたときと不定詞を用いたときで意味が異なるものには次のものがあります。

try ~ing (ためしに～してみる)

forget ~ing (～したことを忘れる)

try to ~ (～しようとする)

forget to ~ (～することを忘れる)

トレーニング

4 ()内の動詞を動名詞または不定詞の形にして、正しい英文を完成しなさい。

例 I remember mailing your letters. (mail)

(私はあなたの手紙を投函したことを覚えています)

- (1) Please remember _____ my letters. (mail)
(どうぞ忘れずに私の手紙を投函してください)
- (2) He tried _____ to her, but she didn't answer. (write)
(彼はためしに彼女に手紙を書いてみましたが、彼女は返事をしませんでした)
- (3) Try _____ earlier, because you are always late. (come)
(あなたはいつもおくれますから、もっと早く来るようにしなさい)
- (4) I'll never forget _____ the President's speech on that day. (hear)
(私はあの日大統領の演説を聞いたことをけっして忘れません)
- (5) Don't forget _____ this document. (sign)
(この文書に署名することを忘れないでください)
- (6) I distinctly remember _____ him your message when he phoned. (give)
(彼が電話をかけてきたとき、私は彼にあなたの伝言を伝えたことをはっきり覚えています)
- (7) I remember _____ that man before, but I don't know where. (see)
(私は前にあの男の人に会った覚えがありますが、どこで会ったか知りません)

▶(5)の sign は「署名する」という意味の動詞です。「署名、サイン」という意味の名詞は signature といいます。

動名詞と不定詞についてさらにくわしく学習しましょう。

5. 動名詞か不定詞か

「私たちはきのうあの山に登って楽しみました」という文は、英語では、

We enjoyed climbing that mountain yesterday. と動名詞 climbing を用いて表します。この文では、動名詞のかわりに不定詞 (to climb) を用いることはできません。

「私たちはエベレストに登ることを決心しました」という文は、英語では、

We decided to climb Mt. Everest. と不定詞 (to climb) を用いて表します。この文では、不定詞のかわりに動名詞 (climbing) を用いることはできません。

後ろに動名詞しか用いられない動詞には次のものがあります。

enjoy ~ing (～して楽しむ) / **finish ~ing** (～するのを終える) / **mind ~ing** (～するのをいやがる)

avoid ~ing (～するのを避ける) / **practice ~ing** (～するのを練習する)

一方、後ろに不定詞しか用いられない動詞には次のものがあります。

decide to ~ (～することを決心する) / **expect to ~** (～することを期待する〔予期する〕)

hope to ~ (～したいと思う) / **plan to ~** (～することを計画する)

promise to ~ (～することを約束する) / **wish to ~** (～したいと思う)

トレーニング

5 () 内の動詞を動名詞または不定詞の形にして、正しい英文を完成しなさい。

例 I enjoyed skiing last Sunday. (ski)

(私はこの前の日曜日にスキーをして楽しみました)

- (1) I have just finished _____ this book. (read)
(私はちょうどこの本を読み終えたところです)
- (2) We decided _____ a new house. (buy) (私たちは新しい家を買う決心をしました)
- (3) I hope _____ you again soon. (see) (私は近いうちにまたあなたに会いたいと思います)
- (4) He practices _____ for two hours every day. (swim)
(彼は毎日2時間泳ぐのを練習します)
- (5) I am planning _____ abroad this summer. (go)
(私は今年の夏に外国へ行くことを計画しています)
- (6) You should avoid _____ things from others too often. (borrow)
(あなたはあまりひんばんに他人から物を借りるのは避けるべきです)
- (7) I don't mind _____ late tonight. (work) (私は今夜おそく働くのはかまいません)
- (8) We expect _____ from Jane soon. (hear)
(私たちは近いうちにジェーンから便りがあると思います)
- (9) My mother promised _____ me a new dress. (make)
(母は私に新しい服を作ってくれることを約束しました)
- (10) I enjoyed _____ with John about music last night. (talk)
(私は昨夜ジョンと音楽の話をして楽しみました)
- (11) She wishes _____ an actress in the future. (become)
(彼女は将来女優になりたいと思っています)
- (12) That publisher decided _____ out a large French-Japanese dictionary next year. (bring)
(その出版社は来年大きな仏和辞典を出版することに決めました)

- (13) Would you mind _____ me your name? (tell)

(私にあなたの名前を教えてくださいませんか)

- (14) That little boy stopped _____ when he saw his mother. (cry)

(あの幼い少年は自分の母親を見ると泣くのをやめました)

▶(14) はできましたか。「～するのをやめる」は stop ～ing で表します。stop to ～ と後ろに不定詞を用いると意味がずいぶんかわってしまいますよ。 例 That little boy stopped to cry when he saw his mother. (あの幼い少年は自分の母親を見ると立ちどまって泣きました)

動名詞と不定詞の用い方の違いについては、もうだいじょうぶですね。

6. a watering can などの動名詞を用いた表現

That old man watering the flowers is my grandfather. はどういう意味の文かわかりますか。それは、「花に水をやっているあの老人は私の祖父です」という意味です。この文での watering は「水をやっている」という意味を表す現在分詞です。ところが、**a watering can** というのは何を意味するかわかりますか。「水をやっているかん」という意味ではありませんよ。これは、「水をやるためのかん」つまり「じょうろ」のことです。a watering can の watering は、動名詞です。動名詞は「～するための」という意味を表すことができます。

トレーニング

- 6 例にならい、動名詞を用いた表現を作りなさい。また、その意味も書きなさい。

例 a machine which is used for sewing

⇒ a sewing machine (意味) ミシン

- (1) a machine which is used for washing clothes ⇒ _____
(意味) _____

- (2) a cabinet which is used for keeping files in ⇒ _____
(意味) _____

- (3) a room which is used for reading ⇒ _____
(意味) _____

- (4) glasses which are used for reading only ⇒ _____
(意味) _____

▶(2)は外来語として用いられることが多いので、意味はカタカナで表してかまいません。

次に、意味の上で動名詞の主語になるものを考えてみましょう。

7. 動名詞の前に用いる his や him など

「私は彼があまりにもしばしば電話をかけてくるのが好きではありません」という文は、英語で

I don't like his telephoning me so often. または

I don't like him telephoning me so often. と表します。

「彼が電話をかけてくること」というのは his telephoning または him telephoning と言えばいいのですよ。「…が～すること」は動名詞(～ing)の前に、his や him など代名詞の所有格か目的格を用います。

「私はトムがあまりにもしばしば電話をかけてくるのが好きではありません」という文ならば、

I don't like Tom telephoning me so often. または

I don't like Tom's telephoning me so often. と表します。

トレーニング

7 動名詞（下線部）に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) I don't like him smoking so much.

(2) I don't remember her giving me back my book.

(3) Our teacher doesn't like us being late for school.

(4) His drinking bothers us a lot.

(5) We are looking forward to Nancy coming to the party.

(6) Do you mind me smoking?

(7) Do you mind my opening the window?

(8) There is no chance of my going abroad this year.

▶(4)の bothers は「悩ませる」という意味の動詞 bother に s のついた形です。(6)と(7)の文は「～してもいいですか」という意味です。me や my がないと「～してくれませんか」という意味の文になりますから注意しなさい。

例 Do you mind opening the window? (窓を開けてくれませんか) (8)の chance of ～ は「～という機会」と訳します。

次は動名詞の否定、受け身、完了について練習します。

8. 動名詞の否定・受け身・完了

Not having breakfast is not good for your health. という文はどう訳しますか。Not having breakfast は、「朝食をたべないこと」という意味を表しますから、この文全体の訳は、「朝食をたべないのは(あなたの)健康に良くない」となります。

「～しないこと」という否定の表現は、not having などと動名詞の前に not を入れて表します。では、次の文はどう訳しますか。

I don't like being spoken to while reading.

この文は、「私は読書中に話しかけられるのが好きではありません」と訳します。spoken は speak(話す)の過去分詞でしたね。being spoken to で「話しかけられること」という受け身の表現になります。それでは

I regret having forgotten her birthday. という文はどう訳したらよいでしょう。それは、「私は彼女の誕生日を忘れてしまったことを後悔している」と訳します。having は have に ing のついた形、また forgotten は forget(忘れる)の過去分詞ですよ。〈have+過去分詞〉ときたら完了でしたね。〈having+過去分詞〉は「～してしまったこと、～したこと」という完了の表現になります。

トレーニング

8 動名詞（下線部）に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) I don't like being made fun of.
.....
- (2) That boy likes being read to by his grandmother.
.....
- (3) I don't like being asked to make a speech at weddings.
.....
- (4) She remembers being taken to that shrine as a child.
.....
- (5) Now I regret not having studied English when I was young.
.....
- (6) I quite understand your not agreeing with him.
.....
- (7) He admitted having broken that window two days ago.
.....
- (8) My husband can't stand our house not being kept clean.
.....

▶(4)の as a child は「子どものときに」という意味。(6)の agree with ～は「～に同意する」という意味。(8)の stand は「立つ」という意味ではありません。「我慢する」という意味です。

次に、動名詞について少し発展した問題を考えてみましょう。

① 次の英文を日本語に訳しなさい。

- (1) Those houses need repairing. _____
〔都留文科大〕
- (2) Biting one's nails is a bad habit. _____
〔成蹊大〕
- (3) I am looking forward to hearing from you soon.

- (4) I regretted spending so much money on trifles.

- (5) There is little possibility of his being promoted.

- (6) Looking after five children keeps me busy all the time.

- (7) She is proud of having been educated in France.

〔同志社女子大改題〕

▶(1)の repair は「修理する」 (2)の bite は「かむ」, nail は「つめ」 (3)の hear from ～ は「～から便りがある, ～から手紙をもらう」 (4)の trifles は「くだらないもの」 (5)の little possibility は「可能性がほとんどない」。being promoted の promoted は「昇進させる」という意味の動詞 promote の過去分詞。 (6)の文は直訳すると「～することとは私をいつもいそがしくしている」だが、「～するので私はいつもいそがしい」と訳すとよい。look after は「世話をする, 面倒を見る」

② ()内の語句を変化させて正しい文を作りなさい。

例 I don't like (he) (telephone) me so often.

⇒ I don't like his telephoning me so often. または

I don't like him telephoning me so often.

(私は彼があまりひんぱんに電話をかけてくるのが好きではありません)

- (1) I can't stand (he) (be) rude to me.

⇒

(私は彼が私に対して無作法であるのが我慢できません)

- (2) Do you remember (I) (tell) you that story?

⇒

(私があなたにその話を聞かせてあげたのを覚えていますか)

- (3) Do you mind (I) (shut) the window?

⇒

(私は窓を閉めてもいいですか)

- (4) Do you mind (we) (join) you on your trip?

⇒

(私たちはあなたたちの旅行に加わってもいいですか)

③ 下線部を動名詞を用いた表現に書きかえなさい。

例 Do you mind if I smoke ?

⇒ Do you mind my smoking ? または Do you mind me smoking ?

(私はタバコを吸ってもいいですか)

(1) Do you mind if I look at your photos ?

⇒

(私はあなたの写真を見てもいいですか) [鹿児島大]

(2) Do you mind if I open the window ?

⇒

(私は窓を開けてもいいですか)

(3) Do you mind if I use your telephone ?

⇒

(私はあなたの電話を使ってもいいですか)

例 He is proud that he is a good actor.

⇒ He is proud of being a good actor.

(彼は演技がうまいことを誇りに思っています)

(4) He is proud that he has a smart daughter.

⇒

(彼は賢い娘をもっていることを誇りに思っています) [学習院大改題]

(5) His family was proud that he had won first prize in the speech contest.

⇒

(彼の家族は彼がスピーチコンテスト[弁論大会]で1等賞をとったことを誇りに思っていました)

④ 動名詞を用いて、次の日本語を英語に直しなさい。

(1) 私の趣味は切手を集めることです。

(2) 彼は生^{なま}の魚を食べるのに慣れていません。(be accustomed to ~ を用いて)

(3) 今年、私が外国に行く可能性は[まったく]ありません。(There is で文を始めて)

(4) 私の父は結婚式でスピーチをするように頼まれるのが好きではありません。

これで動名詞の学習はおしまいです。

次のページには頻度順単語・イディオムのチェックがあります。ぜひやっておきなさい。

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。(答えはこのページの下)

- | | |
|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 consideration (名) | <input type="checkbox"/> 2 contact (名) |
| <input type="checkbox"/> 3 contribute (動) | <input type="checkbox"/> 4 convince (動) |
| <input type="checkbox"/> 5 crisis (名) | <input type="checkbox"/> 6 deny (動) |
| <input type="checkbox"/> 7 deserve (動) | <input type="checkbox"/> 8 distinction (名) |
| <input type="checkbox"/> 9 disturb (動) | <input type="checkbox"/> 10 doubt (動) |
| <input type="checkbox"/> 11 encounter (動) | <input type="checkbox"/> 12 entire (形) |
| <input type="checkbox"/> 13 escape (動) | <input type="checkbox"/> 14 excuse (動) |
| <input type="checkbox"/> 15 exercise (名) | <input type="checkbox"/> 16 explain (動) |
| <input type="checkbox"/> 17 financial (形) | <input type="checkbox"/> 18 flood (名) |
| <input type="checkbox"/> 19 fully (副) | <input type="checkbox"/> 20 fundamental (形) |
| <input type="checkbox"/> 21 furthermore (副) | <input type="checkbox"/> 22 gain (動) |
| <input type="checkbox"/> 23 grasp (動) | <input type="checkbox"/> 24 ignorance (名) |
| <input type="checkbox"/> 25 immediately (副) | <input type="checkbox"/> 26 institution (名) |
| <input type="checkbox"/> 27 interpret (動) | <input type="checkbox"/> 28 judgment (名) |
| <input type="checkbox"/> 29 last (動) | <input type="checkbox"/> 30 leisure (名) |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。(答えはこのページの下)

- ☐ 1 His business _____ the effects of the oil shock.
(彼の仕事はオイルショックの影響を受けました)
- ☐ 2 John passed _____ lengthy _____ examinations for university.
(ジョンは大学入学のための長い一連の試験に合格しました)
- ☐ 3 I like baseball, and football _____.
(私は野球が好きです、そしてフットボールもまた好きです)
- ☐ 4 She can speak _____ English _____ French very well.
(彼女は英語もフランス語もとてもじょうずに話すことができます)
- ☐ 5 By _____ hard work, he finally achieved success.
(熱心な仕事によって、彼はついに成功を成し遂げました)
- ☐ 6 By _____ should you try to contact him at home.
(けっしてあなたは彼の家に連絡をとろうとしてはいけません)

◇答え◇

- I. 1 考慮, 熟考 2 触れ合い, 接触 3 寄付する, 寄与する 4 確信させる, 悟らせる 5 危機
6 否定する, 拒む 7 受けるに足る, 値する 8 区別, 差異 9 乱す, じゃまをする 10 ~を疑う
11 遭遇する 12 全体の, 完全な 13 脱出する, のがれる 14 許す, 弁解する 15 運動, 練習 16 説明する
17 財政上の, 金融上の 18 洪水, 激しい流出〔流入〕 19 十分に, 完全に 20 根本的な, 基本的な
21 なおその上に 22 ~を得る, 増す 23 つかむ, 把握する 24 無知 25 すぐに, ただちに 26 制度
27 解釈する, 通訳する 28 判断(力), 裁判 29 続く 30 余暇
- II. 1 suffered, from 2 a, series, of 3 as, well 4 both, and 5 means, of 6 no, means

第 12 日	文法事項のまとめ 学習日 月 日
	分詞と分詞構文

きょうは、分詞と分詞構文について学習します。分詞には現在分詞と過去分詞があります。現在分詞は進行形の文に用いられましたね。また、過去分詞は完了形の文に用いられましたね。ここでは、分詞の使い方についてさらにくわしく理解を深めましょう。

1. 現在分詞「～している…」

「背の高い少年」というのは、英語では **a tall boy** と言いましたね。名詞 boy の前に「背の高い」という意味を表す形容詞 tall を用いますよ。では、

「プールで泳いでいるあの少年」というのは、英語ではどう表したらよいでしょう。それは、

that boy swimming in the pool と表しますよ。

「泳いでいる」は swimming を用いて表します。これは動詞 swim(泳ぐ)の変化した形で、現在分詞と呼ばれます。現在分詞は動詞の語尾に ing のついた形です。swim はさいごの文字 m を重ねて ing をつけるので注意しなければなりません。*現在分詞は、たとえば He is swimming in the pool now. (彼は今プールで泳いでいます[泳いでいるところです]) というような進行形の文に用いられましたね。ところで、次の英語と日本語をよく見てみましょう。

that boy swimming in the pool

プールで泳いでいるあの少年

swimming in the pool 全体が名詞 boy を後ろから説明しています。日本語では「プールで泳いでいる」が前から「少年」を説明するので、英語と日本語では順序が逆になります。このように、swimming in the pool など現在分詞は「～している…」という意味を表して、後ろから名詞を説明することがあります。

現在分詞(～ing)が1語で名詞を説明するときには、名詞の前に置かれるので注意してください。

例 **That drowning man is crying for help.**

(あのおぼれている男の人は助けを求めて叫んでいます)

drowning は「おぼれている」という意味を表して前から名詞 man を説明しています。

トレーニング

1 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) I know that boy swimming in the pool.

(2) I know that man sleeping in the waiting room.

(3) I know the children playing in the park.

(4) I know that woman knitting on the bench.

- (5) I know that boy standing on the corner.

 (6) I know that man sleeping on the bench over there.

 (7) Do you know the girl standing in front of that store?

 (8) He is, so to speak, a walking dictionary.

 (9) We saw astonishing acts at the circus.

 (10) An escalator is, so to speak, a walking staircase.

 (11) He is worried about the increasing expenses.

 (12) He has a growing interest in music.

 (13) Those flying fish are beautiful.

 (14) Have you ever seen a falling star?

▶(2) waiting room「待合室」 (8)～(14)は～ing が名詞の前に用いられています。(13)の flying fish は「トビウオ」、(14)の falling star は「流星」という決まった意味を表します。

次は、過去分詞が名詞を説明する用法を学習します。

2. 過去分詞「～された…」

This is a car made in Germany. という文は、どう訳したらよいですか。「これはドイツで作られた車です[ドイツ製の車です]」と訳しますよ。made は動詞 make(作る)の過去分詞です。made in Germany は「ドイツで作られた」という意味を表して名詞 car を説明していますよ。

a car made in Germany

ドイツで作られた車

このように、made など過去分詞は「～された…」という意味を表して、後ろから名詞を説明することがあります。

ただし、次のように過去分詞が1語で名詞を説明するときには、名詞の前に置かれます。

a boiled egg : ゆでられた卵 ⇔ ゆで卵

a baked apple : 焼かれたリンゴ ⇔ 焼きリンゴ

*過去分詞は、たとえば This car was made in Germany. (この車はドイツで作られました) のような受け身の文に用いられます。過去分詞は「～された」という意味を表しますよ。

トレーニング

2 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) These are watches made in Switzerland.

(2) Tom is wearing a watch made in Japan.

(3) I want to buy a handbag made in France for my mother.

(4) Nancy wore glasses made in Germany.

(5) John received a letter written in French.

(6) Keiko was reading a letter written in English.

(7) This is a young elephant caught in Africa.

(8) I have a brother named Ken.

(9) He has a cat called Tama.

(10) I lost the watch given to me by my uncle.

(11) I remember an interesting story told to me by my mother.

(12) He cut his finger on a piece of the broken glass.

(13) This is a boiled egg for my lunch box.

(14) I had a baked apple for dessert last night.

(15) She is looking for her lost watch.

(16) My father bought a used car last month.

(17) She had a boiled egg for breakfast this morning.

(18) She is frantically looking for her lost cat.

▶(3) want to ~「～したい」 (4) glasses「メガネ」 (8) named Ken「健と名づけられた ⇒ 健という名前の」 (14)と(17)の had は「食べた」という意味です。 (15)と(18)の look for ~ は「～をさがす」という意味です。 (16) a used car「使われた車 ⇒ 中古車」 (18) frantically「気も狂わんばかりに、半狂乱で」

できましたか。現在分詞(～ing)が「～している…」という意味を表すのに対して、過去分詞は「～された…」という意味を表すのでしたね。

3. 動詞 lie などと組む分詞

次の文はどう訳すかわかりますか。

She lay crying on her bed. * lay は lie(横になる)の過去形

We sat talking for an hour.

We kept (on) waiting for a long time.

上からそれぞれ、「彼女はベッドに横になって泣いていました」、「私たちは1時間すわって話していました」、「私たちは長いあいだ待ち続けました」と訳します。～ing は動詞 lie, sit, keep などと組んで、次のような表現を作ります。

lie ~ing : 「横になって～している, ～しながら横になっている」

sit ~ing : 「すわって～している, ～しながらすわっている」

keep (on) ~ing : 「～し続ける」

lie などの動詞は、次のように、過去分詞と組んで用いられることがありますよ。

例 **He lay drunk on the street.** (彼は酔って路上に横たわっていました)

トレーニング

3 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) Nancy lay crying on her bed.

(2) We sat eating on the bench.

(3) The dog kept barking all night.

(4) The lake lies frozen all the year round.

(5) She sat knitting a pair of gloves.

(6) He stood singing alone on the stage.

(7) She kept on talking on the phone for a long time.

(8) The letter lay forgotten in the desk for many years.

(9) That clock stayed broken for a long time.

(10) He got arrested for speeding last night.

▶ (3) bark 「ほえる」 (4) frozen は freeze の過去分詞。 (10) の〈get + 過去分詞〉は「～される」という受け身を表します。受け身には「～される」という動作の受け身と「～されている」という状態の受け身がありますが、動作の受け身であることをはっきりさせるには be のかわりに get などを用いることがあります。

4. 目的語の補語になる分詞

次の文は訳せますか。

I heard the birds singing.

I have heard this song sung in French before.

それぞれ、「私は鳥がさえずっているのを聞きました」、「私はこの歌がフランス語で歌われるのを前に聞いたことがあります」と訳します。singing など現在分詞は「～が…しているのを聞く」という文に用いられることがあります。また sung など過去分詞は「～が…されるのを聞く」という文に用いられることがあります。では、次の文はどう訳しますか。

We must have our house painted.

I had my bicycle stolen yesterday.

それぞれ、「私たちは家にペンキを塗ってもらわなければなりません」、「私は昨日自転車を盗まれました」と訳します。painted や stolen など過去分詞は「～してもらう」や「～される」という文に用いられることがあります。

トレーニング

4 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) We heard the birds singing in the trees.
- (2) I heard my name called in the hotel lobby.
.....
- (3) We must have our house repaired.
.....
- (4) John had his watch stolen.
.....
- (5) I saw him wearing glasses for the first time.
.....
- (6) We saw an old dog run over by a car.
.....
- (7) They have their eyes tested every year.
.....
- (8) He got his shirts washed by his mother.
.....
- (9) I felt myself suddenly pushed from behind.
.....
- (10) She had her bicycle stolen last night.
.....

▶(5) <see+目的語+～ing> 「～が…しているのを見る」。動詞 wear は服を着ているというだけでなく、メガネや時計やネックレスなどを身につけているときにも用いられます。(6)の run は過去分詞。<see+目的語+過去分詞>は「～が…されるのを見る」(8) <get+目的語+過去分詞>はここでは「～を…してもらう」という意味。<get+目的語+過去分詞>は「～を…された」という受け身の意味になることもあります。(9) feel oneself pushed 「からだが押されるのを感じる」

5. 現在分詞を用いた分詞構文

次の文は訳せますか。

Walking along the street, I met Tom.

Being sick, I stayed home all day.

Turning right, you will find the hospital.

Admitting what you say is right, I still doubt his answer.

My train leaves at two, arriving in Kyoto at five.

Walking along the street, I met Tom. は「通りを歩いていたとき、私はトムに会いました」という意味で、When I was walking along the street, I met Tom. と言いかえることができます。

Being sick, I stayed home all day. は「病気だったので、私は1日じゅう家にいました」という意味で、As I was sick, I stayed home all day. と言いかえることができます。

Turning right, you will find the hospital. は「右に曲がれば、その病院が見えるでしょう[その病院があります]」という意味で、If you turn right, you will find the hospital. と言いかえることができます。

Admitting what you say is right, I still doubt his answer. という文は「あなたの言うことは正しいと認めますが、私はまだ彼の答えを疑っています」という意味で、Although I admit what you say is right, I still doubt his answer. と言いかえることができます。

My train leaves at two, arriving in Kyoto at five. は「私の乗る列車は2時に出て、京都に5時に着きます」という意味で、My train leaves at two, and arrives in Kyoto at five. と言いかえることができます。

このように、現在分詞(～ing)を用いた文を分詞構文といい、時、理由、条件などを表します。

トレーニング

5 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) Walking in the park this morning, I met John.

(2) Arriving in the town yesterday, she went directly to her hotel.

(3) Being sick, she stayed home.

(4) Feeling very tired, I went to bed early last night.

(5) Living near the sea, I can swim every day in summer.

(6) Turning left, you will find the station.

(7) Taking this road, you will come to the hospital.

(8) Admitting what you say is right, I am still against the plan.

(9) Admitting what you say is logical, I still think you are wrong.

- (10) He left Osaka at one, reaching Tokyo at four.
-
- (11) She opened the present, taking out a beautiful vase.
-
- (12) While waiting for the bus, he was reading a book.
-
- (13) While cooking breakfast, my mother was singing.
-
- (14) Not knowing what to say, I was embarrassed.
-
- (15) Not receiving an answer, I wrote to him again.
-
- (16) Having eaten breakfast, they left for school.
-
- (17) Having finished his homework, he watched television.
-

▶(12)と(13)では～ingの前に接続詞 while が用いられていますね。「～しているあいだに、～しながら」という意味をはっきりさせるために while が用いられているのです。もう少し例を見てみましょう。 例 Though living next door to her, he doesn't know her name. (彼女の隣に住んでいるけれど、彼は彼女の名前を知りません) ただし、これらの文は Though (he is) living next door to her, ～などと接続詞のうしろに<主語+動詞>が省略されていると考えることもできます。(14)と(15)は～ingの前に not がついています。(14)は「何と言ったらよいかわからなかったので…」,(15)は「返事をもらわなかったので…」という否定の文になります。(16)と(17)のような<having+過去分詞>は完了形の分詞構文で、「～して(しまって)から」、「～してしまったので」という意味を表します。

6. 過去分詞を用いた分詞構文

次の文は、どう訳したらよいでしょう。

Scolded by his mother, he ran to his room.

この文は、「母親にしかられたので、彼は自分の部屋に走って行きました」という意味で、

As he was scolded by his mother, he ran to his room. などと言いかえることができます。

scolded は過去分詞です。過去分詞を用いて「しかられたので」などと受け身の意味を表す分詞構文を作ります。

トレーニング

⑥ 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) Surrounded by tall trees, our house receives little sunshine.
-
- (2) Horried at the sight of the accident, we could not speak.
-
- (3) Tired out from my work, I soon went to sleep.
-
- (4) Seen from a distance, that mountain looked like a man's face.
-

(5) Well acquainted with him, I invited him to the dinner.

(6) Overcome with fear, the child began to scream.

(7) Lost in thought, he would often sit without speaking for hours.

(8) Surrounded by the children, he told them a story.

▶(7) would 「(よく)～したものだ」

分詞構文についてさらに詳しく学習していきましょう。

7. It being fine ～ など

As we were sick, we stayed home all day. (病気だったので、私たちは1日じゅう家にいました)
という文を分詞構文で表すとどうなるでしょう。

Being sick, we stayed home all day.

と、be 動詞 were の ing 形 being で文を始めますよ。

では、As it was fine, we went on a hike. (天気が良かったので、私たちはハイキングに出かけました)
という文を分詞構文で表すとどうなると思いますか。

It being fine, we went on a hike.

と表します。Being fine, we went on a hike. としたのでは「天気」ではなく「私たち」が fine だったことになります。天気が良かったのですから being の前に It を用いなければなりません。

As we were sick, we stayed home all day. では、As ～ の中の主語 we と主節の主語 we が同じなので、Being で文を始めます。We being sick, we stayed home all day. と we を being の前に置く必要はありません。しかし、

As it was fine, we went on a hike. (天気が良かったので、私たちはハイキングに出かけました) では、As ～ の中の主語(it) と主節の主語(we)がちがっているのです、being の前に It を用いなければならぬのです。

このように「Aが～なのでBは…」などの分詞構文では「Aが」に当たる語を分詞の前に置かなければなりません。

トレーニング

7 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) It being Sunday, that store is closed.

(2) Her mother being sick, the daughter went to the party alone.

(3) The sun having set, the temperature began to drop.

(4) The weather having improved, they continued their climb up the mountain.

(5) Dinner finished, my elder brother went out.

(6) The classes ended, the students went to their club meetings.

▶(5)と(6)は過去分詞を用いた分詞構文。

8. **generally speaking** など

分詞構文のなかには、次のような決まり文句となっているものもあります。

Generally speaking, children are honest.

(一般的に言えば、子どもは正直です)

generally speaking は「一般的に言えば」という意味です。

次のような表現も定まった言い方です。このまま覚えるといいですよ。

frankly speaking (率直に言えば) / **strictly speaking** (厳密に言えば)

judging from ~ (～から判断すると)

トレーニング

8 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) Generally speaking, young girls are fond of talking.

(2) Frankly speaking, I am against your plan.

(3) Judging from her accent, she must be an Australian.

(4) Strictly speaking, this sentence is not grammatical.

▶(1) be fond of ~ing 「～するのが好きだ」 (3) must 「～にちがいない」

少し休んだら次の発展トレーニングに進みなさい。

① 次の英文を日本語に訳しなさい。

(1) My mother may know the girl standing in front of that store.

(2) I heard someone crying for help.

〔中京大改題〕

(3) I remember the pictures shown to us by our teacher.

(4) I bought a camera made in Japan for my friend's birthday present.

(5) Gold is a precious metal taken from the ground.

(6) The lake lay frozen for six months of the year.

(7) We saw the dog run over right in front of our house.

(8) John must have his hair cut soon.

(9) Jack has his car checked once a week.

(10) I can't have you wasting my time.

〔東邦大改題〕

(11) Being very hungry, we looked for a nearby restaurant.

(12) Taking this medicine, you will feel better.

(13) Opening the door, she heard her son crying.

(14) Waiting for the bus to come, they were standing in line.

(15) Writing a message on a piece of paper, he slipped it to me.

(16) Though living in Japan, Susan cannot speak Japanese.

(17) Delighted with the invitation, I attended the party.

(18) Taken by surprise, I was at a loss for words.

〔徳島大改題〕

▶(1) may 「～かもしれない」

② 次の文の分詞構文を完成させなさい。

- (1) If you turn left, you will find the post office.
⇒ _____, you will find the post office. (左へ曲がると、郵便局が見えます)
- (2) As I have little money, I cannot afford to eat at that restaurant.
⇒ _____, I cannot afford to eat at that restaurant.
(お金をほとんど持っていないので、私はあのレストランで食事をする余裕がありません)
- (3) We sang and danced together, and had a good time.
⇒ _____, we had a good time.
(いっしょに歌ったり踊ったりして、私たちは楽しく過ごしました) [東北学院大改題]
- (4) School is over and the children are going home.
⇒ _____, the children are going home.
(学校が終わって、子どもたちは家に帰るところです) [京都外国語大改題]
- (5) As I had seen him only once before, I didn't recognize him.
⇒ _____ only once before, I didn't recognize him.
(前に1度しか会ったことがなかったので、私は彼だとは気がつきませんでした) [京都外国語大改題]
- (6) Since this book is written in simple English, it will be easy for beginners.
⇒ _____, this book will be easy for beginners.
(やさしい英語で書かれているので、この本は初心者にとってやさしいでしょう) [名古屋大改題]
- (7) If it is seen at first glance, the garden resembles a miniature park.
⇒ _____, the garden resembles a miniature park.
(ひと目見ると、その庭は縮小模型の庭に似ています) [都留文科大改題]

▶(4)は being の前に school を用いる。(5)は完了の分詞構文になる。

さいごに英作文をして、きょうの学習をまとめましょう。

③ 次の日本語を英語に直しなさい。

- (1) 私はプールで泳いでいるあの少年を知っています。(～ing を用いて)
.....
- (2) 私たちは昨年家にペンキを塗ってもらいました。(動詞 have を用いて)
.....
- (3) 公園の中を歩いていたとき、私はジェーンに会いました。(分詞構文を用いて)
.....

次のページで単語やイディオムをチェックしたら、きょうはゆっくり休んでください。

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。(答えはこのページの下)

- | | |
|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 link (名) | <input type="checkbox"/> 2 manage (動) |
| <input type="checkbox"/> 3 mankind (名) | <input type="checkbox"/> 4 manufacture (名) |
| <input type="checkbox"/> 5 measure (名) | <input type="checkbox"/> 6 memory (名) |
| <input type="checkbox"/> 7 mind (動) | <input type="checkbox"/> 8 nature (名) |
| <input type="checkbox"/> 9 opposite (形) | <input type="checkbox"/> 10 passion (名) |
| <input type="checkbox"/> 11 path (名) | <input type="checkbox"/> 12 philosopher (名) |
| <input type="checkbox"/> 13 preserve (動) | <input type="checkbox"/> 14 pretend (動) |
| <input type="checkbox"/> 15 principle (名) | <input type="checkbox"/> 16 professional (形) |
| <input type="checkbox"/> 17 property (名) | <input type="checkbox"/> 18 protect (動) |
| <input type="checkbox"/> 19 race (名) | <input type="checkbox"/> 20 reaction (名) |
| <input type="checkbox"/> 21 remarkable (形) | <input type="checkbox"/> 22 repeat (動) |
| <input type="checkbox"/> 23 resist (動) | <input type="checkbox"/> 24 resource (名) |
| <input type="checkbox"/> 25 reward (名) | <input type="checkbox"/> 26 save (動) |
| <input type="checkbox"/> 27 security (名) | <input type="checkbox"/> 28 seriously (副) |
| <input type="checkbox"/> 29 simply (副) | <input type="checkbox"/> 30 slight (形) |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。(答えはこのページの下)

- ☐ 1 I don't _____ chocolates at all.
(私はまったくチョコレートが好きではありません)
- ☐ 2 Everyone _____ the success of the campaign.
(だれもがそのキャンペーンの成功に貢献しました)
- ☐ 3 What _____ is that terrible noise?
(いったいぜんたいあのひどい騒音はなんですか)
- ☐ 4 You ought _____ help your mother more.
(あなたはお母さんをもっと手伝うべきです)
- ☐ 5 Owing _____ his father's death, he wasn't in his office for a week.
(父親の死のために、彼は1週間会社にいませんでした)
- ☐ 6 They _____ all the food for the party.
(彼らはすべての食べ物をもその一隊に与えました)

◇ 答え ◇

- I. 1 (鎖の)輪, つながり 2 なんとかやっていく, どうにかして~する 3 人類, 男 4 製造[製作]
 5 量目, 程度 6 記憶(力), 思い出 7 気にかかる, いやがる 8 自然, 本質 9 向かい合った, 対立している
 10 情熱, 激昂 11 (踏まれてできた)道, 小道 12 哲学者 13 保存する, 保持する 14 ~のふりをする
 15 主義, 原理 16 (知的)職業の, くろうとの 17 財産, 所有物 18 ~を保護する, ~を守る
 19 人種, (生物の)種属 20 反応, 反作用 21 著しい, 注目すべき 22 繰り返す 23 抵抗する
 24 (通例複数形で)資源, 財源 25 報酬, 報い 26 救助する, たくわえる 27 安全, 無事 28 まじめに, 真剣に
 29 簡単に, たんに 30 わずかの, 少しの
- II. 1 care, for 2 contributed, to 3 on, earth 4 to 5 to 6 provided

第13日	文法事項のまとめ	学習日 月 日
	受け身(1)	

きょうは、受け身の文について学習します。まず、受け身の文とはどういう文かを勉強します。そのあとで、受け身の文の現在、過去などあらゆる時制を、順をおって学習していきます。ひとつひとつしっかりと覚えながら進めましょう。

1. 受け身の基本（現在の受け身の文）

「この手紙は英語で書かれています」という文は、英語では、

This letter is written in English.

と表します。writtenで「書かれる」という意味を表し、isで現在の文であることを表します。

writtenは、動詞write(書く)の過去分詞でしたね。このように、過去分詞は、「～される」という意味を表すことができます。たとえば、speak(話す)、invite(招待する)、sell(売る)の過去分詞は、spoken, invited, soldですね。これらは、それぞれ「話される」、「招待される」、「売られる」という意味を表すことができるのです。

それでは、次の日本語の文を英語で言ってみます。

- (1) 「英語は世界中で話されています」 ⇒ **English is spoken all over the world.**
- (2) 「あの店ではリンゴが売られています」 ⇒ **Apples are sold at that store.**
- (3) 「私は今晚スミス氏にパーティーに招待されています」 ⇒ **I am invited by Mr. Smith to his party tonight.**

それぞれ、「～される」を過去分詞で表し、現在の文であることを、be動詞の現在形で表しています。その際、主語にあわせて、am, are, isを使い分けていますよ。また、(3)のように「～に…される」というときの「～に」は<by ~>で表します。

このように、「～される」という意味の文を受け身の文といいます。

ここで、受け身の文 This letter is written in English. の疑問文と否定文を作ってみましょう。疑問文は、主語 This letter と be 動詞 is を入れかえて、

Is this letter written in English? (この手紙は英語で書かれていますか)

となります。否定文では、be 動詞 is のうしろに not を入れて、

This letter is not(isn't) written in English. (この手紙は英語で書かれていません)

となります。be 動詞を用いたふつうの文と作り方は同じですよ。

では、さっそくトレーニングに入りましょう。

トレーニング

1 例にならい、次の動詞を「～される」という意味の形（過去分詞）に書きかえなさい。

例 write (書く)

⇒ written (書かれる)

- (1) speak (話す) ⇒ _____ (話される)
- (2) love (愛する) ⇒ _____ (愛される)
- (3) use (使う) ⇒ _____ (使われる)
- (4) sell (売る) ⇒ _____ (売られる)
- (5) make (作る) ⇒ _____ (作られる)
- (6) know (知る) ⇒ _____ (知られる)
- (7) grow (栽培する) ⇒ _____ (栽培される)
- (8) read (読む) ⇒ _____ (読まれる)

▶動詞には、過去分詞の形が過去形と同じものと、異なるものがあります。

2 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) This book is written in French. _____
- (2) English and French are spoken in Canada.

- (3) This room is used as a music room. _____
- (4) That teacher is liked by all the students.

- (5) His novels are widely read. _____
- (6) The family car is washed by Tom every Sunday.

- (7) Her dresses are made by her mother.

- (8) Is your room cleaned every day? _____
- (9) English is not taught at this school. _____
- (10) Baseball is played all over Japan. _____

▶(5)の widely は「広く」の意味。(4), (6), (7)の by ～は「～によって」という意味。

3 ()内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

- (1) Mary _____ by Dick. (love) (メリーはディックによって愛されています)
- (2) His poems _____ well _____. (know) (彼の詩はよく知られています)
- (3) These dolls _____ in Germany. (make)
(これらの人形はドイツで作られています)
- (4) _____ oranges _____ in France? (grow)
(フランスではオレンジが栽培されていますか)
- (5) A lot of fruit _____ at that store. (sell)
(その店ではたくさんの果物が売られています)

▶(5)の a lot of fruit は、fruit が数えられない名詞なので単数扱いです。

2. 受け身の過去の文

「私のかばんはきのう盗まれました」 この文を英語で表せますか。

「盗まれる」は、steal(盗む)の過去分詞 stolen で表せますから、

My bag () stolen yesterday. です。さあ、()の中の be 動詞は is でいいですか。この文は「(きのう)盗まれました」という過去の文ですから、be 動詞の過去形を入れます。だから was が正解です。つまり **My bag (was) stolen yesterday.** となります。

それでは、「私のくつはきのう盗まれました」という文は、英語でどう表しますか。今度は、主語が My shoes で複数ですから、

My shoes were stolen yesterday.

と、were を用います。このように、受け身の過去の文は、be 動詞の過去形 (was / were) と過去分詞を用いて表します。

トレーニング

4 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) My house was built twenty years ago.
- (2) These poems were written by Shakespeare.
.....
- (3) This cake was made for you.
- (4) Those trees were planted by my grandfather.
.....
- (5) Was this bridge destroyed by the typhoon?
.....
- (6) This picture was not taken by him.
- (7) The matter was finally settled.
- (8) Mr. Tanaka and Mr. Kato were sent abroad last week.
.....
- (9) This story was written by him last year.
.....
- (10) This song was often sung in school many years ago.
.....

▶(5), (6)のように、受け身の過去の疑問文、否定文の作り方は、受け身の現在と同じです。疑問文では be 動詞を文頭に置き、否定文では not を be 動詞のうしろに置きます。(7) matter 「問題」、settle 「解決する」、(8) send ~ abroad で「～を海外へ派遣する」という意味です。

5 ()内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

- (1) That work _____ yesterday. (finish) (その仕事はきのう終わられました)
- (2) That glass _____ by Tom this morning. (break)
(そのコップはけさトムに割られました)
- (3) We _____ to his party. (invite)
(私たちは彼のパーティーに招待されませんでした)
- (4) He _____ on the leg by my dog. (bite) (彼は私の犬にあしをかまれました)

▶(2)の break の過去分詞は broken, (4)の bite の過去分詞は bitten[bit]です。

3. 「～される」と「～する」という文・by ～の省略

「メリーは彼を愛しています」という文は、「メリー」の側にたって述べた文ですね。この文を「彼」の側にたって述べると、「彼はメリーに愛されています」となります。この2つの文を英語で表すと、

(1) **Mary loves him.**

(2) **He is loved by Mary.**

となります。(2)のように、「～は…される」という文を受け身の文といいましたね。これに対して、(1)のように「～は…する」という文を、^{のうどうたい}能動態の文といいます。受け身の文では、「する側」は、by ～で表されます。

ところで、English is spoken in the United States. (アメリカ合衆国では英語が話されます) という受け身の文では、by them や by the people がありません。アメリカ合衆国で英語を話すのは、ある特定の人ではなく、アメリカの「一般の人々」ですから省略しているのです。

このように、「する側」が一般の人々である場合や、「する側」がはっきりしていなかったり、わざわざ述べるほど重要でない場合には、by ～を省略します。

例 He was killed in World War II. [だれが殺したのかわからない]

(彼は第二次世界大戦で殺されました[死にました])

This bridge was built a hundred years ago. [だれが造ったか重要ではない]

(この橋は100年前に造られました)

もともと受け身の文は、「される側」にたって述べる文なので、by ～が省略されることのほうが多いのです。

トレーニング

6 下線部を主語にして、つぎの能動態の文を受け身の文に書きかえなさい。

例 Everybody likes Tom.

⇒ Tom is liked by everybody.

(トムはみんなから好かれています)

(1) My father uses those pens in his work.

⇒

(それらのペンが父によって仕事に用いられます)

(2) He broke down the door.

⇒

(ドアは彼によって壊されました)

(3) The cat killed the bird.

⇒

(その鳥はネコによって殺されました)

(4) Mary made dinner yesterday.

⇒

(きのう夕食はメリーによって作られました)

- (5) Mr. Hara wrote those articles on pollution.

⇒

(汚染についてのそれらの記事は原氏によって書かれました)

- (6) John often helps me with my homework.

⇒

(私はジョンによく宿題を手伝ってもらいます)

- (7) Do a lot of young people read this magazine?

⇒

(この雑誌はたくさんの若者に読まれていますか)

- (8) She didn't take these pictures.

⇒

(これらの写真は彼女によってとられたものではありません)

- (9) They speak German in Germany.

⇒

(ドイツではドイツ語が話されています)

- (10) They sell comic books at that store.

⇒

(漫画本はあの店で売られています)

- (11) Someone stole my bag last night.

⇒

(私のかばんがゆうべ盗まれました)

▶(2)の He と(8)の She は by のうしろでは目的格になります。(7)は受け身の疑問文、(8)は受け身の否定文にします。
(9)の They は「ドイツの一般の人々」、(10)の They は「店の人々」、(11)の Someone は「(はっきりしていない)だれか」
なので by ～ は省略します。

4. 受け身の文の未来

「来年、新しい図書館が建てられるでしょう」という文は、英語でどのように表したらいいでしょう
か。「建てられる」は build(建てる)の過去分詞 built で表せますね。

さて、この文は、未来の文です。これまで、受け身の文の現在、be 動詞の現在形を用いて表し、
受け身の過去は、be 動詞の過去形を用いて表しました。受け身の未来は、be 動詞を未来にして表しま
す。つまり、will be を用いるのです。したがって、

A new library will be built next year.

となります。

未来を表すのに、be going to を用いると、

A new library is going to be built next year.

となりますよ。

トレーニング

- 7 例にならい、受け身の形にかえなさい。

例 will invite (招待するでしょう)

⇒ will be invited (招待されるでしょう)

- (1) will build (建てるでしょう) ⇒ _____ (建てられるでしょう)
 (2) will record (録音するでしょう) ⇒ _____ (録音されるでしょう)
 (3) will send (送るでしょう) ⇒ _____ (送られるでしょう)
 (4) will read (読むでしょう) ⇒ _____ (読まれるでしょう)
 (5) will forget (忘れるでしょう) ⇒ _____ (忘れられるでしょう)
 (6) will do (するでしょう) ⇒ _____ (されるでしょう)

8 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) They will be invited to the wedding.

 (2) That work will be done by him. _____
 (3) That matter will be discussed later. _____
 (4) The concert will be held at that theater.

 (5) The next meeting is going to be held in Tokyo.

 (6) That work will soon be finished. _____
 (7) That song will never be forgotten. _____
 (8) Jane will be invited to the party. _____
 (9) Will a museum be built in our town next year?

 (10) Our school paper is going to be published once a month.

▶(7)は受け身の未来の否定文、(9)は疑問文です。

5. 助動詞を用いた受け身の文

「その仕事はすぐになさねばなりません」という文は、英語では、

This work must be done at once.

と表します。「なされる」は do(する)の過去分詞 done で表されていますね。「～しなければならない」の must の位置に注意してください。will と同じですね。さらに、助動詞のうしろにくる動詞はすべて原形ですから、be 動詞も be になります。is の原形は be です。

must 以外の助動詞を用いた受け身の文も、同じように助動詞のうしろに、原形 be と過去分詞を置いて表します。

例 A lot of stars **can be seen** tonight. (今夜はたくさんの星が見えます)

That meeting **may be** postponed. (その会議は延期されるかもしれません)

トレーニング

9 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) This report must be typed by six.

(2) Those dishes must be washed before you watch television.

(3) That problem should be solved soon.

(4) Mt. Fuji can be seen from here.

(5) This work cannot be finished today.

(6) Happiness cannot be bought with money.

(7) Cars mustn't be parked here.

(8) He ought to be punished.

(9) Library books may be kept for two weeks.

(10) Irori used to be used to heat houses in Japan.

▶(4), (6), (7), (9)はそれぞれ「見られることができる」、「買われることができない」、「駐車されてはいけない」、「借りられてもよい」となりますが、日本語として不自然なので、「見える」、「買える」、「駐車してはいけない」、「借りてもよい」と訳します。

6. 受け身の現在完了

「この部屋は長いあいだ彼によってずっと使われています」 この文を英語で表してみましょう。
「使われる」は use(使う)の過去分詞 used で表せますから、

This room () () used for a long time by him.

です。さあ、() の中に、be 動詞をどのような形にして入れたらいいですか。この文は、「ずっと～している」という現在完了の文ですね。ですから、be 動詞を現在完了の形にします。現在完了は <have(has)+過去分詞>ですから、be 動詞の過去分詞 been を用いて、has been とします。正解は、

This room (has) (been) used for a long time by him. です。

このように、受け身の現在完了は、現在完了を表す <have(has) been> と受け身を表す過去分詞を用いて表します。

トレーニング

10 ()内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように次の英文を完成しなさい。

(1) That problem _____ for two hours. (discuss)

(その問題は2時間ずっと討論されています)

(2) That notice _____ since last Monday. (post)

(その掲示はこの前の月曜日からずっとはられています)

(3) A lot of houses _____ by fire. (destroy)

(火事でたくさんの家が破壊されてしまいました)

(4) That work _____ just _____. (finish)

(その仕事はちょうど終えられたところです)

(5) These rooms _____ for ten years. (use)

(これらの部屋は10年間ずっと使われていません)

(6) The date of our wedding _____ . (decide)

(私たちの結婚式の日は(まだ)決められていません)

(7) I _____ by them before. (deceive)

(私は以前彼らにだまされたことがあります)

(8) _____ all the arrangements _____ ? (make)

(すべての手はずはなされましたか[整いましたか])

(9) She _____ of her son's death. (inform)

(彼女は息子の死のことを(まだ)知らされていません)

▶ 受け身の現在完了の否定文は, not を have[has] と been の間に入れます。疑問文は, have[has] を文頭に置きます。

7. 受け身の過去完了

「彼が姿を見せる前にその仕事は終わっていました」 この文を英語で表すと、「終わられる」は finish の過去分詞 finished で表せますから、

That work () () finished before he showed up.

です。さあ、今度は () の中に, be 動詞をどのような形にして入れたらいいですか。「終わられていた」のは「彼が姿を見せる」以前のことから、過去完了にしなければいけませんね。過去完了は〈had+過去分詞〉ですから、正解は had been です。

That work (had) (been) finished before he showed up.

トレーニング

11 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) The cake had all been eaten before I got home.

(2) All the rooms had been cleaned by lunch-time.

(3) His new house had been half built before he died in the accident.

(4) That poet's name had been little known before his death.

(5) She had never been invited to a dance before.

(6) All their money had been spent by that time.

(7) All the food had been prepared before the party began.

(8) The bridge had been completely repaired by the end of last month.

(9) Breakfast had already been made by my father when I got up this morning.

▶ (1)~(3), (6)~(9)は完了, (5)は経験を表す過去完了です。

8. 受け身の進行形

「新しい図書館が私の近所で建てられています」 この文を英語で表すと、「建てられる」は build の過去分詞 built で表せますから、

A new library () () () in my neighborhood.

です。() の中に be 動詞をどのような形にして入れますか。この文は、「建てられている」という現在進行形の文です。ですから be 動詞を現在進行形の形にすればいいのです。be 動詞の ing 形は being ですから、

A new library is being built in my neighborhood. となります。

それでは、**A lot of pictures were being taken by her.** はどのように訳しますか。taken は take(とる)の過去分詞で「とられる」という意味です。were being は過去進行形の形ですね。したがって、「たくさんの写真が彼女によってとられていました」となります。

トレーニング

12 ()内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

- (1) My bicycle _____ now. (repair)
(私の自転車は今修理されています)
- (2) Dinner _____ by Anne now. (make)
(夕食は今アンによって作られています)
- (3) Those reports _____ now. (type)
(それらのレポートは今タイプされています)
- (4) A pie _____ in the oven now. (bake)
(パイは今オーブンで焼かれています)
- (5) This type of stereo _____ now _____ in Japan. (manufacture)
(このタイプのステレオが今日本で生産されています)
- (6) An important matter _____ now _____ at the meeting. (discuss)
(重要な問題が今会議で討論されています)
- (7) He _____ to the hospital now. (take)
(彼は今病院に連れて行かれるところです)
- (8) I _____ by Father when you telephoned. (scold)
(あなたが電話したとき、私は父にしかられているところでした)
- (9) The doghouse _____ by him yesterday afternoon. (repair)
(その犬小屋はきのうの午後彼によって修理されていました)
- (10) Dinner _____ when I came home. (make)
(私が帰宅したとき、夕食が作られているところでした)

▶(1)~(7)は受け身の現在進行形、(8)~(10)は受け身の過去進行形の文です。

少し休んだら次の発展トレーニングに進みなさい。

① 下線部を主語にして、次の能動態の文を受け身の文に書きかえなさい。

- (1) Japan exports a lot of cars to the United States every year.

⇒

(たくさんの自動車が毎年日本によって〔日本から〕アメリカ合衆国へ輸出されています)

- (2) Do people speak Spanish in Mexico?

⇒

(メキシコではスペイン語が話されていますか) [東海大改題]

- (3) The police arrested the car thief.

⇒

(自動車どろぼうは警察によって逮捕されました) [神戸外大改題]

- (4) Keats did not write this poem.

⇒

(この詩はキーツによって書かれたものではありません)

- (5) My father will cut down the cherry tree in the garden next Sunday.

⇒

(庭の桜の木は今度の日曜日に父によって切り倒されるでしょう)

- (6) We will never hear her wonderful voice again.

⇒

(彼女の美しい声が再び聞かれることはないでしょう)

- (7) Tom is going to paint my room tomorrow.

⇒

(私の部屋はあしたトムによって塗装される予定です)

- (8) You must write the answers in pencil.

⇒

(答えは鉛筆で書かれなければなりません)

- (9) We can gain wisdom by experience.

⇒

(知恵は経験によって得られます)

- (10) The police ought to investigate that case.

⇒

(その事件は警察によって調査されるべきです)

- (11) Someone has stolen my watch.

⇒

(私の腕時計は盗まれてしまいました)

- (12) Computers have replaced many people's jobs.

⇒

(多くの人の仕事がコンピューターに取ってかわられています)

- (13) Jane had eaten the cake before I got home.

⇒

(私が家に帰る前に、ケーキはジェーンによって食べられてしまいました)

- (14) He will write that report by noon.

⇒

(そのレポートは彼によってお昼までに書かれるでしょう)

- (15) He is painting the door of my room.

⇒

(私の部屋のドアは彼によって塗装されています)

- (16) They were building a lot of new railways in those days.

⇒

(当時たくさんの新しい鉄道が建設されつつありました〔建設中でした〕)

▶(2), (6), (8), (9), (11), (16)は、〈by + 行為者〉を省略します。(3) car thief「自動車どろぼう」(4) Keats キーツ(イギリスの詩人)(6) 受け身の文でも never は will のうしろにきます。(8) in pencil「鉛筆で」(9) wisdom「知恵」by experience「経験によって」この by は手段を表します。(10) investigate「調査する」case「事件」(12) replace「～に取ってかわる」(14) by noon の by は「～までに」

次に、実際に大学入試に出題された受け身の文を読んでみましょう。

② 次の英文を訳しなさい。

- (1) Wages are paid by the week in that company.

〔東洋大改題〕

- (2) The government and the educational systems in France are highly centralized.

〔筑波大改題〕

- (3) This medicine must not be put within the reach of children.

〔愛知学院大改題〕

- (4) Unfortunately, that scientist's ideas will never be understood by the layman.

- (5) The important matters were being discussed at the meeting last week.

- (6) A row of old houses is being destroyed to make way for new apartment buildings.

〔桜美林大改題〕

- (7) Because of the new computers in our office, more work is being done by fewer workers in less time.

〔京都産業大改題〕

▶(1) by the week「週ごとに」(2) highly「高度に」centralize「中心に集める、中央集権化する」(3) within the reach of children「子どもの手のとどくところに」(4) unfortunately「不幸にも」the layman「素人」(6) a row of「～1列の～、1並びの～」a row of old housesで「古い家並み」という意味。make way for「～に場所をゆずる」(7) because of「～のために」more work「より多くの仕事」fewer workers「より少ない労働者」less time「より少しの時間」

さいごに英作文をして、きょうの学習を終わりにしましょう。

③ 次の日本語の文を，受け身を用いて，書き出しに続けて英語の文にしないで。

- (1) これらのライオンはアフリカから連れてこられました。

These lions

- (2) 今晚は満月が見られません。 The full moon

- (3) この机は私の父によって 30 年間使われています。

This desk

- (4) 公園の近くに新しい学校が建設中です。

A new school

▶(1)「連れてくる」は bring です。(4)「建設中」は今建設されているということですから，進行形の受け身を用います。

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。（答えはこのページの下）

- | | |
|---------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 specific (形) | <input type="checkbox"/> 2 stable (形) |
| <input type="checkbox"/> 3 status (名) | <input type="checkbox"/> 4 stretch (動) |
| <input type="checkbox"/> 5 support (動) | <input type="checkbox"/> 6 survive (動) |
| <input type="checkbox"/> 7 typical (形) | <input type="checkbox"/> 8 utter (動) |
| <input type="checkbox"/> 9 weight (名) | <input type="checkbox"/> 10 wonder (動) |
| <input type="checkbox"/> 11 absolutely (副) | <input type="checkbox"/> 12 account (名) |
| <input type="checkbox"/> 13 achievement (名) | <input type="checkbox"/> 14 adjustment (名) |
| <input type="checkbox"/> 15 appearance (名) | <input type="checkbox"/> 16 arise (動) |
| <input type="checkbox"/> 17 arrangement (名) | <input type="checkbox"/> 18 associate (動) |
| <input type="checkbox"/> 19 background (名) | <input type="checkbox"/> 20 beat (動) |
| <input type="checkbox"/> 21 blame (動) | <input type="checkbox"/> 22 bottom (名) |
| <input type="checkbox"/> 23 brain (名) | <input type="checkbox"/> 24 capacity (名) |
| <input type="checkbox"/> 25 comfortable (形) | <input type="checkbox"/> 26 comment (名) |
| <input type="checkbox"/> 27 companion (名) | <input type="checkbox"/> 28 compare (動) |
| <input type="checkbox"/> 29 complain (動) | <input type="checkbox"/> 30 compose (動) |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。（答えはこのページの下）

- ☐ 1 The professor _____ many famous figures in his speech.
(その教授は演説の中で多くの有名な人物に言及しました)
- ☐ 2 He _____ the responsibility for the success of the project.
(彼はその計画の成功に対して責任を負いました)
- ☐ 3 I can't _____ a solution to your problem.
(私はあなたの問題に対する解決策を考えつくことができません)
- ☐ 4 I _____ swim in that lake every summer.
(私は夏はいつもその湖で泳いだものでした)
- ☐ 5 I bought some new shoes _____ a new dress.
(私は新しい服とともに新しい靴を買いました)
- ☐ 6 The total price _____ less than 10,000 yen.
(総額は10,000円以下になりました)

◇ 答え ◇

- I. 1 特定の, 明確な 2 安定した, 強固な 3 地位, 身分 4 伸ばす, 広げる 5 支える, 支持する
 6 生き残る 7 典型的な 8 発する, 発音する 9 体重, 重さ 10 驚嘆する, 不思議に思う
 11 絶対的に, まったく 12 説明, 理由 13 成就, 達成 14 調節, 調整 15 出現, 外観 16 起こる, 生じる
 17 整頓, 取り決め 18 連想する, 交際する 19 背景, 背後の事情 20 打つ, 打ち負かす
 21 非難する, ~のせいにする 22 根底, 基礎 23 脳, (通例複数形で) 頭脳 24 容量, 収容力
 25 居心地のいい, 快適な 26 論評 27 仲間, 連れ 28 比較する, たとえる 29 不平を言う
 30 組み立てる, 作曲する
- II. 1 referred, to 2 took, on 3 think, of [find, out] 4 used, to 5 along, with 6 amounted, to

第14日

受け身(2)

きょうは、受け身の学習の2日目です。今回は、いろいろな形の文を受け身の文にしてみます。前の日に学習した受け身の時制も思い出しながらいきましょ。

1. 動詞の後ろに目的語が2つくる文の受け身

Tom loves Mary. (トムはメリーを愛しています) この文を受け身の文にすると、Mary が主語になって、**Mary is loved by Tom.** (メリーはトムに愛されています) となります。このように、能動態の文の目的語が、受け身の文の主語になるのです。

それでは、Tom gave Mary a book. (トムはメリーに本をあげました) この文を受け身の文にしてみましょう。

この文には、目的語が Mary と a book の2つありますから、それぞれを主語にして受け身の文を作ります。

(1) **Mary was given a book by Tom.**

(メリーはトムによって本を与えられました[トムから本をもらいました])

(2) **A book was given (to) Mary by Tom.**

(本がトムによってメリーに与えられました)

(1)はだれによって与えられたのかに関心がある場合、(2)は与えられたもののほうに関心がある場合の受け身の文です。受け身の主語にならないもう1つの目的語は、そのまま動詞の後ろに残ります。なお(2)のように、「～(人)に」にあたる目的語が動詞の後ろに残った場合、しばしば to が、動詞と目的語の間にはいります。

このように、目的語が2つあり、それらを主語にして、2種類の受け身の文を作れる文の動詞には、give のほかに、show, teach, tell などがあります。

目的語が2つあっても、2種類の受け身の文を作れない文もあります。

He bought his son a dictionary. (彼は息子に辞書を買ってあげました) この文の目的語は、his son と a dictionary です。his son を主語にして受け身の文を作ると、His son was bought (彼の息子は...買われました) と不自然な文になってしまいます。したがって、a dictionary を主語にした受け身の文1つしか作れません。

A dictionary was bought (for) his son by him.

(辞書が彼によって彼の息子のために買われました)

buy 以外に、make (～に...を作ってあげる)、sell (～に...を売る)、write (～に...を書く) などの動詞を用いた文も、「～(人)に」にあたる目的語を主語にして受け身の文を作ることはできません。

では、さっそくトレーニングにはいりましょ。

トレーニング

1 例にならい受け身の文を作りなさい。ただし(1)～(4)は2通りずつ作りなさい。

例 Mr. Smith gave Jane a doll. (スミス氏はジェーンに人形をあげました)

⇒ Jane was given a doll by Mr. Smith.

⇒ A doll was given (to) Jane by Mr. Smith.

(1) Fred gave Lucy some records. (フレッドはルーシーにレコードを何枚かあげました)

⇒

⇒

(2) John showed her some pictures. (ジョンは彼女に写真を何枚か見せました)

⇒

⇒

(3) An American teaches them English. (アメリカ人が彼らに英語を教えます)

⇒

⇒

(4) He told us the news. (彼が私たちにそのニュースを話しました)

⇒

⇒

(5) Jim bought May some books. (ジムはメイに本を何冊か買ってあげました)

⇒

(6) My mother made me a new dress. (母は私に新しいドレスを作ってくれました)

⇒

(7) Mr. Kato sold me this bicycle. (加藤氏が私にこの自転車を売りました)

⇒

(8) She wrote Ken a long letter. (彼女は健に長い手紙を書きました)

⇒

▶ 「もの」が主語になった受け身の文で、動詞と残りの目的語の間に入れる前置詞は、動詞によって決まっています。give, show, teach, tell, sell, write の場合は to, buy と make の場合は for です。答え合わせをするときには、受け身の文の訳し方にも注意しなさい。

2 次の英文を訳しなさい。

(1) American history is taught to us by Mr. Brown.

(2) I was given a nice present by my uncle.

(3) An amusing story was told to us by him.

(4) We were shown some pictures of flowers by Jiro.

(5) This racket was bought for me by my father.

(6) A cake was made for the guests by her.

- (7) His watch was sold to me for almost nothing.

▶(2)は「与えられました」を「もらいました」, (4)は「見せられました」を「見せてもらいました」と訳すと自然な日本語になります。(7) for almost nothing「ただ同然で」

2. 〈動詞＋目的語＋補語〉の文の受け身

My friends call me Johnny. (私の友人たちは私をジョニーと呼びます) この文を受け身の文にしてみましょう。この文の目的語は me です。Johnny は me = Johnny の関係になっていて、目的語 me の説明をしていますから補語です。補語は受け身の文の主語にはなれませんから、me を主語とした I で始まる受け身の文しかできません。したがって、

I am called Johnny by my friends. (私は私の友人たちにジョニーと呼ばれます[呼ばれています]) となります。補語の Johnny は動詞の後ろにそのまま残ります。

では、動詞の後ろに目的語と補語がくる文をいくつか、受け身の文にしてみます。

- (1) My father named me Jill. (父が私をジルと名づけました)

⇒ **I was named Jill by my father.** (私は父によってジルと名づけられました)

- (2) He painted the kennel white. (彼が犬小屋を白くぬりました)

⇒ **The kennel was painted white by him.** (犬小屋は彼によって白くぬられました)

- (3) Kate saw Bob swimming. (ケートはボブが泳いでいるのを見ました)

⇒ **Bob was seen swimming by Kate.** (ボブはケートに泳いでいるのを見られました)

補語には名詞のほかに、(2)のように形容詞の場合、(3)のように現在分詞の場合などがありますが、名詞の場合と同じように、受け身にすると、そのまま動詞の後ろに残ります。

トレーニング

- 3 次の文の下線部を主語にして、受け身の文を作りなさい。

例 His parents call him Ricky. (彼の両親は彼をリッキーと呼びます)

⇒ He is called Ricky by his parents.

- (1) Her parents named her Anne. (彼女の両親は彼女をアンと名づけました)

⇒

- (2) We call the hottest season summer. (私たちはもっとも暑い季節を夏と呼びます)

⇒

- (3) They elected Mr. Baker chairman. (彼らはベーカー氏を議長に選びました)

⇒

- (4) They made him captain of the team. (彼らは彼をチームのキャプテンにしました)

⇒

- (5) He painted the door green. (彼はドアを緑色にぬりました)

⇒

- (6) The Beatles' music makes me happy. (ビートルズの音楽は私を幸福にします)

⇒

- (7) He always keeps his room clean. (彼はいつも自分の部屋をきれいにしておきます)

⇒

- (8) Taro saw Mr. Kato washing his car. (太郎は加藤氏が車を洗っているのを見ました)

⇒

- (9) I often hear Mary singing. (私はしばしばメリーが歌っているのを聞きます)

⇒

- (10) She left me waiting outside. (彼女は私を外に待たせたままにしておきました)

⇒

▶ 補語は(1)～(4)が名詞, (5)～(7)は形容詞, (8)～(10)は現在分詞です。(4)と(6)のように make(～を…にする)は補語に名詞も形容詞もきます。(7)の keep は「～を…にしておく」, (10)の leave は「～を…のままにしておく」という意味。(2)～(4)の by ～ は省略します。

4 次の英文を訳しなさい。

- (1) A dog was heard barking last night.

- (2) The beer has been kept cool for you.

- (3) That window was left open all night because it was hot.

▶ (1)の「聞かれた」は「聞こえた」と訳すほうが自然な日本語になります。(3)の open は「開いた」で形容詞。leave は補語に形容詞がくることもあります。

3. <動詞＋目的語＋補語 (to ～)>の文の受け身

People believe him to be rich. (人々は彼を金持ちだと信じています) この文を受け身の文にしてみましょう。この文の目的語は him です。to be rich は、him = to be rich の関係になっていて、目的語 him を説明していますから補語のはたらきをしています。つまり、この文は、前で学習した My friends call me Johnny. などの文と同じく、動詞の後ろに目的語と補語がくる文の形なのです。したがって、受け身の文も同じようにして作ります。目的語 him を主語にし、補語 to be rich をそのまま動詞の後ろに残して、

He is believed to be rich. (彼は金持ちだと信じられています)

となります。People は一般の人々を表すので、by ～ は省略します。このように、to のついた不定詞が補語になっても、受け身の文の作り方は、補語に名詞や形容詞などがくる文と同じです。

トレーニング

5 次の文の下線部を主語にして、受け身の文を作りなさい。

例 They believe Ted to be honest. (彼らはテッドを正直だと信じています)

⇒ Ted is believed to be honest.

- (1) They think her to be a smart girl. (彼らは彼女を頭のよい少女だと思っています)

⇒

- (2) Mr. Smith told me to wait here. (スミス氏は私にここで待つように言いました)

⇒

- (3) The president ordered him to go abroad. (社長は彼に外国へ行くように命じました)

⇒

- (4) He persuaded his son to go to college. (彼は息子に大学へ行くように説得しました)

⇒

▶(1)の They は一般の人々を表すので, by ~ は省略します。

6 次の英文を訳しなさい。

- (1) My father was advised to stop smoking by his doctor.
.....
(2) He was reported to be the oldest man in Japan.
.....
(3) I'm not allowed to stay out after 9 o'clock by my parents.
.....

▶(1) advise「忠告する」 (2) report「報じる」 (3) allow「許す」

4. 〈動詞＋目的語＋補語 (動詞の原形)〉の文の受け身

We felt the floor shake. (私たちは床が揺れるのを感じました) 今度はこの文を受け身の文にしてみましよう。目的語は the floor ですね。shake は, the floor (床が)=shake (揺れる) の関係になっていて, the floor を説明していますから, 補語のはたらきをしています。そうすると, The floor was felt shake. としたいところですが, ここで注意が必要です。補語に動詞の原形がくる文を, 受け身の文にするときは, その原形の動詞に to をつけます。したがって, shake は受け身の文では to shake となります。

The floor was felt to shake. (床が揺れるのが感じられました)

なお, 後ろに目的語と, 原形の動詞を補語にとる動詞は, feel, see, hear などの感覚動詞と, make などの使役動詞です。

例 He made his wife go to the hospital. (彼は妻を病院に行かせました)

⇒ **His wife was made to go to the hospital by him.**

(彼の妻は彼に病院に行かせられました)

トレーニング

7 次の文の下線部を主語にして, 受け身の文を作りなさい。

例 I saw him leave the room. (私は彼が部屋を出るのを見ました)

⇒ He was seen to leave the room by me.

- (1) A lot of people saw the jet crash. (多くの人々がジェット機が墜落するのを見ました)

⇒

- (2) Tom saw Mary run down the hall. (トムはメリーが廊下を走るのを見ました)

⇒

- (3) His wife heard him talk in his sleep. (彼の妻は彼がねごとを言うのを聞きました)

⇒

- (4) I heard a girl scream last night. (私は昨夜女の子が悲鳴をあげるのを聞きました)

⇒

- (5) He made his son wash the car. (彼は息子に車を洗わせました)

⇒

- (6) She made Bob work late at night. (彼女はボブを夜遅くまで働かせました)

⇒

5. They say [believe など] that ～ の受け身の文

They say that he is rich. (彼は金持ちだそうです) この文を受け身の文にしてみましょう。この文の目的語は that he is rich (彼が金持ちであること) です。したがって、受け身の文は That he is rich is said. となりそうですが、この形だと主語(that he is rich)が長く、文としてぶかっこうですね。そこで形式主語 It を that he is rich のかわりに置いて、

It is said that he is rich. (彼は金持ちだと言われています)

とします。that 節は動詞の後ろに置きます。They は一般の人々を表すので by ～ は省略します。

このように、目的語に that 節がくる文を受け身の文にするときは、形式主語 It を用います。

It is said that he is rich. の文を、that 節内の he を主語にして

He is said to be rich. (彼は金持ちだと言われています)

とすることもできます。この「彼は～だと言われています」の文の「～だ」の部分は to のついた不定詞になります。

このように、2種類の受け身の文を作れる文は、say that ～ のほかに、think that ～, believe that ～, expect that ～ などの文です。

トレーニング

8 次の文を It を主語にして、受け身の文に書きかえなさい。

例 They say that he is diligent.

⇒ It is said that he is diligent.

(彼は勤勉だと言われています)

- (1) They say that he stole the money.

⇒ It

(彼がそのお金を盗んだと言われています)

- (2) They think that Mary is kind.

⇒ It

(メリーは親切だと思われています)

- (3) People believe that he will win the match.

⇒ It

(彼はその試合に勝つだろうと信じられています)

- (4) People know that she is a singer.

⇒ It

(彼女が歌手であることは知られています)

- (5) People expect that prices will rise.

⇒ It

(物価は上がるだろうと予想されています)

9 次の It で始まる受け身の文を、下線部を主語にした受け身の文に書きかえなさい。

例 It is said that Jill is sick. (ジルは病気だと言われています)

⇒ Jill is said to be sick.

(1) It is said that cats are proud. (ネコは自尊心が強いと言われています)

⇒ Cats

(2) It is thought that Tom studies hard. (トムは一生懸命に勉強すると思われています)

⇒ Tom

(3) It is believed that he was a great writer. (彼は偉大な作家だったと信じられています)

⇒ He

(4) It is reported that the prisoner ran away. (その囚人は逃げたと報じられています)

⇒ The prisoner

▶(3)と(4)では、is believed, is reported と現在形で、that 節の動詞は過去形ですから、that 節は完了形の不定詞<to have+過去分詞>で表すことになります。

6. 命令文の受け身

Do the work at once. (すぐにその仕事をしなさい) この文を受け身の命令文にしてみましょう。
動詞 do(する)は done になり、the work が done の主語になりますね。そこで動詞 let(～を…させる)を用いて

Let the work be done at once.

とします。この文の形では、the work は be done の意味の上での主語になっています。また使役動詞 let の目的語の後ろは動詞の原形となるはずですから、受け身の be 動詞は be となっています。

日本語訳はそのまま訳すと不自然なので「すぐにその仕事をしなさい」でかまいません。なお命令文の受け身は、文語的な表現であり、実際の会話にはあまり用いられません。

トレーニング

10 次の命令文を受け身の命令文にするために下線部に適当な語を入れなさい。

例 Sign the check. (その小切手に署名しなさい)

⇒ Let the check be signed.

(1) Mail the letter at once. (すぐにその手紙を郵送しなさい)

⇒ _____ the letter _____ at once.

(2) Open the door a little. (少しドアを開けなさい)

⇒ _____ the door _____ a little.

(3) Inform her. (彼女に知らせなさい)

⇒ _____ her _____.

少し休んだら、次の発展トレーニングに進もう。

■ 発展トレーニング ■ 発展的な問題を扱っています。落ち着いてやりましょう。

① 次の英文を訳しなさい。

- (1) A lot of books were bought for Jane by her uncle.
.....
- (2) I was shown the way to the station by a policeman.
.....
- (3) We may be given some good advice by Aunt Mary.
.....
- (4) Roosevelt was elected President four times.
.....
- (5) Hospitals must be always kept clean.
.....
- (6) The door was left open and he was heard talking to Miss Hawkins.
.....
- 〔日本大改題〕
- (7) That house has been left vacant for two years.
.....
- (8) We were told to bring a lunch to school by our teacher.
.....
- (9) The lion is said to be the king of beasts.
.....
- (10) A lot of birds were heard to sing in that woods.
.....
- (11) I am often made to help my mother with dinner.
.....
- (12) It is said that she is the most popular singer in Japan.
.....
- (13) It is believed that he will be a good doctor in the future.
.....
- (14) He is known to have been in Paris for five years.
.....
- (15) A big earthquake is reported to have occurred in Italy.
.....

▶(2)の show は「教える」という意味。(3) may be given 「与えられるかもしれない」→「もらえるかもしれない」
(5) must be kept clean 「きれいにしておかなければならない」→「きれいにしておかなければならない」(7)
vacant は「空いた」で形容詞。has been left は受け身の完了形(この文では継続を表しています)(11) help my
mother with dinner 「母が夕食を作るのを手伝う」

② 次の文を指示にしたがって書きかえなさい。

- (1) Mr. Hara will teach us Japanese history. (下線部を主語にした受け身の文に)

⇒

(私たちは原氏に日本史を教えてもらおうでしょう)

(2) He made his brother a model plane. (受け身の文に)

⇒

(模型飛行機が彼の弟のために彼によって作られました)

(3) You must not leave that problem unsolved. (受け身の文に)

⇒

(その問題は未解決のままにしておかれません)

(4) I saw Lucy getting off the bus. (受け身の文に)

⇒

(ルーシーはバスから降りているのを私に見られました)

(5) The doctor advised me not to smoke too much. (受け身の文に)

⇒

(私は医者からタバコをあまりすわないように忠告されました)

(6) She made her son drink the medicine. (受け身の文に)

⇒

(彼女の息子は彼女によって薬を飲まされました)

(7) I have never heard her sing. (受け身の文に)

⇒

(彼女は歌うのを私によって一度も聞かれたことはありません)

(8) Tom is often seen to water the garden by the neighbors. (能動態の文に)

⇒

(近所の人たちはしばしばトムが庭に水をまくのを見ます)

(9) They say that he is a genius. (It を主語にした受け身の文に)

⇒

(彼は天才であると言われています) [八幡大改題]

- ▶(2)～(7)は何が受け身の文の主語になるかに注意してください。(3) unsolved は「未解決の」で形容詞。by you は省略。(5) 不定詞に not がついていても、受け身の作り方は同じです。not to ～をそのまま動詞の後ろに残します。
(8) 能動態の文になると to water の to はとれます。

③ 次の日本語の文を、書き出しに続けて英語の文にきなさい。

(1) 私は父に万年筆をもらいました。

I

(2) 1 日中その窓は閉めたままにしておきました。

That window

(3) 彼は家から逃げだしたと信じられています。

It

- ▶(2) 「～のままにしておく」 leave (3) 「家から逃げだす」 run away from home

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。(答えはこのページの下)

- | | |
|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 confirm (動) _____ | <input type="checkbox"/> 2 constantly (副) _____ |
| <input type="checkbox"/> 3 conversation (名) _____ | <input type="checkbox"/> 4 crime (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 5 cultivate (動) _____ | <input type="checkbox"/> 6 customer (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 7 deal (動) _____ | <input type="checkbox"/> 8 dependent (形) _____ |
| <input type="checkbox"/> 9 distance (名) _____ | <input type="checkbox"/> 10 distinct (形) _____ |
| <input type="checkbox"/> 11 education (名) _____ | <input type="checkbox"/> 12 employ (動) _____ |
| <input type="checkbox"/> 13 equipment (名) _____ | <input type="checkbox"/> 14 excellent (形) _____ |
| <input type="checkbox"/> 15 expansion (名) _____ | <input type="checkbox"/> 16 extreme (形) _____ |
| <input type="checkbox"/> 17 familiar (形) _____ | <input type="checkbox"/> 18 fault (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 19 firm (形) _____ | <input type="checkbox"/> 20 fit (動) _____ |
| <input type="checkbox"/> 21 fix (動) _____ | <input type="checkbox"/> 22 freedom (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 23 frequently (副) _____ | <input type="checkbox"/> 24 genius (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 25 govern (動) _____ | <input type="checkbox"/> 26 government (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 27 imagination (名) _____ | <input type="checkbox"/> 28 impression (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 29 impulse (名) _____ | <input type="checkbox"/> 30 indispensable (形) _____ |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。(答えはこのページの下)

- ☐ 1 In that store they sell bread, cakes, cookies, _____ on.
(その店ではパンやケーキやクッキーなどが売られています)
- ☐ 2 _____ his lack of height, he is an excellent basketball player.
(背の高さが欠けていることは別として、彼は優秀なバスケットボールの選手です)
- ☐ 3 _____ her, she never learned how to cook well.
(彼女はどうかと言えば、彼女はじょうずに料理をする方法を1度も習ったことがありませんでした)
- ☐ 4 _____, he was very nervous at the concert.
(最初は、彼はそのコンサートでとても神経質でした)
- ☐ 5 He can be very short-tempered _____.
(彼はときどきとても短気になります)
- ☐ 6 Polar bears _____ the cold.
(ホッキョクグマは寒さに慣れています)

◇ 答え ◇

- I. 1 確認する, 確かにする 2 たえず, つねに 3 会話 4 (法律上の) 罪 5 耕す, 教化する 6 客
7 扱う, 処理する 8 (〜に) 頼っている 9 距離, 遠方 10 別個の, 明りょうな 11 教育 12 雇う
13 装備, 設備 14 卓越した, 優秀な 15 拡張, 拡大 16 極端な 17 見慣れた, 親しい 18 欠点, 短所
19 確固たる 20 適合する, 適合させる 21 固定する, 決める 22 自由 23 しばしば 24 天才
25 統治〔支配〕する, 治める 26 政府, 政治 27 想像力, 想像 28 印象 29 衝撃, 衝動
30 欠くことのできない
- II. 1 and, so 2 Apart, from 3 As, for 4 At, first 5 at, times 6 are, accustomed〔used〕, to

第15日

受け身(3)

きょうは、受け身の学習の最後の日です。群動詞、不定詞、動名詞の受け身の表現など、注意すべき受け身の表現について勉強します。きょうの学習をマスターすれば、受け身については完ぺきです。しっかりがんばりましょう。

1. 群動詞の受け身

A car ran over my dog. (車が私の犬をひきました) この文を受け身の文にするとどうなりますか。動詞 ran は over といっしょになって「～をひいた」という意味を表しています。そこで ran over を1つの動詞、my dog をその目的語と考えて受け身の文を作ります。

My dog was run over by a car. (私の犬は車にひかれました)

ran over で1つの動詞と考えますから、受け身の文になると was run over となり、was run と over はくっつけておきます。

それでは、Everybody looked up to him. (みんなが彼を尊敬しました) を受け身の文にするとどうなりますか。動詞 looked は up, to といっしょになって「～を尊敬した」という意味を表しています。そこで looked up to を1つの動詞、him をその目的語と考えて受け身の文を作ります。

He was looked up to by everybody. (彼はみんなに尊敬されました)

looked up to で1つの動詞と考えますから、受け身の文では was looked up to となり、was looked と up to はくっつけておきます。

これら run over (～をひく)、look up to (～を尊敬する) のように、動詞が他の語といっしょになって1つの意味を表すものを群動詞ぐんどうしといいます。群動詞が用いられている文を受け身の文にするときは、群動詞を1つの動詞、そのあとにくる名詞をその目的語と考えて受け身の文を作ります。

さて今度は She takes good care of those canaries. (彼女はそれらのカナリアの世話をよくします) を受け身の文にしてみましょう。takes (good) care of で「～の世話を(よく)する」という意味になりますから、takes (good) care of を1つの動詞、those canaries をその目的語と考えて受け身の文を作れますね。

Those canaries are taken good care of by her.

(それらのカナリアは彼女によってよく世話をされます)

ところで、群動詞 take care of ～は、run over や look up to ～と異なり、動詞 take のうしろに名詞 care がきています。この care は動詞 take の目的語なのです。したがって care を主語にして受け身の文を作ることもできます。そこで、

Good care is taken of those canaries by her.

(よい世話が彼女によってそれらのカナリアにされます)

となります。この take care of ～のように、動詞の後ろに名詞がくる群動詞は、その名詞を主語にして受け身の文を作ることもできます。

トレーニング

1 下線部を1つの動詞、点線部をその目的語と考えて、受け身の文に下さい。

例 Everybody laughed at him. (みんなが彼を笑いました)

⇒ He was laughed at by everybody.

(1) An American spoke to me yesterday. (きのうアメリカ人が私に話しかけました)

⇒

(2) She looks after her grandfather. (彼女は彼女のおじいさんの世話をします)

⇒

(3) His parents insisted on his innocence. (彼の両親は彼の無実を主張しました)

⇒

(4) She should tidy up her room. (彼女は自分の部屋をきちんと整頓すべきです)

⇒

(5) Ken looked forward to Jane's arrival in Japan. (健はジェーンの日本への到着を楽しみに待ちました)

⇒

(6) Her neighbors often speak well of her. (しばしば近所の人たちは彼女のことをよく言います)

⇒

(7) Nurses should take good care of patients. (看護婦は患者の世話をよくすべきです)

⇒

(8) He paid little attention to my advice. (彼は私の忠告にほとんど注意をはらいませんでした)

⇒

(9) We can make use of a radio to study English. (私たちは英語を勉強するのにラジオを利用することができます)

⇒

▶(9)の We は一般の人々を表すので、受け身の文では by ~ を省略します。

2 下線部を主語にして、受け身の文に下さい。

例 Nurses should take good care of patients.

⇒ Good care should be taken of patients by nurses.

(よい世話が看護婦によって患者にされるべきです[看護婦は患者の世話をよくすべきです])

(1) She paid no attention to my warnings.

⇒

(彼女によって注意がまったく私の警告にはらわれませんでした)

(2) We can make use of TV to study foreign languages.

⇒

(外国語を勉強するのにテレビの利用がなされることができます[テレビを利用することができます])

(3) The president found no fault with her work.

⇒

(社長によって彼女の仕事に文句は何もつけられませんでした)

2. 受け身の不定詞・動名詞・分詞構文

「その少年は愛されたいと思っています」という文を、英語で表すと、

That boy wants to () ().

です。さて () の中に何を入れたらいいですか。to () () は、「愛されること」という受け身の意味を表す不定詞です。「愛される」は動詞 love(愛する)の過去分詞 loved で表せますね。不定詞の to の後は動詞の原形ですから、受け身の be 動詞は原形の be とします。したがって () の中は、be と loved です。

That boy wants to (be) (loved).

このように、受け身の不定詞は、〈to be+過去分詞〉で表されます。

「彼は大統領に選ばれることに自信がありました」という文を英語で表すと、

He was confident of () () president.

です。さて今度は () の中に何を入れたらいいですか。2つの () で「選ばれること」という受け身の意味を表します。「選ばれる」は動詞 elect(選ぶ)の過去分詞 elected で表せますね。前置詞 of のうしろで「～されること」を表すには、動詞を動名詞にしますから、受け身の be 動詞は動名詞 being となります。したがって () の中は、being と elected です。

He was confident of (being) (elected) president.

このように、受け身の動名詞は、〈being+過去分詞〉で表されます。

「この本は古い英語で書かれているので、読むのにむずかしい」という文を、分詞構文を用いて表してみましょう。

() () in old English, this book is difficult to read.

さて、() の中に何を入れたらいいですか。「書かれる」は written です。分詞構文は、現在分詞で表しますから、受け身の be 動詞は、現在分詞 being とします。したがって、

(Being) (written) in old English, this book is difficult to read.

となります。ただし、Being は省略されることがあります。

Written in old English, this book is difficult to read.

トレーニング

3 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) I hate to be teased.
- (2) She wants to be treated as an adult by her parents.
.....
- (3) To love and to be loved is one of life's greatest joys.
.....
- (4) We have a lot of problems to be solved.
.....
- (5) I'm glad to be invited to the party by Mr. Kato.
.....

▶(1), (2), (3)の to be ～は「～されること」、(4)の to be ～は「～されるべき…」、(5)の to be ～は「～されて」という意味です。(1) tease「からかう」(2) treat「扱う」

4 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) He can't stand being teased.
.....
- (2) I don't like being interrupted when I am studying.
.....
- (3) I remember being introduced to her at the party.
.....
- (4) She is sure of being given a lot of presents on her birthday.
.....
- (5) He helped his mother without being asked.
.....

▶ 下線部はいずれも「～されること」という意味。(1) can't stand 「がまんすることができない」 (2) interrupt 「じやまをする」 (3) remember being ～ 「～されたことを覚えている」

5 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) Being washed every day, this car looks like a new one.
.....
- (2) Being given a new bicycle, the boy rode it every day.
.....
- (3) Having been lied to so often, she now distrusts everybody.
.....

3. be covered with ～ など

「山は雪でおおわれています」という文は、英語では、

The mountain is covered with snow.

と表します。「～でおおわれている」は、is covered with ～ と表されていますね。このように、受け身を表す be 動詞と過去分詞の後ろに by 以外の前置詞がきて、連語のようにまとめて覚えておくとう利な表現があります。ここにいくつかあげておきます。

be known to ～ 「～に知られている」 / **be made from** ～ 「～(原料)から作られる」

be made of ～ 「～(材料)で作られる」 / **be made into** ～ 「作られて～になる」

なお、That writer is known to everyone. (その作家はみんなに知られています) は、Everyone knows that writer. (みんながその作家を知っています) の受け身の文です。動詞 know は受け身の文では、「する側」を by ～ ではなく、to ～ で表すことに注意してください。be known by ～ は、「～によって識別される(～でわかる)」という意味になります。

A tree is known by its fruit. (木はその実で識別される[木の価値はその実でわかる]) —— ことわざ

トレーニング

6 日本語の意味に合うように、次の文を完成しなさい。

- (1) The ground _____ fallen leaves. (地面は枯れ葉でおおわれています)

- (2) He _____ all the people in this village.
(彼はこの村のすべての人々に知られています)
- (3) Butter _____ milk. (バターはミルクから作られます)
- (4) These chairs _____ wood. (これらのいすは木で作られています)
- (5) Sour grapes _____ raisins.
(すっぱいぶどうは作られてレーズンになります)
- (6) A man _____ the company he keeps.
(人はつきあう仲間で見ればその人の人柄がわかります)
- (7) He _____ everyone _____ his bald head.
(彼ははげた頭でみんなに知られています)

▶(7)では、前置詞 to と by の使い分けに注意しなさい。

4. 日本語では能動態、英語では受け身の形で表す表現

「私はそのニュースに驚きました」という文を、英語では、

I was surprised at the news.

と表します。日本語の「驚いた」が英語では was surprised と受け身の形で表されていますね。このように、日本語では「～する(した)」というところを、英語では受け身の形で表す場合があります。そのような例をいくつかあげてみます。

- (1) 私はその結果に満足しています。 ⇒ **I am satisfied with the results.**
 (2) 私たちは彼の無実を確信しています。 ⇒ **We are convinced of his innocence.**
 (3) 彼は交通事故でけがをし[てい]ました。 ⇒ **He was injured in the traffic accident.**

(1)では「満足している」が am satisfied, (2)では「確信している」が are convinced, (3)では「けがをし[てい]た」が was injured と受け身の形で表されていますね。このように、感情や心理や被害を表す場合には、日本語では「～する、～している、～した」と能動態で表すところを、英語では受け身の形で表します。これは、英語では、何かほかの原因によって、人はある感情や心理を生じさせられた、被害をうけた、と考えるからです。

ほかに「夢中である」(be absorbed), 「[にわか雨に]あう」(be caught(in a shower)), 「生まれる」(be born) も英語では受け身の形で表されます。

トレーニング

7 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) He was excited at the soccer game.
.....
- (2) We were surprised to hear the news.
.....
- (3) They were delighted that their son passed the examination.
.....
- (4) She was greatly disappointed to learn the test results.
.....
- (5) I was shocked at her remarks.
.....

- ▶(1) be excited「興奮する」 (3) be delighted「喜ぶ」 (4) be disappointed「失望する」 (5) be shocked「ショックを受ける」

8 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) Tom was determined to become a doctor.

- (2) He is ashamed of his behavior.

- (3) I am convinced that he is honest.

- (4) I am interested in learning foreign languages.

- ▶(1) be determined「決心する〔している〕」 (2) be ashamed「恥ずかしがる」 (4) be interested「興味がある」

9 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) Her son was drowned in that river.

- (2) That bus was delayed fifteen minutes.

- (3) That ship was wrecked in a storm.

- (4) Her feelings were hurt by what they said.

- ▶(1) be drowned「おぼれる」 (2) be delayed「おくれる」 (3) be wrecked「難破する」 (4) what they said「彼らが言ったこと」

10 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) My brother is absorbed in the study of insects.

- (2) He is devoted to helping the poor.

- (3) I was caught in a shower on my way home from school.

- (4) Mr. Kato was born in 1952.

- ▶(2) be devoted「専念している」 (3) on my way home from school「学校から〔家に〕帰る途中で」

5. 能動態の形で、受け身の意味を表す表現

That camera sells here for 50 dollars. という文はどう訳しますか。「そのカメラは…売ります」ではおかしい意味ですね。この文では sells は「売られています」と受け身の意味を表しているのです。したがって「そのカメラはここでは 50 ドルで売られています」となります。

このように能動態の形で、受け身の意味を表すことのできる動詞には、**sell** (売られている, 売れる) のほかに、**read** (読める), **cut** (切れる), **tear** (破れる) などがあります。

This book sells well. (この本はよく売れています)

That roast chicken cuts easily. (そのローストチキンは簡単に切れます)

不定詞や動名詞や現在分詞も、能動態の形で、受け身の意味を表す場合があります。

① **He is to blame for the accident.** (彼はその事故のことで責められるべきです)

② **Those shoes need repairing.** (それらのくつは修理される必要があります)

③ **What is cooking in the kitchen?** (台所では何が作られていますか)

このような用法は、不定詞では①の is to ~ のほかに、There is ... to ~ の文でもおもに用いられます。動名詞では、②の need ~ (～される必要がある) のほかに、be worth ~ing (～される価値がある) の表現で用いられ、現在分詞では③のように進行形の文で用いられます。

トレーニング

11 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) Those oranges sell for 3 dollars a dozen.

(2) That jar of jam opens easily.

(3) This cheese cuts easily.

(4) Bananas peel easily.

(5) Newspaper tears easily.

(6) This apartment rents cheaply.

▶ 下線部を、(1) are sold, (2) can be opened, (3) can be cut, (4) can be peeled, (5) can be torn, (6) is rented, または can be rented と考えて訳しなさい。

12 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) She is to blame for the result.

(2) There is no time to lose.

(3) Your room needs cleaning.

(4) That temple is worth visiting.

(5) What movie is playing this week?

▶ 下線部を、(1) is to be blamed, (2) no time to be lost, (3) needs being cleaned, (4) worth being visited, (5) is being played と考えて訳しなさい。 (1) is to ~ = should

6. 「～される」と「～されている」の文

次の2つの文はどう訳しますか。

(1) **That room is painted every year.**

(2) **That room is painted white.**

(1)は「その部屋は毎年ペンキを塗られます」、(2)は「その部屋は白くペンキを塗られています」となります。(1)の is painted は「ペンキを塗られます」、(2)の is painted は「ペンキを塗られています」という意味です。このように受け身は「～される」と動作を表す場合と、「～されている」と状態を表す場

合があります。

例 **That gold was hidden by the old man.** (その黄金は老人によって隠されました)

That gold was hidden for a long time. (その黄金は長いあいだ隠されていました)

「～される[～された]」と動作であることをはっきりと表したいときは、be 動詞のかわりに、get や become や grow などを用います。

例 **That room gets painted every year.** (その部屋は毎年ペンキを塗られます)

「～されている (～されていた)」と状態であることをはっきりと表したいときは、be 動詞のかわりに remain や lie を用います。

例 **That gold remained hidden for a long time.** (その黄金は長いあいだ隠されたままでした)

トレーニング

13 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。なお(1)～(3)は2つの下線部を比較して訳しなさい。

(1) The door was locked by Tom. _____
The door was locked when I came home.

(2) The gate to the library is shut at 6 p.m. every day. _____
The gate to the library is shut on Sundays.

(3) Those trees were uprooted by the heavy wind last night. _____
Those trees were uprooted when I saw them.

(4) We got excited at the baseball game. _____

(5) The passengers became nauseated during the storm at sea. _____

(6) That door remains broken for a long time. _____

(7) The bird lay crushed on the highway. _____

▶(2) the gate to the library 「図書館の門」 (3) uproot 「根こそぎにする」

7. 「(人は)～を…される, ～を…してもらう[させる]」という文

「私の時計は盗まれました」は、英語では、My watch was stolen. ですね。それでは、「私は私の時計を盗まれました」という文はどう表したらいいですか。

主語は I(私は)ですから、動詞に have を用いて、

I had my watch stolen.

と表します。このように、「(人が)～を…される」と、人を主語にして、その人のもちものが被害を受けたことを表す場合には、動詞 have を用います。そして、have の後ろに、[もちもの]と「～される」と被害の意味を表す過去分詞がきます。

それでは、**I had my watch repaired.** はどう訳しますか。「私は私の時計を修理されました」ではおかしい意味ですね。この場合は、「私は私の時計を修理してもらいました[修理させました]」と訳します。このように、「～される」を表す過去分詞 (repaired) が被害の意味を表さない場合は、「(人は)～を…してもらう[させる]」という使役の意味になるのです。

なお、使役の意味を表したいときは、動詞 have のかわりに get も使えます。

I got my watch repaired. (私は私の時計を修理してもらいました[修理させました])

トレーニング

14 ()内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

- (1) He had his bicycle _____. (steal) (彼は自転車を盗まれました)
- (2) I have my car _____ once a week. (check)
(私は私の車を週に1度点検してもらいます)
- (3) He had his hands _____ in the fire. (burn) (彼は火事で手をやけどしました)
- (4) She had her hair _____ by her mother. (cut) (彼女はお母さんに髪を切ってもらいました)
- (5) They got a big cake _____ for their wedding. (make)
(彼らは結婚式用に大きなケーキを作らせました[作ってもらいました])

▶ ()内の動詞の意味上の主語は、had や got のうしろの名詞ですから、過去分詞 (～される) にします。

15 次の英文を訳しなさい。

- (1) I had my pocket picked in the train.
.....
- (2) She had her hat blown off by the wind.
.....
- (3) I have my carpets cleaned once a year.
.....
- (4) You had better get that tooth pulled.
.....

▶ (1) pick 「する」 (2) blow off 「ふきとばす」

それでは発展トレーニングにはいります。これまで学習してきたことがわかっているれば必ずできます。受け身の学習もあとわずかですからがんばりましょう。

発展トレーニング

発展的な問題を扱っています。落ち着いてやりましょう。

① ()内の動詞(群動詞)を用いて、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

- (1) She can't _____. (rely on)
(彼女は信用されることができません〔彼女は信用できません〕)
- (2) Uniforms _____ at that school. (do away with)
(その学校では制服は廃止されました)
- (3) _____ should _____ our professors when they lecture. (pay attention to)
(私たちの教授たちが講義をするとき、彼らに注意がはらわれるべきです)
- (4) The next thing to _____ is his proposal. (consider)
(考慮されるべき次のことは彼の提案です)
- (5) She is afraid of _____ from her job. (dismiss)
(彼女は彼女の仕事から解雇されることを恐れています)
- (6) _____ by his parents, that boy has many toys. (indulge in)
(その少年は両親に甘やかされているのでおもちゃをたくさん持っています)
- (7) Bread _____ flour. (make)
(パンは小麦粉から作られます)
- (8) He _____ everyone _____ his unusual walk. (know)
(彼は独特の歩き方でみんなに知られています)
- (9) She _____ not _____ my answer. (satisfy)
(彼女は私の答えに満足しませんでした)
- (10) Some boys _____ in that river last summer. (drown)
(去年の夏何人かの少年がその川でおぼれました)
- (11) During the rush hour all the trains _____. (crowd)
(ラッシュ時の間はすべての電車が混雑しています)
- (12) This book is worth _____. (read)
(この本は読む価値があります)
- (13) Who is to _____ for the fire? (blame)
(その火事のことではだれが責められるべきですか〔だれに責任があるのですか〕)
- (14) That poet became _____ after the war. (know)
(その詩人は戦争のあと知られるようになりました)〔神戸女学院〕
- (15) She doesn't like to get _____ in arguments with her husband. (involve)
(彼女は自分の夫との口論にまきこまれたくありません)〔学習院改題〕
- (16) They had their house _____ in a typhoon. (damage)
(彼らは台風で家をこわされました)

▶(6) 分詞構文の文です。(11)「混雑する〔している〕」は、英語では受け身の形で表します。

② 下線部に適当な語を入れて、同じ意味の文に書きかえなさい。

- (1) That professor is respected by all the students at the university. (あの教授は大学のすべての学生によって尊敬されています)
⇒ That professor _____ by all the students at the university.
- (2) The conference was postponed until the following Monday. (会議はその次の月曜日まで延期されました)
⇒ The conference _____ until the following Monday.

- (3) I don't like to be made fun of. (私はからかわれるのは好きではありません)
⇒ I don't like _____ fun of.
- (4) He is sure that he will be elected chairman. (彼は議長に選ばれることを確信しています)
⇒ He is sure of _____ chairman.
- (5) He was happy that he was granted admission to the university. (彼はその大学への入学許可を認められてうれしかった)
⇒ He was happy to _____ admission to the university.
- (6) As this poem is written in simple English, it is easy to memorize. (この詩は平易な英語で書かれているので、覚えるのに簡単です)
⇒ _____ in simple English, this poem is easy to memorize.

▶(1)は respect を 3 語で、(2)は postpone を 2 語で表し受け身の形にします。(3)は動名詞を用いて表します。(4)は that 節を of ~ の形で表します。of のうしろは動名詞となります。(5) that 節を不定詞にします。to の後ろは動詞の原形です。(6) 分詞構文を用いた文にします。

最後に英文和訳をしてきょうのトレーニングを終わしましょう。

③ 次の英文を訳しなさい。

- (1) The new student was taken no notice of by his classmates.
.....
- (2) We were relieved to hear the plane had arrived safely.
.....
- (3) I don't approve of Tom's being punished so severely.
.....
- (4) I'm not accustomed to being treated in that way.
.....
- (5) This material feels soft.
- (6) He had his leg broken in the traffic accident.
.....
- (7) I want to get this report typed.
.....

▶(1) take notice of ~ 「～に注意をはらう」 (2) be relieved 「ほっとする」 (3) Tom's が動名詞 being punished の主語です。(4) be accustomed to ~ 「～に慣れている」

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。 (答えはこのページの下)

- | | |
|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 industry (名) | <input type="checkbox"/> 2 inevitable (形) |
| <input type="checkbox"/> 3 inhabit (動) | <input type="checkbox"/> 4 intellectual (形) |
| <input type="checkbox"/> 5 international (形) | <input type="checkbox"/> 6 invention (名) |
| <input type="checkbox"/> 7 issue (名) | <input type="checkbox"/> 8 justify (動) |
| <input type="checkbox"/> 9 majority (名) | <input type="checkbox"/> 10 miracle (名) |
| <input type="checkbox"/> 11 moral (形) | <input type="checkbox"/> 12 national (形) |
| <input type="checkbox"/> 13 nevertheless (副) | <input type="checkbox"/> 14 notion (名) |
| <input type="checkbox"/> 15 occupation (名) | <input type="checkbox"/> 16 occupy (動) |
| <input type="checkbox"/> 17 opinion (名) | <input type="checkbox"/> 18 otherwise (副) |
| <input type="checkbox"/> 19 parallel (形) | <input type="checkbox"/> 20 passenger (名) |
| <input type="checkbox"/> 21 patient (形) | <input type="checkbox"/> 22 period (名) |
| <input type="checkbox"/> 23 personality (名) | <input type="checkbox"/> 24 persuade (動) |
| <input type="checkbox"/> 25 position (名) | <input type="checkbox"/> 26 practical (形) |
| <input type="checkbox"/> 27 practice (動) | <input type="checkbox"/> 28 pursue (動) |
| <input type="checkbox"/> 29 quantity (名) | <input type="checkbox"/> 30 rapid (形) |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。 (答えはこのページの下)

- ☐ 1 He _____ be forgetful at times.
(彼はときどき忘れやすくなりがちです)
- ☐ 2 This story _____ fact.
(この話は事実にもとづいています)
- ☐ 3 He _____ become tired after such a long race.
(彼は、そのような長いレースのあとではきっと疲れるはずです)
- ☐ 4 I _____ somebody calling my name from across the street.
(私はだれかが通りの向うから私の名前を呼ぶのに気づいていました)
- ☐ 5 She _____ believe everything she hears.
(彼女は聞いたことをすべて信じる傾向にあります)
- ☐ 6 He _____ learning Russian.
(彼はロシア語を学ぶことに興味があります)

◇ 答え ◇

- I. 1 工業, 産業 2 避けることのできない, 必然の 3 (〜に)住む 4 理知的な, 知力の 5 国際的な
6 発明 7 発行物, 争点 8 正当化する 9 過半数, 大多数 10 奇跡 11 道徳(上)の, 精神的な
12 国民の, 国家的な 13 それにもかかわらず 14 概念, 観念 15 職業, 占領 16 占領する, 占める 17 意見
18 さもなければ 19 平行な, 相似する 20 乗客 21 忍耐強い 22 期間, 時代 23 個性, 人格
24 説得する, 納得させる 25 位置 26 実用的な 27 練習する, 実行する 28 追求する 29 量 30 迅速な
- II. 1 is, apt, to 2 is, based, on 3 is, bound, to 4 was, conscious, of 5 is, inclined, to
6 is, interested, in

きょうは関係代名詞の学習をします。英語には日本語にはない語法がいろいろありますが、関係代名詞もその1つです。基本的なところから説明していきますから、いままでの知識を確認しながら学習を進めていってください。

1. 関係代名詞 who

「私はあの絵をかいた少女を知っています」という文を英語で書くとどんな文になるでしょう。きみは、次のような文なら書けますね。たとえば、「親切な少女」なら a kind girl, 「ねむっている少女」なら a sleeping girl です。

では、「あの絵をかいた少女」はどう表すのでしょうか。こんな場合は、who を関係代名詞として使って言い表します。例をあげてみます。

- (1) あの絵をかいた少女 ⇒ **the girl who painted that picture**
- (2) きょうあの山に登った少年 ⇒ **the boy who climbed that mountain yesterday**
- (3) 私に英語を教えてくれた先生 ⇒ **the teacher who taught me English**

the girl who painted that picture をそのまま訳してみると、「少女(その人が)あの絵をかいた」となりますね。つまり、who は the girl をいいかえたものです。そして、who 以下は the girl がどんなことをしたのかを説明しているわけです。

このように、the girl に関して、それに代わる詞(ことば)すなわち代名詞として使われた who を関係代名詞といいます。

そして、説明される the girl は who の前にあるので、これを who に先行する詞(ことば)すなわち先行詞と呼んでいます。

また、who は続く文の中で主語となっていますが、このことを主格といいます。

「私はあの絵をかいた少女を知っています」 ⇒ I know the girl who painted that picture.

となることがわかりましたね。(2)(3)についてその例をあげておきましょう。

「きのうあの山に登った少年は明です」 ⇒ The boy who climbed that mountain yesterday is Akira.

「こちらが私に英語を教えてくれた先生です」 ⇒ This is the teacher who taught me English.

では、さっそくトレーニングに入りましょう。

トレーニング

- 1 例にならい、関係代名詞 **who** を用いて、次の日本語を英語に書きかえなさい。その際、先行詞にあたることばに下線を引いてから始めなさい。

例 英語を話せる男の人

⇒ the man who can speak English

- (1) あの絵をかいた少女 ⇒ the _____
- (2) きとうあの山に登った少年 ⇒ the _____
- (3) 私に英語を教えてくれた先生 ⇒ the _____
- (4) 窓をこわした少年 ⇒ the _____
- (5) 水泳の好きな少女 ⇒ the _____
- (6) 日本で勉強しているアメリカ人 ⇒ an _____
- (7) ヨーロッパに住む友人 ⇒ a _____
- (8) バスを待っている女の人 ⇒ the _____
- (9) 私にその知らせを話してくれた学生 ⇒ the _____
- (10) 今本を読んでいる学生 ⇒ the _____
- (11) いまベンチにすわっている男の人 ⇒ the _____
- (12) 歌っている少女 ⇒ the _____
- (13) テニスをするのが好きな友だち ⇒ a _____
- (14) テレビを見ている子ども ⇒ the _____
- (15) 車にひかれた少年 ⇒ the _____

▶(5) 「水泳が好き」 like swimming (7) 「～に住む」 live in ～ in を忘れないこと。 (8) 「～を待つ」 wait for ～
 (13) 「テニスをするのが好き」 like playing tennis (14) 「テレビを見る」 watch television (15) 「～にひかれる」 be run over by ～

- 2 次の日本語を、**who** を用いて英語に直しなさい。下線部のことばを先行詞にしなさい。

- (1) 私はあの絵をかいた少女を知っています。
 ⇒ _____
- (2) 私はこの手紙を書いた少年を知りません。
 ⇒ _____
- (3) 私にはヨーロッパに住む友人がいます。
 ⇒ _____

▶(1) わからないときは、「私は少女を知っています」「彼女があの絵をかきました」といった具合に、少しずつ考えていくとよい。

以上の **who** はすべて **that** でおきかえることができます。

2. 関係代名詞 whose

「お母さんが先生をしている友だち」 この文を英語で表せますか。

先行詞は友だちですね。だから、「友だち(その人の)お母さんは先生」という英語にすればいいわけです。これを英語で書くと、

a friend () mother is a teacher

です。さあ () のなかの関係代名詞は who でいいですか。この場合「その人の」にあたる関係代名詞が必要です。すなわち所有格ですね。who の所有格は whose です。だから whose が正解です。

「お母さんが先生をしている友だち」 ⇒ **a friend whose mother is a teacher**

トレーニング

3 例にならい、関係代名詞 whose を用いて次の日本語を英語に直しなさい。その際、先行詞にあたることばに下線を引いてから始めなさい。

例 お父さんが公務員をしている友だち

⇒ **a friend whose father is a public servant**

- (1) お母さんが先生をしている友だち ⇒ a
- (2) お兄さんが医者をしている友だち ⇒ a
- (3) お兄さんが大学生の友だち ⇒ a
- (4) 息子が警察官をしている男の人 ⇒ the
- (5) 両親がアメリカに住む少年 ⇒ the
- (6) 名前がボブというアメリカ人 ⇒ the
- (7) 家がこの近くにある少年 ⇒ the
- (8) あなたがきのう会った娘の母親 ⇒ the

▶(3)「大学生」a college student (4)「警察官」a policeman (6)「アメリカ人」the American (7)「～がこの近くにある」～ be near here (8)「娘」a daughter, 「母親」が先行詞です。

4 次の日本語を、whose を用いて英語に直しなさい。下線部のことばを先行詞にしなさい。

- (1) 私にはお兄さんが医者をしている友だちがいます。

⇒

- (2) あれは両親がアメリカに住んでいる少年です。

⇒

- (3) 私は名前がボブというアメリカ人に会いました。

⇒

▶冠詞はわからなくてもあまり気にする必要はありません。

3. 関係代名詞 whom

「私がきのう会った男の人」 さあ、今度は何を入れるでしょう。

the man () I met yesterday

つまり、「男の人(その人に)私はきのう会った」という英文を作るわけですね。「その人に」だから目的格です。who の目的格は whom です。

the man whom I met yesterday

トレーニング

- 5 例にならい、関係代名詞 **whom** を用いて、次の日本語を英語に直しなさい。その際、先行詞にあたることばに下線を引いてから始めなさい。

例 私が動物園で会った子どもたち

⇒ the children whom I met at the zoo

- (1) 私がきのう会った男の人 ⇒ the
- (2) 私が公園で会った少女 ⇒ the
- (3) 私たちがいちばん好きな先生 ⇒ the
- (4) あなたが信頼できる友人 ⇒ a
- (5) 彼女が待っている女の人 ⇒ the
- (6) 彼らが話していた学生 ⇒ the
- (7) あなたがさがしている少年 ⇒ the
- (8) あなたが駅で話しかけた見知らぬ人 ⇒ the

▶(3) 「いちばん好き」 like best (4) 「信頼する」 trust (5) 「～を待つ」 wait for ~ (6) 「～について話す」 talk about ~ (7) 「～をさがす」 look for ~ (8) 「～に話しかける」 speak to ~ 「見知らぬ人」 stranger

- 6 次の日本語を、**whom** を用いて英語に直しなさい。下線部のことばを先行詞にしなさい。

- (1) 私がきのう会った男の人は賢一君のお父さんです。

⇒

- (2) 私たちがいちばん好きな先生は山口先生です。

⇒

- (3) あなたがさがしている少年は公園にいます。

⇒

▶(2) 「山口先生」 Mr. [または Mrs., Miss] Yamaguchi

以上の **whom** はすべて **that** でおきかえることができます。

すらすらとできましたか。ここで少し頭を休めてから、次に進みなさい。

4. 関係代名詞 which

「きょうとどいた手紙」 これを英訳してみましょう。「手紙」を先行詞にして、

the letter () arrived today

とすればいいのですが、() の中は who でしょうか。いいえ、答えは which です。先行詞が人のときは who ですが、「手紙」のように人でないときには which を使うのです。

the letter which arrived today

となります。 which の目的格は、主格と同じく which です。例をあげてみます。

「山田さんがゆうべ読んだ本」 ⇒ **the book which Mr. Yamada read last night**

「…の」と所有格の場合には、whose を使います。

In Japan there are many cities whose population is more than 1,000,000.

(日本には 100 万以上の人口をもつ市がたくさんあります)

トレーニング

7 例にならい、関係代名詞 which を用いて、次の日本語を英語に直しなさい。

例 私がきのう買った本

⇒ **the book which I bought yesterday**

- (1) きょうとどいた手紙 ⇒ the
- (2) 学校に通じる通り ⇒ the
- (3) 彼によって書かれた本 ⇒ the
- (4) あのかごの中の鳥 ⇒ the
- (5) 私がゆうべ見た映画 ⇒ the
- (6) あなたが待っているバス ⇒ the
- (7) 上野先生が住んでいる家 ⇒ the

▶(2) 「～に通じる」 lead to ～ (4) 「かご」 cage (5) 「ゆうべ」 last night (6) 「～を待つ」 wait for ～ (7) 「～に住む」 live in ～

8 次の日本語を、which を用いて英語に直しなさい。下線のことばを先行詞にしなさい。

- (1) 明はきのう買ったギターをひいています。

⇒

- (2) あれが上野先生が住んでいる家です。

⇒

- (3) 私は今きいているレコードが大好きです。

⇒

▶(1) 「ギター」 the guitar 「ひく」 play (3) 「～をきく」 listen to ～

以上の which はすべて that におきかえられます。

5. 関係代名詞の省略

「あなたがきのう会った男の人」 もう、この英訳はできるでしょう。

the man whom[that] you met yesterday

となりますね。ところで、このとき whom[that]を省いて、

the man you met yesterday

としてもかまいません。つまり、目的格の関係代名詞は省略できるのです。

トレーニング

9 次の英語を日本語に訳しなさい。

- (1) the man you met yesterday
- (2) the girl I met in the park
- (3) the woman I saw at that store
- (4) the young man you saw at the station
- (5) the book I bought yesterday
- (6) the new bicycle he bought
- (7) the pictures you took in Europe
- (8) the umbrella I borrowed from him

10 下線部に注意して次の英文を日本語に訳しなさい。

- (1) The movie I saw last night was funny.
- (2) The girl I met in the park was very pretty.
- (3) I found the key you had lost last week.
- (4) The letter I received this morning had no stamps on it.
.....
- (5) That is the house Frank lives in.
.....
- (6) He dropped the camera his brother lent him.
.....
- (7) The record I am listening to now is my favorite.
.....

▶(7) listen to ～ 「～をきく」

これまでのところでわからないところがあったら、答えを見て正解を確かめておきなさい。

① 関係代名詞に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) That tall man **who** has just come in is my uncle.
.....
- (2) The man **who** asked me to give you this letter is Mr. Smith.
.....
- (3) The woman **whose** daughter I talked with is Mrs. Johnson.
.....
- (4) Several years ago, in a small town in Nebraska, there lived a young girl **whose** name was Antonia.
.....
- (5) That is the man **whom** they were talking about.
.....
- (6) She was watching the swans **which** had flown in from the north.
.....
- (7) The pen **which** I am using now is my father's.
.....
- (8) She dropped the camera **which** her brother lent her.
.....
- (9) The question **which** he answered just now was a little difficult.
.....
- (10) That museum **whose** garden is beautiful was built fifty years ago.

▶(1) That tall man から come in までが主語。 (2) ask ~ to ... 「～に…することを頼む」 The man から this letter までが主語。 (3) talk with ～ 「～と話をする」 The woman から talked with までが主語。 (4) Several years ago 「何年前」 Nebraska 「ネブラスカ」 Antonia 「アントニア」 (5) talk about ～ 「～について話をする」 (6) the swans 「白鳥たち」 flown は fly の過去分詞。 (7) The pen から using now までが主語。 (9) just now 「たった今」 The question から just now までが主語。 (10) That museum から beautiful までが主語。

② 関係代名詞の省略された次の英文を訳しなさい。

- (1) The man I spoke to in English was a Canadian.
.....
- (2) The cookies my mother made this morning were good.
.....

▶(1) speak to ～ 「～に話しかける」 in English 「英語で」 The man から in English までが主語。man と I とのあいだに whom(that) が省略されています。 (2) The cookies から this morning までが主語。The cookies と my mother とのあいだに which(that) が省略されています。

今度は、実際に入試で出題された文を読んでみましょう。

③ 次の文を日本語に訳しなさい。

- (1) He had been a strict, honest man, and a man who showed no mercy.

〔北海道大改題〕

- (2) When I was sixteen, I was already writing articles and submitting them to any publishing company whose address I could find.

〔中央大改題〕

▶(1) strict「厳格な」 mercy「慈悲, 容赦」 (2) already「すでに」 article「記事」 submit「(意見・批評をもとめて)提出する」 publishing company「出版社」

このような長い文を読むときには、文頭から順に、なるべくあともどりせずに読むことがたいせつです。さらに、次のように区切ってみると、意味のまとまりがよくわかります。

When I was sixteen, / I was already writing articles / and submitting them / to any publishing company / whose address / I could find.

④ 日本語の英訳になるように、次の文中の空所を適当な単語で埋めなさい。

- (1) 私の父はタイプがじょうずに打てる秘書を必要としています。

My father needs a secretary _____ well.

- (2) ぼくには東京で働いている兄がいます。

I have a brother _____ in Tokyo.

- (3) ぼくはきみが推薦した本を買いました。

I bought the _____.

- (4) 私のおじは私にスイスで買った腕時計をくれました。

My uncle gave me a _____ in Switzerland.

- (5) この前の日曜日、私たちは桜で有名な吉野山へ行きました。

Last Sunday we went to Mt. Yoshino _____ its cherry blossoms.

▶(1) 「タイプを打つ」 type (5) 「～で有名」 be famous for ～

最後に英作文をして、きょうの学習を終わりにしましょう。ある名詞とそれを説明する部分とに注意して、次のトレーニングに進みなさい。

⑤ 関係代名詞を使って、次の日本語を英語に訳しなさい。

(1) ぼくのいちばん好きなスポーツは野球です。

.....

.....

.....

〔成城大改題〕

(3) 次のかどを左にまがると、300 年以上前に建てられたお寺があります。

.....

.....

〔熊本大改題〕

- ▶(2) 「先日」 the other day 「デパート」 a department store 「～を返品する」 return ～ (3) 「次のかど」 the first corner 「左にまがる」 turn to the left 「お寺」 a temple 「300 年以上前」 more than 300 years ago 主語がありませんが、「～を左にまがると」 If you turn to the left at ～, で文を始め, 「～があります」 you will see ～ と続けます。

よくここまでがんばりましたね。発展トレーニングには少し骨が折れたろうと思います。答え合わせをして、正解を確かめてみてください。あしたは引き続き関係代名詞の学習をします。次ページの頻度順単語・イディオムのチェックをしたら、ゆっくり休んでください。

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。(答えはこのページの下)

- | | |
|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 rapidly (副) | <input type="checkbox"/> 2 receive (動) |
| <input type="checkbox"/> 3 reflection (名) | <input type="checkbox"/> 4 reject (動) |
| <input type="checkbox"/> 5 reserve (動) | <input type="checkbox"/> 6 resolve (動) |
| <input type="checkbox"/> 7 right (名) | <input type="checkbox"/> 8 rise (動) |
| <input type="checkbox"/> 9 risk (名) | <input type="checkbox"/> 10 ruin (動) |
| <input type="checkbox"/> 11 scientific (形) | <input type="checkbox"/> 12 separate (動) |
| <input type="checkbox"/> 13 shift (動) | <input type="checkbox"/> 14 sound (形) |
| <input type="checkbox"/> 15 spirit (名) | <input type="checkbox"/> 16 spread (動) |
| <input type="checkbox"/> 17 standard (名) | <input type="checkbox"/> 18 strain (動) |
| <input type="checkbox"/> 19 structure (名) | <input type="checkbox"/> 20 substitute (動) |
| <input type="checkbox"/> 21 successful (形) | <input type="checkbox"/> 22 sum (動) |
| <input type="checkbox"/> 23 thereby (副) | <input type="checkbox"/> 24 throughout (前) |
| <input type="checkbox"/> 25 tool (名) | <input type="checkbox"/> 26 trace (動) |
| <input type="checkbox"/> 27 tremendous (形) | <input type="checkbox"/> 28 universal (形) |
| <input type="checkbox"/> 29 vast (形) | <input type="checkbox"/> 30 vision (名) |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。(答えはこのページの下)

- ☐ 1 Human carelessness _____ the terrible accident.
(人為的な不注意がその恐ろしい事故を引き起こしました)
- ☐ 2 I _____ an old textbook in my closet.
(私は偶然物置で古い教科書を見つけました)
- ☐ 3 You should _____ more _____ your work.
(あなたはあなたの仕事にもっと専心すべきです)
- ☐ 4 He _____ her in many ways.
(彼は多くの点で彼女とは異なります)
- ☐ 5 What shall we _____ these old newspapers?
(私たちはこれらの古新聞をどう処理しましょうか)
- ☐ 6 _____ you agree _____ I will be forced to take other steps.
(あなたが賛成するか私がほかの処置をとるかのどちらかです)

◇ 答え ◇

- I. 1 急速に, じん速に 2 受け取る, 迎える 3 反映, 思索 4 拒絶する, 却下する
 5 (他日の用に)取っておく, 予約しておく 6 決心する, 解決する 7 権利, 右 8 (太陽, 月が)のぼる, 高くなる
 9 危険 10 破滅させる 11 科学の 12 切り離す, 分かれる 13 移す, 変える 14 健全な, 堅固な
 15 精神, 心 16 広げる, 流布する 17 標準, 基準 18 引っ張る, 緊張させる 19 構造 20 代用する
 21 成功した 22 ~を合計する, 要約する 23 それによって, それで 24 ~じゅう, ~の間 25 道具
 26 跡をたどる, 調べ出す 27 恐ろしい, ものすごい 28 全世界の, 普遍的な 29 莫大な, 広大な 30 視力, 視覚
- II. 1 brought, about 2 came, across 3 concentrate, on 4 differs, from 5 do, with 6 Either, or

きょうは関係代名詞の学習の2日目です。さまざまな種類の関係代名詞の用法が登場しますよ。それらをひとつひとつ取り上げて、解釈を中心にトレーニングを重ねていきます。あわてて先へ進む必要はありません。

1. 関係代名詞 that

「私はその絵をかいた少女を知っています」という文は、英語では関係代名詞 who を用いて、I know the girl who painted the picture. と表しましたね。この文は、who を用いないで次のように表すことができます。

I know the girl that painted the picture.

who のかわりに that を用いています。この that も関係代名詞のひとつです。

that は先行詞が the girl のように人の場合にも、人以外の場合にも用いられます。所有格はなく、主格と目的格しかありません。そして、which 同様に格変化をしませんから、whose 以外の who, whom, which は that におきかえることができますよ。

The movie that(which) I saw last night was good.

(私がゆうべ見た映画はよかった)

また、次のような場合には that が特によく使われます。

It is the best movie that I have ever seen.

(それは私がかつて見たいちばんよい映画です)

the best (いちばんよい) のような最上級の形容詞が先行詞につくときには、that がよく用いられます。そのほかにも、次のような限定の意味あい強いことばが先行詞につくときには、that がよく用いられます。

the only(唯一の) / **the first**(最初の) / **the last**(最後の) / **the same**(同じ)

the very(まさしくその) / **all** / **any** / **every** / **no**

ただし、これは一般的な傾向であって絶対的な規則ではありません。特に先行詞が人の場合には who が使われることが多いようです。

トレーニング

1 関係代名詞を含む次の英文を、that を用いて書きかえなさい。

例 I know the girl who painted the picture.

⇒ I know the girl that painted the picture.

(私はその絵をかいた少女を知っています)

(1) The friend whom he visited last night was Susie.

(彼がゆうべ訪ねた友人はスージーでした)

- (2) She knows the man whom he met last night.

(彼女は彼がゆうべ会った男の人を知っています)

- (3) The dress which I bought yesterday is red.

(私がきのう買った洋服は赤い色です)

- (4) I need a tie which will match my gray suit.

(私には私の灰色のスーツに合うネクタイが必要です)

2 関係代名詞 that(下線部)に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) That is the best movie that I have ever seen.

- (2) That is the best record that he has ever made.

- (3) Shakespeare is the greatest dramatist that England has ever produced.

- (4) She was the only friend that he had.

- (5) He is the first student that came to school this morning.

- (6) You are the last person that I expected to see here.

- (7) At last, she found the very shoes that she wanted.

- (8) This is all the money that I have now.

▶(2) record「記録」 (3) Shakespeare「シェークスピア」 dramatist「劇作家」

2. 前置詞＋関係代名詞

「あれは彼が自慢している自動車です」 この文を英語で表してみましょう。「～を自慢している」は be proud of ～ で表せますから、

That is the car which(that) he is proud of. となりますね。

さらにこの文は、proud of の of を関係代名詞 which の前に置いて、

That is the car of which he is proud.

と表すこともできます。

ただし、**that** が用いられているときには、**that** の前に前置詞を置くことはありません。

That is the car which(that) he is proud of. という文と **That is the car of which he is proud.** という文を比較すると、前置詞を関係代名詞の前におく後者のほうが文語的な表現です。口語でもっとも普通に用いられる表現は、**That is the car he is proud of.** のように関係代名詞を省略した言い方です。

トレーニング

3 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) The man with whom he talked at the station was an American.
.....
- (2) The man with whom I talked yesterday was an actor.
.....
- (3) The man to whom I wrote yesterday is my brother.
.....
- (4) The girl with whom I played tennis last Sunday is Anne.
.....
- (5) The woman from whom I borrowed an umbrella is Mrs. Brown.
.....
- (6) The man about whom you told us last night is on TV now.
.....
- (7) The set of paints with which I painted the picture was a present from him.
.....
- (8) The briefcase in which he kept his papers has been found in a taxi.
.....

▶(1), (2) talk with 「～と一っしょに話をする」 (3) write to 「～に手紙を出す」 (4) play tennis with 「～と一っしょにテニスをする」 (5) borrow an umbrella from 「～からかさを借りる」 (6) tell about 「～について話をする」 be on TV 「テレビに出ている」 (7) paint 「絵の具」 (8) briefcase 「書類かばん」 paper 「書類」

3. 制限用法と非制限用法

次の2つの文の意味の違いがわかりますか。

- (1) **He had two sons who became doctors.**
- (2) **He had two sons, who became doctors.**

(1)は「彼には医者になった2人の息子がいました」という意味で、医者以外のものになった息子がほかにいたかも知れません。(2)は「彼には2人の息子がいましたが、その2人の息子は医者になりました」という意味です。関係代名詞 who の前にカンマがあるかないかによって意味が異なります。

(2)は sons のあとにカンマがありますから、そこで文がいったん切れるのがわかりますね。「彼には2人の息子がいました」と言ったあとで、「その2人の息子は医者になりました」と、2人の息子についての説明を継ぎたして述べるような具合です。関係代名詞のこのような用法を非制限用法と言います。これに対し、(1)を制限用法と呼んでいます。非制限用法では that はあまり用いられません。

では、次の文はどう訳しますか。

I tried to open that window, which I found impossible.

この文は、「私はその窓を開けようとしたのですが、それは不可能だとわかりました」と訳します。to open that window (その窓を開けること) が which の先行詞になっています。このように、非制限用法で which が用いられるときには、前の文の内容が which の先行詞になることがあります。

トレーニング

4 非制限用法に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) I will hire Mr. Kato, who can speak English well.

- (2) Da Vinci, whose paintings are famous, was also an architect.

- (3) She met Mike, whom she came to like very much.

- (4) I bought a new watch, which often runs slow.

- (5) I met Bob, from whom I borrowed an umbrella.

- (6) I bought a dozen eggs, some of which were bad.

- (7) She forgot to lock the door last night, which she often does.

- (8) He said he didn't know her, which was a lie.

▶ (1) hire 「雇う」 who を because he におきかえてみると意味がよくわかります。 (2) Da Vinci 「(レオナルド=) ダ・ヴィンチ」 painting 「絵画」 architect 「建築家」 (3) come to ～ 「～するようになる」 (6) a dozen eggs 「1ダースの卵」 some of which 「そのうちのいくつか」と訳します。(8)は前の文の内容が先行詞になっています。

4. 関係代名詞 what

「彼の言うことはほんとうです」という文は、英語では、

What he says is true.

と表します。日本語の「彼の言うこと」が英語では what he says と表されています。

what は「～であること[もの]」という意味の関係代名詞です。この what に「何」という疑問の意味はありませんよ。

what の前には先行詞にあたることばがありませんが、what はそれ自身に先行詞を含んでいます。「こと」(the things) を先行詞にした the things which he says という言い方はしません。

what には次のような慣用的な表現があります。

Our teacher is what is called a walking dictionary.

(私たちの先生はいわゆる生き字引です)

what is called は「いわゆる」という意味の表現です。このほかにも、**what** を用いた次のような表現を覚えておきましょう。

what we[you, they] call (いわゆる) / **what is better** (さらによいことに)

what is worse (さらに悪いことに) / **what I am** (今日の私) など

トレーニング

5 関係代名詞 **what** に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) What he says is true.

(2) What she said was quite right.
.....

(3) What she needs is a new coat.
.....

(4) I will do what I can for you.
.....

(5) Mr. Kent is what is called a walking dictionary.
.....

(6) His father is what we call a “self-made man”.
.....

(7) His health is not what it used to be.
.....

(8) They lost their way and, what was worse, it began to rain.
.....

▶ (5) a walking dictionary 「生き字引」 (6) a “self-made man” 「独力でたたき上げた人」 (8) lose one's way 「道に迷う」

関係代名詞について、さらに学習を進めましょう。

5. whoever, whichever, whatever

次の文はどう訳しますか。

Whoever comes to the picnic should bring his / her own lunch.

この文は、「ピクニックに来る人はだれでも自分の昼食を持ってくるべきです」と訳します。

whoever は、日本語の「～する人はだれでも」にあたる表現です。

whoever は関係代名詞 who に-ever のついた形です。このような関係代名詞を、複合関係代名詞と言います。whoever の前には先行詞にあたることばがありませんが、whoever はそれ自身に先行詞を含んでいます。

それでは、次の文はどう訳しますか。

Whoever knocks on the door when I am out, don't answer it.

今度は、「私の外出中にだれがドアをノックしようとも答えてはいけません」と訳します。whoever は「だれが～しようとも」と譲歩を表す場合にも用いられます。

whoever 以外の複合関係代名詞を覚えておきなさい。それぞれ、which, what に-ever のついた形です。

whichever (どちらでも, どちらが～しようとも) / **whatever** (何でも, 何が～しようとも)

トレーニング

⑥ 複合関係代名詞(下線部)に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) He shows his pictures to whoever comes to visit him.
.....
- (2) Whoever wants to read those books can borrow them.
.....
- (3) You may take whichever you like.
.....
- (4) I will give you whichever you want.
.....
- (5) Do whatever you want to do.
.....
- (6) Buy whatever you like, and don't worry about the price.
.....
- (7) Whatever happens, don't panic.
.....

▶(2) borrow 「借りる」

6. 関係代名詞としての as

次の文を訳すことができますか。

Mr. Brown is such a teacher as we can all admire.

as には「～のような」、such には「こんな、そんな」という意味がありますから、この文全体の訳は「ブラウン先生は私たちみんなが賞賛できるような先生です」となります。〈such ~ as ...〉でひとつのまとまった表現です。

では、次の文はどういう意味でしょうか。 **That is the same car as he has.**

such のかわりに the same が用いられていますね。the same は「～と同じ」という意味ですがこの文全体は「あれは彼が持っているのと同じ(種類の)自動車です」と訳します。〈the same ~ as ...〉は「…と同じ～」と訳します。

また、as を用いた次のような表現もありますよ。

He bought as many oranges as he could carry.

この文は、「彼は運べるだけのオレンジを買いました」という意味です。

最後に、as が単独で用いられる例を紹介しましょう。

He is a German, as we know from his accent.

この文は、「彼はドイツ人ですが、それは彼のアクセントからわかります」と訳します。

トレーニング

⑦ 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) He is such a professor as we can all admire.
.....

(2) That is the same kind of watch that I lost yesterday.

(3) He will lend you as much money as you need.

(4) She had never received such a wonderful present as that before.

(5) She must come from Kyoto, as you can tell from her accent.

(6) As is usual with cats, they like to sleep a lot.

7. 関係代名詞としての **but, than**

次の英文を訳してみましょう。

There is no child but likes candy.

この文は、「キャンデーの好きでない子どもはいません」と訳します。〈no ~ but ...〉は「…でない～はない」という意味の二重否定の表現です。

もうひとつ、次の文を訳してみましょう。

He spent more money than he did last month.

この文は、「彼は先月よりもたくさんのお金を使いました」と訳します。

トレーニング

8 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) There is no one but enjoys winning a prize.

(2) There are no rules but have some exceptions.

(3) There was no one but was surprised at the news of their wedding.

(4) She spent more money than she earned last week.

(5) There are more stars in the sky than we can see with the naked eye.

▶(2) exception 「例外」 (5) with the naked eye 「肉眼で」

■■■■ 発展トレーニング ■■■■ 発展的な問題を扱っています。落ち着いてやりましょう。

① 次の英文を訳しなさい。

(1) My aunt made me a dress, which I liked very much.

(2) He started to read a book last week, which he hasn't finished yet.

(3) The movie critic watched a lot of movies last month, most of which were boring to him.

(4) He built a house on that hill, in which he lived alone for many years.

(5) She came late, which annoyed us very much.

(6) My uncle, who is working in New York, invited me to spend the summer with him.

(7) On my way home, I met a friend of yours, who asked me to give you this letter.

(8) Sir Arthur Conan Doyle, who wrote the Sherlock Holmes stories, is one of the most famous mystery writers.

(9) He could not understand what she said in French.

〔梅花女子大改題〕

(10) I will do what I can for you.

〔拓殖大改題〕

(11) He put into Japanese what the Americans said at the conference.

〔慶應義塾大改題〕

(12) He got onto the same bus as his friend did.

〔中央大改題〕

▶ 先行詞は, (1) a dress, (2) a book, (3) a lot of movies, (4) a house です。 (3) boring 「退屈な」 (5)は She came late 全体が which の先行詞です。 annoy 「いらいらさせる」 (7) on my way home 「家に帰る途中で」 ask ~ to ... 「～に…することを頼む」 (8) Sir Arthur Conan Doyle 「アーサー=コナン=ドイル卿」 (11) put into Japanese 「日本語におきかえる」 conference 「会議」

② 適当な関係代名詞を補い、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

- (1) _____ meets him is surprized at his rude behavior.
(彼に会う人はだれでも彼の無礼なふるまいにおどろきます)
- (2) I will give you _____ you like. (私はあなたにどちらでも好きなほうをあげましょう)
- (3) You may do _____ you want to. (あなたはしたいことを何でもしてよろしい)
- (4) She is such a student _____ we can all like.
(彼女は私たちみんなが好きになれるような学生です)
- (5) This is the same record _____ he has. (これは彼が持っているのと同じレコードです)
- (6) He is as diligent a student _____ ever attended this school.
(彼はこの学校に通ったうちで今までにないほど勤勉な学生です) [学習院大改題]
- (7) Necessity is the mother of invention, _____ is often said.
(よく言われるように、必要は発明の母です)
- (8) There is no student _____ likes Mrs. King. (キング先生を好きでない学生はいません)
- (9) There are no rules _____ have some exceptions. (例外のない規則はありません)
- (10) John sometimes carries more money _____ is necessary.
(ジョンはときどき必要以上のお金を持ち歩いています)

▶(1)~(3) whoever などの複合関係代名詞を用います。(4)~(7) as は such, the same, as などと相関的に用いられるほか、単独でも用いられます。(8), (9) but は no などの否定語とともに用いて、「～でないものはない」のような二重否定の表現になります。

最後に英作文をして、きょうの学習を終わりにしましょう。

③ 次の日本語の文を、書き出しに続けて英語の文にしなさい。

- (1) それは私がかつて見たいちばんよい映画です。
It is _____
- (2) 私は彼の言うことが理解できません。
I can't understand _____
- (3) 私たちの先生はいわゆる生き字引です。(what is called を用いて)
Our teacher is _____
- (4) あなたはどちらでも好きなほうを取ってかまいません。
You may take _____
- (5) 自分の子どもを愛していない母親はいません。(but を用いて)
There is no mother _____

▶(1)「いちばんよい」 the best 「私がかつて見た」は現在完了を用いて I have ever seen とします。(3)「生き字引」 a walking dictionary (4) whichever を用います。

ごくろうさまでした。次のページで単語やイディオムをチェックしたら、きょうはゆっくり休んでください。

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。 (答えはこのページの下)

- | | |
|---------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 vital (形) | <input type="checkbox"/> 2 warn (動) |
| <input type="checkbox"/> 3 abstract (形) | <input type="checkbox"/> 4 affair (名) |
| <input type="checkbox"/> 5 alternative (形) | <input type="checkbox"/> 6 anxiety (名) |
| <input type="checkbox"/> 7 appropriate (形) | <input type="checkbox"/> 8 attack (名) |
| <input type="checkbox"/> 9 awful (形) | <input type="checkbox"/> 10 bury (動) |
| <input type="checkbox"/> 11 case (名) | <input type="checkbox"/> 12 characterize (動) |
| <input type="checkbox"/> 13 choice (名) | <input type="checkbox"/> 14 commercial (形) |
| <input type="checkbox"/> 15 complicated (形) | <input type="checkbox"/> 16 confidence (名) |
| <input type="checkbox"/> 17 connect (動) | <input type="checkbox"/> 18 connection (名) |
| <input type="checkbox"/> 19 consist (動) | <input type="checkbox"/> 20 constitute (動) |
| <input type="checkbox"/> 21 construct (動) | <input type="checkbox"/> 22 construction (名) |
| <input type="checkbox"/> 23 convenience (名) | <input type="checkbox"/> 24 creative (形) |
| <input type="checkbox"/> 25 curiosity (名) | <input type="checkbox"/> 26 damage (動) |
| <input type="checkbox"/> 27 decide (動) | <input type="checkbox"/> 28 decision (名) |
| <input type="checkbox"/> 29 definite (形) | <input type="checkbox"/> 30 delight (動) |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。 (答えはこのページの下)

- ☐ 1 They _____ solve the difficult problem in one meeting.
(彼らは1度の会合でそのむずかしい問題を解くことはできませんでした)
- ☐ 2 He finally bought a new car _____.
(彼はついに新しい車を独力で買いました)
- ☐ 3 She _____ a period of depression when she was in college.
(彼女は大学にいたときに意気消沈した時期を経験しました)
- ☐ 4 In _____, he has had a long experience in education.
(さらに、彼には教育に長い経験がありました)
- ☐ 5 Please tell me _____ what your plans are.
(あなたの計画がどんなものであるのか前もって私に話してください)
- ☐ 6 To fail _____ is not bad, but it is important to try not to repeat the failure.
(失敗すること自体は悪いことではないが、その失敗をくりかえさないように努力することは重要なことです)

◇ 答え ◇

- I. 1 生命に関する, きわめて重大な 2 警告する 3 抽象的な 4 事柄, 事件 5 どちらかを選ぶべき
 6 心配, 切望 7 適切な 8 攻撃 9 恐ろしい 10 埋める 11 場合, 事情 12 特徴づける 13 選択
 14 商業の 15 複雑な 16 自信, 信頼 17 結合する 18 関連, 接続 19 ~から成る, ~に存する
 20 構成する 21 組み立てる, 建設する 22 組み立て, 建造 23 便利, 便利なもの 24 創造的な 25 好奇心
 26 ~に損害を与える 27 決心する, 決定する 28 決定, 決心 29 明確な, 厳密な 30 喜ぶ, 喜ばせる
- II. 1 failed, to 2 for, himself 3 went, through 4 addition 5 in, advance 6 in, itself

こんにちは。毎日がんばりますね。きょうは関係副詞を中心に学習を進めます。関係代名詞を学んだあとですから、それほどむずかしくはないと思います。最後は、関係形容詞を取りあげます。「関係形容詞」とはあまり聞きなれないことばですね。いったいどんなものなのでしょう。

1. 関係副詞 when, where

「あれは彼が住んでいる家です」という文は、英語では、

That is the house where he lives.

と表します。日本語の「彼が住んでいる家」が、英語では the house where he lives と表されています。

the house where he lives を直訳してみると「家（そこに）彼が住んでいる」となって、「そこに」あたる部分が where ですね。つまり、where は the house（家）と he lives（彼が住んでいる）を結びつける働きをしています。そして、where 以下は the house がどんな家かを説明しています。

このように、ある場所についてそれがどのような場所かを説明する働きをする where を関係副詞といえます。

それでは、次の文はどう訳しますか。

I remember the year when we first met.

この文は、「私は私たちが最初に会った年を覚えています」と訳します。the year when we first met は「私たちが最初に会った年」という意味です。when が使われていることに注意下さい。

where と同じように、when は the year（その年）と we first met（私たちが最初に会った）を結びつけて the year がどのような年かを説明していますね。where は the house のように場所を示すことばとともに用いられますが、when は the year のように時を示すことばとともに用いられる関係副詞です。

* 「彼が住んでいる家」は、関係代名詞を用いて the house which(that) he lives in と表すこともできます。関係副詞を用いると the house where he lives と in がなくなりますよ。

トレーニング

1 関係副詞（下線部）に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) That is the house where he lives.

(2) This is the place where we first met.

(3) This is the library where she often comes.

(4) That is the office where my father works.

(5) Show me the store where you usually do your shopping.

(6) There are a lot of countries in the world where English is widely used.

(7) The year when he died is 1945.

(8) The year when World War II broke out is 1939.

(9) Fall is the season when she often travels.

(10) Winter is the season when the stars can be seen most clearly.

(11) Let me know the time when you will arrive at Narita Airport.

(12) My grandmother remembers the time when automobiles were rarely seen.

▶ (6) where の先行詞は the world ではなく a lot of countries です。 (8) World War II 「第2次世界大戦」 break out 「ぼつ発する」 (12) the time 「時代」 automobile 「自動車」 be rarely seen 「まれな、珍しい」

関係副詞について、さらにくわしく学習しましょう。

2. 先行詞の省略

This is where she was born. という文はどう訳しますか。

この文は、「ここは彼女が生まれたところです」と訳します。where の前には、先行詞にあたることばがありません。

この where は the place where ～ という意味で使われています。このように、where は先行詞を伴わずに用いられることがあります。

トレーニング

2 次の英文を訳しなさい。

(1) This is where she was born.

(2) This is where they used to live.

(3) We camped where we could easily get fresh water.

(4) The explosion occurred one hundred meters from where I was sitting.

▶ (3) camp 「キャンプをする」 easily 「容易に」 (4) explosion 「爆発」

3. 関係副詞の非制限用法

次の文はどう訳したらいいでしょうか。

I visited Nara, where I stayed for a week.

where の前にカンマがありますから、そこで文がいったん切れるのがわかりますね。ですから、この文は「私は奈良を訪れましたが、そこに1週間滞在しました」と訳します。「私は1週間滞在した奈良を訪れました」という意味ではありませんよ。

では、次の文の訳はどうなりますか。

Call me at nine, when I'll tell you what to do.

when の前にカンマがありますから、この文の訳は「9時に私に電話をしてください、そのときに私はあなたに何をすべきか教えてあげます」となります。

このように、関係副詞 where と when には関係代名詞と同様に非制限用法があります。

トレーニング

3 非制限用法に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) I visited Nara, where I stayed for a week.
.....
- (2) He visited Rome, where he came to know that girl very well.
.....
- (3) He went to Tokyo, where he spent a week visiting friends.
.....
- (4) She will leave for New York, where she will study music.
.....
- (5) We got to the camping place by the river, where we stayed overnight.
.....
- (6) Call me at nine, when I'll tell you what to do.
.....
- (7) Come back tomorrow, when the doctor will see you.
.....
- (8) Come on Friday, when I'll have time to discuss your problem.
.....
- (9) It happened early in the morning, when all the family were fast asleep.
.....
- (10) Please wait till tomorrow, when we will have a ticket to the concert for you.
.....

▶(2) come to ～ 「～するようになる」 (3) visiting friends 「友人を訪ねながら」と訳します。 (5) camping place 「キャンプ場」 stay overnight 「1泊する」 (9) fast 「ぐっすり」と

先行詞の省略や非制限用法などは「関係代名詞」でも学習した事項ですからむずかしくありませんね。

4. 関係副詞 why

「私は彼女が休んだ理由を知りません」という文は、英語では、

I don't know the reason why she was absent.

と表します。日本語の「彼女が休んだ理由」が、英語では the reason why she was absent と表されています。the reason (理由) と she was absent (彼女は休みました) のあいだに why が用いられていますね。

why は理由を示す関係副詞です。why 以下は、the reason が何の理由かを明らかにしています。why は「なぜ」という意味のことばですから「理由」という意味の reason と結びついてよく用いられます。

では、次の文はどう訳しますか。

That is why I was late.

この文は、「それが私がおくれた理由です[そういうわけで私はおくれました]」と訳します。why の前には the reason がありませんが、このように why が単独で用いられることもよくあります。

トレーニング

4 why に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) That is why I was late.
- (2) That is why I was absent.
- (3) That is why I helped him.
- (4) That is why I don't like her.

- (5) That is why I refused his invitation.

- (6) The question is why he told a lie to us.

- (7) I don't know why she was absent.

- (8) I don't know why he gave up smoking.

- (9) We don't know why she is disappointed.

- (10) We don't know why Paul won't agree to our plan.

- (11) It is not clear why he gave up going to school.

- (12) Tell me why you came home so late last night.

▶ (5) refuse 「断る」 invitation 「招待」 (6) tell a lie 「うそをつく」 (8) give up 「～をやめる」 (9) disappoint 「がっかりさせる」 (10) agree to ～ 「～に同意する」

関係副詞には where, when, why のほかにもうひとつあります。

5. 関係副詞 how

「それが私がその問題を解いた方法です」という文は、英語では、

That is how I solved the problem.

と表します。日本語の「私がその問題を解いた方法」が英語では how I solved the problem と表されています。

この how は方法を示す関係副詞です。how には「どのような」という意味がありましたね。

how の前には先行詞にあたることばがありませんが、how は先行詞なしに単独で用いられるのが普通です。

That is how I solved the problem. という文は、「私はそのようにして問題を解きました」と訳すこともできますよ。

トレーニング

5 how に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) That is how I solved that problem.

(2) That is how it happened.

(3) That is how she became famous.

(4) That is how she makes cakes.

(5) That is how he traveled around America.

(6) That is how they came to know each other.

(7) That is how she got out of the trouble.

(8) That is how he succeeded in his business.

(9) That is how I passed the entrance examination.

(10) That is how he became president of the United States.

▶ (1) solve 「解く」 (2) 「事の起こりはこうです」という意味です。 (6) come to ～ 「～するようになる」 (7) get out of the trouble 「困難から脱する、困難を切り抜ける」 (10) president 「大統領」 how をいつも「方法」と訳すことはできませんから、状況に合わせて工夫する必要があります。

次は複合関係副詞について学習します。

6. 複合関係副詞

次の文を訳すことができますか。

You may go whenever you like.

この文は、「あなたはいつでも好きなときに行ってもいい」と訳します。whenever は、日本語の「いつでも」にあたる表現です。

whenever は関係副詞 when に -ever のついた形です。whenever の前には先行詞にあたることばがありませんが、whenever はそれ自身に先行詞を含んでいます。

では、次の文はどう訳しますか。

Whenever I call on him, he is usually out.

今度は、「私がいつ彼を訪ねても、彼はたいてい外出しています」と訳します。whenever は「いつ～しようとも」と譲歩を表す場合にも用いられます。

関係副詞に -ever のついたものは、whenever のほかにも次のようなものがあります。覚えておきなさい。

wherever (どこでも、どこへ～しようとも) / **however** (いかに～しようとも)

トレーニング

6 下線部に注意して、次の英文を訳しなさい。

(1) You may go whenever you like.

(2) You may come whenever you are free.

(3) You may use this room whenever you like.

(4) Whenever I call on him, he is usually out.

(5) Whenever I called on her, I found her at work.

(6) You may sit wherever you like.

(7) Wherever he went, he made friends quickly.

(8) I couldn't solve that problem, however hard I tried.

(9) She couldn't make that baby laugh, however hard she tried.

▶ (5) I found her at work は「彼女は働いていました」と訳すときれいに訳せます。(9) make that baby laugh 「その赤ちゃんを笑わせる」

以上で関係副詞の学習はおしまいです。次のページでは関係形容詞について学びます。

7. 関係形容詞としての which

次の英文を訳すことができますか。

The doctor told him to stay in bed, which advice he followed.

この文は、「医者には彼に床についているように言いましたが、その忠告に彼は従いました」と訳します。which が用いられていますね。

which は「床についているように」という前の文の内容を受けています。と同時に、which は形容詞のように advice を修飾して、それがどんな advice なのかを説明しています。

このように形容詞のような働きをする which を、関係形容詞といいます。もうひとつ例をあげておきましょう。

My mother may go out tomorrow, in which case I won't be able to go fishing with you.

(母はあした外出するかも知れませんが、その場合には私はあなたといっしょにつりに行くことはできないでしょう)

トレーニング

7 関係形容詞（下線部）に注意して、次の英文を訳しなさい。

- (1) The doctor told him to give up smoking, which advice he followed.
.....
- (2) My uncle gave me a gift when I passed the exam, which kindness I appreciated.
.....
- (3) My friend sent me a letter when my father died, which kindness I appreciated.
.....
- (4) I arrived at three, at which time the meeting started.
.....
- (5) My mother may go out tomorrow, in which case I won't be able to go swimming with you.
.....
- (6) I stayed in my home town for four weeks, during which time I visited several of my old friends.
.....
- (7) I visited the Ueno Park early in April, at which time the cherry trees were in full bloom.
.....

▶(1) give up ～ing「～するのをやめる」 (2) gift「贈り物」 appreciate「～をありがたく思う、感謝する」 exam は examination(試験)のこと。 (4) three「3時」 which は three を受けています。 (6) home town「故郷」 several of ～「何人かの～」 which は four weeks を受けています。 (7) the cherry trees「桜の木」 be in full bloom「満開である」 which は early in April を受けています。

次のページからは発展トレーニングです。きょうの学習もあと少しです。

発展トレーニング

発展的な問題を扱っています。落ち着いてやりましょう。

1 関係副詞を用いて、次の日本語を英語に直しなさい。冠詞は **the** を用いなさい。

例 彼が住んでいる家

⇒ the house where he lives

- (1) 私が勉強する部屋 ⇒ _____
- (2) 彼女がよく行く図書館 ⇒ _____
- (3) 私たちがよく遊ぶ公園 ⇒ _____
- (4) 彼が滞在するホテル ⇒ _____
- (5) 彼女が生まれた家 ⇒ _____
- (6) 私たちが最初に会ったところ ⇒ _____

例 彼が死んだ年

⇒ the year when he died

- (7) 私が生まれた年 ⇒ _____
- (8) その戦争が起きた年 ⇒ _____
- (9) 彼女がよく旅行をする季節 ⇒ _____
- (10) 彼が到着する時間 ⇒ _____
- (11) 学校が始まる月 ⇒ _____
- (12) 私が高校に入学した年 ⇒ _____

▶(1)「部屋」the room (2)「図書館」the library (4)「滞在している」stay (5)「～で生まれる」は be born in ～ですが、関係副詞を使うと in がなくなります。(6)「最初に」first 「ところ」the place (8)戦争・火事・暴動・疫病などが「起きる」は break out を用います。(9)「季節」the season (10)「到着する」arrive (12)「高校に入学する」enter high school

2 次の英文を訳しなさい。

- (1) This is the house where I was born.
_____ [明星大改題]
- (2) Stay where you are until I come back.
_____ [中央大改題]
- (3) Put it back where you found it.

- (4) He graduated from Oxford University, where he studied biology.

- (5) Wherever he goes, he makes friends quickly.

- (6) He was born in the year when my father died.
_____ [神戸学院大改題]
- (7) Wait until next week, when I can tell you more about it.

(8) You may ask for help whenever you need to.

(9) Whenever I meet her, I think of my mother.

〔関西学院大改題〕

(10) Whenever my father goes on a trip abroad, he brings me back a souvenir.

(11) That is why he was late for the meeting.

(12) The question is why she was absent.

(13) Is there any reason why she should resign so suddenly?

〔東洋大改題〕

(14) Nobody knows exactly why he gave up going to school.

(15) That was how I spent my childhood.

(16) That was how she made this doll.

(17) I won't be able to finish this work, however late I work.

(18) The doctor told me to rest, which advice I followed.

(19) I was told to deliver the package by three, which instructions I followed.

(20) My friends sent me a gift on my birthday, which kindness I appreciated.

▶(3) put back 「もどす」 (4) graduate from ～ 「～を卒業する」 Oxford University 「オックスフォード大学」
biology 「生物学」 (8) ask for ～ 「～を求める」 (9) think of ～ 「～のことを思う」 (10) souvenir 「記念品, おみやげ」
(13) resign 「辞する, やめる」 (14) exactly 「正確に」 give up going to school 「学校へ行くことをやめる」
(15) childhood 「幼年時代」 (19) deliver 「配達する」 instructions 「通達」

最後に英作文をして、きょうの学習を終わりにしましょう。

③ 次の日本語の文を、書き出しに続けて関係副詞を用いて英語に直しなさい。

(1) あれは彼が住んでいる家です。 That is _____

(2) 彼が死んだ年は 1945 年でした。 The year _____

(3) それが私がおくれた理由です。

That is _____

(4) それが私がその問題を解いた方法です。

That is _____

▶(1) 「～に住む」は live in ～ ですが, where を用いるときには in を省きます。 (2) 「死ぬ」 die (3) 「おくれる」 be late (4) 「問題」 problem 「解く」 solve

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。 (答えはこのページの下)

- | | |
|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 destroy (動) _____ | <input type="checkbox"/> 2 differ (動) _____ |
| <input type="checkbox"/> 3 display (動) _____ | <input type="checkbox"/> 4 distinguish (動) _____ |
| <input type="checkbox"/> 5 divide (動) _____ | <input type="checkbox"/> 6 dominate (動) _____ |
| <input type="checkbox"/> 7 duty (名) _____ | <input type="checkbox"/> 8 electricity (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 9 emotional (形) _____ | <input type="checkbox"/> 10 endure (動) _____ |
| <input type="checkbox"/> 11 energy (名) _____ | <input type="checkbox"/> 12 essentially (副) _____ |
| <input type="checkbox"/> 13 extend (動) _____ | <input type="checkbox"/> 14 fade (動) _____ |
| <input type="checkbox"/> 15 false (形) _____ | <input type="checkbox"/> 16 fellow (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 17 flight (名) _____ | <input type="checkbox"/> 18 formal (形) _____ |
| <input type="checkbox"/> 19 goods (名) _____ | <input type="checkbox"/> 20 gradually (副) _____ |
| <input type="checkbox"/> 21 graduate (動) _____ | <input type="checkbox"/> 22 habit (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 23 hardly (副) _____ | <input type="checkbox"/> 24 harmful (形) _____ |
| <input type="checkbox"/> 25 huge (形) _____ | <input type="checkbox"/> 26 impatient (形) _____ |
| <input type="checkbox"/> 27 impossible (形) _____ | <input type="checkbox"/> 28 incident (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 29 incidentally (副) _____ | <input type="checkbox"/> 30 independence (名) _____ |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。 (答えはこのページの下)

- ☐ 1 I like all Italian food, spaghetti _____.
(私はすべてのイタリア料理、特にスパゲッティが好きです)
- ☐ 2 I arrived at school just _____ for my first class.
(私は最初の授業にちょうど間に合って学校に着きました)
- ☐ 3 All the students answered the teacher's questions _____.
(すべての学生は先生の質問に順番に答えました)
- ☐ 4 The president _____ all the reports of the disaster.
(大統領はその災害のすべての報告書に目を通しました)
- ☐ 5 _____ the answer in an encyclopedia.
(その答えを百科事典で調べなさい)
- ☐ 6 He was _____ correct in his appraisal of the problem.
(彼はその問題の評価において大体正しかった)

◇ 答え ◇

- I. 1 壊す 2 異なる 3 展示する, 表示する 4 識別する 5 分ける 6 支配する 7 義務, 関税
 8 電気 9 感情の, 感情的な 10 耐える, がまんする 11 エネルギー 12 本質的に, 本来
 13 広げる, 伸ばす 14 しだいに消えていく, あせる 15 誤った, 偽りの 16 人, 仲間 17 飛行, 逃走
 18 正式の, 公式の 19 商品, 品物 20 しだいに, 徐々に 21 卒業する 22 習慣 23 ほとんど~ない
 24 有害である 25 巨大な 26 性急な, 短気な 27 不可能な 28 できごと, 事件 29 付随的に, ついでながら
 30 独立
- II. 1 in, particular 2 in, time 3 in, turn 4 looked, over 5 Look, up 6 more, or, less

きょうは、^{かていほう}仮定法について学習します。仮定法とは、事実を述べるのではなく、仮定したことや、願ったりしたことを述べる表現です。このような表現では、動詞の過去形や過去完了などの使い方が、事実を述べる文とちがいますから、しっかり覚えましょう。

1. 仮定法過去

「もし私はメリーの住所を知っているならば、彼女に手紙を書くのですが」 この文は英語では **If I knew Mary's address, I would write to her.**

と表します。「もし私はメリーの住所を知っているならば」が、**If I knew Mary's address** と過去形を用いて表されていますね。ところで、「もし私はメリーの住所を知っているならば」という文は、実際はメリーの住所を知らないのに、「もし知っているなら」と、事実とは反対のことを仮定して述べた文です。このように、現在の事実とは反対のことを仮定して述べる場合には、過去形を用いて表します。例をあげてみます。

- (1) (実際は十分お金がないのだが)「もし私にお金が十分あれば、…」
⇒ **If I had enough money, ...**
- (2) (実際は京都に住んでいないのだが)「もし私は京都に住んでいれば、…」
⇒ **If I lived in Kyoto, ...**
- (3) (実際はトムはここにいないのだが)「もしトムがここにいれば、…」
⇒ **If Tom were(was) here, ...**

なお(3)のように、be 動詞の場合は、主語に関係なく **were** を用いるのが正式です。これまで過去形は「～しました」と過去の事実を述べる場合に用いてきましたが、このように、現在の事実とは反対のことを仮定して述べる場合にも用いられることに注意してください。

「私はもしメリーの住所を知っているならば」(**If I knew Mary's address**)と仮定して、その結果「彼女に手紙を書くのですが」と述べる文は **I would write to her** と表します。このように「もし～ならば」と現在の事実とは反対のことを仮定して、その結果「～なのだが」と述べる場合は、助動詞の過去と動詞の原形を用いて表します。

- (1) 「もし私にお金が十分あれば、その車を買えるのですが」
⇒ **If I had enough money, I could buy that car.**
- (2) 「もしトムがここにいれば、私の宿題を手伝ってくれるかもしれないのですが」
⇒ **If Tom were(was) here, he might help me with my homework.**

このように、事実を述べるのではなく、あることがらを仮定して述べる表現を仮定法といいます。

トレーニング

1 下線部に注意して、次の文を訳しなさい。

- (1) If I were rich, I could travel around the world.
.....
- (2) If Mr. Kato had time, he would go to America by ship.
.....
- (3) If I were you, I wouldn't drive home tonight.
.....
- (4) If Jim were not sick, he could attend the meeting.
.....
- (5) If I knew her name, I would tell you.
.....
- (6) If Ken got up earlier, he would have enough time to have breakfast.
.....
- (7) If he studied harder, he might be able to pass the exam.
.....
- (8) If she were in my place, she would send for a doctor.
.....
- (9) What would you do if you were ten years younger?
.....
- (10) If I could speak English, I would become an interpreter.
.....

▶(1), (3), (4), (8)の were は was でもかまいません。(8) place 「立場」 send for ～「～を呼びにやる」 (10) If ～の文が助動詞を用いる文ならば、その助動詞を過去形にします。

2 () の動詞を用いて、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

- (1) If he _____ younger, he could climb that mountain. (be)
(彼がもっと若いなら、あの山に登ることができるのに)
- (2) If she _____ a job, she could pay me back soon. (have)
(彼女はもし仕事をもっていれば、すぐにお金を私に返してくれることができるのに)
- (3) If Jane _____ not busy, she could play tennis with me. (be)
(もしジェーンがいそがしくないなら、彼女は私とテニスをすることができるのに)
- (4) If we _____ Tom's address, we would call on him. (know)
(もしトムの住所を知っているならば、私たちは彼を訪ねてゆくのですが)
- (5) If I _____ near the sea, I would go swimming every day in summer. (live)
(もし海の近くに住んでいるなら、私は夏には毎日泳ぎに行くでしょうに)
- (6) If you _____ baseball, I would take you to the baseball game. (like)
(もしあなたが野球が好きなら、私はあなたを野球の試合に連れていくのですが)

仮定法について、さらにくわしく練習しましょう。

2. 仮定法過去完了

「もし私が7時に家を出ていたら、そのバスに間に合ったのですが」 この文は、英語では、

If I had left home at seven, I would have caught the bus.

と表します。「もし私が7時に家を出ていたら」が **If I had left home at seven** と過去完了を用いて表されていますね。ところで、「もし私が7時に家を出ていたら」という文は、実際は7時に家を出なかったのに、「もし出ていたら」と過去の事実とは反対のことを仮定して述べた文です。このように、過去の事実とは反対のことを仮定して述べる場合は、過去完了を用いて表します。

「もし私が7時に家を出ていたら」と仮定して、その結果「そのバスに間に合ったのですが」と述べる文は、**I would have caught the bus.** と表されています。このように、「もし～だったならば」と過去の事実とは反対のことを仮定して、その結果「～だったのだが」と述べる文は、助動詞の過去と **have** と過去分詞を用いて表します。

トレーニング

3 下線部に注意して、次の文を訳しなさい。

- (1) If you had taken my advice, you would have succeeded.
.....
- (2) If I had known your birthday, I would have given you a present.
.....
- (3) If he had been rich, he could have bought that house.
.....
- (4) If they had had enough time, they would have done the work better.
.....
- (5) If it had been fine yesterday, we could have gone on a hike.
.....

▶(1) take one's advice 「～の忠告に従う」

4 () 内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

- (1) If Mary _____ here, she would have helped me. (be)
(もしメリーがここにいたら、彼女は私を手伝ってくれたでしょう)
- (2) If Bob _____ harder, he would have succeeded. (work)
(もしボブがもっと一生懸命に働いていたら、彼は成功していたでしょう)
- (3) If you _____ here five minutes earlier, you could have met her. (get)
(5分早くここに着いていたら、あなたは彼女に会うことができたのですが)
- (4) If he _____ a doctor right away, he might not have died. (see)
(もし彼がすぐに医者に見てもらっていたら、死ななかったかもしれません)

3. 仮定法を用いた表現

「彼がここにいればいいのに」という文を、英語では、**I wish** ～(私は～であることを願う)を用いて、

I wish he () here.

と表します。さて () の中に何を入れたらいいですか。この文は、実際は彼はここにいないのですが、「彼がここにいればいいのに」と現在の事実とは反対のことを願っている文です。つまり願っている内容「彼がここにいること」[he () here]は、現在の事実とは反対のことです。現在の事実とは反対のことを述べるには、過去形を用いましたね。したがって

I wish he were[was] here.

となります。

それでは、「彼がここにいたらよかったのに」と過去の事実とは反対のことを願う文は、どう表しますか。過去の事実と反対のことを述べるには、過去完了を用いましたね。したがって、

I wish he had been here.

となります。

「健はまるでアメリカ人であるかのように英語を話します」という文は、**as if[though]** (まるで～のように)を用いて

Ken speaks English as if[though] he () an American.

と表します。さて () の中に何を入れたらいいですか。「まるでアメリカ人であるかのように」というのは、実際はアメリカ人ではありませんね。したがって現在の事実とは反対のことを述べていますから、() の中は、were[was]となります。

Ken speaks English as if[though] he were[was] an American.

「まるで～だったかのように」と、過去の事実とは反対のことを述べる場合は、過去完了を用います。

She talked as if[though] she had seen the movie.

(彼女はまるでその映画を見たかのように話しました)

I wish ～ や **as if[though]** ～ のように、仮定法を用いる表現には、ほかに **It is time** ～(～する時間ですよ) や **as it were** (いわば) などがあります。

(1) **It is time you went to bed.** (もうあなたはねる時間ですよ)

(2) **He is, as it were, a walking corpse.** (彼はいわば生けるしかばねです)

(1)では、「もう当然ねている時間なのに、事実はまだねていない」ということで、仮定法が用いられています。(2)では、「事実は彼はしかばねではないが、たとえるならば…」ということで、仮定法の were が用いられています。

トレーニング

5 下線部に注意して、次の文を訳しなさい。

(1) I wish I knew his address.

(2) I wish I could play the piano.

(3) I wish I had taken your advice.

- (4) She wishes she had studied English harder.

- (5) He walks as if he were drunk.

- (6) She talks as if she knew everything.

- (7) They looked at me coldly as if I had said something impolite.

- (8) Mary looks as though she had seen a ghost.

- (9) It is time we had supper.

- (10) It is time you left for school.

- (11) It is time he woke up. -----
- (12) Her house is, as it were, a small castle.

▶(2)のように、I wish のうしろが助動詞を用いる文の場合、助動詞が過去形となります。(5) be drunk 「酔っぱらっている」 (7) impolite 「無作法な」 (8) look as though ～「まるで～のような顔をしている」 (12) castle 「城」

6 ()内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

- (1) I wish I _____ more time to read. (have)
(読書をする時間をもっとたくさんあればいいのに)
- (2) He wishes he _____ thinner. (be) (彼は自分をもっとやせていれればいいのと思っています)
- (3) I wish I _____ that house. (buy) (あの家を買っていたらよかったのだが)
- (4) She behaves as if she _____ her best friend. (lose)
(彼女はまるでいちばんの親友を失ったようにふるまいます)
- (5) He spoke French well as if he _____ in France for a long time. (be)
(彼は長い間フランスにいたかのようにフランス語をじょうずに話しました)
- (6) Tom appears calm as though nothing _____. (happen)
(トムはまるで何事も起こらなかったかのように落ち着いてみえます)
- (7) It is time you _____ your homework. (do) (あなたはもう宿題をする時間ですよ)
- (8) Our dog is, as it _____, a member of our family. (be)
(私たちの犬はいわば家族の一員です)

4. should または were to を用いて仮定する文

「もし万一彼が約束を忘れたら、私たちは彼に電話をしなければならないでしょう」 この文を英語で表すと、

If he should forget his appointment, we would have to telephone him.

となります。「もし万一彼が約束を忘れたら」が、If he should forget his appointment と should を用いて表されていますね。このように、「もし万一～ならば」と未来のことについてありそうもないことを仮定する文には、**should** を用います。

未来のことを仮定する文には、**were to** ～(かりに～だとしたら) も用いられます。

(1) **What would happen if the sun were to rise in the west?**

(かりに太陽が西から昇ったとしたら、どうなるでしょうか)

(2) **If I were to build a house, I would build it near the sea.**

(かりに私が家を建てるとしたら、海の近くに建てるとでしょう)

were to ～は「かりに～だとしたら」と、話をするうえでの単なる仮定ですから、その内容は、(1)のように現実にはあり得ないことでも、(2)のように現実にはありうるかもしれないことでもかまいません。

トレーニング

7 下線部に注意して、次の文を訳しなさい。

(1) If your father should sleep in front of the TV, wake him up for the news.

(2) If he should hear of Lucy's marriage, he would be surprised.

(3) If it should rain tomorrow, we would have to cancel the game.

(4) If Susan should ask about me, please tell her that I am fine.

▶(2) hear or ～「～のことを伝え聞く、知る」

8 下線部に注意して、次の文を訳しなさい。

(1) If I were to go abroad, I would go to Spain.

(2) If you were to attend that party, what would you wear?

(3) If she were to know the truth, she would be surprised.

5. propose that ～などの文と祈願文

「私はその会議が延期されることを提案します」という文は、I propose that ～(私は～を提案する)を用いて、

I propose that the conference be postponed.

と表します。この文では提案の内容である「会議が延期されること」が、the conference be postponed と、原形 be を用いて表されています。

「トムは自分の部屋をそうじする必要があります」という文は、It is necessary that ～(～することが必要だ)を用いて、

It is necessary that Tom clean his room.

と表します。必要であることの内容「トムが自分の部屋をそうじすること」が、Tom clean his room と原形 clean を用いて表されています。

「会議が延期されること」、「トムが自分の部屋をそうじすること」といった提案や要求の内容は、事実ではありませんから、仮定法の文となり、この場合は、動詞の原形が用いられます。

「あなたに神様のお恵みがありますように」という文は、英語では

God bless you!

と表します。祈願文は事実を述べる文ではありませんから、仮定法の文となり、この場合も動詞の原形が用いられます。

トレーニング

⑨ () 内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

- (1) I demand that Mr. Smith _____ the meeting. (attend)
(私はスミス氏がその会議に出席することを要求します)
- (2) I insist that Mary _____ invited to the party. (be)
(私はメリーがパーティーに招待されることを強く要求します)
- (3) We demanded that Jane _____ us the truth. (tell)
(私たちはジェーンが真実を話すことを要求しました)
- (4) He suggested that we _____ to the country for the weekend. (go)
(彼は私たちが週末にいなかに行くことを提案しました)
- (5) It is necessary that every student in the school _____ the rules. (obey)
(学校のすべての学生が規則に従う必要があります)
- (6) It is desirable that Tom _____ here by three o'clock. (get)
(トムがここに3時までに着くことが望ましい)
- (7) Heaven _____ us! (help) (神よ私たちを助けたまえ)
- (8) Long _____ the Queen! (live) (女王陛下が長生きされんことを)

▶(3)と(4)は demanded, suggested と過去形になっていますが、that 節は仮定法の文なので、時制の一致をしません。つまり、動詞は原形のままです。(6)のように、願望を表す that 節においても、動詞の原形が用いられます。なお、イギリス英語では、動詞の原形の前に should が用いられます。例 I propose that the conference should be postponed.

6. If it were not for ～, If it had not been for ～

「もし水がなければ、私たちは生きられないでしょう」という文は、英語では、

If it were not for water, we could not live.

と表します。このように「～がなければ」は **If it were not for ～** を用いて表されます。

「もしその薬がなかったら、彼は死んでいたでしょう」という文は、

If it had not been for the medicine, he would have died.

と表します。「～がなかったら」は、**If it had not been for ～** を用いて表されます。

If it were not for ～(～がなければ), If it had not been for ～(～がなかったら) は決まり文句なので、このままの形で覚えておきなさい。

トレーニング

10 下線部に注意して、次の文を訳しなさい。

(1) If it were not for air, we could not exist.

(2) If it were not for your help, I would fail.

(3) If it had not been for the map, we would have lost our way.

(4) If it had not been for her advice, he could not have passed the examination.

▶(1) exist「生存する」 (3) lose one's way「道に迷う」

7. if の省略

「もし私が金持ちだったら、その車を買うことができるのに」という文は、If I were rich, I could buy that car. ですね。If I were rich は If を省略して、Were I rich と表すこともできます。

Were I rich, I could buy that car. Were I ～ と主語と動詞が入れかわっていますよ。

トレーニング

11 下線部に注意して、次の文を訳しなさい。

(1) Were I you, I would help her.

(2) Had I known your address, I would have written to you.

(3) Should anyone phone me, take a message.

▶(1)は If I were you, ... (2)は If I had known your address, ... (3)は If anyone should phone me, ... の If を省略した文です。

8. if 節にかわって仮定を表すもの

Without your help, I would have failed. この文はどう訳したらいいですか。

would have failed は「失敗していたでしょう」という意味で、過去の事実と反対のことを仮定して、その結果を述べる時の動詞の形ですね。この文には、if を用いて仮定する文はありませんが、そのかわりに、Without your help に仮定の意味がこめられています。したがって、

「あなたの助けがなかったら、私は失敗していたでしょう」となります。この Without your help を if を用いて表すと、If it had not been for your help となります。

それでは、if ～ がなくても、文のなかに if ～ のかわりに仮定を表す語句が含まれている文をほかにいくつかあげてみます。

(1) **With your help, he would have succeeded.**

(あなたの助けがあつたら、彼は成功しただろうに)

(2) **A person with good manners would not do such a thing.**

(行儀がよい人なら、そのようなことはしないでしょう)

(3) **To hear her speak English, you would take her for a native speaker.**

(彼女が英語を話すのを聞いたら、あなたは彼女を英語を母国語とする人とまちがえるでしょう)

(1)では With your help, (2)では A person with good manners, (3)では To hear her speak English に仮定の意味が含まれています。

トレーニング

12 次の文を訳しなさい。なお下線部に仮定の意味が含まれています。

(1) Without irrigation canals, that land would be desert.

(2) But for their quick action, the child would have drowned.

(3) With a little more effort, he would have passed the examination.

(4) A wise man would not make such mistakes.

(5) That medicine could have saved him.

(6) To hear her talk, you would find her an intelligent girl.

(7) She would be happy to be given that camera.

▶(1) irrigation canal「用水路」 desert「砂漠のような」 文が<助動詞の過去形+動詞の原形>なら「～だろう(に)」, <助動詞の過去形+have+過去分詞>なら「～だっただろう(に)」となります。したがって下線部は、前者の文では現在、後者の文では過去の仮定となります。たとえば(1)では、would be ですから、Without ～ は現在の仮定です。(2)の but for は without と同じ意味です。

少し休んだらつぎの発展トレーニングに進みなさい。

■ 発展トレーニング ■ 発展的な問題を扱っています。落ち着いてやりましょう。

① () 内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように英文を完成しなさい。

- (1) If I _____ enough money, I could go abroad. (have)
(もし私にお金が多ければ、外国に行くことができるのに)
- (2) If it _____ fine, we could go on a hike. (be)
(もし天気がよければ、私たちはハイキングに行くことができるのに)
- (3) If they hadn't found the vase, John _____ accused of stealing it.
(be)
(もし彼らがその花瓶を見つけなかったら、ジョンはそれを盗んだとして非難されていたでしょう)
〔慶應義塾大改題〕
- (4) If you _____ as he had told you, you would have succeeded. (do)
(あなたはもし彼の言ったとおりにしていたら、成功していたでしょう)
- (5) I wish I _____ Tom yesterday. (visit)
(きのうトムをたずねていたらよかったのだが)
- (6) My father studies English hard as if he _____ still a student. (be)
(父はまるでまだ学生であるかのように英語を一生懸命勉強します)
- (7) It is time you _____ to school. (go) (あなたはもう学校へ出かける時間ですよ)
- (8) Bill requested that she _____ the room. (leave)
(ビルは彼女が部屋を出るようにたのみました)
- (9) _____ I rich, I could travel around the world. (be)
(もし私が金持ちなら、世界中を旅行できるのに)

▶(9)は if を省略した文です。

② 例にならい、次の文を if を用いて仮定法の文に書きかえなさい。

例 As he is not honest, we cannot rely on him.

(彼は正直ではないので、私たちは彼を信用することができません)

⇒ If he were〔was〕 honest, we could rely on him.

- (1) As she is sick, she can't go with us.

(彼女は病気なので、私たちといっしょに行くことができません)

⇒ _____

- (2) As I don't have enough money now, I can't buy that radio.

(私は今十分お金をもっていないので、あのラジオを買うことができません)

⇒ _____

- (3) As I didn't know Tom's address, I didn't send him a New Year's card.

(私はトムの住所を知らなかったなので、彼に年賀状を送りませんでした)

⇒ _____

- (4) As our car broke down on the way, we weren't in time for the party.

(私たちの車が途中で故障したので、私たちはパーティーに間に合いませんでした)

⇒ _____

▶(1)～(4)はそれぞれ事実を述べた文です。これらの文を、If ～, ... (もし～なら[だったら]...だろう[だったらう])に用いて、事実と反対のことを仮定する文に書きかえます。(1)と(2)は、現在の事実と反対のことを仮定する文、(3)と(4)は過去の事実と反対のことを仮定する文です。それぞれ動詞の形に注意しなさい。

③ 例にならい、次の文を **wish** を用いた文に書きかえなさい。

例 I am sorry Tom isn't free.

⇒ I wish Tom were[was] free.

(トムがひまならいいのになあ)

(1) I am sorry I don't know her telephone number.

⇒

(彼女の電話番号を知っていればいいのだが)

(2) I am sorry I can't go to the dance with you.

⇒

(あなたといっしょにダンスパーティーに行けるといいのですが)

(3) He is sorry he didn't learn English.

⇒

(彼は英語を学んでおけばよかったと思っています)

▶それぞれ wish を用いて、事実とは反対のことを願う文にします。

④ 下線部に適当な語を入れて、同じ意味の文を作りなさい。

(1) Without air, we could not exist.

⇒ If _____ air, we could not exist.

(もし空気がなければ、私たちは生存することができません)

(2) But for you, I would have drowned.

⇒ If _____ you, I would have drowned.

(もしあなたがいなかったら、私はおぼれていたでしょう)

(3) With your help, he would have succeeded.

⇒ If you _____ him, he would have succeeded.

(もしあなたが彼を助けていたら、彼は成功していたでしょう)

これで仮定法の学習はおしまいです。次のページには頻度順単語・イディオムのチェックがあります。

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。(答えはこのページの下)

- | | |
|----------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 indication (名) | <input type="checkbox"/> 2 inform (動) |
| <input type="checkbox"/> 3 intense (形) | <input type="checkbox"/> 4 interest (名) |
| <input type="checkbox"/> 5 introduce (動) | <input type="checkbox"/> 6 invent (動) |
| <input type="checkbox"/> 7 investigation (名) | <input type="checkbox"/> 8 labor (名) |
| <input type="checkbox"/> 9 lay (動) | <input type="checkbox"/> 10 limitation (名) |
| <input type="checkbox"/> 11 loss (名) | <input type="checkbox"/> 12 main (形) |
| <input type="checkbox"/> 13 mechanical (形) | <input type="checkbox"/> 14 mere (形) |
| <input type="checkbox"/> 15 method (名) | <input type="checkbox"/> 16 minor (形) |
| <input type="checkbox"/> 17 miss (動) | <input type="checkbox"/> 18 mount (動) |
| <input type="checkbox"/> 19 nuclear (形) | <input type="checkbox"/> 20 operate (動) |
| <input type="checkbox"/> 21 past (形) | <input type="checkbox"/> 22 peasant (名) |
| <input type="checkbox"/> 23 perfect (形) | <input type="checkbox"/> 24 philosophy (名) |
| <input type="checkbox"/> 25 pile (動) | <input type="checkbox"/> 26 plain (形) |
| <input type="checkbox"/> 27 practically (副) | <input type="checkbox"/> 28 private (形) |
| <input type="checkbox"/> 29 properly (副) | <input type="checkbox"/> 30 proportion (名) |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。(答えはこのページの下)

- ☐ 1 _____ two hundred people came to the concert in that park.
(200人以上の人々がその公園のコンサートに来ました)
- ☐ 2 He succeeded _____ by effort _____ by luck.
(彼は努力によってではなくむしろ幸運によって成功しました)
- ☐ 3 _____, Americans can speak English.
(もちろん、アメリカ人は英語を話すことができます)
- ☐ 4 I thought it would be a boring movie, but on the _____, I enjoyed it.
(私はそれは退屈な映画だろうと思いましたが、それどころか私はそれを楽しみました)
- ☐ 5 He _____ close _____ his doctor's advice.
(彼は医者 of 忠告に細心の注意を払いました)
- ☐ 6 Encyclopedias _____ us _____ a lot of information.
(百科事典は私たちにたくさんの情報を与えてくれます)

◇答え◇

- I. 1 指示, 徴候 2 知らせる 3 強烈な, 激しい 4 興味, 利益 5 導入する, 紹介する 6 発明する
 7 調査 8 労働, 骨折り 9 横たえる 10 制限, 限界 11 損失, 紛失 12 主要な 13 機械の, 機械的な
 14 単なる, ほんの 15 方法 16 重要でない, 小さいほうの 17 (ねらい)そこなう, ない[いない]のを惜しむ
 18 登る, 上がる 19 原子核の, 核の 20 操作する, 手術する 21 過去の, 過ぎ去った
 22 農夫, 農業に従事する人 23 完全な 24 哲学 25 積む, 積み重ねる 26 平らな, 平易な
 27 实际的に, 事実上 28 個人の, 私的な 29 適当に 30 割合, 調和
- II. 1 More, than 2 not, so, much, as 3 Of, course 4 contrary 5 paid, attention, to
 6 provide, with

第20日

演習問題(2)

きょうは、第11日～第19日で学習したことについて演習問題をします。ここではとくに重要な問題を取り上げています。これまできちんと学習していれば、必ずできるはずです。もし、まちがえたところがあったならば、第11日～第19日にもどって復習し、もう1度この演習問題にチャレンジしなさい。

スタート！

① 次の英文を日本語に訳しなさい。

(1) John began studying Japanese last year.

(2) Swimming is fun.

(3) One of my hobbies is collecting stamps.

(4) We are looking forward to seeing Beth this summer.

(5) I don't remember her giving me back my book.

(6) Do you mind my opening the window?

(7) I don't like being asked to make a speech at weddings.

(8) Now I regret not having studied English when I was young.

(9) I know that boy swimming in the pool.

(10) These are watches made in Switzerland.

(11) The letter lay forgotten in the desk for many years.

(12) We heard the birds singing in the trees.

(13) We must have our house repaired.

(14) I felt myself suddenly pushed from behind.

(15) Being sick, she stayed home.

(16) While waiting for the bus, he was reading a book.

- (17) His novels are widely read. _____
- (18) My house was built twenty years ago. _____
- (19) She had never been invited to a dance before.

- (20) That window was left open all night because it was hot.

- (21) It is said that she is the most popular singer in Japan.

- (22) He was excited at the soccer game.

- (23) They were delighted that their son passed the examination.

- (24) Those oranges sell for 3 dollars a dozen.

- (25) The movie I saw last night was funny. _____
- (26) He dropped the camera his brother lent him.

- (27) That tall man who has just come in is my uncle.

- (28) The woman whose daughter I talked with is Mrs. Johnson.

- (29) That is the man whom they were talking about.

- (30) The pen which I am using now is my father's.

- (31) That is the best movie that I have ever seen.

- (32) The man with whom I talked yesterday was an actor.

- (33) I met Bob, from whom I borrowed an umbrella.

- (34) What she said was quite right.

- (35) I will do what I can for you.

- (36) Mr. Kent is, what is called, a walking dictionary.

- (37) His health is not what it used to be.

- (38) He shows his pictures to whoever comes to visit him.

- (39) He is such a professor as we can all admire.

- (40) There are no rules but have some exceptions.

- (41) This is the place where we first met.

- (42) Winter is the season when the stars can be seen most clearly.

- (43) This is where they used to live.

- (44) I visited Nara, where I stayed for a week.

- (45) Come on Friday, when I'll have time to discuss your problem.

- (46) You may use this room whenever you like.

- (47) My mother may go out tomorrow, in which case I won't be able to go swimming with you.

- (48) If I were rich, I could travel around the world.

- (49) If you had taken my advice, you would have succeeded.

- (50) I wish I could play the piano.

- (51) If I were to go abroad, I would go to Spain.

- (52) I have never heard Spanish spoken.

次に英作文の演習問題をします。落ち着いてやりなさい。

② 次の日本語を英語に直しなさい。

- (1) 私の趣味は切手を集めることです。(動名詞を用いて)
.....
- (2) 彼は生の魚を食べるのに慣れていません。(be accustomed to ～を用いて)
.....
- (3) 私はプールで泳いでいるあの少年を知っています。(～ingを用いて)
.....
- (4) 私たちは昨年家にペンキを塗ってもらいました。(動詞 haveを用いて)
.....
- (5) これらのライオンはアフリカから連れてこられました。
These lions
- (6) 私は父に万年筆をもらいました。
I
- (7) 私はあの絵をかいた少女を知っています。(関係代名詞 whoを用いて)
.....
- (8) 私にはお兄さんが医者をしている友だちがいます。(関係代名詞 whoseを用いて)
.....
- (9) それは私がかつて見たいばんよい映画です。(関係代名詞 thatを用いて)
It is
- (10) 自分の子どもを愛していない母親はいません。(butを用いて)
There is no mother
- (11) あれは彼が住んでいる家です。(関係副詞を用いて)
That is
- (12) 彼が死んだ年は1945年でした。(関係副詞を用いて)
The year
- (13) それが私がおくれた理由です。
That is
- (14) それが私がその問題を解いた方法です。
That is
- (15) 私はフランス語を勉強するのに興味があります。(be interested in ～を用いて)
.....

英作文はいかがでしたか。答え合わせをきちんとしておきなさい。間違えたところは赤で直して、覚えてしまいうまで何度も練習しなさい。

③ () 内の動詞を動名詞または不定詞の形にして、正しい英文を完成しなさい。

例 I enjoyed skiing last Sunday. (ski)

(私はこの前の日曜日にスキーをして楽しみました)

- (1) I have just finished _____ this book. (read)
(私はちょうどこの本を読み終えたところです)
- (2) We decided _____ a new house. (buy) (私たちは新しい家を買う決心をしました)
- (3) I hope _____ you again soon. (see) (私は近いうちにまたあなたに会いたいと思います)
- (4) He practices _____ for two hours every day. (swim)
(彼は毎日2時間泳ぐのを練習します)
- (5) I am planning _____ abroad this summer. (go)
(私は今年の夏に外国へ行くことを計画しています)
- (6) You should avoid _____ things from others too often. (borrow)
(あなたはあまりひんばんに他人から物を借りるのは避けるべきです)
- (7) I don't mind _____ late tonight. (work) (私は今夜おそく働くのはかまいません)
- (8) We expect _____ from Jane soon. (hear)
(私たちは近いうちにジェーンから便りがあると思います)
- (9) My mother promised _____ me a new dress. (make)
(母は私に新しい服を作ってくれることを約束しました)
- (10) I enjoyed _____ with John about music last night. (talk)
(私は昨夜ジョンと音楽の話をして楽しみました)
- (11) She wishes _____ an actress in the future. (become)
(彼女は将来女優になりたいと思っています)
- (12) That publisher decided _____ out a large French-Japanese dictionary next year.
(bring) (その出版社は来年大きな仏和辞典を出版することに決めました)
- (13) Would you mind _____ me your name? (tell)
(私にあなたの名前を教えてくださいませんか)
- (14) That little boy stopped _____ when he saw his mother. (cry)
(あの幼い少年は自分の母親を見ると泣くのをやめました)
- (15) Would you mind _____ me the newspaper? (pass) (新聞を取ってくださいませんか)
〔九州産業大改題〕

④ 次の文の分詞構文を完成させなさい。

- (1) If you turn left, you will find the post office.
⇒ _____, you will find the post office. (左へ曲がると、郵便局が見えます)
- (2) As I have little money, I cannot afford to eat at that restaurant.
⇒ _____, I cannot afford to eat at that restaurant.
(お金をほとんど持っていないので、私はあのレストランで食事をする余裕がありません)
- (3) We sang and danced together, and had a good time.
⇒ _____, we had a good time.
(いっしょに歌ったり踊ったりして、私たちは楽しく過ごしました) 〔東北学院大改題〕

- (4) School is over and the children are going home.
⇒ _____, the children are going home.
(学校が終わって、子どもたちは家に帰るところです) [京都外国語大改題]
- (5) As I had seen him only once before, I didn't recognize him.
⇒ _____ only once before, I didn't recognize him.
(前に1度しか会ったことがなかったので、私は彼だとは気がつきませんでした) [京都外国語大改題]
- (6) Since this book is written in simple English, it will be easy for beginners.
⇒ _____, this book will be easy for beginners.
(やさしい英語で書かれているので、この本は初心者にとってやさしいでしょう) [名古屋大改題]
- (7) If it is seen at first glance, the garden resembles a miniature park.
⇒ _____, the garden resembles a miniature park.
(初めにちらりと見ると、その庭は縮小模型の庭に似ています) [都留文科大改題]
- (8) There were no seats on the bus, and I had to stand.
⇒ _____ no seats on the bus, I had to stand.
(そのバスには空席がなかったので、私は立たなければなりませんでした)

⑤ 下線部を主語にして、次の能動態の文を受け身の文に書きかえなさい。

- (1) Japan exports a lot of cars to the United States every year.
⇒ _____
(たくさんの自動車が毎年日本によって[日本から]アメリカ合衆国へ輸出されています)
- (2) Do people speak Spanish in Mexico?
⇒ _____
(メキシコではスペイン語が話されていますか) [東海大改題]
- (3) The police arrested the car thief.
⇒ _____
(自動車どろぼうは警察によって逮捕されました) [神戸外大改題]
- (4) Keats did not write this poem.
⇒ _____
(この詩はキーツによって書かれたものではありません)
- (5) My father will cut down the cherry tree in the garden next Sunday.
⇒ _____
(庭の桜の木は今度の日曜日に父によって切り倒されるでしょう)
- (6) We will never hear her wonderful voice again.
⇒ _____
(彼女の美しい声が再び聞かれることはないでしょう)
- (7) Tom is going to paint my room tomorrow.
⇒ _____
(私の部屋はあしたトムによって塗装される予定です)
- (8) You must write the answers in pencil.
⇒ _____
(答えは鉛筆で書かれなければなりません)

(9) We can gain wisdom by experience.

⇒

(知恵は経験によって得られます)

(10) The police ought to investigate that case.

⇒

(その事件は警察によって調査されるべきです)

(11) Someone has stolen my watch.

⇒

(私の腕時計は盗まれてしまいました)

(12) Computers have replaced many people's jobs.

⇒

(多くの人の仕事がコンピューターに取ってかわられています)

(13) Jane had eaten the cake before I got home.

⇒

(私が家に帰る前に、ケーキはジェーンによって食べられてしまっていました)

(14) He will write that report by noon.

⇒

(そのレポートは彼によってお昼までに書かれるでしょう)

(15) He is painting the door of my room.

⇒

(私の部屋のドアは彼によって塗装されています)

(16) They were building a lot of new railways in those days.

⇒

(当時たくさんの新しい鉄道が建設されつつありました〔建設中でした〕)

(17) My mother is making a Christmas cake now.

⇒

(クリスマスケーキは今私の母によって作られているところです)

⑥ 次の文を指示にしたがって書きかえなさい。

(1) Mr. Hara will teach us Japanese history. (下線部を主語にした受け身の文に)

⇒

(私たちは原氏に日本史を教えてもらうでしょう)

(2) He made his brother a model plane. (受け身の文に)

⇒

(模型飛行機が彼の弟のために彼によって作られました)

(3) You must not leave that problem unsolved. (受け身の文に)

⇒

(その問題は未解決のままにしておかれてはいけません)

(4) I saw Lucy getting off the bus. (受け身の文に)

⇒

(ルーシーはバスから降りているのを私に見られました)

(5) The doctor advised me not to smoke too much. (受け身の文に)

⇒

(私は医者からタバコをあまりすわないように忠告されました)

- (6) She made her son drink the medicine. (受け身の文に)

⇒

(彼女の息子は彼女によって薬を飲ませられました)

- (7) I have never heard her sing. (受け身の文に)

⇒

(彼女は歌うのを私によって一度も聞かれたことはありません)

- (8) Tom is often seen to water the garden by the neighbors. (能動態の文に)

⇒

(近所の人たちはしばしばトムが庭に水をまくのを見ます)

- (9) They say that he is a genius. (It を主語にした受け身の文に)

⇒

(彼は天才であると言われています) [八幡大改題]

- (10) His story reminded me of my childhood. (I を主語にした受け身の文に)

(私は彼の話で幼年時代を思い出させられました(思い出しました)) [関西外国語大改題]

7 ()内の動詞(群動詞)を用いて、日本語の意味に合うように次の文を完成しなさい。

- (1) She can't _____ . (rely on)

(彼女は信用されることができません(彼女は信用できません))

- (2) Uniforms _____ at that school. (do away with)

(その学校では制服は廃止されました)

- (3) _____ should _____ our professors when they lecture. (pay attention to) (私たちの教授たちが講義をするとき、彼らに注意がはらわれるべきです)

- (4) The next thing to _____ is his proposal. (consider)

(考慮されるべき次のことは彼の提案です)

- (5) She is afraid of _____ from her job. (dismiss)

(彼女は彼女の仕事から解雇されることを恐れています)

- (6) _____ by his parents, that boy has many toys. (indulge)

(その少年は両親に甘やかされているのでおもちゃをたくさん持っています)

- (7) Bread _____ flour. (make) (パンは小麦粉から作られます)

- (8) He _____ everyone _____ his unusual walk. (know)

(彼は独特の歩き方でみんなに知られています)

- (9) She _____ not _____ my answer. (satisfy)

(彼女は私の答えに満足しませんでした)

- (10) Some boys _____ in that river last summer. (drown)

(去年の夏何人かの少年がその川でおぼれました)

- (11) During the rush hour all the trains _____. (crowd)

(ラッシュ時の間はすべての電車が混雑しています)

- (12) This book is worth _____. (read) (この本は読む価値があります)

- (13) Who is to _____ for the fire? (blame)

(その火事のことだれが責められるべきですか(だれに責任があるのですか))

- (14) That poet became _____ after the war. (know)

(その詩人は戦争のあと知られるようになりました) [神戸女学院]

- (15) She doesn't like to get _____ in arguments with her husband. (involve)
(彼女は自分の夫との口論にまきこまれたくありません) [学習院改題]
- (16) They had their house _____ in a typhoon. (damage)
(彼らは台風で家をこわされました)
- (17) My aunt _____ to an American photographer. (marry)
(私のおばはアメリカ人の写真家と結婚しています)

⑧ () 内の動詞を用いて、日本語の意味に合うように英文を完成しなさい。

- (1) If I _____ enough money, I could go abroad. (have)
(もし私にお金が多ければ、外国に行くことができるのに)
- (2) If it _____ fine, we could go on a hike. (be)
(もし天気がよければ、私たちはハイキングに行くことができるのに)
- (3) If they hadn't found the vase, John _____ accused of stealing it.
(be)
(もし彼らがその花瓶を見つけなかったら、ジョンはそれを盗んだとして非難されていたでしょう)
[慶應義塾大改題]
- (4) If you _____ as he had told you, you would have succeeded. (do)
(あなたはもし彼の言ったとおりにしていたら、成功していたでしょう)
- (5) I wish I _____ Tom yesterday. (visit)
(きのうトムをたずねていたらよかったのだが)
- (6) My father studies English hard as if he _____ still a student. (be)
(父はまるでまだ学生であるかのように英語を一生懸命勉強します)
- (7) It is time you _____ for school. (go) (あなたはもう学校へ出かける時間ですよ)
- (8) Bill requested that she _____ the room. (leave)
(ビルは彼女が部屋を出るようにたのみました)
- (9) _____ I rich, I could travel around the world. (be)
(もし私が金持ちなら、世界中を旅行できるのに)
- (10) It's high time you _____ wasting your money. (stop)
(あなたはもうお金を浪費するのはやめてもいいところです)

⑨ 下線部に適当な語を入れて、同じ意味の文を作りなさい。

- (1) Without air, we could not exist.
⇒ If _____ air, we could not exist.
(もし空気がなければ、私たちは生存することができないでしょう)
- (2) But for you, I would have drowned.
⇒ If _____ you, I would have drowned.
(もしあなたがいなかったら、私はおぼれていたでしょう)
- (3) With your help, he would have succeeded.
⇒ If you _____ him, he would have succeeded.
(もしあなたが彼を助けていたら、彼は成功していたでしょう)

(4) But for the money you gave me, I should have starved.

⇒ If it _____ the money you gave me, I would have starved. (あなたが私にくれたそのお金がなかったら、私は餓死していたでしょう) [南山大改題]

これできょうの演習問題はすべて終わりました。次ページの頻度順単語・イディオムのチェックをすませたら
ゆっくり休んでください。

頻度順単語・イディオムのチェック

I. 次の英語を日本語に直せるか、チェックしてみなさい。 (答えはこのページの下)

- | | |
|----------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 psychologist (名) _____ | <input type="checkbox"/> 2 psychology (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 3 public (形) _____ | <input type="checkbox"/> 4 purchase (動) _____ |
| <input type="checkbox"/> 5 quarrel (動) _____ | <input type="checkbox"/> 6 rare (形) _____ |
| <input type="checkbox"/> 7 rate (名) _____ | <input type="checkbox"/> 8 real (形) _____ |
| <input type="checkbox"/> 9 realistic (形) _____ | <input type="checkbox"/> 10 recover (動) _____ |
| <input type="checkbox"/> 11 relate (動) _____ | <input type="checkbox"/> 12 religion (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 13 render (動) _____ | <input type="checkbox"/> 14 representation (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 15 reproduce (動) _____ | <input type="checkbox"/> 16 respond (動) _____ |
| <input type="checkbox"/> 17 responsible (形) _____ | <input type="checkbox"/> 18 revolution (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 19 roll (動) _____ | <input type="checkbox"/> 20 satisfaction (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 21 satisfactory (形) _____ | <input type="checkbox"/> 22 service (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 23 severe (形) _____ | <input type="checkbox"/> 24 silence (名) _____ |
| <input type="checkbox"/> 25 smooth (形) _____ | <input type="checkbox"/> 26 social (形) _____ |
| <input type="checkbox"/> 27 solution (名) _____ | <input type="checkbox"/> 28 somewhat (副) _____ |
| <input type="checkbox"/> 29 substance (名) _____ | <input type="checkbox"/> 30 sufficient (形) _____ |

II. 日本語の意味に合うように、次の英文を完成しなさい。 (答えはこのページの下)

- ☐ 1 It's hard to _____ his constant lying.
(彼が絶えずうそをつくことをがまんするのはたいへんです)
- ☐ 2 P.S. _____ postscript.
(P.S. とは追伸を意味します)
- ☐ 3 We _____ it _____ that we would win the game, but we lost.
(私たちは私たちが試合に勝つことを当然のことと考えていましたが、負けました)
- ☐ 4 She _____ her sick grandmother for a long time.
(彼女は病気の祖母を長い間世話しました)
- ☐ 5 I _____ the essay competition.
(私はその作文コンクールに参加しました)
- ☐ 6 Our teacher promised us that he would _____ the matter _____ in the next homeroom meeting.
(先生は私たちにその問題を次のホームルームの時間に取り上げることを約束しました)

◇ 答え ◇

- I. 1 心理学者 2 心理学 3 公共の、公然の 4 購入する 5 けんかする、口論する 6 まれな
7 率、料金 8 ほんとうの、あるがままの 9 現実的な 10 回復する、取りもどす 11 関連する、関係がある
12 宗教 13 (人などをへに)する 14 表現、代表 15 再生させる、繁殖する 16 反応を示す、応ずる
17 責任をとるべき立場にある 18 革命、大変革 19 巻く、ころがる 20 満足 21 満足な、申し分ない
22 奉仕、世話 23 きびしい、痛烈な 24 沈黙、静寂 25 滑らかな 26 社会の、社会的な 27 解決、溶解
28 いくぶん 29 物質、実質 30 十分な
- II. 1 put, up, with 2 stands, for 3 took, for, granted 4 took, care, of 5 took, part, in 6 take, up

memo



大学受験デイリープログラム 100 日 英語

*一部変更することがあります

各巻・各日の学習内容 学習内容の細目は、おもなものに限って示してあります

● 第1巻 文法事項中心の学習		35	主語と動詞の数の一致 <名詞+and + 名詞>の形の主語ほか	69	書きかえ(1) 単文→複文、単文→重文、重文→複文
1	時制(1) 現在時制、動詞の3人称単数現在形、過去時制、疑問文と否定文	36	単語 同意語、反意語、派生語、形容詞・副詞の語形変化ほか	70	演習問題(7) 第61日～第69日の確認と演習
2	時制(2) 現在進行形、過去進行形、未来を表すいろいろな文	37	発音(1)母音 短母音、長母音、二重母音	71	比較の表現(1) <the + 比較級～, the + 比較級～>など
3	時制(3) 継続・完了・経験を表す現在完了、未来完了の文ほか	38	発音(2)子音・黙字 おもな子音、名詞の複数形や<-ed>の発音ほか	72	比較の表現(2) as ～ as any, no more than ～など
4	時制(4) 過去完了、過去完了進行形、過去の過去、時制の一致と例外ほか	39	アクセント・文の読み方 覚えておきたいアクセントのルール	73	比較の表現(3) no more ～ than …, no less ～ than …など
5	話法 平叙文・疑問文・感嘆文・命令文の伝え方、話法転換のルール	40	演習問題(4) 第31日～第39日の確認と演習	74	英作文(2) 英語が通じない・30年ぶりに・～すればよかったと思った、など
6	動詞と文型 文の構造と、文構造を決定するgive, get, have等の動詞	● 第3巻 イディオム・構文中心の学習		75	副詞節(目的・結果・譲歩) so that …, such ～ that …など
7	不定詞(1) 名詞用法・形容詞用法・副詞用法、意味上の主語など	41	基本動詞を用いたイディオム(1) do, fall, bring, call, cut, come	76	分詞構文 独立分詞構文などさまざまな分詞構文
8	不定詞(2) 疑問詞+to ～, It ～ to …の文, too ～ to …, enough to …	42	基本動詞を用いたイディオム(2) get, give, have, hold	77	物主表現と使役・感覚動詞 enable, have, seeなど
9	不定詞(3) 不定詞の否定と受け身, be to ～, hoped to have ～などの文	43	基本動詞を用いたイディオム(3) keep, lay, look, make, pass, put	78	英作文(3) ～を最大限に伸ばす・～はおかしいということが分かる、など
10	演習問題(1) 第1日～第9日の確認と演習	44	基本動詞を用いたイディオム(4) run, see, set, take, turn	79	書きかえ(2) 句と節の書きかえ : 名詞句→名詞節、副詞句→副詞節など
11	動名詞 動名詞の働き、動名詞の否定・受け身・完了、不定詞との区別	45	基本動詞を用いたイディオム(5) 第41日、第42日の復習と練習	80	演習問題(8) 第71日～第79日の確認と演習
12	分詞と分詞構文 現在分詞・過去分詞の使い方、さまざまな分詞構文	46	基本動詞を用いたイディオム(6) 第43日、第44日の復習と練習	● 第5巻 長文読解中心の学習 英作文・書きかえ	
13	受け身(1) 受け身の基本、過去・未来など、さまざまな時制の受け身	47	<前置詞+名詞>形のイディオム at + 名詞, in + 名詞ほか	81	説明文 one ～, the other …, It seems that ～など
14	受け身(2) 受け身の文の作り方(They say that ～の受け身など)	48	<前置詞+名詞+前置詞>などのイディオム	82	評論・論説文 on the verge of ～, by comparisonなど
15	受け身(3) 群動詞の受け身、不定詞・動名詞・分詞構文と受け身ほか	49	前置詞の用いられるイディオム 第47日、第48日の復習と練習	83	説明文 a couple of ～, to be sureなど
16	関係代名詞(1) 関係代名詞who, whose, whom, whichほか	50	演習問題(5) 第41日～第49日の確認と演習	84	評論・論説文 it's said that ～, no ～ as ～ as …など
17	関係代名詞(2) that, what, 制限用法と非制限用法、前置詞+関係代名詞	51	不定詞・動名詞・分詞を用いた慣用表現 judging from ～など	85	小説文 <hear + 目的語+ing>, not ～ any longerなど
18	関係副詞 when, where, why, how, 先行詞の省略、複合関係副詞ほか	52	特殊構文(1)強調 It is ～ that …, veryやdoを用いた強調表現	86	評論・論説文 more and more, keep ～ingなど
19	仮定法 仮定法過去、仮定法過去完了、With ～などのIf節の代用	53	特殊構文(2)倒置 So do I, Neither (Nor) do Iなどの表現	87	評論・論説文 関係副詞where, carry ～ through …, not ～ but …など
20	演習問題(2) 第11日～第19日の確認と演習	54	特殊構文(3)省略 主語、動詞、<主語+動詞>、補語などの省略	88	英作文(4) ～でなかったら乗り越しをしていた、など
● 第2巻 文法事項中心の学習		55	特殊構文(4)同格「～という」という意味のthat節, of ～などの表現	89	書きかえ(3) 能動態→受動態、さまざまな文の語法の転換など
21	助動詞(1) can, may, must, needなど、canを用いた慣用表現ほか	56	特殊構文(5)挿入・共通 挿入構文と、語句と語句とのかかりの関係	90	演習問題(9) 第81日～第89日の確認と演習
22	助動詞(2) will, shall, would, should, had better, ought to, used toなど	57	itがつくる構文 It is ～ to …など形式主語となるit, 形式目的語のit	91	評論・論説文 <the + 比較級～, the + 比較級～>など
23	接続詞(1)等位接続詞 and, but, or, for, so, whileなどの用法	58	否定構文(1) not alwaysなどの部分否定, never withoutなどの二重否定	92	評論・論説文 it is ～ to …, such that ～など
24	接続詞(2)従属接続詞 thatとifの使い方, when・becauseなどの用法	59	否定構文(2) not ～ becauseなどの否定表現, 否定語を用いない否定表現	93	評論・論説文 as ～ as it can be, not only ～, but …など
25	前置詞 at, in, for, with, from ～ till, between ～ and …など	60	演習問題(6) 第51日～第59日の確認と演習	94	英作文(5) ～したら必ず…している・二百種類もの物質、など
26	名詞・冠詞 数えられる名詞と数えられない名詞、名詞の所有格, a, an, the	● 第4巻 構文中心の学習 英作文・書きかえ		95	説明文 譲歩を表す節however ～ may …, cannot help ～ingなど
27	代名詞 人称代名詞、再帰代名詞, itの用法, such, some, soなど	61	関係詞構文(1) 関係代名詞who・whose・whom・which・that	96	評論・論説文 関係代名詞what, 部分否定not necessarilyなど
28	形容詞 形容詞の位置、語順、種類, a fewとa little, 数詞ほか	62	関係詞構文(2) of which, <前置詞+which + to不定詞>ほか	97	随筆文 of one's own ～ing, none too ～など
29	副詞 副詞の働きと位置, very・much・agoなどの注意すべき副詞、疑問副詞	63	関係詞構文(3) 関係代名詞の非制限用法、関係詞の省略など	98	英作文(6) 当てにならないことがある・人それぞれによって違う、など
30	演習問題(3) 第21日～第29日の確認と演習	64	関係詞構文(4) 関係代名詞what, whatを用いた慣用表現	99	書きかえ(4) 主語の書きかえ、比較表現を利用した文の書きかえ
31	比較(1) 比較級と最上級, ～er of the two, one of the ～estなど	65	関係詞構文(5) 関係形容詞what, which, 複合関係代名詞whoeverなど	100	演習問題(10) 第91日～第99日の確認と演習
32	比較(2) as ～ as … can, 比較級と比較級, less + 原級 + than ～など	66	関係詞構文(6) 関係副詞where・whenなど	● 第6巻 補充演習編	
33	疑問文 疑問文の作り方、疑問文と答え方, orを用いた疑問文ほか	67	関係詞構文(7) 関係詞的なはたらきをするas・but・thanなど	◆各巻の重要事項の学習をくり返し、実力をよりいっそう確実なものにする。	
34	否定文・命令文・感嘆文 hardly, not alwaysなどの否定表現ほか	68	英作文(1) 調子がおかしい・どんなに忙しくても、など	◆そのあと、総合問題に取り組み、実戦的な力を養成する。	

TRAINING PAPER
DAILY PROGRAM

発行人 加藤 譲
発行所 株式会社 教育社
Printed in Japan

大学受験デイリープログラム100日
高校3年 英語